

神奈川県歯科医師連盟 創立70周年記念誌

70th
Anniversary 1952 ▶ 2022



KANAGAWA DENTAL FEDERATION

70th

Anniversary 1952 ▶ 2022

神奈川県歯科医師連盟
創立70周年記念誌

KANAGAWA DENTAL FEDERATION



70年前の大さん橋と新港ふ頭（奥）

写真で見る10年	4
----------	---

70周年によせて	15
----------	----

神奈川県歯科医師連盟会長	鶴岡 裕亮
(公社) 神奈川県歯科医師会会長	松井 克之
日本歯科医師連盟会長	高橋 英登
オーラルフレイル対策議員連盟会長	桐生 秀昭
参議院議員	比嘉奈津美
参議院議員	山田 宏
参議院議員	島村 大

70周年記念講演会

名簿	27
----	----

連盟10年の歩み	51
----------	----

連盟活動10年の歩み	副理事長	檀上 修
かながわ自民党歯科保健・医療推進議員連盟の歩み		

未来への提言	69
--------	----

次世代を担う若き会員の登用や育成が重要な課題

	第八代会長	中村 昌人
県歯連盟70周年に思う	第九代会長	富田 篤

県下16地域歯科医師連盟	75
--------------	----

神歯連盟の動き 神歯連盟NEWS・Timesで見る10年	99
------------------------------	----

2013

(平成25年)

- ◎島村大神奈川県歯科医師後援会発会式
- ◎「島村大を励ます」
- ◎第23回参议院議員通常選挙
- ◎第23回参议院議員神奈川選挙区
- ◎第49回臨時評議員会

島村大神奈川県歯科医師後援会発会式



すが義偉「島村大を励ます」春の集い開催



第23回参议院議員通常選挙
石井みどり参议院議員 2期目当選



第23回参议院議員神奈川選挙区
島村大先生 初当選



社会の出来事



東横線と副都心線が直通運転を開始



圏央道が部分開通



東京オリンピックの開催決定



横浜・みなとみらい21地区最大規模の商業施設
「MARK ISみなとみらい」開業

2014

(平成26年)

- ◎デンタルミーティングINかながわ「歯科検診の義務化を提言」
- ◎地域別幹事会・DM会合同会議「組織対策委員を交えて懇談」
- ◎富田篤会長が県民功労者表彰受賞
- ◎日本歯科医師連盟平成26年褒章
- ◎第49回臨時評議員会

デンタルミーティングINかながわ「歯科検診の義務化を提言」



「デンソー健康保険における取り組み」講演する赤塚俊昭氏



地域別幹事会・DM会合同会議「組織対策委員を交えて懇談」



富田篤会長が県民功労者表彰受賞



日本歯科医師連盟平成26年褒章
石井良雄 元県歯連盟理事長、
県歯連盟が受賞



受賞する
故 石井良雄先生



県歯連盟の表彰状と
記念盾

社会の出来事



横浜の積雪28センチは観測開始以来7 番目



JR桜木町駅に北改札口新設、CIAL桜木町も開設



首都圏で初めて厚木基地にオスプレイ飛来



野毛山動物園のツガルさん逝く

2015

(平成27年)

- ◎第31回定時評議員会
- ◎幹事会・DM会合同会議
- ◎デンタルミーティングINかながわ「混合診療をテーマに集う」
- ◎かながわ自民党歯科保健・医療推進議員連盟
神奈川県歯科保健・医療推進研究会（勉強会）

第31回定時評議員会開催



「統一地方選挙に向けて挨拶する自民党県議団」

幹事会・DM会合同会議



デンタルミーティングINかながわ
「混合診療をテーマに集う」



講演する川淵 孝一 先生

かながわ自民党歯科保健・医療推進議員連盟
神奈川県歯科保健・医療推進研究会（勉強会）開催



議員連盟・中村省司元会長



コメントする石井みどり参議院議員

社会の出来事



横浜駅西口再開発本格化



よこはま動物園ズーラシア「アフリカのサバンナ」
エリア全面開園



圏央道県内全線開通



箱根山の火山性地震活発化

2016

(平成28年)

◎幹事会・DM会合同会議「高橋日歯連盟会長来会」

◎デンタルミーティングINかながわ

◎24回参議院議員通常選挙 総決起大会

幹事会・DM会合同会議「高橋日歯連盟会長来会」



挨拶する日歯連盟 高橋会長



参院選立候補予定者 山田宏氏

デンタルミーティングINかながわ
神奈川県立病院機構理事長 土屋了介氏
『地域包括ケアと医科・歯科連携』講演



第24回参議院議員通常選挙 総決起大会開催



第24回参議院議員通常選挙



山田宏氏当選



三原じゅん子氏当選

社会の出来事



ベイスターズCS初進出



「氷川丸」が国の重要文化財に指定、海上に保存されている船舶で日本初



箱根ロープウェイが約1年3ヶ月ぶりに再開



大隅良典氏にノーベル医学生理学賞

2017

(平成29年)

- ◎第36回定時評議員会
- ◎第37回定時評議員会（鶴岡新会長選出）
- ◎デンタルミーティングINかながわ
「歯科医療をとりまく経済環境、 歯科医療諸問題への認識」

第36回定時評議員会開催



富田連盟会長挨拶



鈴木県歯会長挨拶



第37回定時評議員会（鶴岡新会長選出）



デンタルミーティングINかながわ
「歯科医療をとりまく経済環境、
歯科医療諸問題への認識」を
テーマに開催



議連会長に就任した佐藤光県会議員

社会の出来事



第33回全国都市緑化よこはまフェア開催



J1川崎フロンターレ、悲願の初優勝



横浜スタジアム東京五輪へ向け改修へ



ベイスターズ19年ぶり日本S進出

2018

(平成30年)

- ◎「新春の集い」
- ◎県歯組織力協議会
- ◎連盟NEWSの名称変更
- ◎関東地区歯科医師連盟役員連絡協議会
- ◎日本歯科医師連盟平成30年度褒章

「新春の集い」開催



関東地区歯科医師連盟役員
連絡協議会開催



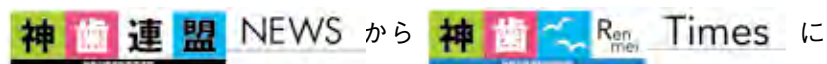
県歯組織力協議会に参加



日本歯科医師連盟平成30年度褒章
富田 篤 県歯連盟会長が受賞



連盟NEWSの名称変更



社会の出来事



J1川崎フロンターレ、史上5クラブ目となるリーグ2連覇達成



「横浜にぎわい座」2代目館長桂歌丸さん死去



横浜マラソンが2年7か月ぶりに開催



第100回全国高等学校野球選手権記念大会開催

2019

(平成31年・令和元年)

◎第25回参議院議員通常選挙

◎第42回定時評議員会

◎連盟組織力強化 本連盟未入会員対策

「連盟ガイドQ & A」発行

第25回参議院議員通常選挙

島村大先生神奈川選挙区連続トップ当選



第42回定時評議員会

「鶴岡会長、関監事再選」



連盟組織力強化
本連盟未入会員対策
「連盟ガイドQ & A」発行

社会の出来事



新元号の令和スタート



アジア初ラグビーW杯開催



吉野彰氏にノーベル化学賞



相鉄・JR直通線が開業

2020

(令和2年)

- ◎新春の集い2020
- ◎第44回・45回定時評議員会書面審議
- ◎日本歯科医師連盟令和元年度褒章

新春の集い2020盛大に開催



「マスク・グローブ及び消毒液の優先供給願い」
～本連盟と本会が共働し、県議会議員及び歯科医連に要望書～

今般の新型コロナウイルス感染症流行という事態を受け、本会所属各社の歯科医師等では、感染対策に努むるべくマスク・グローブ及び消毒液の迅速な供給を求め、県議会議員及び歯科医連に要望書を送付した。これは、感染対策に努むるべく、県議会議員及び歯科医連に要望書を送付した。これは、感染対策に努むるべく、県議会議員及び歯科医連に要望書を送付した。

継続して活動 ～会員のために地域医療補助金申請～

これまで連盟会員に対して、今年度も引き続き、地域医療補助金申請のサポートを行う。これは、感染対策に努むるべく、県議会議員及び歯科医連に要望書を送付した。これは、感染対策に努むるべく、県議会議員及び歯科医連に要望書を送付した。



第44回・45回定時評議員会書面審議にて開催

令和2年度予算案・令和元年度決算承認される
～第44回・第45回評議員会書面決議～

令和2年度予算案・令和元年度決算承認される。これは、感染対策に努むるべく、県議会議員及び歯科医連に要望書を送付した。これは、感染対策に努むるべく、県議会議員及び歯科医連に要望書を送付した。

日本歯科医師連盟令和元年度褒章加藤健
県歯連盟元副会長が受賞
※新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて受賞式が延期、中止となり本連盟常務理事会の席上で授与された

社会の出来事



新型コロナウイルス感染拡大



プロ野球史上初の無観客試合



レジ袋有料化スタート



野口聡一さん3度目宇宙へ

2021

(令和3年)

- ◎菅首相へ表敬訪問
- ◎第47回定時評議員会
- ◎第48回定時評議員会「鶴岡会長、関監事再選」
- ◎国民皆歯科健診実現議連発足

菅首相へ表敬訪問



菅内閣総理大臣

第48回定時評議員会「鶴岡会長、関監事再選」



第47回定時評議員会開催
感染拡大の影響を受けて議決権行使書を許可し
小人数で開催



国民皆歯科健診実現議連発足

自民党議員156名参加のもと「国民皆歯科健診実現議連」が発足。会長に古屋圭司代議士、事務局長に山田 宏代議士、最高顧問に伊吹前衆議院議長、安倍前総理、尾辻元厚労大臣が就任。



参議院議員
日本歯科医師連盟顧問
次期組織代表
山田 宏

日歯連盟主催
デンタルミーティング
INかながわ開催



社会の出来事



東京2020オリンピック開催



新型コロナウイルスワクチン接種開始



横浜みなとみらい地区でロープウェイ
「ヨコハマ・エア・キャビン」開業



油壺マリンパーク閉館

2022

(令和4年)

- ◎比嘉奈津美 参議院繰り上げ当選
- ◎島村大 厚生労働大臣政務官室表敬訪問
- ◎第26回参議院議員通常選挙

比嘉奈津美 参議院繰り上げ当選



自民党参議院議員北村経夫元経済産業政務官の参院山口選挙区補選立候補に伴い自動失職したことにより、2019年参院選比例名簿で次点だった元衆議院議員で日歯連顧問の比嘉奈津美氏が繰り上げ当選した。



参議院議員 島村 大
厚生労働大臣政務官
(厚生担当)
内閣府大臣政務官
(ワクチン担当)
自民党横浜市連会長に

第2次岸田内閣にて引き続き大臣政務官に任命された。また、自民党横浜市連は11月27日に議員総会を開き、新会長を坂井学氏（衆院神奈川5区）の後任として、島村大議員に全会一致で決定した。



大好評の「連盟のぼり」

島村大 厚生労働大臣政務官室表敬訪問



第26回参議院議員通常選挙「連盟会員・役員奮闘」



三原、浅尾 両陣営を激励

第26回参議院議員通常選挙

「組織代表立候補者 山田宏氏 当選」



社会の出来事



ねんりんピックが県内初開催



鉄道開業150周年



県立図書館新しい本館オープン



横浜マラソン3年ぶりにリアル開催

70周年によせて

御挨拶 使命は経営基盤の安定を図ること

神奈川県歯科医師連盟 会長 鶴岡 裕亮



我々の諸先輩方が県民の歯科保健・歯科医療の更なる向上及びそれを担う歯科医師会員の歯科医院経営をより良いものとするために、1952年9月に社団法人神奈川県歯科医師会の政治活動部門として神奈川県歯科医師政治連盟が結成創立されました。この政治連盟は歯科医師会との車の両輪として捉えられ政治活動の一翼を担ってきました。これまで幾たびの苦難な状況乗り越え、会員の政治意識の向上に努め、他団体に引けをとらない組織力を発揮できる政治団体となりました。

これまでの先代理事長、会長から献身的なご尽力を賜り歯科医師会員の結束力を高められてきたこの長い歴史のある歯科医師連盟（平成13年9月評議員会にて名称変更）の会員の先生方のご理解が得られ、またこの強力な組織力・政治力を維持、向上していかなければならないという強い信念をもって、私は平成29年に前会長の富田篤先生から会長職を引継ぎこの歴史ある政治団体の会長に就任をさせていただきました。

就任後は役員全員が日頃から議員との良好な関係を保ち、歯科医師連盟の活動力が十分に発揮できるよう、フットワークよく一つひとつ丁寧に事業展開を図れるよう努めてまいりました。

この10年間は平成25年に参議院議員に初当選された我々の仲間である島村大先生と共に切磋琢磨し歩んできた10年間といっても過言ではありません。島村大先生は参議院神奈川県選挙区選出の議員でありながら、我々歯科界のために国、行政に折衝をいただき県民のための歯科保健、歯科医療の発展、充実のため社会保障の専門家として働いていただいております。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が未だ収まらない中、この影響により歯科医院への受診控えが続きこれまでに経験したことのない状況に直面しました。さらに今年秋以降の物価高騰も重なり会員の先生方の経営への影響が避けられない現状を懸念しているところです。

歯科医師連盟の使命は各診療所の経営基盤の安定を図ることが第一です。そのために我々は公益社団法人神奈川県歯科医師会と綿密な連携をとり、議員及び関係機関等へ歯科医療機関に対する施策を求める折衝を更に推し進め、「県民のための歯科保健・医療・福祉（介護）事業の推進」、「会員のための事業推進」及び「組織力の強化」を引き続き積極的且つ効果的に事業の展開を図ってまいります。

最後に創立70周年記念講演会の開催及び記念誌の発行にご尽力いただきました関係各位に心から感謝申し上げるとともに、日々の歯科医師連盟の活動に格別な御理解と御協力を賜っております公益社団法人神奈川県歯科医師会 松井克之会長をはじめ県下地域歯科医師会、地域歯科医師連盟代表者の先生方、会員並びに関係各位に感謝を申し上げ、今後の80周年に向けて歯科医師連盟が益々発展し会員の先生方の強力な支援が行えるよう連盟活動に邁進いたしますこととお誓いし、創立70周年記念誌発行にあたっての御挨拶とさせていただきます。

祝辞 更なる組織強化、役割が重要

公益社団法人神奈川県歯科医師会 会長 松井 克之



神奈川県歯科医師連盟創立70周年、おめでとうございます。

昭和27年9月に神奈川県歯科医師連盟が発足いたしました。

ご存じの通り、公益社団法人は政治活動ができません。常時、政治活動ができる組織が神奈川県歯科医師連盟です。発足以来70年、国政に職域代表として数々の参議院議員を国会に送り出し、診療報酬改定などの要望や陳情を行ってきました。

歯科医療は国の医療政策や法令の規制・診療報酬に強く影響され、国や地方行政に日々の政治活動を通じて業界・会員の声を届けられるよう積極的な働きかけを継続して行う必要があり、この分野を担っているのが、歯科医師連盟であります。

また、記憶に新しいのが、新型コロナウイルス感染症ではマスク、フェイスガード、ガウンの入手困難な時期に、本会と連盟で独自のルートにて実費販売をいたしました。

同時に、神奈川県行政への優先供給要望や「医療従事者への慰労金」、「医療機関等における感染拡大防止等支援事業」の早期実施の要望、次年度の本会事業、予算の要望。そして、これから施行される「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」の改正など、職域活動、歯科医療を守るため、神奈川県歯科医師連盟と共に要望してまいりました。

そして何よりありがたいのは島村大参議院議員の存在です。議員からの国政の情報や県行政との折衝に対してしてのアドバイスは余人をもって代え難いものがあります。

神奈川県歯科医師連盟の活動の成果は、歯科界の発展、歯科医師の地位の向上と直結し、すべての歯科医師の利益となっています。

地域歯科保健の第一線で活躍いただくのは、歯科医師会の会員であり、歯科医師連盟の会員です。したがって、政治信条に関係なくすべての本会会員が歯科医師連盟の会員となって、その活動に協力していただくことが望ましいと考えております。

この点については、本会の地域会長会議、代議員会、歯科医師連盟の評議員会でもご説明し、多くの賛同をいただいたところで、両組織の懸案事項でもあります。

今後も、より一層本会と歯科医師連盟との意思疎通を図り、適宜ご説明をしたいと思います。

これまでの70年、そしてこれからの政治活動、歯科医師連盟の必要性を再認識すると共に、歯科医師として社会的・経済的地位の向上や業権の発展のための課題に向けて、更なる連盟の組織強化、ならびに連盟の果たす役割が重要であると強く認識しております。

最後に、皆様方のご健勝と、神奈川県歯科医師連盟が創立70周年を契機に将来へ向けた政策を前進されることを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝辞 国民皆保険制度の堅持および 国民皆歯科健診制度の立法化を目指して

日本歯科医師連盟 会長 高橋 英登



神奈川県歯科医師連盟が創立70周年を迎えられますことに心よりお祝いを申し上げます。

また、日頃より日本歯科医師連盟の会務運営及び活動にご理解とご協力を賜りまして、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

世界が新型コロナウイルスによる感染危機に見舞われてから約2年が経過し、わが国においても、コロナ禍を乗り越えるため、社会経済活動の正常化が進みつつあります。しかし、現今、ウクライナ侵攻による世界的な物価高騰と円安がわが国経済に大きな影響を及ぼしており、とりわけ歯科界においては、コロナ禍での歯科受診の著しい抑制に加え、歯科材料・医療機器等の物価高騰による影響により、いまだ厳しい現状にあります。

特に、新型コロナウイルスが重症化する方の多くは基礎疾患を有する高齢者であり、基礎疾患の中で最も多くの国民が患っている疾患こそ、歯周病であります。このことから、今こそまさに「歯科医院のプロケアがコロナを予防する」大きな可能性を改めて強くアピールしていく必要があります。

我々歯科界は、コロナ禍以前よりスタンダードプリコーションの理念の下、感染予防対策に取り組んでおり、特に先生方の多大なるご尽力により、歯科医療機関でのクラスターの発生が皆無であることやワクチン接種の担い手として大きな成果を上げていただいていることは、政府・国会においても高い評価と感謝の声をいただいております。

そして、我々歯科医師が「人生100年時代」に向けて各ライフステージに沿った歯科保健活動を展開していくことは、全ての国民がいくつになっても自分の歯で美味しく食べることができ、笑顔で会話を交わしながら、健康で、ゆとりある老後を送れることにつながります。

そのような人生が強く望まれる中、QOL向上と健康寿命延伸を目指し、生涯を通じた「生きる力」の育成と各ライフステージに沿った歯科保健活動の展開により、企業等の歯科健康診断その他においても、途切れの無い生涯を通じた「国民皆歯科健診」が強く求められております。

昨年の第49回衆議院議員選挙において自民党が掲げた政権公約では、結党以来初めて「国民皆歯科健診」の文言を盛り込むことができました。引き続き本制度のいち早い実現を目指し、神奈川県歯科医師連盟の先生方と共に力を合わせて活動していきたいと思っております。

結びに、我が国の社会保障の根幹である国民皆保険制度は、まさに「公助」という言葉に示されるように、国民に対し必要な医療を提供するための世界に冠たる制度です。しかし、本制度を支えているのは、我々歯科医師をはじめとする、医療に従事するすべての方であることを忘れてはなりません。我々歯科界全員で一致結束し、国民皆保険制度の堅持および国民皆歯科健診制度の立法化を目指して「全身の健康はお口から」の理念をさらに普及しつつ、この国難を乗り越え、平和で安寧な日々を取り戻し、安心して国民が持続的な歯科医療を受けられるよう全力をあげようではありませんか！

この激動する社会情勢の中で、懸命に歯科医療を守るため尽力しておられる神奈川県歯科医師連盟の先生方に心より感謝申し上げますと共に、貴連盟の今後ますますのご発展、先生方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

祝辞 オーラルフレイル対策の更なる普及を図る と共に「歯と口腔の健康づくり」に取り組む

かながわ自民党歯科保健・医療推進議員連盟 会長(オーラルフレイル対策議員連盟)

桐生 秀昭



神奈川県歯科医師連盟が「創立70周年」と言う大きな節目を迎えられました事を心からお慶び申し上げます。

歯科医師連盟の皆さまにおかれましては、昭和27年9月の設立以来、70年の長きにわたり、本県の歯科保健医療・行政の推進に多大な尽力をしてこられました。

また、昨今の新型コロナウイルス感染拡大の中、院内感染予防策を徹底され、適切な歯科医療の提供を県民にさせていただき、心から敬意を表しますとともに感謝を申し上げます。

私達と貴歯科医師連盟との深い結びつきの始まりは、オーラルフレイル対策の「8020運動の推進」でありました。先行事例の静岡県まで研修に伺ったことが懐かしく思います。

そして、平成23年3月施行の神奈川県「歯及び口腔の健康づくり推進条例」の議員提案でした。私達県議会議員も高齢化する日本社会の中で、また、少子化の中で歯科医療は極めて重要性が増していると自覚しているところでありました。そんな時、条例を県で作れないかと話をいただき、共同で素案を作成いたしました。

そのような中で歯及び口腔の健康が「生活習慣病の予防」その他「全身の健康の保持増進」に重要な役割を果たすことを貴連盟より学ばせていただきながら、条例制定に至りました。

また5年毎の条例見直しでは、実効性の伴う条例改正を貴連盟と共に検討してまいりました。本年の改正では「感染症や災害発生時」に適切な歯科保健医療が推進できるよう県側との連携の必要性を追加し、また、「フッ化物応用の有効性、安全性」も国で示される中で、県民の健康を守るためにも条例に規定することが必要と考えております。

県民におけるオーラルフレイル対策の更なる普及を図り、より一層の「歯と口腔の健康づくり」を貴連盟と共に取り組んでまいり所存でございます。

今後とも貴連盟の変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴連盟のますますのご発展と、会員の皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、私のお祝いの挨拶とさせていただきます。

祝辞 会員ファースト 強いては患者ファーストの姿に感服

日本歯科医師連盟顧問 参議院議員 比嘉 奈津美



このたび、神奈川県歯科医師連盟創立70周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

会員の先生方におかれましては、県民の健康向上に日頃よりご尽力をいただき心より御礼を申し上げます。

昭和27年9月の設立以来、長きにわたり、医療活動をはじめ地域歯科保健医療の向上に多大なご貢献をいただいております。これもひとえに鶴岡会長をはじめ、これまでの歴代の会長のご尽力の賜物と敬意を表します。

新型コロナウイルスの出現により、WHO から一番危険なのは歯科医院であるとの発表があつてから2年が経過しました。コロナの出現当初は受診控えが増え、定期的なクリーニングの処置が行えないため、患者さんの歯周病の悪化が増えたという報告や、高齢者施設への立ち入り制限のため、訪問歯科診療に入れず、高齢者の誤嚥性肺炎が多発するなど、これまで経験のない未曾有の状況下におられました。

感染が波及する中、貴連盟においては、現状を乗り越えるため、県歯とともに、総理官邸をはじめ、関係省庁、県知事等、会員の診療室経営のため、働きかけたこととお聞きし、会員ファースト、強いては患者ファーストの姿に感服いたしました。

日本中がコロナ禍で疲弊する中、経済回復に向け「with コロナ」の時代がはじまり、これからと思われた矢先に、ロシアによるウクライナ侵攻のニュースが世界中を駆けめぐり、歯科界にも「金銀パラジウム合金問題」という火の粉が飛んできました。ロシアへの制裁により供給が滞ることへの不安から、瞬く間に価格の物価高騰がはじまりました。それを受け、急遽、歯科用金属の緊急改定が行われることになりましたが、安堵したのも束の間、物価高騰の波は収まらず、歯科器材や公共料金等が歯科医業を大きく圧迫してきました。歯科医療機関の多くは小規模で、国の定める公定価格により経営をすることから、物価急騰への対応の術がないのが現実です。この現実を目の当たりにし、やはり市場価格の変動や安定供給のリスクのある材料を保険診療において汎用していることが課題だと痛感しました。

貴連盟の強固な結束力はとても素晴らしく、その結果として、令和3年に行われた第49回衆議院議員選挙では、神奈川県内18選挙区中、17名の候補者が当選するという結果となりました。令和4年に行われた第26回参議院議員選挙でも、山田宏先生はもとより、三原じゅんこ先生、浅尾慶一郎先生が無事に当選されました。この選挙では補選も含まれていたため、4位以内での当選というかなりのプレッシャーの中、みごと当確を出しました。これも会員の先生方の努力の賜物です。神奈川県選出議員にとっても大変心強いことと思います。

最後になりますが、神奈川県歯科医師連盟の限りないご発展と、会員の先生方のますますのご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。

祝辞 創立の気概を顧み「歴史の分岐点」に挑もう！

日本歯科医師連盟顧問 参議院議員 山田 宏



神奈川県歯科医師連盟の創立70周年を心からお慶び申し上げますとともに、長い歴史を途切れることなく紡いで来られた歴代会長や役員、そして会員の皆様のご努力に改めて敬意を表します。

貴会が創立された70年前の昭和27（1952）年は、わが国が敗戦後7年間の外国による占領を経てサンフランシスコ講和条約により主権回復を果たし、国家再建と経済復興に向かおうとする大きな「歴史の分岐点」にありました。

その後の30年間は、経済復興から高度経済成長を果たし、1970年代のドルショックと石油ショックも克服、昭和60（1985）年には一人当たりのGDPが世界一となり「ジャパン アズ ナンバーワン」と称される経済大国となりました。

しかし、平成3（1991）年のバブル崩壊後の30年間は、「失われた30年」の長い経済停滞から脱することができないまま、3年前から武漢発のコロナ感染症により歯科界も大きな打撃を受け、今年勃発したウクライナ戦争は国際経済をさらに悪化させ、今やわが国や世界は「世界乱世」とも言うべき「歴史の分岐点」にあります。

一方、昭和27（1952）年に男性61.9才、女性65.5才だった平均寿命は、2021年には男性81.5才、女性87.5才と20歳も伸びわが国は世界トップクラスの長寿国となりました。他方昭和27（1952）年に200万人だった出生数は、令和3（2021）年には81万人と最低を記録し、若い世代が高齢者を支えるこれまでの医療や年金制度の維持が困難となり、わが国を支えてきた社会保険制度全体も「歴史の分岐点」にあります。

この新たな「歴史の分岐点」に対し、歯科界はたとえ小さくても新たな一歩に挑戦し続けていかなければなりません。70年前の神奈川県歯科医師連盟創立時も違った意味で「歴史の分岐点」にありましたが、今私たちに必要なことは、努力と工夫を重ねて新たな時代に挑んできた創立時の諸先輩の気概と労苦をもう一度振り返り、「私たちも必ずやる」との決意で、夢を掲げてこの新たな時代の挑戦を共に切り拓いていくことだと思います。

私の夢は「全国民が天寿まで健康でいられる国」を創り、世界の少子高齢社会の先頭に行く新しい時代の「世界モデル」になること。そのためには、あらゆる分野において新たな発想で研究と改革を進めていく必要がありますが、「口腔の健康が全身の健康につながる」歯科口腔にこそ、その夢達成の大きな鍵であることは確かです。私はその固い信念のもと先頭に立って「国民皆歯科健診」を実現し、全力で歯科界の明日を拓きわが国の未来を確かなものにしていく決意です。

神奈川県歯科医師連盟の一層の飛躍と皆様のご発展を心より祈念いたします。

祝辞 皆様とのご縁を大切に 医療人として真摯に立ち向かう

日本歯科医師連盟相談役、神奈川県歯科医師連盟相談役 参議院議員 島村 大



神奈川県歯科医師連盟の創立70周年、誠におめでとうございます。

長きにわたり地域在住、在勤者への歯科医療に尽力されてきた皆様に、心より敬意を表します。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大という前例のない事態と向き合いつつも、従前からの感染予防の徹底に加え診療所の感染拡大防止対策を実施し、安心・安全な歯科医療の提供に日々取り組んでくださっている皆様にあらためて感謝を申し上げます。

私は、平成2年に横浜市保土ヶ谷区で初めて歯科クリニックを開業し、同時に神奈川県歯科医師連盟の会員となりました。日々患者さんに向き合う中で、社会保障制度のあり方や、我々歯科医師の役割についても考えるようになりました。参議院議員となって10年目に入った今でも、私の原点は診療室の現場です。

さて、国政では未だ新型コロナウイルス対応が中心となっています。歯科診療所を含め多くの医療機関は感染防止対策に迫られ、物価や光熱費の高騰の影響も加わりさらに厳しい経営を余儀なくされている現実があります。

苦しい状況にある医療の現場をいかに支え、その機能を維持していくかが社会的な課題として広く認識され、政府としても重点的に医療機関への支援を図ってきました。これまでに、診療報酬の引き上げ、医療・福祉事業者への資金繰り支援、医療・介護・福祉に従事する方々への慰労金、経営補填の意味合いの感染拡大防止支援金やこのたびの地方創生臨時交付金による支援金の給付などが実施されています。私も歯科医師の国会議員として、現場に即した制度となるよう力を尽くしてきたところです。

一方で、私はこのコロナ禍において歯科が役立てる場面も模索してきました。感染拡大に伴い急増したPCR検査のニーズに応えるべく、歯科医師が鼻腔または唾液の検体を採取することが認められたのもその一つです。さらにはワクチン接種においても、歯科医師の貢献の道を掘り起こし、歯科医師が打ち手として加わることで職域接種など各地で集団接種が進むようになってきました。ご協力くださっている先生方に改めて感謝申し上げます。

今、我々歯科医師に求められていることは、感染拡大防止策を徹底した上で診療を継続し、国民の健康を守ることです。私は、医療人として誇りをもって今後もこの事態に真摯に立ち向かう所存です。これからも、私の地元、神奈川県歯科医師連盟の皆様とのご縁を大切に、しっかりと歩んで参る所存です。どうぞ変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、神奈川県歯科医師連盟の皆様のご今後ますますのご発展をお祈りし、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

創立70周年記念講演会

菅前総理、河野大臣を迎え 創立70周年記念講演会 開催



記念講演Ⅰ

演題：菅内閣の成果とこれからの日本
講師：前内閣総理大臣・衆議院議員
菅 義偉 氏



記念講演Ⅱ

演題：我が国の未来
講師：デジタル大臣・衆議院議員
河野 太郎 氏

令和4年11月20日、県歯会館地下大会議室にて講師として第99代内閣総理大臣 菅義偉衆議院議員、デジタル・大臣内閣府特命担当大臣 河野太郎衆議院議員の両名を迎え、厳重な要人警護体制が敷かれた中、創立70周年記念講演会が開催された。

川越理事長の司会の下、宮坂副会長の開会の辞、鶴岡会長挨拶に続き、来賓の自由民主党神奈川県支部連合会会長小泉進次郎衆議院議員、日本歯科医師連盟村岡宜明副会長、県歯松井克之会長より挨拶があった。

島村大参議院議員から講師紹介がなされた後、菅前総理による「菅内閣の成果とこれからの日本」と題された講演があった。菅前総理らしく飾らない、率直な言葉で自身の総理としての功績と今後の日本の進むべき道筋について語られ、会場の聴衆は惹きつけられた。続いて河野大臣による「我が国の未来」と題された講演があり、軽妙洒脱な語り口から見据えるデジタル化の向こう側にある温もりある日本のあり方が示された。最後に長崎副会長による閉会の辞により散会となった。





菅義偉前総理



河野太郎大臣



小泉進次郎 自民党県連会長



開会の辞 宮坂副会長



県歯 松井克之会長



鶴岡裕亮会長



島村大参議院議員



日歯連盟 村岡宜明副会長



閉会の辞 長崎副会長



河野大臣 & 鶴岡会長



菅前総理 & 鶴岡会長



鶴岡会長 & 小泉自民党県連会長



鶴岡会長 & 島村議員 & 川越理事長



司会 川越理事長



連盟役員 集合写真

名 簿

神奈川県歯科医師連盟 歴代会長

※平成19年4月1日より名称(理事長⇒会長)変更



初代理事長 伊東 正夫

昭和27年9月～昭和30年3月

明治30年10月20日生
大正15年7月 歯科医師試験合格
同年同月 横浜市金沢区に歯科医院開設
昭和16年4月 磯子区（現磯子区・金沢区）歯科医師会長
昭和21年3月 県歯理事
昭和24年4月 県歯副会長
昭和26年4月 同会長・日歯代議員に就任
昭和32年 厚生大臣表彰受賞
昭和50年8月2日 逝去（77歳）



第二代理事長 井崎 三郎

昭和30年4月～昭和38年3月

明治35年10月1日生
大正15年 東京歯科医学専門学校卒業
昭和2年11月 横浜市中区に井崎歯科医院開設
昭和27年4月 中支部長
昭和34年4月 県歯代議員など歴任
平成3年8月23日 逝去（88歳）



第三代理事長 小池 光雄

昭和38年4月～昭和44年3月

明治39年4月30日生
昭和4年 東京歯科医学専門学校卒業
昭和7年11月 小池歯科医院開設
昭和32年4月 横須賀支部長
昭和40年4月 県歯代議員など歴任
昭和43年10月 神奈川県知事表彰
昭和48年9月 日歯会長表彰
昭和60年10月 県歯会長表彰
昭和58年9月 日歯政連褒章など受賞
平成8年5月23日 逝去（90歳）



第四代理事長 藤原 忠喜

昭和44年4月～昭和56年3月

明治43年3月5日生
日本大学専門部歯科卒業
昭和16年4月 川崎市中原区に藤原歯科医院開設
昭和28年4月 県歯代議員
昭和30年4月 県歯理事
昭和38年4月 県歯専務理事など歴任
昭和40年11月 神奈川県知事表彰
昭和48年9月 日歯会長表彰など受賞
昭和56年6月27日 逝去（71歳）後に正六位勲五等双光旭日章を叙勲



第五代理事長 田村 肇男

昭和56年4月～平成5年3月

大正10年9月14日生

昭和17年 日本大学専門部歯科卒業
 昭和21年1月 横浜市港北区に田村歯科医院開設
 昭和24年1月 川崎市に移転開設
 昭和35年9月 横浜市戸塚区（現・瀬谷区）に移転開設
 昭和32年4月 県歯代議員
 昭和44年4月 神歯政連常任理事、戸塚支部長
 昭和45年4月 瀬谷支部長
 昭和61年4月 日歯政連理事
 昭和63年4月 日歯代議員など歴任
 昭和48年10月 神奈川県知事表彰
 昭和50年11月 県歯会長表彰
 平成元年9月 日歯会長表彰など受賞
 令和2年6月21日 逝去（98歳）



第六代理事長 石井 良雄

平成5年4月～平成9年3月

大正15年7月18日生

昭和23年 日本歯科医学専門学校卒業
 昭和32年8月 横浜市磯子区に石井歯科医院開設
 昭和50年4月 県歯代議員、磯子区歯科医師会会長
 昭和54年4月 神奈川県歯科医師国民健康保険組合理事
 昭和56年4月 神歯政連常務理事
 昭和60・4月 日歯政連評議員など歴任
 昭和60年11月 県歯会長表彰
 平成元年9月 全歯連理事長表彰、同年11神奈川県知事表彰など受賞
 平成27年3月 日歯連盟褒賞受賞
 平成28年10月30日 逝去（90歳）



第七代理事長 原 慶治

平成9年4月～平成17年3月

昭和13年3月27日生

昭和39年 日本歯科大学卒業
 昭和44年3月 横須賀市根岸町に原歯科医院を開設
 昭和57年4月 県歯代議員、横須賀市歯科医師会会長
 昭和63年4月 日歯政連評議員
 昭和63年6月 神奈川県診療報酬支払基金審査員
 平成12年4月 日歯代議員など歴任
 平成元年11月 日歯会長賞
 平成7年11月 厚生大臣表彰受賞
 平成28年3月 日歯連盟褒賞受賞



第八代会長 中村 昌人

平成17年4月～平成23年3月

昭和22年10月24日生
 昭和52年 東京医科歯科大学大学院卒業
 昭和55年4月 東京医科歯科大学文部教官講師
 昭和56年4月 東京都支払基金審査委員
 昭和57年 外務省歯科室勤務（外務技官）
 昭和57年10月 横浜市港北区高田町に中村歯科医院開設
 昭和59年10月 東京医科歯科大学神奈川同窓会理事、専務理事、副会長、会長歴任
 平成元年 横浜市歯科医師会代議員
 平成9年4月 神奈川県歯科医師会代議員
 同年 港北歯科医師会会長
 平成23年4月 日本歯科医師連盟監事
 同年 神奈川県歯科医師連盟顧問
 平成7年3月 横浜市長表彰
 平成10年11月 横浜市保健医療功労賞
 平成30年3月 日歯連盟褒賞受賞



第九代会長 富田 篤

平成23年4月～平成29年6月

昭和16年5月5日生
 昭和46年 日本大学歯学部卒業
 昭和49年 日本大学歯学部非常勤講師
 昭和50年6月 藤沢市湘南台にトミタ歯科医院開設
 昭和54年 鶴見女子短期大学非常勤講師
 昭和60年 湘南看護専門学校非常勤講師
 平成元年 藤沢市歯科医師会障害者歯科診療所副所長・医局長
 平成3年 藤沢市歯科医師会政連理事長
 平成5年 藤沢市歯科医師会副会長、会長歴任
 平成7年 神奈川県歯科医師会代議員
 平成9年 神奈川県歯科医師会代議員会予算決算特別委員会委員
 平成19年 神奈川県歯科医師会代議員会予算決算特別委員会委員長
 同年 神奈川県歯科医師連盟副会長
 平成23年 神奈川県歯科医師連盟会長
 昭和63年、平成2年、平成25年 藤沢市長表彰 平成6年保健所所長表彰
 平成20年11月 神奈川県保健衛生表彰知事表彰
 平成31年3月 日歯連盟褒賞受賞



第十代会長 鶴岡 裕亮

平成29年7月～現在

昭和36年11月7日生
 昭和61年 東京歯科大学卒業
 東京歯科大学歯科補綴学第三講座特別研究生
 昭和62年 東京歯科大学千葉病院 病院助手
 平成元年 東京都中央区 医療法人社団豊成会
 銀座デンタルクリニック非常勤勤務
 横浜市中区 鶴岡歯科医院に勤務
 平成6年 横浜市中区 鶴岡歯科医院開設
 平成13年 横浜市中区歯科医師会理事（平成21年12月まで）
 平成17年 神奈川県歯科医師会代議員（現在に至る）
 平成19年 神奈川県歯科医師会代議員会 予算決算特別委員会委員（平成25年6月まで）
 平成23年 横浜市中区歯科医師会専務理事（平成25年3月まで）
 平成25年 横浜市歯科医師会副会長（平成27年6月まで）
 平成25年 神奈川県歯科医師連盟理事長（平成29年6月まで）
 平成27年 日本歯科医師連盟評議員（現在に至る）
 平成29年 神奈川県歯科医師連盟会長（現在に至る）
 令和3年 公益社団法人日本歯科医師会代議員（現在に至る）
 公益社団法人神奈川県歯科医師会常任理事（現在に至る）

神奈川県歯科医師連盟役員 名簿

(令和3・4年度)

●役員



会 長
鶴岡 裕亮



副会長
宮坂 宗行



副会長
徳永 寛司



副会長
長崎 康俊



副会長
西山 潔



副会長
小川 淳



理事長
川越 元久



副理事長
檀上 修



常務理事
北野 道廣



常務理事
山田 剛久



常務理事
小池 軍平



常務理事
柴田 豊



常務理事
皆藤 訓男



常務理事
高倉 康介



常務理事
坂井 隆信

●役 員



監 事
関 泰忠



監 事
佐藤 政夫

●顧問・相談役



顧 問
原 慶治



顧 問
中村 昌人



顧 問
富田 篤



相談役
大嶋 基司



相談役
加藤木 健



相談役
大木 哲



相談役
島村 大



相談役
萩原 鉄也

●顧問弁護士



顧問弁護士
末石 倫大

34

平成29年・30年

[illegible]

令和元年・2年

[illegible]

令和3年・4年度

役職名	氏名	氏名	役職名	氏名	氏名
会長	長	亮行	〔選挙管理委員会〕	R4.7.1～R6.6.30	人直子之光博子一佳之
会副	同	裕宗寛康	委員	相清	庭水田岡内村邊増村
理事	同	元	同	松富	常
副理事	同	道剛軍	同	髭嶋渡西福仲	圭孝宏政奈耕久裕
常務理事	同	訓康隆泰政慶昌基	予備委員		美
監	同	鉄倫	同		
顧問	同				
相	同				
顧問	同				
【広報委員会】					
委員長	金飛原	井田			
委員		久宣			
同					
【情報調査委員会】					
委員長	高小	倉野			
委員	荻久	原間			
同	佐大	西田			
同	盛添	田持			
同	大檀	山上			
特別委員	山				
同					
同					
【組織力強化委員会】					
委員長	村續	田			
委員	海穴	野倉			
同	中佐	田			
同	田荒	藤中			
同	今北	木宮			
同	小	野池			
特別委員					
同					
同					

役職名		氏名	
〔島村大神奈川県歯科医師会〕			
代表 副	代表 副	鶴椎 杉嶋 原長 西小 徳北 檀川 松小 鹿小 白久 宮杉 河今 中富 加藤 関	岡野 山田 崎山 川永 野上 越本 池郷 原井 田坂 内本 野宮 村田 木藤
幹副 幹	幹副 幹	亮朗 子一 俊潔 淳司 廣修 久純 平保 紀之 正弘 郎三 栄太 人篤 健忠	裕喜 紀潤 秀康 寛道 元軍 満美 仁由 和俊 富孝 圭昌 泰
顧問	顧問		
〔比嘉なつみ神奈川県歯科医師会〕			
代表 副	代表 副	鶴菱 宮徳 長西 小川 檀北 山小 柴皆 高坂 関原 中富	岡山 坂永 崎山 川越 上野 田池 田藤 倉井 村田
幹副 幹	幹副 幹	亮豪 行司 俊潔 淳久 修廣 久平 豊男 介信 忠治 人篤	裕宗 寛康 元道 剛軍 訓康 隆泰 慶昌
顧問	顧問		

役職名	氏名
(山田宏神奈川県歯科医師後援会)	
代表 副	亮行司俊潔淳久修廣久平豊男介信忠治人篤裕宗寛康元道剛軍訓康隆泰慶昌
代同同同同 幹副幹	鶴宮徳長西小川檀北山小柴皆高坂関原中富岡坂永崎山川越上野田池田藤倉井村田
同同同同同(会計) 同同同	
顧問	問

日本歯科医師連盟 歴代評議員・予備評議員

平成25・26年度

役職名	役 員 氏 名	役職名	役 員 氏 名
評 議 員 同 同	高 橋 宏 嘉 徳 永 寛 司 宮 坂 宗 行	予備評議員 同 同	鶴 岡 裕 亮 森 上 洋 行 檀 修

平成27・28年度

役職名	役 員 氏 名	役職名	役 員 氏 名
評 議 員 同 同	富 田 篤 高 橋 宏 嘉 鶴 岡 裕 亮	予備評議員 同 同	森 洋 行 徳 永 寛 司 宮 坂 宗 行

平成29年度

役職名	役 員 氏 名	役職名	役 員 氏 名
評 議 員 同 同	富 田 篤 鶴 岡 裕 亮 長 崎 康 俊	予備評議員 同 同	宮 坂 宗 行 徳 永 寛 司 小 川 淳

平成30年度

役職名	役 員 氏 名	役職名	役 員 氏 名
評 議 員 同 同	鶴 岡 裕 亮 長 崎 康 俊 徳 永 寛 司	予備評議員 同 同	宮 坂 宗 行 小 川 操 小 淳

令和元・2年度

役職名	役 員 氏 名	役職名	役 員 氏 名
評 議 員 同 同	鶴 岡 裕 亮 徳 永 寛 司 長 崎 康 俊	予備評議員 同 同	宮 坂 宗 行 西 山 潔 小 川 淳

令和3・4年度

役職名	役 員 氏 名	役職名	役 員 氏 名
評 議 員 同 同	鶴 岡 裕 亮 徳 永 寛 司 川 越 元 久	予備評議員 同 同	宮 坂 宗 行 長 崎 康 俊 西 山 潔

神奈川県歯科医師連盟

歴代地域代表者・幹事・DM・評議員・予備評議員

地域歯科医師連盟代表者

年 地 域	度 名	平成25年・26年度 氏 名	平成27年・28年度 氏 名	平成29年・30年度 氏 名	令和元年・令和2年度 氏 名	令和3年・4年度 氏 名
横浜市		高江洲 尚	小 澤 操	小 澤 操	西 山 潔	西 山 潔
横浜市中区		有 馬 敬 二	有 馬 敬 二	池 野 雄 二	—	—
横浜市西区		杉 浦 洋 二	杉 浦 洋 二	妹 尾 明 寛	—	—
横浜市南区		青 山 繁	青 山 繁	青 山 繁	—	—
横浜市港南区		撫 養 勉 成	撫 養 勉 成	田 川 攻	—	—
横浜市磯子区		川 田 俊 一	曾 根 健 夫	林 誠 一	—	—
横浜市金沢区		伊 藤 昌 夫	関 敏 明	関 敏 明	—	—
横浜市保土ヶ谷区		伊 藤 洋 一	伊 藤 洋 一	鹿 郷 満 保	—	—
横浜市旭区		永 田 勝 彦	永 田 勝 彦	江 口 康久万	—	—
横浜市戸塚区		小 篠 一 雄	小 篠 一 雄	小 篠 一 雄	—	—
横浜市栄区		土 屋 重 俊	大 矢 享	大 矢 享	—	—
横浜市泉区		高 橋 信 人	宮 内 錦 一	宮 内 錦 一	—	—
横浜市瀬谷区		鳥 山 茂	河 田 優	丸 山 泰 治	—	—
横浜市神奈川区		足 立 武 久	西 山 潔	杉 本 達 也	—	—
横浜市港北区		沖 倉 喜 彰	保 刈 徳 久	保 刈 徳 久	—	—
横浜市緑区		白 井 仁 之	白 井 仁 之	遠 見 治	—	—
横浜市青葉区		久保田 正	藤 尾 昭	下 山 和 夫	—	—
横浜市都筑区		木 村 謙 吾	前 澤 進 一	葉 紹 誠	—	—
横浜市鶴見区		岩 木 一 晃	稲 龍 之	佐 藤 信 二	—	—
川崎市		田 中 修	小 川 淳	小 川 淳	小 川 淳	宮 坂 和 弘
相模原市		和 智 武 夫	関 英 夫	関 英 夫	嶋 田 潤 一	嶋 田 潤 一
横須賀市		松 井 利 行	松 井 利 行	松 井 利 行	原 秀 一	原 秀 一
逗葉		松 岡 晃	松 岡 晃	松 岡 晃	松 岡 晃	松 岡 晃
鎌倉市		仲 村 裕 之	五十嵐 史 征	五十嵐 史 征	五十嵐 史 征	五十嵐 史 征
藤沢市		宮 杜 恭 子	松 本 富 三	松 本 富 三	松 本 富 三	松 本 富 三
大和綾瀬		近 藤 清 志	近 藤 清 志	山 本 正 昭	池 田 香 里	林 清 信
茅ヶ崎寒川		山 田 剛 久	中 川 淳	下 里 隆 史	下 里 隆 史	下 里 隆 史
平塚・大磯・二宮		有 近 徳 幸	有 近 徳 幸	秋 山 博	秋 山 博	秋 山 博
小田原		椎 野 喜一朗	椎 野 喜一朗	椎 野 喜一朗	椎 野 喜一朗	椎 野 喜一朗
厚木		高 橋 庸	高 橋 庸	馬 場 賢 輔	馬 場 賢 輔	高 熊 達 朗
海老名市		三 宅 壯 平	三 宅 壯 平	三 宅 壯 平	山 川 晃 司	山 川 晃 司
座間市		浜 崎 俊 一	武 藤 昇	武 藤 昇	武 藤 昇	武 藤 昇
秦野伊勢原		新 倉 良 一	大 塚 哲 也	大 塚 哲 也	大 塚 哲 也	新 倉 良 一
足柄		小 宮 眞 博	金 子 勝	金 子 勝	檜 山 義 彦	檜 山 義 彦

幹事・DM

年 地	域	度 名	平成25年・26年度		平成27年・28年度		平成29年・30年度		令和元年・令和2年度		令和3年・4年度	
			幹 事	D M	幹 事	D M	幹 事	D M	幹 事	D M	幹 事	D M
横浜市	中区		有馬敬二	中野哲也	有馬敬二	今西賢仁	—	—	—	—	—	—
横浜市	西区		杉浦洋二	佐久間啓文	杉浦洋二	佐久間啓文	—	—	—	—	—	—
横浜市	南区		青山 繁	勝間田聡	青山 繁	勝間田聡	—	—	—	—	—	—
横浜市	港南区		撫養勉成	正木久秀	撫養勉成	正木久秀	—	—	—	—	—	—
横浜市	磯子区		曾根健夫	林 誠一	曾根健夫	林 誠一	—	—	—	—	—	—
横浜市	金沢区		山口東吾	金子博嗣	関 敏明	更家 誠	—	—	—	—	—	—
横浜市	保土ヶ谷区		伊藤洋一	山本一臣	伊藤洋一	山本一臣	—	—	—	—	—	—
横浜市	旭区		永田勝彦	江口康久万	永田勝彦	小池章一	—	—	—	—	—	—
横浜市	戸塚区		小篠一雄	松山教男	小篠一雄	松山教男	—	—	—	—	—	—
横浜市	栄区		土屋重俊	白川和也	大矢 享	朝廣賢哲	—	—	—	—	—	—
横浜市	泉区		高橋信人	江口幸壽千	宮内錦一	小野清一郎	—	—	—	—	—	—
横浜市	瀬谷区		鳥山 茂	山口恭誉	河田 優	下村貢一	—	—	—	—	—	—
横浜市	神奈川区		足立武久	福増一浩	西山 潔	福増一浩	—	—	—	—	—	—
横浜市	港北区		沖倉喜彰	天野秀二	保刈徳久	天野秀二	—	—	—	—	—	—
横浜市	緑区		白井仁之	加藤喜夫	白井仁之	加藤喜夫	—	—	—	—	—	—
横浜市	青葉区		久保田正	山崎智人	藤尾 昭	山崎智人	—	—	—	—	—	—
横浜市	都筑区		木村謙吾	前澤進一	前澤進一	西村 聡	—	—	—	—	—	—
横浜市	鶴見区		岩木一晃	稲 龍之	稲 龍之	森田智樹	—	—	—	—	—	—
横浜市			—	—	—	—	呉 明也	撫養勉成	岡田春夫	外池利夫	岡田春夫	外池利夫
川崎市			田中 修	及川栄郎	小川 淳	宮坂和弘	宮坂和弘	宇都宮丈児	宮坂和弘	志岐 正	宮坂和弘	及川栄郎
相模原市			関 英夫	山畑智也	関 英夫	菱山 豪	関 英夫	加藤一成	嶋田潤一	加藤一成	嶋田潤一	加藤一成
横須賀市			松井利行	原 秀一	松井利行	宮田 茂	松井利行	楊箬明朗	原 秀一	相原治美	原 秀一	種田基衛
逗葉			松岡 晃	秋山英之	松岡 晃	秋山英之	松岡 晃	金子栄一	松岡 晃	加藤順久	松岡 晃	加藤順久
鎌倉市			仲村裕之	脇田秀明	五十嵐史征	百衣啓至	五十嵐史征	百衣啓至	五十嵐史征	百衣啓至	五十嵐史征	百衣啓至
藤沢市			宮杜恭子	薮内貴章	松本富三	薮内貴章	松本富三	薮内貴章	松本富三	薮内貴章	松本富三	薮内貴章
大和綾瀬			近藤清志	中村好子	近藤清志	山本正昭	山本正昭	池田香里	池田香里	岡田誠二	林 清信	土屋新太郎
茅ヶ崎寒川			北村信行	山田剛久	中川 淳	山田剛久	下里隆史	岡木秀生	下里隆史	岡木秀生	下里隆史	岡木秀生
平塚・大磯・二宮			有近徳幸	秋山達郎	有近徳幸	馬上富美男	秋山 博	杉山元彦	秋山 博	杉山元彦	秋山 博	杉山元彦
小田原			椎野喜一朗	川瀬和也	椎野喜一朗	夏目宗治	椎野喜一朗	吉田太一	椎野喜一朗	吉田太一	椎野喜一朗	河野孝栄
厚木			高橋 庸	中島 晃	高橋 庸	佐藤宏憲	馬場賢輔	佐藤宏憲	馬場賢輔	佐藤宏憲	高熊達朗	佐藤宏憲
海老名市			三宅壯平	盛田健司	三宅壯平	盛田健司	三宅壯平	盛田健司	山川晃司	盛田健司	山川晃司	中村盛幸
座間市			浜崎俊一	小林弘幸	武藤 昇	小林弘幸	武藤 昇	赤羽秀哉	武藤 昇	赤羽秀哉	武藤 昇	赤羽秀哉
秦野伊勢原			新倉良一	萩原鉄也	大塚哲也	萩原鉄也	大塚哲也	萩原鉄也	大塚哲也	萩原鉄也	新倉良一	萩原鉄也
足柄			小宮眞博	藤井俊治	金子 勝	藤井俊治	金子 勝	藤井俊治	植山義彦	藤井俊治	植山義彦	藤井俊治

評議員・予備評議員

【H25年度～H28年度】◎議長：花村欣也 ○副議長：川田俊一 【H29年度～H30年度】◎議長：関 英夫 ○副議長：西山 潔
 【R元年度～R4年度】◎議長：青山 繁 ○副議長：嶋田潤一

年 地	域	度 名	平成25年・26年度 評議員 予備評議員	平成27年・28年度 評議員 予備評議員	平成29年・30年度 評議員 予備評議員	令和元年・令和2年度 評議員 予備評議員	令和3年・4年度 評議員 予備評議員
横浜市	中区		有馬敬二 砂田 章	有馬敬二 中野哲也	— —	— —	— —
			山本浩一郎 今西賢仁	山本浩一郎 砂田 章	— —	— —	— —
			中野哲也 入江陽一	今西賢仁 入江陽一	— —	— —	— —
横浜市	西区		武内春男 佐久間啓文	武内春男 佐久間啓文	— —	— —	— —
			妹尾明寛 横関雅彦	妹尾明寛 横関雅彦	— —	— —	— —
横浜市	南区		青山 繁 丸田 治	青山 繁 丸田 治	— —	— —	— —
			勝間田聡 酒井康友	勝間田聡 酒井康友	— —	— —	— —
横浜市	港南区		撫養勉成 田川 攻	撫養勉成 田川 攻	— —	— —	— —
			正木久秀 杉山 裕	正木久秀 杉山 裕	— —	— —	— —
横浜市	磯子区		川田俊一 渡辺 茂	川田俊一 渡辺 茂	— —	— —	— —
			坂田隆一 曾根健夫	坂田隆一 曾根健夫	— —	— —	— —
横浜市	金沢区		山口東吾 朝香雅一	関 敏明 更家 誠	— —	— —	— —
			金子博嗣 桜井 忍	伊藤昌夫 朝香雅一	— —	— —	— —
横浜市	保土ヶ谷区		伊藤洋一 鹿郷満保	伊藤洋一 鹿郷満保	— —	— —	— —
			山本一臣 金子守男	山本一臣 金子守男	— —	— —	— —
横浜市	旭区		鶴見博貴 永田勝彦	鶴見博貴 永田勝彦	— —	— —	— —
			阿部智彦 土屋松美	阿部智彦 土屋松美	— —	— —	— —
横浜市	戸塚区		小篠一雄 河原洋市	小篠一雄 河原洋市	— —	— —	— —
			松山教男 平久忠輝	松山教男 平久忠輝	— —	— —	— —
横浜市	栄区		須加是明 河野正直	土屋重俊 二宮卓史	— —	— —	— —
横浜市	泉区		江口幸壽千 奥野浩一	江口幸壽千 奥野浩一	— —	— —	— —
横浜市	瀬谷区		武山竜雄 河田 優	鳥山 茂 武山竜雄	— —	— —	— —
横浜市	神奈川区		清水真一郎 足立武久	西山 潔 足立武久	— —	— —	— —
			富田雅彦 小林雅之	清水真一郎 小林雅之	— —	— —	— —
横浜市	港北区		天野秀二 長谷川純子	天野秀二 長岡正樹	— —	— —	— —
			紅林尚樹 関 龍彦	長谷川純子 山本智彦	— —	— —	— —
横浜市	緑区		白井仁之 遠見 治	白井仁之 遠見 治	— —	— —	— —
横浜市	青葉区		久保田正 田花政昌	藤尾 昭 下山和夫	— —	— —	— —
			堀口裕司 藤下義輝	久保田正 藤下義輝	— —	— —	— —
			佐氏又英 酒向 毅	佐氏又英 田花政昌	— —	— —	— —
横浜市	都筑区		前澤進一 田井直樹	前澤進一 吉岡裕史	— —	— —	— —
			森田 名 樋口嘉彦	森田 名 田井直樹	— —	— —	— —

年 地域名	度	平成25年・26年度 評 議 員 予備評議員	平成27年・28年度 評 議 員 予備評議員	平成29年・30年度 評 議 員 予備評議員	令和元年・令和2年度 評 議 員 予備評議員	令和3年・4年度 評 議 員 予備評議員
横浜市鶴見区		岩木一晃 森田智樹	稲 龍之 六角譲治	— —	— —	— —
		稲 龍之 六角譲治	森田智樹 氏原 銑	— —	— —	— —
横浜市		— —	— —	呉 明也 小池章一	岡田春夫 高倉康介	岡田春夫 下山和夫
		— —	— —	小嶋伸之 鈴木篤茂	外池利夫 鈴木篤茂	外池利夫 鈴木篤茂
		— —	— —	大内 昇 宮治俊朗	宮治俊朗 山倉和典	宮治俊朗 平久忠輝
		— —	— —	朝廣賢哲 平久忠輝	笠原一臣 平久忠輝	新井宗高 笠原一臣
		— —	— —	笠原一臣 小林好彦	新井宗高 望月清志	今西賢仁 蕭 敬意
		— —	— —	今西賢仁 池野雄二	今西賢仁 池野雄二	妹尾明寛 武内春男
		— —	— —	妹尾明寛 武内春男	妹尾明寛 武内春男	青山 繁 勝間田聡
		— —	— —	青山 繁 勝間田聡	青山 繁 勝間田聡	正木久秀 撫養勉成
		— —	— —	撫養勉成 田川 攻	撫養勉成 田川 攻	村瀬勝巳 林 誠一
		— —	— —	川田俊一 新井宗高	林 誠一 村瀬勝巳	大田益雄 朝香雅一
		— —	— —	関 敏明 大田益雄	大田益雄 朝香雅一	鹿郷満保 古田潤二郎
		— —	— —	鹿郷満保 西郷 巖	鹿郷満保 金子守男	江口康久万 齋藤 牧
		— —	— —	佐藤隆幸 大野正雄	江口康久万 佐藤隆幸	山口里恵 松山教男
		— —	— —	小篠一雄 松山教男	小篠一雄 松山教男	大矢 享 片倉 好
		— —	— —	土屋重俊 二宮卓史	土屋重俊 二宮卓史	橋本和喜 吉野士一郎
		— —	— —	江口幸壽千 川上 敬	橋本和喜 岩崎 仁	鳥山 茂 武山竜雄
		— —	— —	鳥山 茂 武山竜雄	鳥山 茂 武山竜雄	杉本達也 大西明人
		— —	— —	西山 潔 杉本達也	杉本達也 加来めぐみ	加来めぐみ 関口 裕
		— —	— —	保刈徳久 天野秀二	天野秀二 保刈徳久	天野秀二 保刈徳久
		— —	— —	白井仁之 加藤喜夫	白井仁之 加藤喜夫	白井仁之 加藤喜夫
		— —	— —	久保田正 鈴木俊和	久保田正 鈴木俊和	久保田正 河井里佳
		— —	— —	佐氏又英 山崎智人	佐氏又英 山崎智人	佐氏又英 山崎智人
		— —	— —	前澤進一 堀 雅人	前澤進一 堀 雅人	前澤進一 堀 雅人
		— —	— —	宇佐美貴弘 六角譲治	宇佐美貴弘 六角譲治	佐藤信二 六角譲治
川崎市		田中 修 小川 淳	小川 淳 宮坂和弘	佐藤哲郎 宇都宮丈児	— —	宮坂和弘 榎本光夫
		金井久弥 小林隆志	金井久弥 佐々木孝幸	金井久弥 今井雅文	金井久弥 今井雅文	今井雅文 横島弘和
		井田晴夫 宮坂和弘	井田晴夫 髭内宏光	宮坂和弘 榎本光夫	宮坂和弘 榎本光夫	海野倫明 須貝昭弘
		玉置和延 及川栄郎	玉置和延 及川栄郎	玉置和延 及川栄郎	玉置和延 及川栄郎	鈴木幸一 及川栄郎
		関矢 徹 宇都宮丈児	関矢 徹 宇都宮丈児	三浦徳明 福増久佳	三浦徳明 福増久佳	三浦徳明 福増久佳
		高森勝久 二川芳人	広瀬忠正 梅田和裕	梅田和裕 志岐 正	梅田和裕 広瀬忠正	中島信也 梅田和裕
		小林 伸 植木博章	小林 伸 植木博章	小林 伸 植木博章	鈴木忠人 菊池伸一	鈴木忠人 飯島一宏
		浜地宏哉 東 孝臣	浜地宏哉 東 孝臣	坂巻秀明 鎌方智得	吉澤 大 鎌方智得	大山雅巳 吉澤 大

年 地域名	度	平成25年・26年度 評 議 員 予備評議員	平成27年・28年度 評 議 員 予備評議員	平成29年・30年度 評 議 員 予備評議員	令和元年・令和2年度 評 議 員 予備評議員	令和3年・4年度 評 議 員 予備評議員
相模原市		関 英夫 小山道夫	関 英夫 加藤一成	関 英夫 加藤一成	関 英夫 加藤一成	関 英夫 加藤一成
		保坂 保 加藤茂之	皆藤訓男 宮下浩二	嶋田潤一 一戸 巧	鈴木雄一 一戸 巧	鈴木雄一 一戸 巧
		皆藤訓男 鈴木雄一	鈴木雄一 一戸 巧	鈴木雄一 水沼信也	菱山 豪 水沼信也	菱山 豪 水沼信也
		梶野 尚 石渡 淳	渋谷浩一 水沼信也	菱山 豪 宮下浩二	加藤一成 山口祐一	加藤一成 山口祐一
		山口隆成 渋谷浩一	加藤茂之 小山道夫	— —	— —	— —
横須賀市		平嶺勝嗣 石渡郁生	松井利行 楊箬明朗	松井利行 楊箬明朗	原 秀一 楊箬明朗	原 秀一 松本 猛
		青木章子 佐藤みゆき	青木章子 相原治美	青木章子 関口一実	小川秀人 相原治美	芹田裕一郎 小野晃嗣
		原 秀一 宮田 茂	原 秀一 関口一実	原 秀一 相原治美	齋藤眞且 松本 猛	齋藤眞且 種田基衛
		金本光雄 楊箬明朗	宮田 茂 藤原浩彦	— —	— —	関口一実 鈴木伶奈
逗葉		松岡 晃 秋山英之	松岡 晃 秋山英之	松岡 晃 金子栄一	松岡 晃 加藤順久	松岡 晃 加藤順久
鎌倉市		仲村裕之 上田順一	渡辺 徹 脇田秀明	渡辺 徹 脇田秀明	五十嵐史征 金子正樹	五十嵐史征 千原 晃
		木村 朗 林 誠	仲村裕之 林 誠	五十嵐史征 金子正樹	渡辺 徹 寺木浩介	金子正樹 寺木浩介
藤沢市		宮杜恭子 小柴哲也	松本富三 小柴哲也	松本富三 工藤滋子	松本富三 渡邊奈美子	松本富三 伊藤保之
		上田千秋 手塚雅順	上田千秋 手塚雅順	上田千秋 渡邊奈美子	上田千秋 和田光利	上田千秋 和田光利
		松本富三 小國 望	藪内貴章 小國 望	藪内貴章 永海大志	藪内貴章 宮田保之	藪内貴章 宮田保之
		藪内貴章 佐々木博子	工藤滋子 佐々木博子	小柴哲也 和田光利	森 洋行 千葉俊郎	— —
大和綾瀬 ※ R1.6.22に大和から大和綾瀬に改称						
茅ヶ崎寒川		近藤清志 中村好子	近藤清志 小俣好子	近藤清志 池田香里	近藤清志 岡田誠二	林 清信 花村慎也
		青木則博 山本正昭	青木則博 山本正昭	山本正昭 柴垣博一	池田香里 花村慎也	土屋新太郎 大川原亨
		北村信行 平田澧子	山田剛久 八木英一	岡木秀生 下里 誠	下里隆史 下里 誠	下里隆史 下里 誠
		山田剛久 下里 誠	岡木秀生 下里 誠	高橋成明 今井 洋	岡木秀生 今井 洋	岡木秀生 今井 洋
平塚・大磯・二宮		岡木秀生 八木英一	— —	有馬竜二 飛田尚慶	有馬竜二 飛田尚慶	有馬竜二 飛田尚慶
		馬上富美男 有近徳幸	鈴村佑子 戸田篤志	鈴村佑子 秋山 博	鈴村佑子 秋山 博	鈴村佑子 秋山 博
		中戸川幸弘 杉山元彦	岡本 昇 中峰 保	岡本 昇 杉山元彦	北田敏光 杉山元彦	北田敏光 杉山元彦
小田原		的野 中 久保田俊哉	秋山達郎 杉山元彦	戸田篤志 中峰 保	久保田俊哉 中峰 保	久保田俊哉 中峰 保
		椎野喜一朗 山下伸司	椎野喜一朗 吉田太一	椎野喜一朗 佐藤 稔	椎野喜一朗 夏目宗治	椎野喜一朗 夏目宗治
		川瀬和也 吉田太一	夏目宗治 山下伸司	吉田太一 山下伸司	吉田太一 金子 亮	河野孝栄 金子 亮
厚木		新村 徹 佐藤 稔	新村 徹 佐藤 稔	新村 徹 鰐坂真由美	新村 徹 鰐坂真由美	新村 徹 吉田太一
		花村欣也 高橋 庸	花村欣也 中島 晃	馬場賢輔 高橋 庸	馬場賢輔 高熊達朗	高熊達朗 小原重孝
海老名市		須田 章 難波勝文	高橋 庸 難波勝文	小原重孝 中島 晃	小原重孝 上杉英作	上杉英作 和田 力
		志村 昌 国分 真	志村 昌 国分 真	志村 昌 国分 真	志村 昌 国分 真	山川晃司 国分 真
座間市		浜崎俊一 小林弘幸	浜崎俊一 小林弘幸	武藤 昇 赤羽秀哉	武藤 昇 赤羽秀哉	武藤 昇 赤羽秀哉
秦野伊勢原		前島洋一 北村政昭	山田敏勝 北村政昭	山田敏勝 北村政昭	前島洋一 北村政昭	新倉良一 山田敏勝
		山田敏勝 新倉良一	前島洋一 大塚哲也	前島洋一 大塚哲也	高橋滋樹 大塚哲也	前島洋一 北村政昭
足柄		小宮眞博 藤井俊治	金子 勝 藤井俊治	金子 勝 藤井俊治	檀山義彦 藤井俊治	檀山義彦 藤井俊治

各委員会紹介（広報、情報調査、組織力強化、選挙管理）

広報委員会委員

〈令和3年7月1日～令和5年6月30日〉



委員長	金井 久弥（川崎市 / 川崎区）
委員	飛田 暁（横浜市 / 旭区）
同	原 宣道（鎌倉市）

【担当役員】

副会長	長崎 康俊
理事長	川越 元久
常務理事	山田 剛久

情報調査委員会委員

〈令和3年7月1日～令和5年6月30日〉



委員長	高倉 康介 （神奈川県歯科医師連盟常務理事）
委員	荻原 光貴（横浜市 / 中区）
同	佐久間啓文（横浜市 / 西区）
同	大西 明人（横浜市 / 神奈川区）
同	小野清一郎（横浜市 / 泉区）
同	盛田 健司（海老名市）
同	添田 博充（秦野伊勢原）
特別委員	大持 充 （神奈川県歯科医師会常任理事）
同	檀上 修 （神奈川県歯科医師連盟副理事長）
同	山田 剛久 （神奈川県歯科医師連盟常務理事）

【担当役員】

副会長	宮坂 宗行
理事長	川越 元久

連盟組織力強化委員会委員

〈令和3年7月1日～令和5年6月30日〉



委員長	村田 拓也（横浜市 / 青葉区）
委員	續 宏之（横浜市 / 港北区）
同	海野 倫明（川崎市 / 幸区）
同	穴倉 俊介（川崎市 / 高津区）
同	中田 伸一（川崎市 / 麻生区）
同	佐藤 宏憲（厚木）
同	田中 綾（横浜市 / 青葉区）
同	荒木 直美（川崎市 / 宮前区）
特別委員	今宮 圭太 （神奈川県歯科医師会常任理事）
同	北野 道廣 （神奈川県歯科医師連盟常務理事）
同	小池 軍平 （神奈川県歯科医師連盟常務理事）

【担当役員】

副会長	小川 淳
理事長	川越 元久
常務理事	坂井 隆信

選挙管理委員会委員

〈令和4年7月1日～令和6年6月30日〉



【選挙管理委員会委員】（7名）

委員長	相庭 常人（横浜市 / 泉区）
副委員長	清水 直（横浜市 / 保土ヶ谷区）
委員	松田 圭子（横浜市 / 港北区）
同	富岡 孝之（横浜市 / 青葉区）
同	髭内 宏光（川崎市）
同	嶋村 政博（大和綾瀬）
同	渡邊奈美子（藤沢市）

【予備委員】（3名）

予備委員	西 耕一（茅ヶ崎寒川）
同	福増 久佳（川崎市）
同	仲村 裕之（鎌倉市）

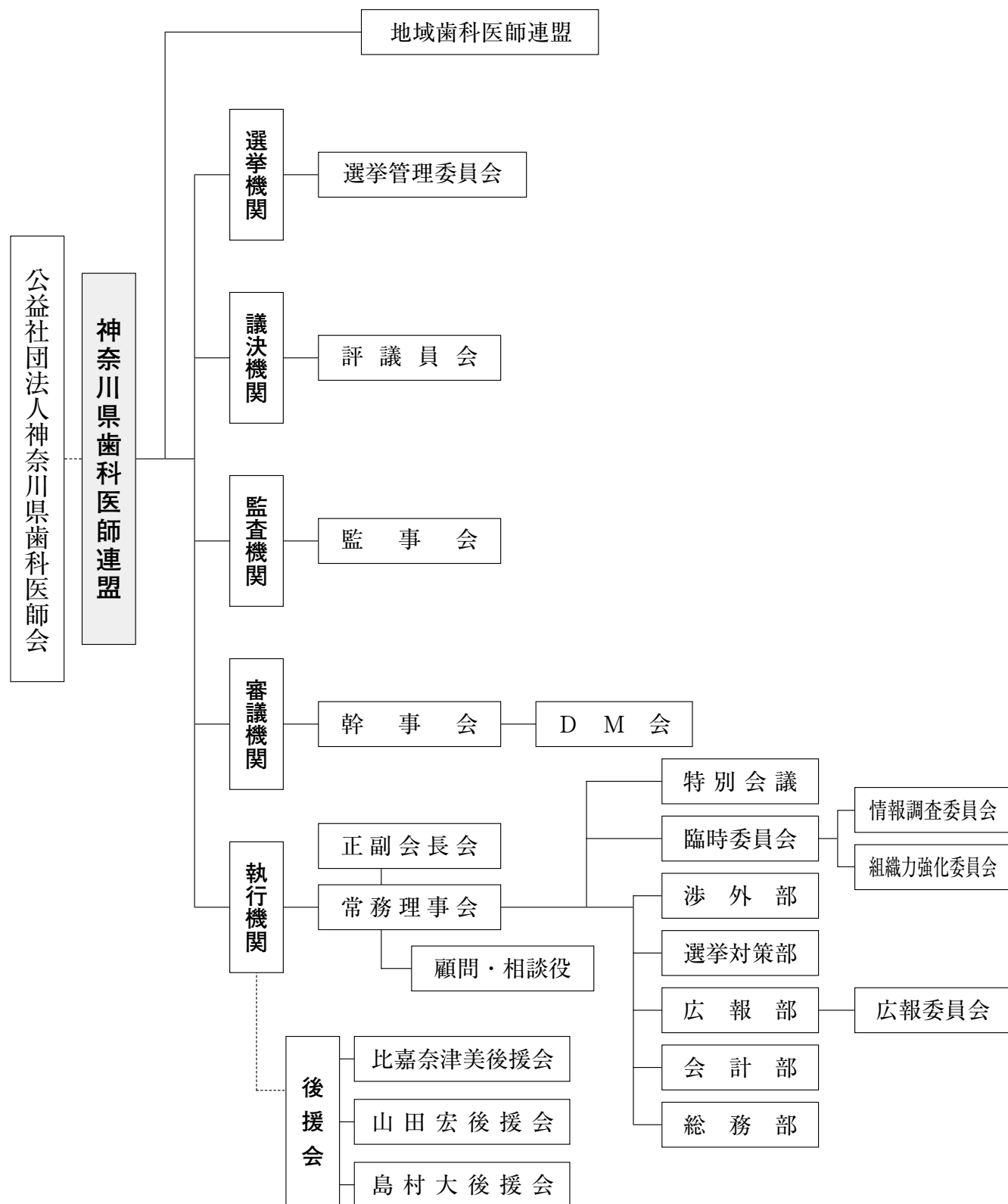
日本歯科医師連盟褒賞受賞者

※日本歯科医師連盟褒賞：日本歯科医師連盟が政治力の強化伸長に顕著なる功績のあった者及び業績優秀なる都道府県歯科医師連盟を表彰する最高顕彰である。

受賞年度	受賞者（団体）氏名	受賞年齢
昭和54年度	上村 歳雄（横浜市西区）	76
昭和58年度	小池 光雄（横須賀市）	77
昭和59年度	田中 利三（川崎市）	76
平成元年度	神奈川県歯科医師政治連盟	—
平成3年度	加藤 増夫（横浜市金沢区）	78
平成5年度	岡田 良生（横浜市鶴見区）	75
平成7年度	田村 肇男（横浜市瀬谷区）	73
平成26年度	石井 良雄（横浜市磯子区）	87
	神奈川県歯科医師連盟	—
平成27年度	原 慶治（横須賀市）	77
平成29年度	中村 昌人（横浜市港北区）	69
平成30年度	富田 篤（藤沢市）	77
令和元年度	加藤木 健（横浜市西区）	72

神奈川県歯科医師連盟規約に基づく組織図

(令和5年2月現在)



連盟10年の歩み

連盟活動10年の歩み

副理事長 檀上 修

総括

神奈川県歯科医師連盟は昭和27年(1952年)9月5日に「神奈川県歯科医政連盟」として発足したことが始まりとなり、その後平成13年(2001年)に現在の名称に変更され現在に至っている。

2012年11月8日に県歯連盟60周年記念講演会が開催された。その後の連盟活動を中心に歯科界の動きを総括する。

【国政】

自公連立政権の安定した政権運営が形作られた10年となった。2012年12月に行われた衆院選では自民党が圧勝し政権が交代。3年余り政権与党であった民主党は「期待が失望に変わった」と表現され、その後2013年の参院選でも自公が勝利し、国会のねじれが解消。その後自公の安定政権が続くこととなる。

【歯科医療、口腔の健康の重要性】

「8020運動スローガン」の国民への浸透、理解が進み、達成率も国の目標を上回る成果をあげている。また「オーラルフレイル」という概念が示され、フレイルの前段階であると位置づけられ、国民運動として展開されていくことが決定されている。

口腔の健康が全身の健康と密接な関係があることを示唆させる多くの研究データが示され、また医療費全体の削減効果がある可能性が指摘される中、歯科医療、口腔の健康はこれまで以上に重要なものと認識されるようになってきた。

このような認識が広がる中、2017年には「経済財政運営と改革の基本方針」いわゆる「骨太の方針」に初めて歯科の文言が入り、その後年々歯科に関する記載量は増加し内容は充実されたものとなっている。また、「自民党総合政策集」ファイルにも歯科のボリュームが拡大し、口腔の健康が全身の健康に深く関与していることが示された。歯科関連の政治力の関与が大きくあったこと

を強調しておきたい。

国会内では「国民歯科問題議員連盟」「国民皆歯科健診実現議連」「自民党・スポーツ歯科を支援する議員連盟」「歯科口腔医療勉強会」などが設立され活動しており、政策の後押しとなっている。山田宏議員、比嘉なつみ議員、島村大議員ら歯科関連議員の今後の活躍が期待される。

【日本歯科医師連盟迂回献金事件】

2015年に起こった迂回献金問題は、連盟活動に大きな影を落とした。

2010年に西村議員の関連政治団体である「西村まさみ中央後援会」に対して5000万円を2回、総額1億円の寄付を行い、年間5000万円までという政治団体間の寄付制限額を超過した。これを隠ぺいするため、うち5000万円については西村議員が支部長を務めていた「民主党参議院比例区第80支部」に寄付しさらに総支部が西村後援会に寄付したように装い、日歯連や西村後援会の収支報告書に虚偽の記載をしたという疑いである。但し時効の関係で、虚偽記載罪のみでの立件となった。

また、2013年には石井議員の関連政治団体である、「石井みどり中央後援会」に対して5000万円と4500万円の総額9500万円を寄付し、寄付制限を超えたとされた。寄付制限額違反罪と虚偽記載罪で立件された。

当初は日歯連盟弁護士からも違法性がないとの見解が発表されていたが、日歯会長（前日歯連盟会長）、元日歯連盟会長、前連盟副理事長の3名が逮捕、また日本歯科医師連盟自体も起訴され、その後有罪が確定した。

いわゆる「日歯連事件」を受け、政治資金規正法が改正されたのにもかかわらず、また違法行為があったと断罪された。

【参議院比例代表選挙】

2013年参院選では、比例代表選挙において石井みどり候補は294,079票を獲得し、医療界候補トッ

プ、自民比例4位という好成績で見事に当選。石井候補の知名度と歯科保険の取り扱いなどに対しての会員の不満と危機感が票に結びついたものと考えられた。

迂回献金事件は参院選の組織代表選考にも大きく影響を与えた。2016年、2019年の選挙は共に、推薦した候補者は組織内代表と位置付けられていない。

2016年の選挙に関しては、2014年に選考委員会を経て、千葉県の上野先生が推薦候補者として答申されていたものの撤回された。その後日歯連盟が主導し、歯科医師ではない山田宏氏を応援することとなった。しかしながら山田候補を推薦した都道府県連盟は27にとどまり、全国一致しての選挙とはならなかった。選挙の結果、自民党比例当選19名中12番目、149,833票獲得して当選した。

2019年の選挙に関してはいわゆる「やまだ方式」として、自民党から公認の高橋進吾氏を支援すること決定したものの、わずか2か月で健康上の理由で高橋氏は辞退。その後支援が決定した比嘉奈津美氏は次点落選となった。石井みどり議員は、迂回献金事件の影響で3期目への挑戦を断念している。一連の対応に関し、日歯連盟には多くの批判が寄せられた。

2022年の選挙に向かっては、2020年に選考委員会が開催され、9年ぶりの組織代表選挙となった。本会会員の萩原鉄也先生は選考委員会に立候補をして、「組織代表は歯科医師であるべき」と訴えたが、選考はかなわなかった。推薦を受けた山田候補は175,871票を獲得し、比例自民党10位で当選。歯科医師ではない初めての組織代表議員が誕生した。

【島村大参議院議員】

本連盟のこの10年間は「島村大議員と共に歩んできた」と言えよう。

2013年7月に行われた参院選で、会員である島村大君は神奈川県選挙区で113万余票、全国最多得票のトップ当選を果たした。

選挙に向けての活動は、手探りの状態からのスタートであった。東京歯科大学同窓会が中心となり活動を広げる中、本連盟は支援のための補正予算案を作成、島村大後援会を設立し全面的な支援に動いた。会員にも顔が十分に知られているとは言えなかったが、広報紙や各地での総決起大会などの結果、少しずつ浸透していった。

島村候補は「医食住日本一の神奈川県に」「健康寿命日本一の神奈川」をスローガンに選挙戦に挑んだが、県民には全く知られていない。菅官房長官の強力な支援の下、県連所属議員の応援が全力で応援してくれたことが実を結んだ。

2019年7月の参院選でも自民党単独候補として91万余票を獲得し2期目の当選を果たした。

すでにそれまでの活動は、各種会合、各地域でのデンタルミーティングなどを通して会員に広く浸透していた。連盟としては早い時期からの支援の準備はしたものの、同年の統一地方選までは目立った選挙活動ができず、当選確実といった緩みもある中で、前回の得票を上回ることが求められた厳しい戦いとなった。名簿提出のお願い、ポスター掲示のお願い、リーフレットの作成等を行い、「京急でGO!」「小田急でGO!」などと銘打った各駅での街頭演説では、地区会員と共にビラ配りなどの島村事務所のサポートを実施し、連盟が一体となつての後援会活動となった。

島村議員の活動や実績は他紙面に譲るが、オーラルフレイル対策推進、税制問題、診療報酬改定関連、歯科口腔保健推進室が省令室に格上げになったことなど枚挙にいとまがなく、神奈川選挙区選出議員でありながら、組織内代表と言えるような活躍と言えよう。

島村議員が安定して活動し、歯科界のために力を発揮していくためには、地域歯科医師連盟はもちろんのこと、与党衆参両議院、県・市・町議会議員、各団体との良好な関係が必要であり、連盟はその構築に力を注いできた。選挙に関しては国政選挙にとどまらず、地方選挙においても、地域

連盟と連携した過去にないほどの選挙協力を行っている。

【新型コロナウイルス感染症】

2020年に始まった世界的な新型コロナウイルス感染症拡大（パンデミック）は、当初歯科医療を受診することが危険であるような情報により歯科医院において受診者数は激減し、マスクや消毒薬が入手困難になるなど、歯科医療の現場にきわめて深刻な影響を与え続けた。

しかし歯科医療の現場で、クラスターがほとんど生じていないことが報道されるようになるなど状況は次第に改善された。また口腔ケアがコロナ感染を抑制し重症化予防にもつながることが示唆され、口腔の健康の重要性を再認識させることになった。

ワクチン接種の打ち手として歯科医師が参画できたことは、各方面の努力によるものである。この新型コロナ感染症拡大は歯科医療に対し大きなダメージを与えたが、歯科医療や口腔の健康に対する認識にポジティブなこともあったといえよう。

消毒薬、マスクなどの優先供給のお願い、助成金、慰労金、優遇貸付、そしてワクチン接種の打ち手となったことなどは政治的な活動があり実現している。

【神奈川県歯科医師会との協働】

県下においては社団である神奈川県歯科医師会と関係を密にして活動をしている。県歯は高橋紀樹会長、鈴木駿介会長から松井克之会長に、本連盟は富田篤会長から鶴岡裕亮会長へとバトンが引き継がれたが、良好な関係の中諸問題に対して共に取り組んできた。松井会長からは今後連盟との一体化を見据えるとの発言があり、鶴岡会長は県歯の理事と併任をすることになった。

もともと連盟活動は、参議院に職域代表を送り出すことを大きな目的として来ていたが、それにとどまらず地域の歯科医療を守り、発展させていき

県民の期待に沿うために、県歯事業をより円滑に進めるべく、政治力を持って渉外を担当し、ひいては会員の経営基盤を守る役割と考えられている。

「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」は県民の生涯にわたる健康の保持増進を図ることを目的として平成23年7月に施行された。それに基づき平成25年には「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画」が策定されている。条例の改正は5年に一度行われることが定められている。県歯は新しい概念としての「オーラルフレイル」の概念や「すべての世代に応じた歯科健診」の条例への導入が必要と考えたものの、行政の動きは鈍く、条例推進協議会では平成28年の改正はなしとされた。平成29年になり連盟は打開を図るべく活動。自民党歯科議員連盟（通称8020議連）と連携を取り、県歯の改正案の提出を可能にした。その後改正案は整い、平成30年4月より施行となった。令和4年には10年目の改正時期が訪れている。やはり逆風があったものの、かながわ自民党オーラルフレイル議員連盟と綿密な連携を行い、条例改正協議会で「改正の必要あり」との評決を勝ち取っている。引き続き改正案の内容を協議中である。

また、連盟会員数の減少は今後の深刻な問題である。この10年にわたり未入会者対策を様々な視点から実施してきた。現在も県歯との連携を取りながら対策を講じている。

【連盟活動の10年】

平成24年後半から令和4年までを時系列に記載した。

2012年（平成24年）

8月 本連盟会員である島村大君は、自民党神奈川県参議院選挙区第3支部長に就任した。

日歯連盟理事長を辞任しての参院選立候補表明。

9月23日 会員の萩原鉄也君 伊勢原市市議会議員補欠選挙で初当選 無所属で立候補だが、自民

党の推薦、公明党の応援あり。

10月31日 石井みどり参議院議員 日歯連盟評議員会にて2期目当選を目指しての推薦が機関決定。

11月8日 神奈川県歯科医師連盟創立60周年記念講演会

12月16日 第46回衆議院議員総選挙 自民党が圧勝し政権を奪還。

自民294 公明31 民主57 維新54 みんな18
歯科関連議員 白須賀貴樹候補、渡邊孝一候補、三ツ林裕巳候補当選した。

自公連立による第2次安倍内閣が発足し、金融緩和、財政出動、成長戦略を3本柱としたアベノミクスが始動した。

12月25日 自民党は次期参院選の比例代表選出議員選挙公認候補に、石井みどり参議院議員を決定。中央後援会会長には高木幹正日歯連盟会長が就き、高位当選を目指した。

2013年（平成25年）

2020年の夏季オリンピック開催が東京に決定したこの年、米国大統領にバラク・オバマ氏が続投で就任した。また日中間の緊張が高まった年でもある。

1月31日 島村大神奈川県歯科医師後援会を発足した。幹事長には鶴岡裕亮君が就任した。

本連盟は富田篤会長のもと比例区に職域代表候補として石井みどり氏を、神奈川選挙区に島村大氏を推薦し、県下一丸となつての選挙戦の年となった。

2月14日 石井みどり神奈川県後援会及び島村大神奈川県歯科医師会後援会支援推進会議開催

3月 「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画」が策定される。

3月2日 「デンタルミーティング IN かながわ」開催
「歯科医療政策に関わる課題について J ファイルから読み取るもの」と題しての講演 メイン

コメンテーターは河野太郎衆議院議員

4月1日 神奈川県歯科医師会 一般社団法人へ移行。日本歯科医師会 公益社団法人へ移行。第4次大久保満男執行部がスタート

4月13日 「すが義偉 参議院候補予定者・島村大を励ます春の集い」開催

4月17日 「島村大・おこのぎ八郎を支援する神奈川第3選挙区の会」鶴見歯科医師会館にて開催。

6月15日 石井みどり・島村大後援会合同総決起大会 茅ヶ崎市「春秋会館」川崎市「中原歯科保健センター」にて開催した。

7月21日 第23回参議院議員通常選挙 与党が勝利し国会では6年ぶりにねじれが解消した。

島村大候補は113万余票と全国最多得票数を獲得してトップ当選を果たす。2位以下の当選者は松沢成文氏、佐々木さやか氏、牧山弘恵氏

比例代表選挙では石井みどり候補が294,079票を獲得し、医療界候補トップ、自民比例4位という好成績で見事に当選した。

西村まさみ参議院議員 6年の任期の折り返し
島村大参議院議員は参議院厚生労働委員会に所属する

12月20日 平成26年診療報酬改定率が消費税3%引き上げ分の補填を含み、0.99%のプラス改定が決着 実質0.12%のプラス

2014年（平成26年）

ウクライナ南部クリミア半島にロシアが軍事介入し、ウクライナ危機が起こった年、与党は衆院選で圧勝した。

904億円の「医療・介護サービスの提供体制改革のための新たな財政支援制度」スタート

2月13日 「デンタルミーティング IN かながわ」開催

基調講演ではデンソー健保組合常勤顧問の赤塚俊昭氏を演者に迎え「定期歯科健診からみえてく

るもの」と題した講演。全組合員の15年間にわたる健康データを分析した。

歯科健診の実施をしている事業所は非実施事業所と比較して、医科医療費が大幅に減少している結果が出ているとした。

6月12日 富田本連盟会長 県民功労賞を受賞。

6月20日 8020議員連盟を中心に、神奈川県歯科保健・医療推進研究会を開催した。

学術講演は鶴見大学歯学部臨床教授の竹内博朗先生。石井みどり参議院議員が自民党副幹事長に就任

9月18日 島村大参議院議員、当選後初めて地元横浜にて「島村大君と未来の社会保障を考える会」をロイヤルホールヨコハマにて開催した。

11月21日 「経済対策、消費税率10%延期の是非を問う」として、安倍晋三首相が衆議院解散を表明。内閣支持率が比較的高く、野党の選挙態勢が整っていないと判断した。

12月9日 次期参院選比例代表選挙候補者選考委員会を開催。千葉県の前日歯連盟副理事長 砂川稔先生を推薦候補者として答申

高橋進吾氏、西村正美氏、笹井啓史氏、砂川稔氏の4名が名乗りを上げていた。

12月14日 第47回衆議院議員総選挙 自民291議席で圧勝 維新の会の躍進が目立った。

自民291 民主73 維新41 公明35 共産21

本連盟ではすべての選挙区で推薦候補者を擁立 推薦候補者全員当選

歯科関連議員 渡邊孝一議員再選 白須賀貴樹議員再選 三ツ林裕巳議員再選

2015年（平成27年）

安全保障関連法が成立し集団的自衛権の行使が可能になり、日本の安全保障政策の転換点となったこの年、世界各地ではイスラム過激派のテロが頻発した。

日歯連盟迂回献金問題が起こる。

1月23日 日歯連盟評議員会の席で、2名の評議員から「日歯連盟が政治資金規正法に違反しているように見られる会計処理をしている」との指摘あり。

2月4日 朝日新聞にて、日歯連盟、石井みどり中央後援会、西村まさみ中央後援会各会計にかかる迂回献金の嫌疑が報道される。

4月30日 日歯連盟に東京地検特捜部の捜査が入る。

7月1日 高木幹正執行部から高橋英登執行部へ改変

9月30日 違法性なしとの日歯連盟顧問弁護団の説明があったものの、高木幹正日歯会長（前日歯連盟会長）、堤直文元日歯連盟会長、村田憲信前日歯連盟副理事長の3名が逮捕される。

10月6日 東京地検特捜部の強制捜査は都道府県連盟にもおよび、東京都、千葉県に続き、本県にも捜査差し押さえ許可状を持参した検察官6名が来訪。関係書類、データが押収された。

10月20日 高木氏、堤氏、村田氏が起訴される。

11月27日 日歯連盟で参院選への砂川稔氏擁立を見送ることが決定。参院選への対応は各都道府県歯科医師連盟にゆだねられることとなった。

西村まさみ氏は個人単独で民進党より立候補を表明

東京都歯科医師連盟及び島村大参議院議員からは、全国比例区で立候補予定の前衆議院議員山田宏氏を推薦支援する旨が要望された。県連盟としても山田宏氏の推薦をすることを決定した。

大久保日歯会長が9年間の会長を勇退

日歯会長予備選において、高木幹正連盟会長が太田氏を破り当選し6月から高木執行部がスタートする。しかし、迂回献金問題の影響で10月1日山科副会長が会長代理となる。

12月24日 日歯会長予備選 堀憲郎先生を選出

富田本連盟会長が日歯連盟刷新委員会の委員長に就任 連盟の改革を託された。

2月19日 「デンタルミーティング IN かながわ」

を開催 川渕孝一氏による「混合診療」をテーマとした講演 職域代表に選考されていた砂川氏より挨拶があった。

4月12日 神奈川県知事選挙 黒岩氏を推薦 当選

統一地方選挙 推薦議員の大多数が当選

4月26日 会員の大木哲君 大和市市長 3期目当選

6月25日 第6回定時代議員会で 鈴木俊介執行部の船出が承認

本連盟では富田会長が3期目

9月24日 県歯と本連盟は自民党県議8020議連と共に「神奈川県歯科・医療推進研究会」を開催

10月1日 ANA インターコンチネンタルホテルにおいて、「島村大を励ます会」を開催

島村大議員と山本ともひろ衆議院議員の働きにより、文部科学省に非常勤だが、2名の政務官を設置できた。

日本歯科医師連盟より個人として石井良雄先生と団体として本連盟が褒賞受賞

診療報酬改定 歯科本体0.61% アップ

2016年（平成28年）

リオ五輪が開催されたこの年、米大統領選でトランプ氏が勝利した。また、英国がEUからの脱離を決定し、世界に内向きな政策が広がることが懸念された。

4月14日には熊本でM7.3の地震が発生

3月10日 本連盟評議員会開催 次期参院選の推薦候補者を決定

神奈川選挙区 三原じゅん子氏（重点候補者）
三浦のぶひろ氏 中西けんじ氏

全国比例 山田宏氏（重点候補者） 自見英子氏
藤井基之氏

6月16日 参議院選挙総決起大会を県歯会館で開催 山田宏候補、三原じゅん子候補の支援。安倍

総理のビデオメッセージを放映

三原じゅん子候補、山田宏候補の支援者名簿提出依頼の実施、地域訪問などの選挙戦を実施。

山田選挙は全国27地域の連盟が選挙応援を行い、全都道府県で一致した選挙戦とはならなかった。組織内候補のいない選挙として全国の対応が分かれた。

7月10日 第24回参議院議員通常選挙 与党は改選議席を上回る70議席を獲得

神奈川選挙区では自民党推薦の三原じゅん子氏、公明党推薦の三浦のぶひろ氏共に当選。

全国比例では山田宏氏、自見はなこ氏、藤井もとゆき氏全員当選

山田氏は自民党比例当選19名中12番目149,833票獲得

埼玉選挙区 関口昌一議員 3期目当選 西村まさみ議員は民進党公認で立候補したが落選

7月31日 都知事選 小池百合子氏 新知事に

9月26日 石井みどり参議院議員 2度目の消費者問題に関する特別委員長に選任

10月27日 県歯創立110周年記念式典開催

11月 衆参議員14名を集め、「歯科口腔医療勉強会」を山田宏議員が立ち上げた。

2017年（平成29年）

米国ではトランプ政権が発足し混乱が続く中、北朝鮮はミサイル開発を加速させ発射実験を繰り返した。

鈴木県歯会長 2期目

本連盟では鶴岡裕亮先生が新会長に

2月16日 「デンタルミーティング IN かながわ」開催。高橋日歯連盟会長と山田宏議員が基調講演

6月9日 「経済財政運営と改革の基本方針」いわゆる「骨太の方針」に歯科の文言が初めて入る。自民党総合政策集Jファイルにも歯科のボリュームが拡大し、口腔の健康が全身の健康に深く関与

していることが示された。

7月 歯科口腔保健推進室が訓令室から省令室に格上げ

53年ぶりに3人目の管理職（省令室長）が誕生

9月 島村大議員 参議院厚生労働委員長に就任

9月28日 衆議院解散 野党再編のうねりが起こり、民進党は分裂

10月22日 第48衆議院議員総選挙 自民大勝 公明を合わせ313議席を獲得 衆議院議席の三分の二を超える。

森友・加計問題が安倍政権の足かせになるかとも思われたが、政権は一定の評価を得たことになる。連盟推薦議員の大多数が当選

自民284 希望50 公明29 共産12 立民55

歯科関連議員 渡邊孝一議員3選 三ツ林裕巳議員3選 白須賀貴樹議員3選

11月26日 「デンタルミーティング IN かながわ」開催。元厚生労働大臣の田村憲久議員が「我が国の社会保障制度について」と題しての基調講演

平成30年度診療報酬改定 歯科0.69% アップ

治療中心から機能の維持・回復を目指すとし、口腔機能低下症、口腔機能発達不全症の概念が入った。

CAD/CAM 冠の保険適用を承認

12月13日 いわゆる「40円ルール」の見直しが中医協で決定され、特定薬剤と麻酔の薬剤について、控除額が40円から15円に引き下げられた。

2018年（平成30年）

平昌冬季五輪が開催され、日本は13のメダル獲得したこの年、米朝が史上初の首脳会談を開催した。

1月22日 東京地裁は迂回献金事件に関して、無罪を主張していた日歯連盟前副理事長に対して、執行猶予付きの有罪判決を言い渡した。

3月9日 都道府県歯科医師連盟会長会議 次期参院選に向けて組織代表選挙に関しては、日歯連

盟が主体となつての選挙は実施しないとの発表。各都道府県の自主性に任せるとした。

4月 「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」の改正が施行 「歯及び口腔の健康づくりは、未病の改善につながるものとして、県民自らがその意義を自覚して取り組むこと」を基本理念に置いた。定期的歯科健診、医科歯科連携、ネグレクト、オーラルフレイルの文言が入る。

6月27日 東京地裁は迂回献金事件に関して、無罪を主張していた前日歯連盟会長、元会長に対して、執行猶予付きの有罪判決を言い渡した。日歯連盟には罰金50万円の有罪判決の言い渡しがあった。

7月20日 自民党は次期参院選における第一次候補予定者に島村大先生を決定

8月 本連盟は次期参院選比例代表選挙の対応を一度白紙としていたが、全国都道府県連盟の動向を確認しつつ、統一候補を擁立し選挙を目指すとの結論となった。

9月20日 かながわ自民党歯科保健・医療推進議員連盟（通称 オーラルフレイル対策議員連盟）との勉強会、意見交換会を開催

10月1日 神歯連盟 news から神歯連盟 Times に広報紙の名称変更

11月8日 日歯連盟臨時評議員会 第25回参議院選挙に自民党公認の高橋進吾氏を支援することが可決。しかし高橋氏は平成31年1月8日付けで自身の健康上の理由で出馬を辞退

11月29日 デンタルミーティング IN かながわ開催

加藤勝信自民党総務会長が「社会保障の将来見通しの中での歯科の役割」、有明病院歯科部長の富塚健先生が「がん治療における口腔機能管理の現在」と題しての基調講演

2019年（平成31年から令和元年）

5月1日より令和の時代が始まり、ラグビー

ワールドカップでの日本の活躍が話題となったこの年、消費税が10%に引き上げられた。

骨太の方針に3年連続で歯科が明記され、成長戦略実行計画の中に歯科口腔保健が記述されるなど歯科界にとってプラスなこともあったが、金パラの高騰に伴う逆ザヤ問題が深刻となる。歯科医療費は3兆円を超えた。12月の診療報酬改定では0.59%プラス

3月5日 政治資金規正法違反事件で東京高裁において、日歯連盟について控訴棄却の判決が下りた。その後最高裁への上告を断念し有罪が確定した。

日歯、堀会長3選が決定

日歯連盟 高橋英登会長の続投が決定

県歯、松井克之執行部が船出

3月29日 日歯評議員会 次期参院選比例代表選挙において、比嘉奈津美氏を日歯連盟として支援することを決定

自民党公認が下りたのは4月24日とわずか2か月の選挙戦となった。2期5年の衆議院経験はあったものの、全国的な知名度がない厳しい戦いとなったが、本連盟では推薦を決定し、神奈川県歯科医師後援会を設立 後援会活動を実施

4月7日統一地方選挙 県議推薦候補者53名当選

4月21日 大和市長選挙 大木哲先生4期目の当選

6月20日 島村大・比嘉奈津美総決起大会を開催
各地区でも決起大会を開催。県下を比嘉奈津美街宣カーにて巡回。個人演説会開催

島村大候補は県下をくまなく巡り街頭演説を行う。連盟は地域会員と共に後援会活動を実施

島村候補は神奈川選挙区で自民党単独候補となり、100万票の獲得を目指し、県下の衆参議員、県・市町村議員、各企業、そして地域歯科医師連盟が結束し一丸となつての選挙戦となった。

7月21日 第25回参議院議員通常選挙 与党は改選過半数を上回る71議席を獲得

比嘉奈津美氏は次点で落選 114,596票 自民

党候補者33名中20位

島村大議員は全国2位の得票数91万余票で見事に2期目の当選を果たす。

10月24日 ANA インターコンチネンタルホテル東京にて「島村大を励ます会」開催

11月28日 「デンタルミーティング IN かながわ」開催。「今期診療報酬改定に向けて」をディスカッション

12月 「国民皆歯科健診を実現する議員の会」が発足 山田宏議員が事務局長

富田篤先生 日本歯科医師連盟褒賞受賞

2020年（令和2年）

米大統領選挙でバイデン氏が選出されたこの年、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、大変大きな影響を受ける始まりの年となった。

2019年12月に中国湖北省武漢市から原因不明の肺炎の集団感染が報告された。当初はすぐに収束するとの予測もあったが、ダイヤモンド・プリンセス号乗客感染拡大は国内に衝撃を与えた。この新型コロナウイルス感染症は瞬く間に世界に広まり、3月にはWHOからパンデミックが宣言された。日本では感染拡大を受け、4月には緊急事態宣言が発令。様々な報道により歯科医院への受診抑制が起こり、受診者数は激減をした。また、マスクやアルコール消毒液等の品薄が続き、診療に多大な影響があった。その後一度感染者数は落ち着くも8月、11月には感染が再拡大し、東京五輪も延期された。

コロナ禍に対応して、県にマスク、消毒薬の優先供給の願い、助成金 慰労金 優遇貸付等の折衝をした。

感染拡大により特に大きな影響を受けた事業者に対しての持続化給付金制度や無利子融資、また「新型コロナウイルス感染症拡大防止・医療提供体制確保支援補助金」など、様々な対応あり。

6月26日 日歯連盟評議員会 次期参院選に組織代表候補を推薦し選挙に臨むことを決定。組織代表選挙候補者選考委員会の設置を決定した。

選考に対して、秦野伊勢原歯科医師会・連盟より会員の萩原鉄也先生の推薦あり。本連盟では評議員会に図り、全会一致で推薦を決定し選考委員会へ提出した。

山田宏氏、萩原鉄也氏、西村正美氏の3氏が選考委員会に立候補したが、選考の結果山田宏氏の推薦が答申された。

9月16日 菅義偉総裁が誕生し、7年8か月に及ぶ安倍政権の後を引き継ぐ。

総裁選では、岸田氏、石破氏を圧倒しての勝利

10月30日 日歯連盟評議員会 賛成52票 反対20票で山田宏氏が次期参院選推薦候補者に決定
加藤木健君 日本歯科医師連盟褒賞受賞

2021年（令和3年）

大谷翔平氏がMLBでMVPを獲得し、1年延期された東京5輪が開催されるなど明るい話題もあったこの年、新型コロナウイルスのワクチンの接種が2月17日スタートしたものの、感染力の強いデルタ株が猛威を振るう。

日本歯科医師会、堀会長4選

県連盟 鶴岡会長続投。県歯の役員にも就任

6月16日 自民党議員156名の参加のもと、「国民皆歯科健診実現議連」が発足

自民党古屋圭司衆議院議員が代表発起人 事務局長は山田宏議員

7月 政府、自治体からの要請により、各都道府県で歯科医師のワクチン接種の動きが活発化。神奈川県では神奈川県宅地建物取引業協会が実施する新型コロナワクチン職域接種に協力した。

8月8日 横浜市長選挙。県連盟は国務大臣、衆議院議員の職を辞し立候補した、おこのぎ八郎氏を応援したが、次点で落選。元横浜市立大学医学

部教授の山中竹春氏が当選

9月29日 退陣を表明した菅首相の後継者として自民党総裁選を実施

河野太郎氏、岸田文雄氏、高市早苗氏、野田聖子氏の4氏が立候補。県連盟は河野氏の推薦を決定。決選投票の結果、前政調会長の岸田文雄氏が第100代首相に選出

10月6日 島村大参議院議員 厚生労働大臣政務官兼内閣府大臣政務官に任命

10月14日 衆議院解散 任期満了を超えての衆院選は現行憲法の下では初

10月20日 2019年参院選の比例代表名簿で次点であった比嘉奈津美氏の繰り上げ当選が決定

10月31日 第49回衆議院議員総選挙 自民党は単独過半数を超える261議席を獲得し、絶対安定を確保 立民は共産との「野党共闘」が不発。100議席を割り込む。

自民261 公明32 立民96 共産11 維新41 国民11

歯科関連議員 渡邊孝一議員4選 三林裕己議員4選

本連盟では島村大議員の次期選挙に向かったの重要な選挙戦との認識のもと、18地区全てで推薦議員応援を地区連盟と共に積極的に展開。1選挙区以外の小選挙区で当選11、比例当選6の結果。

11月18日 本連盟デンタルミーティングをWEB併用で開催。山田宏議員、比嘉奈津美議員、島村大議員が出席

11月25日 「島村大政策セミナー」 ザ・キャピトルホテル東急で開催

2022年（令和4年）

2月24日 ロシアがウクライナへの軍事侵攻を開始し、世界秩序への衝撃が走ったこの年、コロナ禍はオミクロン株の爆発的な感染拡大が起り、アフターコロナをまだ見通せていない。

診療報酬改定 歯科0.29% プラス

金パラの高騰による逆ザヤ問題が依然解決されないため、歯科用貴金属材料の基準材料改定方式の見直しが決定。年4回改定となった。

「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」の改正時期を迎え、県歯と本連盟が協働し条例改正に取り組む。かながわ自民党オーラルフレイル議連と綿密な連携、勉強会を開催

日歯連盟は、次期参院選への組織代表擁立に関して、中央後援会を作らない形で選挙を行うことを決定

3月17日 県歯連盟評議員会 次期参院選への対応として、比例区では重点候補者山田宏氏のほか日本医師連盟推薦の自見はなこ氏、日本薬剤師連盟推薦の神谷まさゆき氏、全国老人福祉施設協議会推薦の園田修光氏の3氏を推薦

神奈川選挙区では自民党公認の三原じゅん子氏、浅尾慶一郎氏の2名を推薦

神奈川選挙区は補選を含め5名が当選するという複雑な状況があり、5位当選では任期が3年となり島村選挙と重なる。よって推薦候補2名を4位以内で当選させなければならないという厳しい選挙戦となった。

5月17日 「自民党・スポーツ歯科を支援する議員連盟」設立総会開催

会長は遠藤利明衆議院議員

7月8日 安倍晋三元首相が奈良市にて、選挙演説中に銃撃され死亡

7月10日 第26回参議院議員通常選挙 山田宏候補は175,871票を獲得し、比例自民党10位で当選。歯科医師ではない初めての組織代表議員が誕生。本連盟は目標の票を上回る成果を出せた。

自見はなこ氏、神谷まさゆき氏、両氏当選

神奈川選挙区では、三原氏が1位、浅尾氏が4位で当選

埼玉選挙区 関口昌一議員 4期目当選

10月20日 「参議院議員島村大政策セミナー」ザ・キャピトルホテル東急で開催

11月20日 本連盟創立70周年記念講演会

さらなるご理解ご協力のために ～「連盟ガイドQ & A」発行～

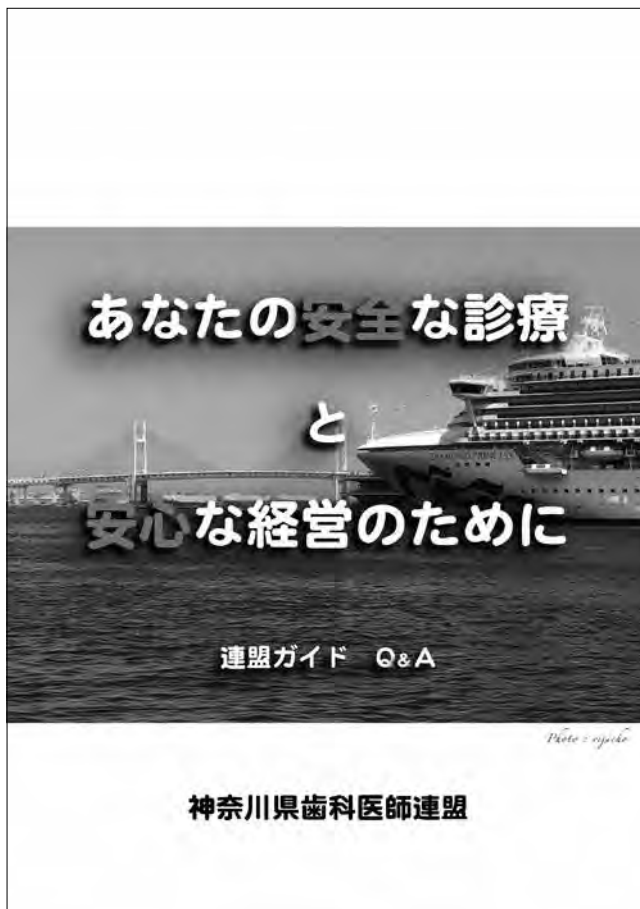
神奈川県歯科医師連盟では2019年10月に「連盟ガイドQ & A」を作成しました。

この連盟ガイドQ & Aは、会員の先生方に連盟組織及び連盟活動について、より分かりやすくご理解いただけるような内容の掲載に努めました。

神奈川県歯科医師会、神奈川県歯科医師連盟会

員に配布を行い、改めて連盟組織、連盟活動について再認識いただき、更なる連盟へのご理解とご協力を深めていただきたく目的で作成しました。

また、これから歯科医師会にご入会される先生方にお目通しいただけるように会員各位からお勧めできる体裁となっています。



INDEX	
Q. 診療報酬決定するのは誰？	1
Q. 保険点数はどうやって決まるの？	2
Q. 歯科医師連盟って何？	
歯科医師会との違いは？	3
Q. 連盟の活動は？	4
Q. なぜ連盟は選挙活動に一生懸命なの？	
会員を増やさなければいけないの？	5
Q. なぜ政権与党を応援するの？	6
Q. 連盟が無ければどうなるの？	7
Q. 開業医にとって税金問題は重要です。	
歯科医師連盟は具体的にどのように取り組んでいるの？	8
Q. 連盟会費って何にどう使われているの？	9
Q. 歯科医師連盟の入会率(継続率)ってどうなっている？	10
★我々とともに、あなたの未来を。そして歯科の未来を明るくしませんか？	
次世代のために	

かながわ自民党歯科保健・医療推進議員連盟の歩み

通称：設立当初「8020議員連盟」、現在「オーラルフレイル対策議員連盟」

〈議員連盟の設立〉

国が平成元年に「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という取り組み、いわゆる「8020運動」を提唱してから20年が経過した平成22年当時、歯や口（口腔）の健康を保つことが糖尿病などの生活習慣病の予防や介護時におけるQOL（quality of life）の向上に重要な役割を果たしていると判明してきた時期であった。しかしながら、歯周疾患検診の受診率は低調であり、歯周病に罹患している成人の割合が全国平均を上回っているなどの課題が残されていた。

これらの課題を踏まえて、歯科疾患予防や療育支援に取り組むことによって、神奈川県歯・口腔の健康づくりのさらなる推進を目的として、平成21年12月17日に自民党神奈川県議会議員団の格別な理解が得られ『かながわ自民党歯科保健・医療推進議員連盟（通称：8020議員連盟）』が設立された。

さらに歯科関連の課題の解決、歯科関連政策の立案等について検討を行うため、神奈川県歯科医師会、神奈川県歯科医師連盟が連携、協力の下に『神奈川県歯科保健・医療推進研究会』が設置され、その下部組織として個別具体の課題について検討を行うプロジェクトチームも設置がされた。このプロジェクトチーム（PT）は「歯科保健条例制定（条例制定）PT」、「高齢者歯科医療対策（高齢者対策）PT」、「8020運動と医療費調査（在宅対策）PT」の3つのプロジェクトチームで構成された。

〈平成23年3月〉

『神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例』が「自民党議員連盟による議員立法」という手法により制定された。この条例は単なる歯科保健条例ではなく「歯及び口腔の健康づくり」が「全身の健康づくり」に役立ち、「健康づくり」は保健に加えて医療も必要であることを基本理念に明記したことから命名された。

〈平成26年6月〉

条例制定後の課題検討・政策提言のため『神奈川県歯科保健・医療推進研究会』開催された。

〈平成30年3月〉 条例一部改正

【一部改正の趣旨】

オーラルフレイル対策や歯科と医科との連携による歯科保健対策など、近年における歯科に関わる新たな動きを踏まえ、歯及び口腔の健康づくりをより一層推進するため、基本理念及び基本的施策について新たな項目が加えられた。

【一部改正の概要】

(1) 歯及び口腔の健康づくりは、未病の改善につながるものとして、県民自らがその意義を自覚して取り組むことを基本理念に加えられた。（第3条関係）

(2) 県が取り組む基本的施策として、次の施策を加えられた。（第10条関係）

ア 歯科と医科との適切な連携による歯及び口腔の健康づくりに関する取組の推進

イ オーラルフレイル対策の推進

ウ 乳幼児期から高齢期までのそれぞれの時期に応じ、歯科検診及び歯科保健指導を定期的に受けることの勧奨

エ 保護者による適切な健康管理がなされていない幼児、児童及び生徒に係る歯及び口腔の健康づくりの推進

(3) この条例は平成30年4月1日から施行された。

〈令和4年〉

現況に即した歯科条例改正に向けて『オーラルフレイル対策議員連盟 歯科条例改正に関する研修会』が開催された。

※令和4年現在、自民党県議全員がオーラルフレイル対策議員連盟の会員である。

議員連盟の設立当時の自民党神奈川県議会議員団会員名簿

顧問	山田吉三郎（川崎市幸区）、久保寺邦夫（秦野市）、村上健司（横浜市中区）、三好吉清（横浜市緑区）、新堀典彦（横浜市南区）
会長	中村省司（鎌倉市）
副会長	堀江則之（厚木市）、牧島 功（横須賀市）、松田良昭（横浜市戸塚区）、新井敏二郎（横浜市磯子区）
幹事長	佐藤 光（茅ヶ崎市）
副幹事長	桐生秀昭（横浜市港南区）、嶋村ただし（横浜市港北区）、石井もとみち（横浜市泉区）
幹事	持田文男（川崎市宮前区）、小川久仁子（川崎市高津区）、しきだ博昭（横浜市都筑区）、内田みほこ（横浜市青葉区）
会計・事務局長	いそもと桂太郎（横浜市旭区）
監事	田島信二（川崎市中原区）
会員	国吉一夫（横浜市金沢区）、舘盛勝弘（相模原市）、磯貝捷彦（小田原市）、鈴木恒夫（藤沢市）、竹内英明（横須賀市）、向笠茂幸（足柄下郡）、杉山信雄（川崎市川崎区）、土井りゅうすけ（川崎市多摩区）、森 正明（平塚市）、木村謙蔵（三浦市）、梅沢裕之（横浜市神奈川区）、小島健一（横浜市青葉区）、高山松太郎（伊勢原市）、杉本 透（足柄上郡）、国松 誠（藤沢市）、長田進治（海老名市）、加藤元弥（横浜市西区）、横山幸一（横浜市鶴見区）

議員連盟の設立当時のプロジェクトチーム

PT名	メンバー		
	8020議員連盟	歯科医師会	歯科医師連盟
歯科保健条例制定 PT	※桐生県議 佐藤県議 磯本県議 杉山県議 小川県議 嶋川県議	西野副会長 土屋理事 大矢理事 荻部学校歯科保健委員長 小川地域保健委員長	平嶺副会長 島村理事長 宮坂常務理事
高齢者歯科保健・医療対策 PT	※小川県議 佐藤県議 磯本県議 杉山県議 敷田県議 石井県議	西野副会長 鴨志田常務理事 三國地域医療委員長	平嶺副会長 島村理事長 正木常務理事
「8020運動」と医療費調査 PT	※嶋川県議 佐藤県議 磯本県議 杉山県議 内田県議 持田県議	西野副会長 加藤木常務理事 鈴木常務理事 中島理事 鍵和田医療保険委員長	平嶺副会長 島村理事長 西山常務理事

※印はチームリーダー

歯科保健条例制定時のかながわ自民党8020議員連盟会員名簿

顧問	久保寺邦夫（秦野市）
会長	中村省司（鎌倉市）
副会長	堀江則之（厚木市）、牧島 功（横須賀市）、松田良昭（横浜市戸塚区）
幹事長	佐藤 光（茅ヶ崎市）
副幹事長	桐生秀昭（横浜市港南区）、嶋村ただし（横浜市港北区）、石井もとみち（横浜市泉区）
幹事	持田文男（川崎市宮前区）、小川久仁子（川崎市高津区）、しきだ博昭（横浜市都筑区）、内田みほこ（横浜市青葉区）、あらい絹世（横浜市磯子区）、原 聡祐（横浜市中区）
会計・事務局長	いそもと桂太郎（横浜市旭区）
監事	田島信二（川崎市中区）
会員	国吉一夫（横浜市金沢区）、古沢時衛（中郡）、竹内英明（横須賀市）、向笠茂幸（足柄下郡）、杉山信雄（川崎市川崎区）、土井りゅうすけ（川崎市多摩区）、森 正明（平塚市）、木村謙蔵（三浦市）、梅沢裕之（横浜市神奈川区）、小島健一（横浜市青葉区）、高山松太郎（伊勢原市）、杉本 透（足柄上郡）、国松 誠（藤沢市）、長田進治（海老名市）、加藤元弥（横浜市西区）、横山幸一（横浜市鶴見区）、河本文雄（相模原市中央区）、細谷政幸（相模原市南区）、八木大二郎（相模原市緑区）、柳下 剛（横浜市緑区）、守屋てるひこ（小田原市）、高橋栄一郎（横浜市保土ヶ谷区）、三橋政雄（横浜市南区）、藤代ゆうや（大和市）、山口貴裕（厚木市）、田中徳一郎（川崎市幸区）

現在のかながわ自民党オーラルフレイル対策議員連盟会員名簿

会長	桐生秀昭（横浜市港南区）
副会長	堀江則之（厚木市）、牧島 功（横須賀市）、松田良昭（横浜市戸塚区）、持田文男（川崎市宮前区）、土井りゅうすけ（川崎市多摩区）、森 正明（平塚市）
幹事長	小川久仁子（川崎市高津区）
副幹事長	嶋村ただし（横浜市港北区）、しきだ博昭（横浜市都筑区）
幹事	杉山信雄（川崎市川崎区）、長田進治（海老名市）、内田みほこ（横浜市青葉区）、河本文雄（相模原市中央区）、あらい絹世（横浜市磯子区）、高橋栄一郎（横浜市保土ヶ谷区）、新堀史明（横浜市南区）、芥川薫（座間市）、山口美津夫（相模原市緑区）
事務局長	いそもと桂太郎（横浜市旭区）
事務局次長	原 聡祐（横浜市中区）、田中信次（横浜市泉区）
会計	永田てるじ（茅ヶ崎市）
監事	竹内英明（横須賀市）、梅沢裕之（横浜市神奈川区）
会員	小島健一（横浜市青葉区）、杉本 透（足柄上郡）、国松 誠（藤沢市）、加藤元弥（横浜市西区）、細谷政幸（相模原市南区）、柳下 剛（横浜市緑区）、渡辺紀之（伊勢原市）、藤代ゆうや（大和市）、山口貴裕（厚木市）、田中徳一郎（川崎市幸区）、綱嶋洋一（綾瀬市）、山本 哲（寒川町）、市川和広（藤沢市）、川本 学（川崎市中区）、石川 巧（三浦市）、おざわ良央（小田原市）、神倉寛明（秦野市）、川崎修平（横浜市鶴見区）、武田 翔（横浜市港北区）、高橋延幸（足柄下）、永田磨梨奈（鎌倉市）、枏晴太郎（茅ヶ崎市）、大村 悠（横浜市金沢区）

未来への提言



次世代を担う若き会員の登用や育成が重要な課題

第八代会長 中村 昌人

本連盟の未来を考える時に今まで辿ってきた70年の歴史を抜きにすることはできません。そこで私の関わってきたこの25年の歴史を顧みて、そこで実際に見て、学んできた事を思い出し、記憶を整理して未来を考察する糧とできるようにしたいと思います。

本連盟の歴史は、先人の先生方の血の出るような努力の結果であることは言うまでもありません。しかし、私が直接近くで見聞きした連盟の歴史は1997年港北歯科医師会の会長になった時から始まり、2005年に大森県歯会会長に要請され、神奈川県歯科医師連盟理事長に就任した時点で本格的に関わるようになりました。その後、規約改正で本連盟会長となり、2011年に富田先生に会長を交代するまで3期6年にわたりその任を全うすることが出来ました。それから更に3期6年間は日本歯科医師連盟の監事、常任監事として日歯連の運営を目近で見守ってまいりました。その後本連盟顧問として5年間連盟のアドバイザーとして参加させていただき、今日に至っています。

この25年間には様々な重大問題が次々とおこり、政権も大きく変化し、我々をとりまく歯科医療・保健・福祉は激変し、その対応が大変な時代であったと今思えば感慨深いものがございます。

日歯連盟の不祥事は、2004年に日歯臼田会長の時代に東京地検の強制捜査を受け3つの容疑で連盟幹部、中医協委員、自民党国会議員など16名が逮捕され、後に2008年に有罪が確定しました。こ

の事件で歯科界は大きな打撃を受け、その後長く冬の時代を迎えることとなりました。連盟では2007年の参院選で自民党惨敗の中、石井みどり氏が22万票以上の得票を得て当選することが出来ました。

神奈川県では支払基金が神奈川ルールという県独自の厳しい審査が横行し、本連盟としてはこのルールによって県民が不当に歯科医療から遠ざけられる結果を招いていると、神奈川県選出の坂井学衆議院議員に2度にわたり国会で質問していただきました。

2009年には本連盟理事長をしていた島村大氏を参院選職域代表候補として日歯連選考委員会に送り出しましたが、最終選考において、委員の2/3以上の賛成がないと選考されない規定であったために、苦杯をのむ結果となりました。その後選考委員会で沖縄の高嶺先生が職域候補に選出されましたが、8月の総選挙で民主党が圧勝して政権交代がおこり、9月の評議員会で高嶺候補を立てての選挙は行わない決定がされました。

翌2010年には大久保日歯会長は民主党系歯科医師候補支援を示唆し、連盟もこれを承認しました。その結果、西村まさみ氏が参院選で10万余票を獲得して当選しました。

本連盟では先の神奈川ルール問題に次いで、2009年に自民党県議を中心に歯科保健医療推進議員連盟を立ちあげていただき、県歯・連盟役員とプロジェクトチームを作って、神奈川県歯および

口腔の健康づくり推進条例の成立に向けて動きだしました。

条例は2012年に成立しましたが、国会で「歯科口腔保健推進に関する法律」が成立する5カ月前のことでした。

その前年2011年に日歯連会長に高木幹正氏が就任し、島村大氏は日歯連理事長、私は監事になりました。

2012年には神奈川県では自民党国会議員、県会、市会議員と共に本連盟は協力し合って様々な問題に取り組んできた結果、次期自民党参議院選挙神奈川県地方区候補として日歯連盟理事長の島村大君が正式に決定され、その後12月には総選挙が行われ、自民党は圧勝し、安倍内閣が誕生しました。

翌2013年の参議院議員選挙において島村大氏は100万票以上の得票で見事トップ当選をはたしました。

職域代表では石井みどり氏が2期目の当選をはたしました。

このあと日歯評議員会において新聞記者のいる前である評議員は石井みどり氏への献金は迂回献金ではないのかと質問し、それがきっかけとなり東京地検が動き出し、2015年政治資金規正法違反で、村田副理事長、高木会長、堤前会長が逮捕され、2018年3名の有罪、日歯連盟の罰金が言い渡され、2020年上告が退けられ有罪が確定されました。

2004年の闇献金事件により政治資金規正法が改正され政治団体の寄付は上限一年間5000万円とされたにもかかわらず、2015年には迂回献金で法律の趣旨をまげたものとして有罪になってしまいました。

した。

これは当時の連盟顧問弁護士のアドバイスを信じてしまったものとはいえ無理のある献金であったと言わざるを得ません。さらに歯科界内での権力争いによって歯科界全体のダメージが大きく損なわれ、会員の連盟離れを促したことは慙愧に堪えないことでした。

一方良かった体験は、神奈川ルールや歯と口腔の健康づくり条例の時の国会議員や県会議員あるいは市会議員との連携をもとに連盟が議員さんたちと仲良く意思疎通を図り、選挙に協力することで良い関係を作ることができました。このことが島村議員を誕生させ、市民・県民の歯・口腔の健康をのばすことが人生100年時代には重要になってきたことを広く国民にアピールする原動力となると思います。

島村議員は県選出の議員ではありますが、歯科医師のコロナワクチン接種への菅前総理の決断でも大きな働きをし、歯科界のためにさまざまな活動を行ってきました。さらに次世代を担う連盟活動の若き会員の登用や育成も重要な課題となってきます。

言いたい事はまだまだありますが、紙面の都合でこれ位にしたいと思います。これからの連盟の発展をお祈りして私の言葉といたします。



連盟70周年に想う

第九代会長 富田 篤

連盟は歯科医師会員が国民への職責をきちんと果たすために政府、地方自治体の政治家に、要望、提言をし、それを理解する政治家を支援することにある。しかしそれに先んじて本会が日常生活において、口腔機能がいかに大切であるかを国民に理解してもらわねばならない。

この原稿をしたためている現在、ある違法な活動をしていた宗教団体・関連団体と政治家との関係について大きな問題になっているが、歯科医師会・連盟はあくまでも国民の健康という「幸福」のためにエビデンスある活動をしている。本会の目的を効率よく実現するために、会計面を別にし、日々努力している。

国民は本会も連盟も同じ団体と見ているが、歯科医師会員が認識不足で、連盟の組織率は低い。

その解決の手段として、本会会長が、連盟会長を兼務することが望ましいと私は考える。

近年、後継者のいない歯科医院が多いことが報告され、歯学部の入学者が定員を満たさない大学もある。歯科医師になっても十分な報酬が見込めない職種と認識されているであろう。

こうした実情鑑み、歯科診療報酬の改善を求め、本会、連盟は活動し続ける必要がある。

我がこととなるが、老歯科医師が何十年も診てきたお年寄りの義歯修理… 少し見直して欲しいと思う。

連盟役員は、国民のため、歯科医師のために日々努力し、実績を残しても、それがなかなか評価されず、公の褒賞はない。

どの国民も平和を望んでいるはず。しかし実際には戦争、内戦、さらに国内で民族・宗教の違いから気の毒な差別を受けている国もあるようだ。

日々のニュース内容で、人間として一番大事なことは何かと、判断するのは読者、視聴者自身が判断しなければならない。

餃子屋さんの主人が10年前に暴力団の幹部から拳銃で殺害された事件も一面に載る。

地球規模の地震、気象変動による目を疑うような自然災害、その一因が炭酸ガスともいわれ、電動自動車も進む中、戦争でミサイル、原子力発電所に向けた攻撃や放射能を含む「汚い爆弾」の使用もあり得るだろう。爆弾、ミサイルがどのくらい炭酸ガスをまき散らすのだろうか。アルマゲドンのような事象もありうるのではないか。

戦場で、殺し合うのを望む人間は、特別な権力を持った者、そして彼らにマインドコントロールされた人たちだけだと思う。人間は最も優れた生き物といわれるが、果たしてそうなのだろうか、疑われるこの頃である。

これは最も愚かなことと考える。戦争は殺傷能力の高いものを求め、切りのない競争をし続けて行くことになろう。

強力な武器の開発の副産物として、生活に有益な物を作ることも事実だが。わが国も切りのない軍備のための予算を増額する方向にあるようだ。

動物でさえわが子を必死に守るであろうに、自らの手で幼子を危める事件を目にすると、人間そのものも狂い始めたのか？

戦火の地で飼い主を失った犬や猫がビクビクしながら小走りに、何処へ行くのか… 見るに忍び難い映像もある。

宇宙から地球を見ると例えられないほど美しい星という。戦争は人間はじめ、地球上の動植物にとっても最悪の事態を招くと考え、歯科医師を政治家として育て、応援してゆきたい。

歯科医師も世界の平和を祈りつつ、先ずは国民の健康のために尽力していかなければならないと考える。

1941年に生まれ、戦後、食事もままならぬ幼少時代を過ごした老歯科医師が、近頃想うことである。

県下16地域歯科医師連盟

横 浜 市



横浜市歯科医師連盟会長 西山 潔

神奈川県歯科医師連盟が創立70周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

さて、横歯連盟のこの10年間の活動を回想いたしますと、まずは「横浜市歯科口腔保健の推進に関する条例」が、平成31年4月1日に施行されたことが、特筆できます。神奈川県においては平成23年3月に「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」が制定されておりましたが、指定都市である横浜市には口腔に関わる条例が制定されておりませんでした。そこで横歯連盟は、横浜市の保健医療計画〈よこはま保健医療プラン〉および横浜市の健康増進健康計画〈健康横浜21〉に歯科関連項目を充実させることに一定の目途が付いたため、平成29年4月に、横歯・横歯連盟協議会において歯科口腔保健条例制定に向けて活動を始めることを合意しました。同年8月、横歯連盟会長から自民党横浜市議員団団長宛に「歯科口腔保健に関する条例の制定と歯と口の健康を推進する歯科議員団の結成について」を提出し、横歯連盟・自民党市議団連絡協議会および口腔保健条例検討臨時委員会設置とそこでの議論を行いました。そして平成31年2月19日の横浜市会本会議にて、この条例の制定を議案として提出し全会一致で可決承認されたことが この条例制定の概略の経緯となります。この条例制定により、横浜市民への横浜市歯科医師会の歯科口腔に関わる事業の更なる展開を横歯連盟としても願っておる次第です。

また、令和3年8月に行われた「横浜市長選挙」は、IRの是非を主な争点とした、近年希に見る候

補者乱立の激しい選挙戦でありました。横歯連盟役員が会員の協力を頂き一丸となり神奈川県歯科医師連盟の応援もあり、国政・地方選挙においても類を見ぬ選挙活動となりました。しかしながら残念な結果となりましたが、この経験は今後の統一地方選挙などに活かして連盟活動を行ってゆく糧となると思われました。

最後になりますが、神奈川県歯科医師連盟の益々のご発展を心より申し上げますと共に、横歯連盟は今後も神奈川県歯科医師連盟の活動に寄与し、歯科界の発展へ貢献するため活動してゆく所存であります。

会 長	西 山 潔
副 会 長	外 池 利 夫
同	岡 田 春 夫
同	宮 治 俊 朗
理 事 長	新 井 宗 高
常 務 理 事	勝間田 聡
同	鈴 木 篤 茂
同	高 倉 康 介
同	三 宅 忠 隆
同	齋 藤 牧
同	平 久 忠 輝
同	木 田 勇 人
同	相 庭 常 人
同	鳥 山 茂
同	白 井 仁 之
同	下 山 和 夫
同	葉 紹 誠
監 事	笠 原 一 臣
監 事	天 野 秀 二
相 談 役	正 木 久 秀

川 崎 市



川崎市歯科医師連盟理事長 宮坂和弘

8月には本会と福田市長を表敬訪問、合同研究会、国会見学ツアー開催、歯科保健検討会と事業が続いた。

【2016年】 7月参議院議員選挙に向けて三原じゅん子候補、山田ひろし候補の決起大会を開催 三原じゅん子候補100万票を獲得し再選、山田ひろし候補15万票獲得し当選。

11月には『斎藤文夫先生の米寿をお祝いする会』を開いた。

【2017年】 5月『川崎市歯っぴーファミリー健診』が制定、長年の要望が叶う。

9月28日の衆議院解散による衆議院議員選挙と川崎市長選挙、市議会議員補欠選挙のトリプル選挙の年になった。

【2019年】 4月の統一地方選挙では連盟役員が各区推薦候補の選挙事務所を巡り応援 県議・市議推薦議員が当選した。7月の参議院議員選挙は島村大候補2期目の挑戦、川崎市内を街宣する島村候補川崎第一声に連盟関係者が応援に駆け付け、917,058票を獲得し2期目の当選を果たした。

【2020年】 2月初旬より全国的に新型コロナウイルス感染拡大防止一色の年となった。

緊急事態宣言、WHOやマスコミによる風評被害から歯科受診抑制、窮状を島村議員、山田議員が国に訴え補正予算で感染対策費・医療従事者慰労金が届けられた。

【2021年】 7月の総会で宮坂和弘理事長就任、8月横浜市長選、10月川崎市長選及び市議補選、衆議院議員選挙前にはデンタルミーティングを開催し士気を高めた。

今後も川崎市歯科医師連盟は川崎市民の健康の向上、会員の医院経営の安定のため連盟活動の充実に邁進していきたいと思います。

末筆ながら神奈川県歯科医師連盟の一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念いたしまして、創立70周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

この度は神奈川県歯科医師連盟創立70周年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。

またこの70年、地域歯科医師連盟を牽引し歯科界と政界の橋渡しへのご尽力に改めて感謝を申し上げます。10年前、2012年の政界は年末の衆院選で民主党政権から自民政権へ第2次安倍内閣が発足した年、この10年を振り返ります。

【2012年】 川崎市歯科医師連盟は田中修理事長の元、組織代表である石井みどり参議院議員と参議院議員選挙に立候補した島村大先生を全力で支援していく決意をした年である。川崎市においては歯科医師会と共に『妊産婦歯科健診』の実現を地元市議会議員を通じて当時の阿部孝夫市長に要望した。

【2013年】 7月の参議院議員選挙と10月の川崎市長選挙一色の年となった。

参議院議員選挙では比例代表石井みどり候補と神奈川選挙区島村大候補の応援に17日間奔走し、石井みどり候補29万票 島村大候補は全国最多の113万票を獲得し当選した。

11月には福田紀彦新市長を表敬訪問、生涯切れ目のない歯科健診、妊産婦歯科健診の重要性を訴えた。

【2014年】 7月『国会見学&東京スカイツリーバスツアー』を開催

11月『川崎市制90周年記念歴史絵巻パレード』に参加。同月『川崎市歯科医師連盟・川崎市歯科医師会・自由民主党川崎支部連合会合同研究会』を開催し川崎市議会議員と地域包括ケア推進のビジョンについて交流を深めた。

【2015年】 7月の臨時総会で6代目小川淳理事長就任、川崎市議会各党ヒアリングでは妊産婦歯科健診と幅広い世代における歯周病歯科健診の重要性を説明した。

理	事	同	久田大加海矢南伊森飯原久中中二横田井山小松福藤大小	
		同	保中持藤野島藤山島保山田川島中田内山川嶋波嶋林	
		同		
		同		
		同		
		同		
		同		
		同		
	監 顧	事	問	役
				泰京尊倫一裕準一一直恭伸芳弘滿典知基隆



相 模 原 市

相模原市歯科医師連盟会長 嶋田潤一

私たち相模原市歯科医師連盟は、会員の先生方に支えられながら令和5年度に創立60周年を迎えます。

2011年4月～2013年3月まで和智武夫理事長、田成培副理事長、関英夫副理事長、保坂保副理事長が務めました（和智武夫前理事長は、2021年11月20日に相模原市民文化表彰を受賞されました。）2013年4月～2015年3月まで関英夫理事長、保坂保副理事長、嶋田潤一副理事長、皆藤訓男副理事長が務めました。

2015年4月～2017年3月まで関英夫理事長、嶋田潤一副理事長、皆藤訓男副理事長、鈴木雄一副理事長が務めました。

2017年4月から地域代表者の役職の名称を神奈川県歯科医師連盟に合わせて理事長から会長に変更し、合わせて副理事長を副会長に変更しました。その時新たに、理事のまとめ役として新規の理事

長職を作りました。

そして本会の公益法人化に伴い任期の変更を経て、2017年4月～2019年6月まで関英夫会長、嶋田潤一副会長、皆藤訓男副会長、鈴木雄一副会長、菱山豪理事長が務めました。

2019年6月～現在まで嶋田潤一会長、皆藤訓男副会長、鈴木雄一副会長、加藤一成副会長、菱山豪理事長が務めています。

また、推薦市議会議員は2015年3月まで佐藤賢司議員、山岸一雄議員が務められました。

2015年4月～2019年3月まで山岸一雄議員、中村昌治議員、阿部善博議員が務められました。

2019年4月～2021年7月まで中村昌治議員、阿部善博議員が務められました。

2021年8月から現在まで中村昌治議員、阿部善博議員、小野沢耕一議員が務めておられます。

そして現在までの活動としては、2014年4月に



ホテルラポール千寿閣にて相模原市歯科医師連盟
 会員家族の集いを行いました。相模原市歯科医師
 連盟会員家族の総勢83名が参加されました。来賓
 には赤間二郎衆議院議員、石井みどり参議院議員、
 西村まさみ参議院議員、島村大参議院議員が臨席

されました。

また、2022年3月に自由民主党相模原市連が設
 立され、相模原市歯科医師連盟の政権与党を応援
 するという基本方針がより盤石なものとなってい
 ます。

会 長	嶋 田 潤 一
副 会 長	皆 藤 訓 男
同	鈴 木 雄 一
同	加 藤 一 成
理 事 長	菱 山 豪
常 任 理 事	梶 野 尚
同	猫 宮 龍 彦
同	豊 浦 宣 行
同	渋 谷 浩 一
同	八 木 忠 幸
同	山 本 千鶴子
同	有 田 純 子
同	塚 田 美 紀
理 事	鈴 木 英 朗
同	一 戸 巧
同	佐 藤 文 彦
同	水 沼 信 也
同	千 葉 さよ子
同	山 畑 智 也
同	山 口 祐 一
同	田 中 雄一郎
同	菊 池 由 里
同	落 合 義 彦
同	野 村 篤

監 事	鈴 木 豊
同	田 成 培
委 員	江 藤 満
同	戸 倉 瑞 木
同	星 隆 夫
同	菊 池 剛
同	樋 口 一 敏
同	奥 橋 園 子
同	宮 野 詳 子
同	秋 知 明
顧 問	廣 井 清 智
同	和 智 武 夫
同	河 原 武 彦
同	相 澤 恒
同	関 英 夫

横 須 賀 市



平成24年4月1日から令和4年8月31日までの10年間の歩みを記載する。この10年間の歴代理事長は、平嶺勝嗣・松井利行・原秀一の3氏である。

連盟1年間の恒例事業は、6月に第1回定時総会（前年度決算）、8月に市民花火大会に合わせての納涼懇親会（推薦議員・市長らを招待）、1月に会員・家族のNew Year Party（推薦議員・市長らを招待）、2月に第2回定時総会（次年度予算）等である。連盟理事会は年6回開催。その他として推薦議員・市長の新年会や報告会等に参加、国会議員・市長への表敬訪問、さらに毎年、市への予算要望のヒアリングを自民党・公明党市議団と行っている。令和2年6月25日には念願の「横須賀市歯及び口腔の健康づくり推進条例」が成立（10月1日施行）。令和4年度の目玉事業である連盟単独での「横須賀市歯科医師連盟35年の動き」記念冊子を白黒 A4版77頁で作成し令和4年8月1日付で発行、配布できたことは大変嬉しく思っている。なお、令和2～4年は新型コロナウイルス感染拡大により多くのイベント等が中止になっている（総会・理事会は対面か書面議決で開催）。

選挙関係では、この10年間で衆院選4回（平成24年12月、26年12月、29年10月、令和3年10月）、参院選4回（平成25年7月、28年7月、令和元年7月、4年7月）、統一地方選2回（平成27年4月、31年4月）が行われ本連盟推薦議員を全力で支援している。衆院選は神奈川11区（横須賀市・三浦市）で、小泉純一郎氏（元内閣総理大臣）の後継者である小泉進次郎氏が平成21年8月に初当選以来5期連続当選し、環境大臣を歴任している。参院選は全国比例区で石井みどり氏、山田宏氏、神奈川選挙区で三原じゅん子氏、島村大氏、浅尾慶一郎氏が当選している。統一地方選の県議会議員選挙は、牧島功氏・竹内英明氏・亀井貴嗣氏・石川

横須賀市歯科医師連盟理事長 原 秀一

巧氏の4氏が連続当選し、市議会議員選挙は、青木秀介氏・板橋衛氏・大野忠之氏・田辺昭人氏・角井基氏・渡辺光一氏の6氏全員が連続当選している。また、横須賀市長選挙は、平成25年6月に吉田雄人氏が当選、29年6月と令和3年6月に上地克明氏が連続当選し、国・県・市の連携で中学校完全給食が開始し、市立初の「こども園」を実現している。さらに三浦市長選挙は、吉田英男氏が5期連続当選している。

今後も、連盟として本会と連携を密にし、推薦議員と共同して対外的な交渉にあたり、市民の暮らしと健康を守る所存である。そして次を担う連盟理事長・役員各位に期待している。

会 長	松 本 好 史
理 事 長	原 秀 一
副 理 事 長	芹 田 裕一郎
同	齋 藤 眞 旦
同	関 口 一 実
専 務 理 事	小 池 軍 平
常 務 理 事	松 本 猛
同	小 野 晃 嗣
同	種 田 基 衛
同	鈴 木 伶 奈
理 事	平 嶺 倫 子
同	永 塚 俊 之
同	南 田 厳 司
監 事	大 津 久 夫
同	小 川 秀 人
相 談 役	佐々木 滋
同	松 井 利 行
参 与	原 慶 治
同	石 渡 庸 介
同	佐久間 博 一
同	※ 中村 佳晃
同	狩 野 知 也
同	大 石 俊 一
同	藤 原 浩 彦

逗 葉



逗葉歯科医師連盟理事長 松岡 晃

逗葉歯科医師連盟は会員数35名で構成されております。本会会員45名で二つの行政の仕事を掛け持ちしている状況のため、連盟のために人員を割けない状態でした。県下の支部の中で唯一理事長だけが決まっていた、組織化されていませんでした。過去には、土井孝夫理事長・故古川英雄理事長・現在の松岡と引き継がれております。今後は少しずつ組織体制を整えていく所存です。

政治家との関係も、年に一度は逗子市長と葉山町長との懇親会を持っていましたが、コロナ禍でこの二年間は実施されていません。地元の市議会・町議会の議員とは会員各位の付き合いもあることで、連盟は関わらないという不文律がありました。しかし、先般の逗子市議会議員選挙に際しては、自民党所属の4名の候補者に推薦状を出し、全員当選を果たしました。

当地区の国会議員の方々は、年に一度新年会にお招きしていましたが、コロナ禍のため新年会が実施できない状況にあります。国政選挙には、自民党の候補には推薦状を出しています。今年の参議院選挙では三原候補、浅尾候補に推薦状を出しました。

今年12月の逗子市長選挙では、現職の桐ヶ谷氏を推薦する予定です。

しかし政治とは関わりたくないと考えている会員も多数あり、まとまった活動は難しい面もありますが、今後は連盟の役割を理解していただくよう努力してまいります。

理 事 長	松 岡	晃
副 理 事 長	三 壁	信 洋
専 務 理 事	佐 藤	格
D M	加 藤	順 久
監 事	堀 内	章

鎌倉市

鎌倉市歯科医師連盟理事長 五十嵐史征



鎌倉市歯科医師連盟が平成16年に発足して早や18年が経ちました。

2013年、鎌倉市の属する神奈川4区は元々革新系勢力が強く、自民党候補が常に苦戦する状態が続いていました。

2012年12月の衆院選は自民党が大勝利して政権に復帰、経済政策アベノミクスを打ち出し日本国民の政治への期待が高まっている機運でした。この選挙で神奈川4区では浅尾慶一郎氏（みんなの党）が小選挙区勝利、自民党の山本ともひろ氏が比例復活当選という結果でした。浅尾氏は以前よりずっと鎌倉に根差して活動されており、栄光学園出身という事もあり、会員に人気が高く、鎌歯連盟も定例の勉強会を開くなど懇意にしてきた経緯があります。しかし、歯科医療政策を推進するためには政権与党を推す必要があります。歯科医師の立場として山本氏を推すことが重要ですが、まだ連盟会員との関係はなかなか深まらず、地域の市民県民の立場として浅尾氏を推すという、会員の捻じれた心境に、鎌歯連盟としては大変難しい対応を迫られるのが常となっていました。

2013年7月の参院選、神奈川選挙区は、歯科医師会会員で我々の仲間である島村大候補が自民党公認で立候補、113万票余という全国トップクラスの得票で当選されました。歯科医師国会議員として比例区から職域代表の石井みどり氏と日歯連支援議員の西村まさみ氏がいましたが、島村大参議院議員が職域代表以上の活躍をされて会員に様々な情報と恩恵を齎してくれること、身近な自分たちの仲間を推していく機運が生じたことから、地域の歯科医師連盟の役割が「次の島村選挙に向けて地域の自民党議員の支援・連携」と明確になりました。連盟活動が会員に理解してもらいやすくなり、良い流れとなって現在へとつながっていると考えます。

2014年には島村議員から、文科省高等教育局医学教育課に複数の医師はいるが、歯科医師は非常勤が1名だけで、これから歯学教育を充実させて

いくためにも同課に歯科医師を増員させる必要がある、山本議員が文科省政務官をしているので、この件について鎌歯連盟からアプローチするよう要請がありました。各省庁の職員数は決まっていますので増員することはとても大変な事なのですが山本議員は様々尽力して下さり、非常勤枠を増やすことができました。日歯連が行うべき活動を一地域の連盟が動き、得られた成果は歯科界にとって有益なものになったものと自負しています。

鎌歯連盟の重要な役割として、鎌歯本会の思惑を実現させるための活動・事業の実施があります。定例事業として、市長行政との懇談会、市議会観光厚生常任委員会（現 教育福祉常任委員会）との懇談会を開催し、歯科医師会の活動報告、要望・陳情、歯科保健推進の有用性をレクチャーしています。歯周病検診、妊産婦検診が行われるようになったり、口腔がん検診の助成金給付等多くの成果につながってきたと思います。また口腔保健センターの設置・障がい者歯科診療所の開設を見据え、行政の方々に歯科保健推進の有用性を理解してもらうため、2015年から新たに「鎌倉市歯科保健・医療・福祉推進研究会」を開催し、さまざまな講師を招聘して講演を行っていただきました。この研究会は2015年から2017年まで3回開催されました。また、市議会議員からは2016年に、口腔保健センターの設置・障がい者歯科診療所の開設に関するヒアリングの意で、「鎌倉市議会政策法務相談」が開催されました。市議会の長い歴史の中でも、一団体を対象として政策法務相談が行われたのが2回目との事。特別重要な案件として市議会が関心を寄せた結果だったと理解しています。

その成果もあり2017年に鎌倉市口腔保健センターが設置、障がい者歯科診療所も開設される運びになりました。

2020年コロナ禍となり、連盟事業が中止・延期、WEB開催になるなど、活動が制限されていましたが、2022年夏により行動制限が緩和されはじめたさなか行われた参議院議員選挙神奈川選挙区では、浅尾慶一郎氏が自民党から立候補し、見事当選。自民党が三原じゅん子氏と2議席確保する快挙となりました。神奈川4区では衆議院に山本ともひろ氏、参議院に浅尾慶一郎氏となり捻じれた構図が解消され、連盟活動も行いやすくなってきたと感じています。これからも会員の診療環境向上を目指し、市民の歯科保健・医療の発展に寄与するために、鎌歯連盟は活動していきたいと思っています。

藤 沢 市

藤沢市歯科医師連盟会長 松本富三



神奈川県歯科医師連盟創立70周年を迎えられたこと心よりお祝い申し上げます。

平成の時代、日歯連事件をきっかけに我々歯科医師連盟の在り方が大きく変化いたしました。国政に関しては日本歯科医師会と日本歯科医師連盟の峻別により参議員の職域候補者を選考する形となり、それにより政党による縛りがなくなり政権与党を支持することとなりました。政府の政権交代による余波によりそれまで支援してきた推薦議員との関係も難しい状況となったことは記憶に新しいところです。特に藤沢の地は保守、革新の支持者が拮抗しており選挙は世論に左右されやすく、推薦議員との良好な関係を築くために歴代連盟会長は苦勞をしておりました。

ただ、事件をきっかけに歯科業界の発展・向上のために積極的に施策を発信し行動を起こすようになったため、歯及び口腔に関する法律、条例が制定され現在に至っており、藤沢でも宮守恭子前連盟会長の働きにより平成27年に歯及び口腔の健康づくり推進条例が制定されました。

残念ながら同時期にありました日歯連盟迂回献金問題により参議員選挙における職域推薦候補者がまとまらず、会員に対して周知を十分が行う事が出来ませんでした。それでも神奈川選挙区から島村大氏が自民党の公認候補として出馬され、トップで当選されたことで神奈川県歯科医師連盟の方向性が定まり、各支部の選挙対策が行いやすくなりました。藤沢の地は支持基盤が大きく分かれており統一地方選挙と国政選挙の狭間で連盟の

支援の在り方が問題となっておりましたが、島村氏を国政に送り出すための支援体制を築くことで歯科医師連盟の立場を理解していただくことが市民目線でもわかるようになりました。島村氏の支援の一環としてデンタルミーティングを開催することで、推薦県議・市議会議員は歯科業界の問題に多く触れる機会が増え、更に島村氏と推薦議員との交流も増えたことも支援拡大に繋がりました。

また、藤沢市歯科医師会が公益社団法人となったことでより市政との関係強化が必用となり、昭和63年より推薦市議会議員との間で行われておりました歯科医療協議会の在り方や市長選における選挙活動の重要性が以前よりも増しており、連盟活動の大切さが会員には理解していただけたかと思います。

推薦県議・市議と会員との交流を深めるため、藤沢の地の利を生かしたレクリエーション活動として海の家での懇親会を開催するなど厚生事業も積極的に行ってまいりましたが、コロナウイルスの感染拡大により公益社団法人の各種事業の延期や中止が重なり、連盟活動も令和の時代になり困難となりました。早く元の状況に戻れるようコロナ感染の終息を祈念申し上げると共に、神奈川県歯科医師連盟の今後の更なる活動に期待いたします。

会 長	松 本 富 三
副 会 長	上 田 千 秋
同	伊 藤 保 之
同	藪 内 貴 章
常 任 理 事	宮 田 保 之
同	渡 邊 奈 美 子
同	和 田 光 利
会 計 理 事	三 觜 大 介
監 事	江 尻 洋
同	森 洋 行
顧 問	富 田 篤
同	千 葉 俊 郎

大 和 綾 瀬



大和綾瀬歯科医師連盟理事長 林 清信

神奈川県歯科医師連盟創立70周年を迎えられ、誠におめでとうございます。

この日を迎えることができましたことは、ひとえに鶴岡会長をはじめ、歴代の会長様、連盟役員の皆様の並々な御尽力と結束の成果とお慶び申し上げます。

また、晴れの記念誌に執筆のご依頼をいただき、大変光栄に存じます。

大和綾瀬歯科医連盟は、2009年～2018年まで近藤清志先生が、2018年～2020年まで山本正昭先生が、2020年～2022年まで池田香里先生が、理事長として連盟組織をまとめて下さいました。ちなみに、神奈川県歯科医師連盟副会長 徳永寛司先生は2007～2009まで理事長を務めて下さいました。

衆議院議員小選挙区は神奈川県第13区『大和市、海老名市、座間市（相模が丘地域を除く）、綾瀬市』で、甘利 明 衆議院議員を応援させて頂いております。また、大和市 大木さとる市長は歯科医師であり、緊密な連携を取らせて頂いています。

2013年には、かねてから大和市立病院に口腔外科の開設を要望しておりましたが設備や診療体系に対して必要と考えられる条件を盛り込んだ『大和市立病院口腔外科開設に関する要望書』を大和市市長に提出し、2014年5月12日、口腔外科を開設させて頂きました。開設に際しましては、故青木則博先生（大和綾瀬歯科医師会 元会長）に多大な御尽力を頂きました。現在は、要介護高齢者歯科事業設置のため、大木さとる市長にご協力頂い

ているところです。このように、本会と連携を取り、首長や議員、行政と協力し会員、患者様により良い歯科医療サービスを提供できるように努力して参ります。また、不安を抱えやすいコロナ禍においても、神奈川県歯科医師連盟役員皆様のご指導の下、会員の皆様が安定した経営基盤を確保できる一助となるよう、連盟活動に邁進していきたいと思います。

結びになりますが、神奈川県歯科医師連盟の益々の発展を祈念して、本稿を終えさせていただきます。

理 事 長	林 清 信
副理事長(DM)	土 屋 新太郎
同(会計担当)	花 村 慎 也
同	柴 垣 博 一
常 任 理 事	大川原 亨
理 事	石 田 健
同	福 西 雅 史
同	加 藤 陽一郎
監 事	徳 永 寛 司
同	嶋 村 政 博
顧 問	岡 田 誠 二

(令和4年4月～令和6年3月まで)

茅ヶ崎寒川

茅ヶ崎寒川歯科医師連盟会長 下里隆史



神奈川県歯科医師連盟創立70周年おめでとうございます。これまでの歴代会長および執行部の先生方またそれを支えていただいた関係者方々に感謝いたします。

私が生まれる以前に設立されていたと思うと戦後復興しつつある中でご足労されたと感じます。

私が会長就任して6年目を迎えています。10年前、茅ヶ崎寒川歯科医師連盟前会長時代には連盟理事で活動していました。

ここでは、私の会長時代、平成29年以降について述べさせていただきます。早速役員人事に取り掛かり前年度の事業計画の実行から始まりました。

先ずこの年、佐藤市長が県議のとき第110代県議会議長に就任し、「オーラルフレイル議員連盟」の設立いただき、本当に歯科界のことを重視してくださることに感謝し、ささやかながら祝賀会を行いました。

秋には「デンタルミーティング in 茅ヶ崎」の中で、河野太郎大臣が外務大臣のときにご来賓ご挨拶いただきました。

また、このころより講演は「8020運動」から「オーラルフレイル対策」に口腔ケアの概念が展開した内容となりました。

平成30年度では、「湘南3地域歯科医師連盟協議会」が開催され「口腔ケア」により「糖尿病」「認知症」などとのかわり合いに焦点を広げいかに医療費を削減し、健康寿命延伸のために議員、行政、歯科関係者と勉強会、協議会を行ってきました。同年に「デンタルミーティング in 茅ヶ崎」も開催し、健康寿命延伸について更なる基調講演が行われた。

令和元年度では、湘南4支部による「デンタルフォーラム in 湘南」を開催し、日歯連盟高橋会長、県歯連盟鶴岡会長はじめ多くの各議員そして先生方の中、島村大氏の選挙に向けての決意表明

もこのとき行われ、力強い歯科界のリスタートが再確認されました。

また、12月には神奈川県庁で首藤副知事と連盟役員並びに永田県議、山本県議、梶県議と勉強協議会を行い、その後中華街で食事付きディスカッションとなりました。

その後は新型コロナ感染拡大により集会が出来なくなりましたが、本年（令和4年）久しぶりに「デンタルミーティング in 茅ヶ崎」を開催し、星野衆議、島村参議、佐藤市長はじめ県議、市町議員方々と勉強協議会が行われました。特に宮坂県歯副会長によるプレゼンは、新たに顔認証システム導入等オンライン関係におけるサイバーセキュリティを万全にするよう実例を挙げた講演でした。

最後に茅ヶ崎市長選が10月30日にあり佐藤光市長候補者に県歯連盟、茅ヶ崎寒川歯科医師連盟より推薦状をこのときお渡しいたしました。

以上が今日にいたるまでの主な歩みとなります。

会 長	下 里 隆 史
副 会 長	平 田 豊 子
同	岡 木 秀 生
同	溝 上 淳 子
常 務 理 事	下 里 誠
同	西 耕 一
同	有 馬 竜 二
理 事	上 田 由利子
同	高 橋 成 明
同	小 原 裕 美
同	鈴 木 裕 介
同	今 井 洋
同	原 めぐみ
同	飛 田 尚 慶
同	朝 倉 夕紀子
同	高 橋 芳 典
同	鈴 木 淑 子
監 事	八 木 英 一
同	熱 田 直 也
顧 問	松 井 久 芳
参 与	宮 坂 宗 行
同	山 田 剛 久

平塚・大磯・二宮

平塚・大磯・二宮歯科医師連盟理事長 秋山 博



当地区の連盟活動は、昭和63年に初代戸田裕君を理事長として平塚・大磯・二宮歯科医師政治連盟という名称で発足しました。以後、故 萩原芳夫先生、故 宮尾尚文先生、有近徳幸先生、堀信之先生、杉山元先生、岡本昇先生、小見山祥吉先生、有近徳幸先生、秋山博先生と10代を繋いでおります。(平成13年に平塚・大磯・二宮歯科医師連盟に改称致しました。)

平成23年3月、第7代岡本理事長の時に東日本大地震が発生。7月に第8代小見山理事長が就任。24年暮れに民主党の野田総理は衆議院を解散。12月に総選挙が行われ自民党が圧勝し第2次安倍内閣が成立しました。この選挙で河野太郎氏は192,604票と全国トップの得票数で当選しました。平成8年より現在まで9期連続であり、この間長く御交誼を結んで頂いております。体に気をつけられまして更なる御活躍をお祈り申し上げます。第9代有近理事長は長年一市二町の歯及び口腔の推進条例制定に力を注いできました。

落合克宏平塚市長は平成23年より3期連続当選し、28年10月に「平塚市健康づくり推進条例」を制定しました。中崎久雄大磯町長は22年より3期連続当選であり、29年11月に「大磯町歯及び口腔の健康づくり推進条例」を制定しました。村田邦子二宮町長は26年より2期連続当選であり、31年3月に「二宮町歯及び口腔の健康づくり推進条例」を制定しました。

令和元年7月の参議院議員選挙は、島村大(神

奈川選挙区)、比嘉なつみ(全国比例区)両氏が立候補され、湘南4歯科医師連盟(鎌倉、藤沢、茅ヶ崎、平塚)は、5月に藤沢商工会館でデンタルフォーラムin湘南を開催し、熱い応援を送りました。島村候補は91万票と大量得票し当選しました。比嘉候補は投票日2日前に2台のレンタカーで朝8時30分に二宮を出発、大磯を通り平塚を一周し会員、家族、従業員の応援を受け茅ヶ崎へ向かいました。惜しくも次点で落選となりましたが、二年後に欠員による繰り上げ当選の大変嬉しい吉報が届きました。

令和4年7月の参議院議員選挙活動は6月9日(木)午前9時より平塚商工会議所で河野太郎国政報告会として開催。三原じゅん子候補、浅尾慶一郎候補、両候補のWeb参加、山田宏候補のビデオレターがあり、参加者は会場、Webと多数の会員、家族の出席がありました。三候補揃っての当選は大きな喜びでありました。

理 事 長	秋 山 博
副 理 事 長	久保田 守
同	郷 土 恵 久
同	井 上 正 人
専 務 理 事	杉 山 元 彦
理 事	北 田 敏 光
同	露 木 弘 幸
同	久保田 俊 哉
同	中 峰 保
同	松 本 文 夫
同	村 田 晃 一
同	戸 田 篤 志
同	吉 田 清 人
監 事	鈴 村 佑 子
同	岡 本 昇
顧 問	簗 島 利 文
同	増 井 峰 夫

小 田 原



平成17年、本連盟発足。以降17年、歴史はまだ浅いです。本会は小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町の県西地域一市三町で構成されており、広範囲に及びます。

当地域は、昔から保守基盤が強い土地柄です。その点会員相互間でも保守に対する認識が強く、したがって国民皆保険制度を維持するために、政権与党を支援するという日歯連盟の基本理念を十分に理解し、賛同を得ていると思われます。本連盟の誇れる点は、支部会員の94～95%が連盟会員であるという強固な組織率であり、またその半数近くが自民党員であることです。

本連盟では、会員から会費は徴収しておりません。県歯連盟から交付される活動費だけが資金源です。前述したように一市三町の広範囲の支部ゆえ、首長、議員の数も多く、行政母体もそれぞれ異なることから、議員を囲んでの意見交換会等は、開催が困難になります。したがって我々の連盟活動は、神奈川第17選挙区の牧島かれん代議士、参議院神奈川選挙区の島村大議員、主としてこのお二人の選挙に全力を注いでいるのが実情です。特に島村大議員に対しては、我々は島村大応援団を自負しております。

本会に新入会員が入会してくる際、理事長として必ず伝えていることがあります。「政治にそれほ

小田原歯科医師連盟理事長 椎野喜一郎

ど関心が強くなくても、それは人それぞれです。しかし、先生が今後歯科診療を続けてゆくうえで、知っておいてほしい事があります。歯科界の為に日々汗を流して活動している神奈川県選出、県歯会員の島村大参議院議員の存在です。ぜひ、島村大さんの応援団の一員になってください！」この様な話をして連盟加入を勧めております。小田原の連盟会員、約110名、これからも微力ながら連盟活動頑張ってます。

理 事 長	椎 野 喜一郎
副 理 事 長	河 野 孝 栄
同	杉 山 健
理 事	大 木 克 良
同	金 子 亮
同	川 瀬 和 也
同	夏 目 宗 治
同	新 村 徹
監 事	片 山 仁
同	吉 田 太 一
顧 問	安 西 順 一
同	河 野 力
県 歯 連 盟 幹 事	椎 野 喜一郎
県歯連盟(DM)評議員	河 野 孝 栄
県 歯 連 盟 評 議 員	椎 野 喜一郎
同	河 野 孝 栄
同	新 村 徹
県歯連盟予備評議員	夏 目 宗 治
同	金 子 亮
同	吉 田 太 一
衆議院第17選挙区連絡責任者	椎 野 喜一郎
島村大神奈川県歯科医師後援会副会長	椎 野 喜一郎
島村大神奈川県歯科医師後援会幹事	河 野 孝 栄

厚 木

厚木歯科医師連盟理事長 高熊達朗



義家弘介衆議院議員を厚木歯科医師会にお招きし、
地域歯科医療の課題等についての懇談

2022. 4 .14

このたびは、神奈川県歯科医師連盟創立70周年記念誌の発刊に際し、激動の10年を会員と共に歩んでこられた、鶴岡会長をはじめ、歴代の県歯連盟執行部の皆様に、衷心より感謝とお礼を申し上げます。

思い起こせば今から10年前、東日本大震災の復興支援が本格的に始まる中で、大規模災害時における救急医療における歯科医師の役割についての議論を筆頭に、10年間に実にさまざまな政治課題が出現し、特に2020年以降は、新型コロナウイルス感染症対策について、そして今春にはウクライナ危機を端緒とする希少金属価格の高騰などの諸課題の解決に向けた活動に厚木歯科医師連盟の会員が一丸となって取り組んでまいりました。

また、10年間に3回の衆議院解散、4回の参議院選挙、そして2回の統一地方選挙が執行され、その都度、厚木歯科医師連盟として高橋庸元会長、馬場賢輔前会長を中心に、各推薦候補の当選を目指して活動を続けてまいりました。

さらに、国政への要望活動と並行して厚木歯科医師連盟独自の取り組みとして、管内の厚木市長、愛川町長及び清川村長への要望活動や、「厚木市議会議員との地域歯科医療について考える会」と題しての要望活動を毎年開催し、各自治体における歯

科医療政策関連事業の充実に努めてまいりました。

2025年以降の「超高齢社会」の中で、歯科医療の役割りはますます増大し、社会的要請にしっかりと対応するためには、連盟活動を通じて、国及び地方自治体の諸制度の確実な改革を推し進めることが不可欠です。

これまでの10年がそうであったように、これからの未来が地域の皆様と私たち歯科医療界にとって輝かしい時代となりますようご祈念申し上げ、記念誌発刊にあたってのあいさつとさせていただきます。

理 事 長	高 熊 達 朗
副 理 事 長	上 杉 英 作
同	柴 田 豊
専務理事(DM)	佐 藤 宏 憲
常任理事(支部長)	秋 山 眞 一
同	和 田 力
同	植 木 公 一
会 計 理 事	串 田 祥 生
理 事	中 島 晃
同	鍵和田 信 行
同	串 田 祥 生
同	山 下 千 穂
同	鈴 木 本 彦
同	川 井 輝 樹
同	小笠原 貴 幸
同	森 厚 二
同	水 野 洋 一
同	辻 内 基 樹
同	北 山 博 嗣
同	青 木 誠 司
同	近 藤 元
監 事	会 田 喜 久
同	大 山 守 彦

海 老 名 市

海老名市歯科医師連盟理事長 山川晃司



神奈川県歯科医師連盟創立70周年おめでとうございます。昭和29年設立以来本会の両輪となり、会員のため、そして歯科医療の向上のため、御尽力いただき役員の方には本当に感謝申し上げます。

政治連盟と本会の峻別を行うようにとの意向を受け、歯科医師政治連盟から、歯科医師連盟に名前を変えて今までに至っております。本年度より神歯本会の一部として再スタートを切っていることと思います。

当海老名市歯科医師連盟も、これに合わせて活動してまいります。会員のメリットになることでの活動においては、地域歯科医師連盟は地元の市会議員、市長をはじめとして、県会議員との付き合いを重要視して活動してまいりました。来年度より海老名市は県会議員が2名選出ということになり、次期の選挙においてどう対応していくか協議中であります。

海老名市は幸いなことに、現市長（内野まさる氏）をはじめとして、市議会議員、海老名市行政の方々、県会議員との関係は良好であります。この3年間は御存知のようにコロナ禍において、なかなか懇親を深めるという行事は難しい状況にありました。その間においても、さまざまな行事に参加させていただき、その場で意見交換等を行うようにして参りました。

国会議員に関しては難しく、どの範囲まで活動すべきか、役員会を開き未だに検討中であります。特に次回の衆議院選には、神奈川13選挙区から16選挙区への鞍替え等があり、今後の他地域との連携も問題になってくると思われます。参議院選挙

は今回でもありました、自民党2名で、最低4位以内当選にということでありましたので、対応に苦慮したところです。次期の参議院選挙においては、島村大議員を中心に運動してまいります、また2名となると難しくなります。

会員への周知に関しては、LINEグループを創設し連絡しているところではありますが、未だFAXのみの会員に関しては、本会事業も含め今後の検討改善が必要だと思われます。

我々海老名市歯科医師連盟は今後も地域を中心に、会員の無理のない動員機会や、地域医療における、市民へのより良いサービスの提供と、会員へのメリットを損なうことのないよう、執行部との両輪で活動してまいる所存であります。

連盟会員の皆様これからもどうぞよろしくお願い致します。

理 事 長	山 川 晃 司
副理事長(総務)	国 分 真
副理事長(会計)	盛 田 健 司
理 事	前 谷 久
同	千 葉 容 太
同	中 村 盛 幸
同	添 原 隆 史
同	坂 上 雅 史
顧 問	三 宅 壯 平
同	志 村 昌
監 事	鈴 木 仙 一
同	石 渡 靖 夫

県 歯 連 盟	
幹 事	山 川 晃 司
評 議 員	山 川 晃 司
予備評議員	国 分 真
D M	中 村 盛 幸
県歯連盟情報調査委員会	盛 田 健 司

座 間 市

座間市歯科医師連盟会長 武藤 昇



2013年島村大先生が、参議院選挙に立候補し初当選、それから毎年、座間市の遠藤市長の新春の集い、甘利明議員の新春の集いに参加され、私たちの歯科医師会を強くサポートしてくれました。

座間市は、市議会議員（最大派閥のいさま）、芥川薫県議会議員、遠藤市長が自民党でした。座間市、神奈川県、国が太いパイプで繋がっているのです。座間市歯科医師連盟として活動しやすかったです。甘利議員が立候補する13区では、大和、綾瀬、海老名、座間が協力し合い、デンタルミーティングなどの活動をとおり、甘利議員の応援をしています。

2018年島村大座間市歯科医師後援会を結成し、活動しやすい環境を作りました。

2019年神奈川県選挙管理委員会に、座間市歯科医師連盟を政治団体として届出をし、申告をスタートし、歯科医師連盟のお金について明確化しました。

座間市市議会議員の中で、いさま（自民党）とはよく勉強会を開催し、懇親を深めています。議題は今、注目されているオーラルフレイルについてです。市議もオーラルフレイルに関して興味があり、重要性をよく理解しています。座間市歯科医師連盟は市議と協力して、座間市にオーラルフ

レイルの認知度を広めてゆきたいと考えています。

連盟の会長になって、連盟の大切さ、初めてわかりました。島村議員が歯科界の為に尽力され、感染拡大防止支援金など多くのお金が給付されました。歯科界をよくするには、政治が必要不可欠ということがよくわかりました。

県歯連盟デンタルミーティングでの勉強会はとても勉強になりました。8020運動、オーラルフレイル、歯と全身との関係、歯の残存歯数が多ければ長寿、病気を未然に防ぐには悪くなる前にお口のチェック、大病を起こさないためには歯周病のチェック。日歯連盟はお口と全身に関してポスター作ってくれたので、患者に歯の重要性をアピールできました。今後、島村議員はもちろんですが、山田議員、三原議員にも、これからも歯科界の為に頑張ってもらいたい。そして、日本歯科医師連盟が掲げる歯科健診で実現する「7つのメリット」①お口のトラブルを未然に防げる②むし歯早期発見、早期治療③歯周病の予防ができる④健康で長生きできる⑤全身の病気の予防⑥高齢まで歯を残し元気に⑦治療費を抑えられる。日本国民に、お口を健康にすることが全身の健康に繋がることを、もっともっとアピールしてもらいたい。

会 長 武 藤 昇

副 会 長 赤 羽 秀 哉

理 事 須 藤 真 行

同 渡 辺 亮

監 事 金 井 雅 仁

秦野伊勢原

秦野伊勢原歯科医師連盟理事長 新倉良一



秦野伊勢原歯科医師連盟は、一般社団法人秦野伊勢原歯科医師会と協調して会員のための事業を遂行しています。特に、我々の声を立法府、行政に届けるための政治活動は連盟の大切な仕事です。以下、当連盟の歩みを記します。

歴代理事長は、2011年4月より守岡憲二、2013年7月より新倉良一、2015年7月より大塚哲也、2021年7月より新倉良一が就任しています。

政治活動としては、当地区の衆議院選挙区は秦野市17区と伊勢原市16区になります。17区では、2009年4月に河野洋平代議士の後継として牧島かれん氏を秦野市歯科研修センターにお迎えして講演会を実施、以後引き続き応援しています。16区では、亀井善太郎代議士の後、2012年12月に義家弘介氏が当選し、現在も応援しています。

参議院は地方区の島村大議員、比例区は県歯推薦の与党議員を応援しています。

行政との関係は大切に、秦野市では、古谷市長に続き、高橋市長を応援し、行政と良好な関係を築いています。

伊勢原市では、高山市長が2012年9月の当選以来応援しています。また、会員の萩原鉄也君が2012

年9月に伊勢原市市会議員に当選しました。2期目も当選しています。伊勢原市の健康いせはら21計画の基本方針4本柱の一つは、“歯・口腔の健康づくり”です。伊勢原市と風通し良く、歯科保健に対して多くの理解が得られました。なお、コロナ下では実施していませんが、以前は、両代議士、両市長とも、年末の当会会務報告会に出席してくれて、会員と親交を深めています。以上、連盟は、会員の声を中央に届けるための活動を続けています。

理 事 長	新 倉 良 一
副 理 事 長	前 島 洋 一
同	山 田 敏 勝
同	萩 原 鉄 也
理 事	鎮 目 正 美
同	清 田 耕 造
同	渋 谷 良 江
同	越 光 義 明
同	関 英 雄
同	北 村 政 昭
同	佐 藤 満
同	高 橋 滋 樹
同	添 田 博 充
同	和 田 金 介
同	山 口 徹
同	田 中 裕 介
同	平 野 壯 明
同	清 水 崇
監 事	田 代 圭市郎
同	石 倉 英 治
顧 問	大 塚 哲 也
同	井 上 泰

足 柄

足柄歯科医師連盟理事長 栢山義彦



平成7年(1995)4月 田村良三先生の尽力により足柄歯科医師政治連盟が発足しました。連盟は歯科医師会と車の両輪と言われ、歯科医師会の事業が円滑に進むよう、対外交面を担う活動から始まりました。近年 歯科界の展望は今まで以上に会員が政治に目を向け、政治力に頼らねばならない現状であります。また、地域医療の伸展と確立の為には、行政との協力体制が必要であり、当地区では首長の時局講演会の開催を通じて、対話・懇親を深め、支援要請し、事業を展開しています。

当地区での選挙は一市五町の行政支援であります。結果を見ますと

平成27年4月12日 県知事選挙 黒岩祐治知事
平成30年10月23日 中井町長選挙 杉山祐一町長
平成30年12月9日 大井町長選挙 小田真一町長
平成31年4月7日 県議会選挙 杉本透県議
平成31年4月21日 開成町長選挙 府川裕一町長
平成31年4月21日 南足柄市長選挙 加藤修平市長

令和元年7月21日 島村大氏当選
第25回参議院選挙神奈川選挙区 島村大 2期目の当選

令和元年11月14日 組織力強化対策協議会
- 令和元年度組織力強化に関する協議会 -
県歯会館開催、足柄組織率100パーセント。

令和元年11月28日 デンタルミーティング、幹事会・DM会合同会議

島村大参議院議員 診療報酬への願い
令和2年6月17日 県歯連盟評議員会
新型コロナウイルス感染拡大対策防止として書面決議

令和3年9月5日 松田町長選挙 本山博幸町長再選

令和3年10月31日 牧島かれん氏再選
第49回衆議院選挙神奈川17区
牧島かれん氏当選

令和4年2月17日 政連から連盟へ
総会にて足柄歯科医師政治連盟から足柄歯科医師連盟への名所変更議案が承認された。
県下名称変更最後の連盟。
コロナ禍 宴会中止続く。

令和4年6月23日 島村大議員WEB国政報告会
県歯連盟と総会がバッティングした為WEB開催

令和4年7月10日 山北町長選挙 湯川裕司町長4期目当選

第26回参議院選挙 比例区 山田宏氏当選
神奈川選挙区 三原じゅん子氏当選
浅尾慶一郎氏当選

令和4年10月20日 島村大政策セミナー：キャピトルホテル東急
顔ぶれは小泉進次郎氏・菅義偉氏・河野太郎氏・・・
栢山・海瀬参加

次期参議院選 総戦力で戦う決意を確認しました。

理 事 長	栢 山 義 彦
副 理 事 長	三 橋 英 文
同	藤 井 俊 治
専 務 理 事	村 山 直 基
理 事	小 山 浩 介
同	金 子 勝
同	恵 周一郎
同	村 山 直 基
同	齋 藤 大 輔
監 事	渋谷 広 之
	辻 村 文 也

島村大の10年 2013年～2022年 ー神奈川県歯科医師連盟と共にー

私が神奈川県歯科医師連盟に入れていただいたのは、平成2年に横浜市保土ヶ谷区のビジネスパークで診療所を開業した時です。30歳でした。以来、地域の多くの患者さんたちと接する中で、歯科医療のみならず、人生や哲学、経営のことまで、実に多くのことを学ばせていただきました。

健康で長生きするには国の社会保障が必須です。一方、急速に少子高齢化が進めば財源は尽きてしまいます。ではどうするか。私は日々診療室

から社会を眺め、いつか自らの手で、持続可能な社会保障制度を構築したいと考えるようになりました。人生のうち、自立して健康で自分らしく過ごせる期間をなるべく長くすること、それが「健康寿命延伸」です。

連盟入会から23年後。機は熟し、この「健康寿命延伸」を公約に掲げ、平成25年に神奈川県選出の自民党公認候補として参議院選挙に出馬、初当選を果たしました。2013年、53歳の時です。



①2013年（1年目） 初当選

7月21日、神奈川県歯科医師連盟の皆様の絶大なご支援のもと初当選。国会議員1年生となりました。歯科の職域代表ではなく神奈川県選出。歯科だけでなく、ありとあらゆる分野に精通しようと一生懸命でした。

8月2日 初登院



②2014年（2年目） 参議院 ODA 調査派遣

参議院では任期6年の間に1度、ODA（政府開発援助）調査のために途上国を視察します。この年はフィリピン、ベトナム、モルディブ、カンボジアの4カ国を訪問。

マレ島に向かう議員団



③2015年（3年目） 参議院政策審議会でテーマ提供「損税」

年末の診療報酬改定を見据え、参議院政策審議会（勉強会）で、医療費にかかる消費税問題を取りあげてもらいました。現場の代弁者として、損税の問題点と現状について熱弁。

6月24日 参議院政策審議会

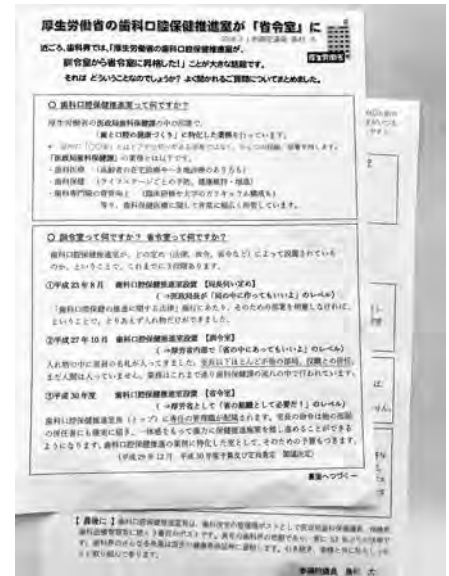




④2016年（4年目）初めての代表質問

通常国会での厚生労働委員会で、歯科衛生士と歯科技工士の重要性をあらためて訴えました。

また、11月には厚生労働委員会筆頭理事として、初めて本会議の代表質問に立ちました。
4月21日 参議院厚生労働委員会



⑤2017年（5年目）厚生労働委員長就任 厚生労働省設置法改正案は、厚労省のトップ「事務次官」と同クラスのポスト「医務技官」を新たに設置する

という法案です。厚生労働委員会で私が質問に立ち、「歯科口腔保健推進室」についても聞いてみました。この質問が、のちの省令室化への大きな一歩となりました。11月には参議院厚生労働委員長に就任。

6月8日 省令室ペーパー

11月1日 厚生労働委員長就任



⑥2018年（6年目）働き方会改革関連法案が成立

一定以上の時間外労働への罰則や、「同一労働同一賃金」へ向けた規定の整備など、時代に即したこの法律の成立は、参議院厚生労働委員長としての大仕事でした。

6月28日 厚生労働委員会

6月29日 参議院本会議



⑦2019年（7年目）2期目再選！

初当選から6年。あらためて「健康寿命延伸のために！」「医職住、日本一の神奈川に。健康長寿、世界一を神奈川から」を公約に掲げ、見事再選。選挙後、国民歯科問題議連の事務局長を拝命し、総会や勉強会を活発に開催。

7月 猛暑の選挙戦

7月21日 二期目当選！

10月4日 選挙後初登院

11月26日 診療報酬改定勉強会

11月28日 菅官房長官へ要望



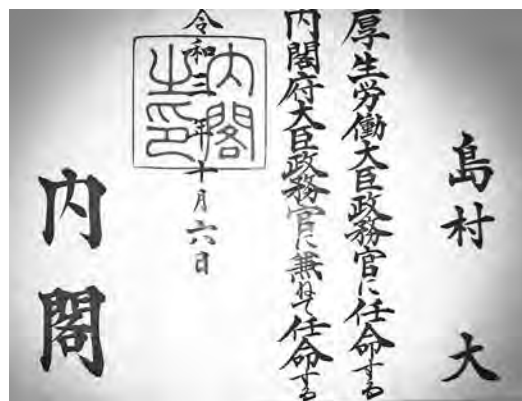
⑧2020年（8年目）新型コロナ感染拡大

国を挙げてのコロナ対策に奔走するとともに、コロナ禍における歯科医師の役割を模索。4月からは歯科医師のPCR検査協力が可能となりました。

7月29日 羽田空港検疫所視察

8月27日 厚生労働部会





⑨2021年（9年目）厚生労働大臣政務官兼ワクチン推進担当大臣政務官就任
4月23日、ついに歯科医師によるワクチン接種が認められました。10月からは厚労大臣政務官として国のコロナ対応に奔走。
10月6日 大臣政務官就任
10月6日 大臣政務官辞令交付



⑩2022年（10年目）コロナの収束に向けて。希望する全ての方へワクチンが行き渡るように
年明けからワクチンの確保や市町村、職域、学校、大規模会場などそれぞれの接種体制の整備に尽力。
（左）ファイザーワクチンの搬入出
（右）ワクチン接種の工程

今後に向けて

神奈川県歯科医師連盟の皆様の後押しにより、この10年の間、走り続けることができました。ここにあらためて深く感謝の意を表します。当選当時は、皆様へご恩を感じつつも「神奈川県選出の身、歯科だけを間張るわけにいかない」とも考えていました。しかし10年経った今、「神奈川の、歯科医師の参議院議員」として、国会においても、

神奈川県においても多くの方々が認識くださるようになりました。その上で私を頼ってくださったり、ご指導くださったりしています。これからも、選挙区選出の医療人の議員として、「医療のことなら島村さんに」と気軽に聞いてもらえるような存在でありたいと思います。「国民目線」と「現場主義」、この言葉を心に掲げ、皆様とともに次の10年も歩んで参ります。引き続きよろしくお願い申し上げます。



神歯連盟の動き

神歯連盟NEWS・Timesで見る10年

2013年 新年所感

参議院議員
石井みどり



新年明けましておめでとうございます。本年も先生方にとりまして佳き年となりますよう、お祈り申し上げます。平素より格別のご指導、ご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。私も先生方に国会の場へ送り出していたいただいから6年目を迎え、本年が1期6年間の節目の年となりました。先生方のご指導の下、歯科界の更なる発展のために働いてまいります。現在、議員になる前には思いもよらなかった新たな大きな目標が目の前に屹立しています。指導・監査・行政処分の問題を研究すれば研

究するほど根拠法である「健康保険法」の改正が必要だと考えに至りました。保険指導は矯正医療の推進が主題の一つですが、健康保険法実施のための省令である療養費担当規則と診療報酬点数表を絶対視した指導が行われていました。指導が医療費削減の手段となり、全国各地で萎縮診療がおこっているこうした現状を改善し、不安と混乱に陥れているこうした現状を改善し、適正かつ必要な歯科医療の提供を図るために、根拠法である「健康保険法」の改正が、もう1期、立法府を目指す最大の目標となりました。これからの歯科界の展望を考えると、大きく分けて6つの目標が必要だと考えています。

①国民皆保険制度を守ること。②生涯を通じた切れ目のない歯科健診システムを確立すること。③口腔機能の維持・増進と総合的な在宅歯科医療を推進すること。④事業税非課税の特例措置を存続し、診療報酬にかかる消費税負担の軽減を目指すこと。⑤歯科医療専門職の活動の場を拡げること。⑥健康保険法の改正を目指すこと。これらの目標を達成し、歯科界の未来を切り開いてまいります。

1期6年間の任期で終了したのでは、国会へお送り頂いた先生方のご期待に未だお答えして

いません。私は全国の先生方から掛けて頂いた期待と自らの使命を果たす義務と責任があります。是非、もう1期働かせて頂きたい、国民の方々から信頼され、尊敬される歯科医師を多くの若者が目指すような歯科医療政策の実現のために、働かせて頂きたく心よりお願い申し上げます。

昨年10月31日、第17回臨時評議員会にて候補者としてのご推薦を決定して頂きました。これからは全国津々浦々を回り、一人でも多くの先生方にお会いし、今後、何を目標としているのか力強くお訴えしてまいりたいと存じます。勝負はこれからです。

7月の第23回参議院通常選挙に向けて全身全霊を尽くして戦ってまいります。

特に御地神奈川県におかれましては、島村大先生が参議院神奈川県選挙区から立候補されま

す。島村大先生におかれましては、日本歯科医師連盟理事長、神奈川県歯科医師連盟理事長として、政治活動を積極的にかつ果敢に展開され、わが国の歯科医療、口腔保健の充実発展のために貢献してこられました。ここに深く敬意を表

しますと共に感謝申し上げます。

この度、「医職住日本一の神奈川県」を掲げ、これまでのご経験・ご実績を、今後は国政の場において発揮する決意を固めました。

島村先生のお人柄・卓越したリーダーシップ・幅広い人脈は、わが自民党の期待の星であり、必ずや神奈川県発展と日本の社会保障政策に貢献頂けるものと確信しております。皆さまの大きなお力でお支え頂き、初志貫徹、必ずや所期の目的を果たされますよう、私も同志としてご支援申し上げ、共に戦ってまいります。

神奈川県歯科医師会の先生方には、これまでの5年6か月、本当に温かいご支援とご指導を賜りました。

これまで以上の温かくも厳しいご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【石井みどり議員の挨拶詳細は県歯連盟HP参照】

神 歯 連 盟 NEWS

第97号

平成25年1月1日 発行

○発行人 意田 篤 ○編集人 正木久秀・意田 洋行 ○委員 島田 謙一 船山 雄一 堀田 耕一 ○Q&A (G81) 2172

目次	年頭ご挨拶	「一灯」・記念講演	1頁～3頁
			4頁



神奈川県歯科医師連盟会長
富田 篤

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。年末は山中伸弥教授のノーベル医学生理学賞授賞式といった素晴らしい慶事もありましたが、衆議院選挙も行われ、誠に忙しない師走でありました。一昨年の3.11大震災、福島第一原発などの復旧・復興も遅々として進まないことを大きな理由の一つとして、野党は解散を要求。そして12の党が名乗りを上げ、それぞれの「思い」のみを精一杯述べるばかりであったように思います。そして、選挙、国民が期待し、一票を投じて新政権が誕生。新政権も重い責任を担ってのスタート。会期中に与野党が足を引っ張り合うことなく、力を合わせてこの国を、よき方向にリー

ドし、政策を推進して欲しいものであります。我々ももしっかり監視の目が必要だ。外交・経済の一つ、TPP一つを考えても、世界に冠たる日本の公的保険を揺るがすようなことはいとおっしゃる政治家もおられるが誠に心配であ

る。テレビのCMで外資系民間保険会社の数、扱う疾病保険の数々……。

国民としてなしている協力を積極的にに行いつつ、専門職歯科医師として国民に向けて、咬合支持、咀嚼、嚥下、会話など口腔機能を失うことがどれほど不幸なことであるかを訴え、そうならないような方法を色々な手段で伝え続ける必要があると訴えます。それは口腔機能に対する国民の価値観をアップさせるということであり、これについては積極的に日歯連盟に対しても訴えて参ります。

医療の進歩に伴い、歯科医療保健を推し進めるための政策を立案、施行されるよう働きかけをし、そうしたことを効率的に具現化するためには、歯科医師を国政の場に送り込むこと、歯科医師を公務員、官僚を増やすことが効果的であります。本年7月には参議院議員選挙が行われます。現職の職域代表自民党の石井みどり先生を全国区比例代表候補とし、また島村大先生は神奈川県選挙区自民党公認候補として出馬いたします。

本連盟の使命は会員の生活を拓くがことな

一 灯

衆議院議員選挙にかかる費用は約600億といわれる。衆議院定数は480名であり1名当たり1億2500万円。国民としては、できることなら解散をせず任期いっぱい働いていただきたいと思う。

選挙前に14党が誕生し、結果的に12党から候補者が出馬、いわゆる無党派層の有権者はだれを選んだらいいのかが非常に迷い、そして選挙は棄権する人も多かったのではなかろうか。なぜ

12もの党が誕生したのか、それは考えを異にする愛国の上が旗を掲げ、それに賛同する者が馳せ参じたのか、そうばかりとは思えない。何とか生き延びるために、党を移動した議員もいたように思う。

さて、本年は参議院選挙、自民党公認候補として蔵域から石井井どり先生、神奈川選挙区から島村大先生が出馬される。全力を尽くし、当選させる。同時に、歯科への適正な評価を受け、国民を味方にしていく努力を続けていかねばならないと考える。

文責 富田 篤

岡本行夫氏を迎えて記念講演会開催

～我が国の危機を乗り越えられるか、そしてこの国を守るの誰か？～



講演する外交評論家・岡本行夫氏

平成24年11月8日(木)に、神奈川県歯科医師連盟創立60周年記念講演会は、外交評論家としても名高い岡本行夫氏を講師に招き開催された。

岡本氏は外務省退官後、政府機関では総理大臣補佐官を務めるなど活躍され国際問題の専門家として企業へのご助言や報道媒体を通じて広く我々にもメッセージを発信してこられた。

今回の講演では、昨今の国際情勢の中での中国と日本との問題を取りあげてお話をされ、特に尖閣諸島の領有権をめぐる日中の解釈

の相違点、日中防衛予算の比較、日本にとっての抑止力とは何かという話題では外交官としての経験から歴史的事柄にも言及されて解りやすく解説されていたのが印象的であった。

また、これからの日本がどのような方向に向かうのか示唆するように、日米安保条約の意義や沖縄の米軍基地問題、東日本大震災による福島第一原発事故への対応や今後の提言などへも話題がおよび、あらためて私たちが考えていかなければいけない問題の多いことに気づかされる講演であった。

講演後、富田会長より感謝の意を表し、拝聴した方々より万雷の拍手が湧き盛会のうちに閉会となった。

日大歯同窓会神奈川県支部にて、島村大先生の支援を決定

平成24年10月27日(土)ローズホテル横浜にて日本歯科学会・松戸歯学部同窓会神奈川県支部は次期参院選神奈川県選挙区に出馬予定の島村大先生をお迎えし、出馬の決意を聞いた。

宗正有功会長は、同窓会員の全員が団結して応援していくと約束し、握手で島村大先生を激励した。



島村大先生と握手する宗正会長



新年あけましておめでとございます

参議院議員
西村まさみ

先生方におかれましては、新たな年の初めを迎え健やかにお過ごしのことと、お慶び申し上げます。また、旧年中は、私の政治活動に対して格別のご指導ご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の第18回通常国会におきましては、社会保険と税の一体改革関連8法案が可決成立いたしました。私も参議院社会保険と税の一体改革の特別委員に、民主党の中で1年生議員としては唯一任命されました。7月11日に民主党会派を代表して参議院本会議において野田総理へ質問に立ち、また、20日には委員会において質問をしました。このような機会を頂きましたのも先生方のご支援の賜物と改めて感謝を申し上げます。内容は、歯科界だけではなく国民の皆様にとって最も関心の高い消費税増税分の使い途について安住財務大臣に質問し、全額社会保険料に充てるとの答弁を頂きました。また、社会保険診療報酬額については消費税が非課税とされていますが、現行の診療報酬体系では、医療器具等の仕入れに係る消費税の負担を強いられ、明らかな不当を政府が講じるよう質問しました。これに対して、中医協の分科会には歯科医師を

含めた専門家を入れ、十分な意見聴取を行い、的確な対応をする必要があるとの回答を得ました。1月に設置された国民会議においてもこの点についてしっかりと議論される必要があります。

また、平成25年度厚生労働省予算概算要求においては、財政状況が厳しい中、歯科の新規事業が盛り込まれ、歯科口腔保健の推進に関する法律を踏まえ口腔保健推進事業に9200万円、身元確認に資する診療情報の標準化の検討やモデル事業を行う歯科診療情報への活用に2100万円を要求しました。予算要望活動については大久保日歯会長、高木日歯連盟会長をはじめ役員の方先生方とともに奥石幹事長をはじめ役員に対して、歯科界が抱えている課題、問題を少しでも周知して頂けるよう精力的に活動しました。

本年も、多くの先生方からお声をいただいた際の指導のあり方方の問題や「歯科口腔保健の推進に関する法律」を普及・推進するための省令に基づく室の設置など日歯・日歯連盟の制度要望を一つでも多く実現できるような活動して参ります。そのために、会員先生方のご指導を賜り、またお知らせを拝借し、引き続き職域代表の石井みどり先生にご指導いただきながら、本年も先生方のお役に立てるよう努力いたします。

結びに、神奈川県歯科医師連盟の益々のご発展と先生方の今年一年のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ新年のごあいさつとさせていただきます。



お知らせ
島村大先生の情報をホームページに掲載してあります。ご参照下さい。
①「CafeSte」カフェステトーク 国会・三原しゅん子参議院議員
②神奈川県5区・さいわい学・県区政研会の広報掲載

【神奈川県歯科医師連盟 F A X ニュース号外（討議資料）】

好漢島村大、ついに立つ

参院選神奈川県、激戦の全県区に立候補へ

前回参院選、歯科代表候補者選考にて、わずかに票足りず、涙を飲む
神奈川県歯科医師連盟理事長および日本歯科医師連盟理事長を歴任

○日歯連盟高木会長の片腕として、ロビー活動の急先峰

マイナス改定必至といわれた 24 年度改定を
まさかの 1.7%プラス改定に大逆転
今回、自民党候補として絶好の機会を得る

～ 捲 土 重 来 ～

- 石井みどりの最強ライバルは島村大だったが、二人が並び立つことにより、さらなる期待がかかる。（歯科界は伏竜と鳳雛を得るか）
- 参院選比例区（石井みどり）は23万票必要だが、
参院選全県区（島村大）は最低80万票必要（歯科界だけでは無理）
この80万票を取るには、国会・県会・市会議員の力が必要
- 来年の県会・市会議員選挙（統一地方選挙）での後押しを確約して、
島村選挙を助けていただき、地域を盛り上げましょう！

追い風でも逆風でも、島村大はいつもの立ち位置で
飄々とした風貌を見せながら
虎のように戦う

歯科界最後の切り札“島村 大”51 歳、最後のチャンス

島村大 神奈川県歯科医師後援会発会式

1月31日(木)午後6時より、神奈川県原宿区師会館5Fにて島村大神奈川県歯科医師後援会発会式を行った。当日は中村省司県議と佐藤光県議が出席し、後援会発会式に花を添えた。



島村大神奈川県歯科医師
後援会発会式



島村大神奈川県歯科医師
後援会発会式

石井みどり 神奈川県後援会・ 島村大神奈川県歯科医師後援会支援推進会議 ～参議院選挙に向けて一致団結～

2月14日(木)午後3時から神奈川県歯科医師会館地階大会議室で、職域代表・石井みどり神奈川県後援会及び島村大神奈川県歯科医師後援会支援推進会議が開催された。

司会は正木県歯連盟理事長が務め、開会の辞を村岡副会長が述べた。

挨拶に立った富田会長は、昨今の国際情勢や国内は憂慮すべき状況であることを述べ、我々には如何に政治力が必要か、実例を挙げて話された。

報告に移り、難波常務理事から配布資料の確認があり、正木理事長からその詳細な内容の説明があった。

協議に入り、会場から石井みどり支援者名簿の記載について様々な意見が出され、県歯連盟に対し、記載方法を判りやすくして欲しいと言

う要望があった。

島村大氏に関する説明は、後援会幹事長の鶴岡裕亮先生が行った。島村氏の選挙戦は神奈川県全県にわたることから、選挙参謀の必要性や選挙対策の本体をどこに置くか(自民党県連か歯科医師会か)を明確にすべきと出席者より意見が出された。これから7月の投票日までの戦い方が実感される熱を帯びた討議が行われた。

ここで、島村大氏が来会され、今までの参議院選挙出馬決意の経過と意気込みを語り、その後、出席者一同で「ガンパローコール」を行った。

最後に職域代表の石井みどり氏の交友である高橋副会長から閉会の辞が述べられ2時間に及ぶ会も無事閉会となった。

神 歯 連 盟 NEWS

第98号

平成25年5月7日 発行

神奈川県歯科医師連盟

○発行人: 島田 真 ○編集人: 森 洋行 ○委員: 嶋田 潤一、鈴木 雄一、飛田 孝、吉田 耕一 ☎045(681)2172

[石井みどり] 活動報告

4月4日 県歯会館で決起大会開催



7月に予定している参議院選挙では、比例代表選挙区(全国区)に「石井みどり」氏が職域代表として立候補を予定しており、本連盟では推薦をしています。



<http://kdrenmei.on.arena.jp/>

平成24年度 第3回 評議員会

《平成25年度予算に関する3議案を可決》

3月21日(木)午後6時から平成24年度第3回評議員会が県歯会館「大会議室」で行われた。点呼の後、杉山副会長の開会の挨拶で開始された。

富田会長は挨拶で、先の「デンタルミーティング」は大きな反響が全国から寄せられ大変意義を催してあったこと、そして7月の参議院選挙の勝利をめざして、本会と手を携えて戦っていくことを力強く述べられた。

高橋紀樹県歯会長の挨拶では、政府の医療費削減政策によって保険医療制度が崩れかけていると話され、平成元年より行われていた8020運動が国民に浸透して、早くも成果がでてきている現状から如何に歯の健康が全身の健康に貢献しているかを強調して話された。

報告に移り、庶務及び事業報告を小泉常務理事がおこない、その中で物故会員に対して黙祷を捧げた。組織対策委員会として宮坂常務理事が年々原歯連盟入会者の数が退会者の数を上回ってきている傾向を報告した。

日歯連盟評議員会報告は、村岡副会長が翌日(22日)の日歯連盟評議員会の予告も併せて行った。



挨拶する富田会長



会計報告を行なう村上常務理事

続いて議事に入り、第1号議案 平成25年度事業計画(案)に関する件を正木理事長が提案説明し採決により可決承認された。第2号議案 平成25年度会費賦課並びに収納方法に関する件を村上常務理事が説明した。これは第1種会員から種別変更された場合に会費を徴収しないことで連盟会員として留まっていただけに組織率維持には重要な問題となる案件として審議し、可決承認された。第3号議案は一般会計平成25年度収入支出予算(案)に関する件で前議案同様に村上常務理事が説明を行った。本件には事前質問があった。

内容は来年度予算における政治活動費が選挙の年にもかわらず昨年より減少していることへの質問でフロアから同様な質問が出された。答弁に立った富田会長は「会員から預かった大切な会費であるので今回の選挙活動だけに使用するものではないと考える」として他の評議員からも様々な意見、質問、要望もあったが、採決に移り原案通り可決承認された。

閉会を高橋副会長が活発な審議に対し感謝をこめた言葉で締めくくりに、評議員会議は終了した。

県下の選挙区から国会議員も多数出席で盛大に

平成24年度 神奈川県歯科医師連盟
デンタルミーティングINかながわ



メインコメンテーターの河野太郎議員

べられた。最後に高橋紀樹県歯会長からは、近年高齢化が進む社会において社会保障制度を充実させるためには政治力は欠かせないと強調し挨拶を締めくくられた。

正木理事長より来賓の紹介に続き、出席された県下選挙区の自民党衆議院議員に、総選挙で政権奪還したことに寄らず「アベノミクス」に代表される経済再生を軸に社会保障・保険医療制度の今後への決意を含めて挨拶を一人ずつ行った。

基調講演は村岡副会長、宮坂常務理事がコンビネーションよくまとめた「ファイナル」から今後の歯科医療政策の課題を講演した。

引き続き本日の目玉であるデンタルミーティング「歯科医療政策に関する課題について」ファイナルから読み取るものへは、高橋副会長を座長に河野太郎衆議院議員をメインコメンテーターをお願いして、歯科医師の立場から大曽根日歯連盟副会長、村田日歯連盟副理事長、村岡県歯連盟副会長、島村次郎参議院選挙立候補予定者がそれぞれの立場で発言し、現在の歯科医療政策に対する矛盾点や要望等も活発に議論された。

その後、会場からの質疑応答では、「マイナンバー制度の導入問題」「税と社会保障制度」「TTP加盟となった場合の医療制度に及ぼす影響」にも話題がおよび、これからの厳しい現実も実感させられた。

2時間を超えるデンタルミーティングも県歯会大会議室満員の聴衆から、ガンパローコールがおくられ閉会となった。

年度末の月となり、何かと慌ただしさも感じる3月2日(土)18時から県歯会館大会議室において「デンタルミーティングINかながわ」が、昨年12月の総選挙で当選された県下18区の自民党議員をお招きして行われた。

冒頭挨拶に立った富田県歯連盟会長は国会会期中にもかかわらずご出席いただいた議員各位に対してもかかわらずご出席いただいた議員各位に科医療を述べられ、また国民に良質な歯科医療を提供していくためには来る7月の参院選において戦域代表の石井みどり氏と神奈川県選挙区の島村大氏の当選が不可欠であることを説明した。

来賓の大曽根日歯連盟副会長は、昭和36年に始まった現在の健康保険制度が15年間歯科医療費の伸びが見られないことに触れ、我々が支援する医政議員の更なる奮起を期待する旨を述べられ、おなじく来賓の村田日歯連盟副理事長は、デンタルミーティングを立ち上げた過去の経緯について説明され、日歯連盟もこの催しを通して政治との関わりを変化させてきていることを述べた。

4月17日（水）鶴見歯科医師会

《島村大・おこのぎ八郎を支援する 神奈川第3選挙区の会》開催

4月17日（水）午後8時より、鶴見歯科医師会館にて、自民党筆頭副幹事長・神奈川原自民党県連会長代行である地元選出のおこのぎ八郎議員をゲストに「島村大・おこのぎ八郎を支援する神奈川第3選挙区の会」が開催された。

会には地元歯科医師会の会員の他、梅沢裕之県議をはじめ多数の横浜市議会議員、更に地元

医師会、衆議院より多数が出席された。

おこのぎ八郎議員の挨拶で、島村大候補者の選出に当たった経緯と人物像を説明すると共に、今後の選挙対策には、もっとオローラをみせつけるように、力強く県民にアピールをしていかなければ、この選挙は勝ち得ないと厳しくも温かい言葉を述べたのが印象的であった。



おこのぎ八郎参議院議員



おこのぎ議員と島村大候補者



梅沢裕之神奈川県議会議員



挨拶する島村大候補者

お知らせ

本連盟理事長 正木久秀先生の役員辞任及び役員の補充について

この度本連盟理事長として大変ご尽力いただきました正木久秀先生（港南）より4月4日（木）付にて一身上の都合による辞任届が提出されました。

つきましては、4月11日（木）開催の第1回常務理事会で協議した結果、辞任届を受理することといたしました。なお、欠員となりました役員の補充については、中区歯科医師連盟（会）の顧問裕亮先生を常務理事として委嘱することとし、また、本連盟理事長の職務は、副会長の村岡宣明先生（茅ヶ崎）が兼務することに決定しました。

- ・理事長兼務：現神奈川原歯科医師連盟 副会長 村岡 宣明 先生
（任期：平成25年6月30日まで）
- ・常務理事：中区歯科医師連盟（会） 顧問 裕亮 先生【新任】
（任期：平成25年6月30日まで）

4月13日（土）13時よりロイヤルパークホテル

すが義偉 「島村大を励ます」春の集い開催

4月13日（土）午後1時よりロイヤルパークホテル3Fで「すが義偉 参議院候補予定者・島村大を励ます春の集い」が開催された。

当日は、暖かく春の兆しが見えるような陽気であり、土曜日のお昼時という時間にも関わらず、1800人を上まわる人で会場が一杯の状態であった。

すが義偉大臣の挨拶では、「12月に敗権奪回した後、官房長官を仰せつかり、官邸から出る事は出来なくなったが、今日始めて地元に戻って顔を

る事ができた。今朝も5時半ごろ携帯が鳴り、北朝鮮がミサイルを発射したかと思ひ飛び起きたところ、阪神の地震騒ぎであったが、何とか地元に戻る事ができてよかったと思っている」と述べた。また、7月の参議院選挙に神奈川原選挙区で「島村大氏」を出す事になった経緯と人柄を説明し、本人を壇上に呼んで会場の出席者たちに紹介した。

その後、大臣と共に島村大氏も会場内を回って、出席者の一人ひとりと親しく話をした。



多摩原神奈川原選挙区
すが義偉 「島村大を励ます」春の集い



お知らせ

6月15日（土）、石井みどり・島村大 後援会合同総決起大会

- ①場所：茅ヶ崎駅南口駅前「春秋会館」
時間：16時～
- ②場所：川崎市中原区小杉町2-288-4
時間：19時～

[島村 大 活動報告]



7月に予定されている参議院選挙
では、自由民主党の公認を得て、
神奈川県選挙区(神奈川全県区)に
「島村大」氏が立候補を予定し、
本連盟では推薦をしています。



神奈川県歯科医師連盟会長・監事 選挙期日及び立候補・推薦候補届出期日 (公示)

神歯連盟第5分
平成25年5月1日

会 員 各 位

横浜市中区住吉町6-68
神奈川県歯科医師連盟 事務局
選挙管理委員会

平成25年6月30日をもって任期満了となる神奈川県歯科医師連盟会長及び監事の選挙を下記のとおり行いますので、神奈川県歯科医師連盟選挙規則第24条により公示します。

記

1. 選挙の目的(定数)

- ・神奈川県歯科医師連盟会長 1名の選出
- ・神奈川県歯科医師連盟監事 1名の選出
- ◆監事2名のうち1名は、神奈川県歯科医師連盟選挙規則第23条により歯科医師以外の有識者が就任致します。

2. 立候補及び推薦候補の届出期間及び受付場所

- ・届出期間 平成25年5月20日(月)から平成25年5月24日(金)まで
午前10時から午後5時まで
- ・受付場所 神奈川県歯科医師会館 8階 事務局
◆届出用紙は、事務局までご請求下さい。

3. 投票日及び開票の期日

- ・投票日 平成25年6月13日(木)
(神奈川県歯科医師連盟選挙規則第23条により、評議員会に於いて評議員による投票となります)
- ・開票 投票終了後に即時開票

4. 投票会場

- ・横浜市中区住吉町6-68
神奈川県歯科医師会館 地階 大会議室 (第1回評議員会 会場)

5. 選挙権者の資格及び定数

- ・選挙権は本連盟評議員が有する。
(神奈川県歯科医師連盟選挙規則第3条により)
- ・選挙権者数 神奈川県歯科医師連盟評議員 79名

6. 被選挙権者の資格

- ・平成25年6月13日現在で本連盟入会後2年を経過した会員は、会長・監事選挙の被選挙権を有する。(神奈川県歯科医師連盟選挙規則第2条により)

～ 参議院選挙を終えて ～

第23回参院選は、われわれ歯科界の前期の目的を果たすことができた。神奈川県選挙区においては島村大君が菅官房長官に認められ、さらに自民党の単一候補として昨年7月に公認された。以来選挙戦が開始。後の名前は歯科界では認知されているが、県民にはまったく知られていない。自民神奈川県連に所属する国政議員、県議、市議、町議全員が全力で応援してくれたおかげで、県下全域にボスターを立て、顔を認知してもらうことができたように思う。

結果は113万を超える得票で、トップ当選。4位当選議員の倍以上の得票数であり、到底歯科医師会の方では得られない数であった。歯科医師会島村大君はこの二人分の得票数を背に負って、というが背中を推されて、参議院議員として県民、国民のために働かねばならない。

島村君の選挙戦を振り返ると、原動力は自民県連であり、歯科医師連盟は東京歯科大学同窓会が中心に全力投球で応援された。

選挙を身近に、目の当たりにしたとき、候補者たるものが如何に体力・勢力・財力が必要であるかを知った。そして、スケジュールを果たしていく島村候補の凄みを感じた。こうした選挙を戦える彼は、政治家としての資質が十分であり、大政治家を目指せる人材であると再認識し、経験豊富な人材を有する自民党の支援を得られる彼が、時流に乗り、如何に幸であるかとも思い知った。歯科医師であるが、まず彼は県民国民のため、日本国のために働かねばならない。

さて、職域の全国比例代表石井みどり候補

も二期を目指し、危機感を持って全国を走り回った。神奈川県にも4日間選挙カーで街頭演説を行った。2期目といっても一般国民は彼女を知るものは少ない。よって歯科界が全力で動かねばならない。結果は29万4000票で前回を6万6000票上回った。これまた立派な数であり、自民比例では4位で、30万票を目標にした日本医師会の羽生田氏に4万4330票差をつけ当選したのは、大変力強く思う。自民党も歯科医師会の政治力を再度確認したものと思う。とはいえ、医科歯科格差を是正し、共に手を携え、国民へのよりよい医療を提供しなければならぬ。

昨日からTPPが東マレーシア・コタキナバルで開催されているが、どのような内容であるかは未だ公表されていない。一次産業だけでなく社会保障、医療制度などについても話し合われようが、読めないものはきっぱり断る強い姿勢で臨んで欲しい。

また、安倍首相がお任せしていた社会保障制度改進黨国民会議では7月23日70才～74才医療費窓口負担は2割へ引き上げが明記され、特例の1割負担も早急に2割とすべきと発表された。自民の圧勝であったが、共同通信の7月22・23日の世論調査では内閣支持は急落し56%となり、「野党の再編の必要」が68%となっている。ねじれが解消したことを国民が不安に思っているということか。おもしろい細野豪志氏が民主主義の幹事長を辞任、党内での連携？他野党との連携も視野に入れておられるのか？政治の世界は刻々と変化する。

8月末には内閣も改組されるのではないが、その折には石井みどり氏が内閣の一員（厚労省）として参画いただきたい、ねじれも解消した今、山積する歯科の諸問題を目に見えるスピードで解決していただきたい。そのときは島村君に石井みどり議員を是非応援して欲しいと願う。

(文責 富田 篤)

神 歯 連 盟 NEWS

第99号

平成25年8月1日 発行

神奈川県歯科医師連盟

○発行人：富田 篤 ○編集人：森 洋行 ○委員：嶋田 潤一、鈴木 雄一、嶋田 耕一 ☎045(681)2172

第23回 参議院選挙結果

石井みどり氏 2期目を早々と決める 島村 大候補 全国1位の得票数で当選



2期目当選で必勝ダルマも渡



喜びの万歳三喝



桜木町駅頭にて演説

当 選 結 果

比 例 区 石井みどり：29万4079票（前回22万8165.408票）
（自民党比例区4位にて当選）

神奈川県選挙区 島村 大：113万0652票

石井みどり神奈川県後援会役員 <平成25・26年度>

代表	富田 篤 (連盟会長)	副幹事長	三浦 徳明 (川崎市)	幹 事	和田 光利 (藤沢市)
副代表	高橋 宏壽 (連盟副会長)	幹 事	呉 明也 (保土ヶ谷)	幹 事	森 洋行 (連盟副会長)
幹事長	堀口 祐司 (青葉区)	幹 事	皆藤 訓男 (相模原市)	幹 事	北野 道廣 (連盟副理事長)

西村まさみ神奈川県後援会役員 <平成25・26年度>

代表	富田 篤 (連盟会長)	幹 事	藤田 博隆 (港北)	幹 事	妹尾 明寛 (西区)
副代表	五十嵐史征 (連盟常務理事)	幹 事	藤下 義輝 (青葉区)	幹 事	難波 隆夫 (連盟常務理事)
幹事長	久保木 弘 (川崎市)	幹 事	大川 泰弘 (川崎市)		
副幹事長	西野 一祐 (南区)	幹 事	松井 克之 (相模原市)		

島村大神奈川県歯科医師後援会役員 <平成25・26年度>

代表	富田 篤 (連盟会長)	副代表	加藤水 健 (連盟副会長)	幹 事	杉之内俊郎 (川崎市)
副代表	久保木 弘 (川崎市)	副代表	北野 道廣 (連盟副理事長)	幹 事	伊栗 博政 (鎌倉市)
副代表	平福 勝嗣 (鎌倉市)	幹事長	鶴岡 裕亮 (連盟理事長)	幹 事	宮杜 恭子 (藤沢市)
副代表	椎野晋一朗 (小田原)	副幹事長	松本 純 (川崎市)	幹 事	中村 好子 (大和)
副代表	杉山 紀子 (栄)	副幹事長	今宮 圭太 (大和)	幹 事	河野 季栄 (小田原)
副代表	高江州 尚 (横浜市連盟理事長)	幹 事	呉 明也 (保土ヶ谷)	幹 事	五十嵐史征 (連盟常務理事)
副代表	田中 修 (川崎市連盟理事長)	幹 事	小笠原史紀 (港北)	幹 事	西山 潔 (連盟常務理事)
副代表	関 英夫 (相模原市連盟理事長)	幹 事	白井 仁之 (緑区)	顧問	中村 昌人 (連盟顧問)
副代表	徳永 尊司 (連盟副会長)	幹 事	久保田 正 (青葉区)		

日本歯科医師連盟役員・評議員・予備評議員

【理 事】	高橋 篤 (連盟会長)	高橋 宏壽 (副会長)	森 洋行 (副会長)
【監 事】	中村 昌人 (連盟顧問)	徳永 尊司 (副会長)	鶴岡 裕亮 (理事長)
【予備評議員】		宮坂 宗行 (常務理事)	村上 修 (常務理事)

平成25年・26年度 神奈川県歯科医師連盟
役員・顧問・相談役

会長 富田 篤 (藤沢市)	副会長 高橋宏壽 (戸塚区)	副会長 森 洋行 (藤沢市)	副会長 徳永尊司 (緑葉市)	副会長 加藤水健 (西区)
理事長 西田裕亮 (中区)	副理事長 北野道廣 (青葉区)	常務理事 宮坂宗行 (茅ヶ崎市)	常務理事 嶋田潤一 (相模原市)	常務理事 小泉敏和 (川崎市)
常務理事 村上 修 (鎌倉市)	常務理事 五十嵐史征 (鎌倉市)	常務理事 西山 潔 (神奈川区)	常務理事 増田紀男 (青葉区)	監 事 佐藤政夫 (浅理工)
顧問 田村達男 (鎌倉区)	顧問 原 慶治 (鎌倉市)	顧問 中村昌人 (港北区)	顧問 相談役 久保木弘 (川崎市)	相談役 大崎基司 (川崎市)
相談役 相談役 大木 哲 (相模原市)	相談役 相談役 大木 哲 (相模原市)	相談役 相談役 大木 哲 (相模原市)	相談役 相談役 大木 哲 (相模原市)	相談役 相談役 大木 哲 (相模原市)

第23回 参議院選神奈川選挙区

島村 大先生 (元神奈川県歯科医師連盟理事長
元日本歯科医師連盟理事長)

熱い選挙戦を勝ち抜いて国会へ



当選決定! 万歳三喝



満面の笑みで富田会長と握手



TVKのインタビューを受ける島村候補



歯科関係者との記念撮影



相模大野駅前にて安倍総理の応援演説

—— 平成25年度 第1回評議員会開催 ——

平成25年6月13日(木)午後6時より、神奈川県歯科医師連盟平成25年度第1回評議員会が、歯科医師会館地階「大会議室」にて行われた。

会議の前に島村・石井選挙について、8020議連を代表して佐藤光議員、小川久仁子議員、中村省司議員から説明があった。

点呼にて定数79名のところ出席者74名で本会議が成立することが確認された。開会を杉山副会長が行い、議事録署名人名には有馬敬二君(中区)と青木章子君(相模原市)が選定された。

会長挨拶において富田会長は、「連盟の最重要課題は職域代表を国会に送り込み政治力を持つことである。参院選では島村・石井候補の上位当選を目指す」と述べた。

県歯副会長の加藤本先生の挨拶では、新法人に向けての進捗について、そして石井候補について「二期目に議員としての実力も発揮できると思うのでぜひ当選させたい。六年前の得票数を越えたい」と述べた。

来賓挨拶として、日歯連盟より村田理事長が、「前回衆院選において歯科医師の候補が三名当選できた。参院選には医療福祉系の候補が多数出馬予定である。引き続き当選に向けて支援をお願いしたい。神奈川県は比例区と選挙区両方

に歯科医師が出馬する重要地区である。神奈川県でどういう結果が出るか、危機感でいっぱいなのでよろしくお願したい」と述べた。

続いて小泉常務理事が庶務報告をし、その中で物販会員に対して黙祷を捧げた。

次に宮坂常務理事が組織対策委員会の報告をし、村岡副会長が日歯連盟評議員会報告を行った。

議事に入り、第1号議案 神奈川県歯科医師連盟一般会計平成24年度収入支出決算に関する件、第2号議案 神奈川県歯科医師連盟平成24年度貸借対照表、財産目録に関する件が審議され、両議案とも承認された。途中街頭活動の企画をめぐって島村大候補予定者が挨拶にみえた。

続いて選挙管理委員会の高橋委員長から神奈川県歯科医師連盟会長・監事の選挙当選者について発表があった。会長選挙には定数1のところで候補者1で富田会長が再選した。監事選挙においては定数1のところ候補者1で増田監事が再選した。富田会長が新役員の発表をして7月1日からの新体制で臨む意気込みを述べた。

閉会を高橋副会長が行い、石井候補の前回得票数と今の支持者名簿の数から言うところ一診療所5名の票が欲しいとお願いし閉会した。

お知らせ

平成25年度 第2回(臨時)評議員会

日 時 平成25年9月12日(木) 午後6時～
場 所 神奈川県歯科医師会館 地階「大会議室」



2014年 新年所感

参議院議員

石井 みどり

新年明けましておめでとうございます。本年も先生方にとりましてよき年となりますよう、お祈り申し上げます。また、平素より格別のご指導、ご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

● 2期目の当選を果たす！

昨年は私にとりまして大きな節目の年となり、日歯連盟の職域代表候補者として2月11日から半年にわたり、全国を2巡致しました。この間、本当に多くの全国の先生方にお会いし、7月21日、第23回参議院議員通常選挙において294,079票（自民党内第4位）を獲得し、2期目の当選を果たすことができました。公職選挙法の規定により、当選御礼を申し上げることができず、誠に申し訳ありません。歯科医療の未来を拓くために、今後とも全身全霊を賭して頑張っております。

● 公約実現に向けて

今回参院選では公約「未来を拓く！ 歯科医療のダイバシティを創る」を掲げましたが、公約実現に向けて一歩を踏み出しております。安倍内閣は、「日本再興戦略」、「健康・医療戦略」の中で、「データヘルズ計画」（※健康保険組合のレセプト等のデータに基づく健康保持増進のための事業計画）の推進を発表しました。

本計画に関係し、私の掲げる「歯科口腔保健法の制定を受けた生涯を通じた切れ目のない歯科診療システムの確立」（特定健診・労働者一般健診への歯科健診導入、産業歯科医療的身分の明確化）を目指し、現在エビデンス集積に向け活動を開始しております。

● 参議院厚生労働委員長に就任！

8月2日、第184回臨時国会が開会されました。参院選により、参議院においても自公が安定多数を確保し、衆参のねじれが6年ぶりに解消され、自民党・山崎正昭参議院議員が議長に選出されました。

同時に、山崎議長のご指名により、厚生労働委員長に選任されました！

また、12月6日現在、以下の内容が議論されています。

H26診療報酬改定、H26私制改正、H26歯科関連予算、H26歯科保健関係予算概算要求、新親事業、国民歯科問題議員連盟を再開！^(*)

そして、いよいよ2期目を迎えることができ、私に再度6年という仕事を行う時間を与えていただきました。任期を終えたときには「燃え尽きて何も残っていない」というほどの仕事を行いたい、たとえ任期中に果たせなくとも、わが国・歯科界の未来のため道筋をつけていきたいと決意しております。

1期6年間、温かいご支援を賜った神奈川県歯科医師会の先生方に、引き続きのご指導を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

●（*）紙面の関係で、詳細はホームページを参照してください。

神 歯 連 盟

神奈川県歯科医師会連盟

◎執行人 富田 篤 ◎編集人 森 洋行 ◎委員 瀧田 潤一 ◎幹事 堀 耕一 ☎045(631)2172

平成26年1月1日 発行

NEWS

第100号

目次

年報挨拶	1頁～4頁	ご存知ですか？	7頁
平成25年度第2回臨時評議員会	5頁	「一対」	8頁
地域別幹事・DM会議	6頁	デンタルミューティングのお知らせ	8頁



謹賀新年

神奈川県歯科医師会連盟会長
富田 篤

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。一昨年安倍政権誕生、アベノミクスの波に乗り、昨年の7月参議院選におきましては、神奈川県選挙区で島村大先生が113万票以上、全国最多得票で当選され、また職域代表比例代表候補石井みどり先生も4位で見事当選されました。我々会員も頑張りましたが、島村先生は自民党県連会長の菅義偉官房長官として県連所属議員の絶大な応援を得て当選できたものと思います。

12月6日、日比谷公会堂で「国民の歯科医療を守るために総決起大会」が開催されました。医療にかかわる全国の代表者2000人が集結。大久保会長の挨拶は「ずば抜けて素晴らしいものでありました。しかしこの会合について一般国民には伝わっておりません。国会混雑する中、一部は国会議員が出席されておりました。さて、歯科界でありますが、本年の診療報酬改定に向けて、適正な評価を求めています。

大変厳しい状況にあります。健康寿命延伸、そして歯科口腔衛生機能管理することにより、入院日数15～20%削減するというエビデンスも厚労省から、中医協に示しています。しかし保険者側は赤字を理由にアップ改定は反対、政府首脳も首を縦には振ってくれません。

島村先生にもお手伝いいただき、日歯大久保会長、日歯連盟高木会長もエビデンスを携え、全力でロビー活動をされておられます。何としても行政の理解、政治家にもお手伝いをいただかねばなりません。今後、歯科医師である有能な行政マン、政治家が排出され、活躍してくれることを望みます。

加えて、国民が歯科医療、歯科医師を評価してくれる努力が必要であり、世論が最も強力な政治力であろうと考えております。

いずれにしてもの歯科医師の保健衛生・指導、治療が、健康で長生きし、会話を楽しみ、おいしいものを食べられるという人間の幸せ、加えて医療費の削減のためにも歯科が貢献しているという自信、誇りをもって日々の診療に精を出しましょう。

連盟へのさらなるご協力をお願いいたします、新年のご挨拶といたします。





新年あけまして おめでとございます

参議院議員

島村 大

昨年の参議院選挙におきましては、皆様方の多大なご支援により、1,130,652票という高得票にて全国トップ当選を果たすことができました。あらためて深く御礼申し上げます。

昨秋の臨時国会は、参議院厚生労働委員会、決算委員会、ODA（政府開発援助等）特別委員会への所属も決まり、私にとつて初の本格的な国会となりました。11月5日には厚生労働委員会が初質問に立たせて頂き、主には東日本大震災避難者の心と身体へのケアへの対応、今後の社会保障制度の考え方と方向性、持続可能な国民皆保険について、田村厚生労働大臣に伺いました。重要法案が山積する中、皆様とのお約束を果たすべく使命感と、与党議員としての重責を感じながら、国政への一歩を踏み出したところでした。

さて、私の国政での大きなテーマのひとつは、健康寿命の延伸です。委員会質問でも、とりわけ検診や病気になる予防、そして重症化予

防の重要性について訴えました。平成22年の統計によれば、女性の平均寿命86歳に対し健康寿命は12年短く、男性は平均寿命80歳に対し約9年短くということです。平均寿命＝健康寿命とするのが私の最終的な目標ですが、その差をいかにして縮めるか。また、県選出の議員として、「健康寿命日本一の神奈川県」を目指しています。県民の皆様が、生涯ずっと健康で、幸せに過ごされますよう尽力して参る所存です。

我々歯科医師の立場においても、口腔と全身の健康は密接に関連しており、糖尿病の重症化を防ぐ歯周病の治療や予防、高齢者等による誤嚥性肺炎を防ぐ口腔ケアなど、今後ますます国民の健康への重要な役割を担っていくこととなります。そして、歯科界の問題も私にとって大切な政策課題です。特に高ポイント指導の問題、診療報酬の納付できる点数改善、医科歯科格差の是正等々。一番の願いは、若い歯科医師やこれから歯科大学を目指す若者たちが希望に満ち、夢を語る歯科界となることです。ぜひ皆様の声を聞かせて頂きながら、諸先生方と共に歯科界の発展に寄与して参りたいと存じますので、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、神奈川県歯科医師連盟の皆様にとつて、本年が良き年となりますよう心からお祈り申し上げます。



新たな年の始まりに 寄せて

参議院議員

西村 まさみ

新年あけましておめでとございます。神奈川県歯科医師連盟の先生方にはご家族お揃いでお健やかに新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また平素より賜っております格段のご指導ご鞭撻に心より御礼申し上げます。

先生方のお力で参議院に送り出していたいでより3年、任期6年の折り返し点を過ぎました。この3年は民主党政権と重なり、報酬改定や法成立をはじめとした歯科医療・口腔保健施策の前進に、社会保障制度改革に東日本大震災復興にと、まさに無我夢中の3年間でした。後半の3年間は野党の立場となりそうですが、引きつづき諸課題の解決に向け全力を尽くす決意であります。

さて私たちが迎えた2014年は、私たちにとつてどのような年となるのでしょうか。4月の診療報酬改定と消費税3%増税、施行された社会保障制度改正プログラム法に沿った医療介護関係等の法改正や制度改正も次々と議論のテーブルに乗せられることとなります。また医療介護分野の営利市場化を狙う動きやTPP交渉なども

含め引きつづき重大な局面が続きます。私は国民生活の安心・安定に欠かさない社会保障制度をすべての国民が等しく負担することで支え合って行こうという国民理解と納得をさらに進めるための発信を続けたいと思っています。そして超高齢社会で国民の生涯を通じた健康と「食」を支え健康寿命を延伸するための、地域からつづいて歯科医による検診の制度化や在宅歯科医療・医療と介護の機能連携の推進とこれらを支えるチーム医療の充実化、メタルフリー化など歯科保険医療の質の向上で国民ニーズと経営安定の両立を進める取り組みに全力を挙げる決意であります。

今年の10月10日はかつての東京オリンピック開会式の五十周年記念日です。昨年9月、半世紀を経て2020年オリンピック開催が決定し国内は沸きましたが、半世紀前の東京オリンピックは、すべての国民にとって明日を信じ今日をがんばるための夢の大会でした。来る大会が同様に夢の大会となるよう、すべての国民の将来不安を取り除き生活の安定を図ること、特にすべての子どもたちの育ちを確かなものにするところこそが政治の責任であると、私はいま強く胸に刻んでいます。

神奈川県歯科医師連盟のますますのご発展と先生方のご健康を心より祈念申し上げますとともに、変わらぬご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

各地域との連携を強化

～組織対策委員会を交えて会談～
地域別幹事・DM会議

平成25年度の事業として、2年ぶりに行うこととなった幹事・DM会議を、地域別に3回に分けて行った。

第1回目は大和、小田原、厚木、海老名、相模原、座間、秦野伊勢原、足柄の8地区、第2回目は川崎、横須賀、逗葉、鎌倉、藤沢、茅ヶ崎、平塚の7地区、第3回目は横浜市内18地区と横浜市内歯科医師連盟が出席し、1時間半程の時間ではあったが、地域からの声をお聞きして連盟の組織力の強化を図るために行われた。役員から未入会対策などについて説明をした後、各地域の担当者から現在の対応や本会に対して

の要望など幾多の意見が出され、活発に意見交換が行われた。また、この3回の会合には本年、度から任に就いている組織対策委員も出席し、地域の事情を熱心に聞いていたので、今後の組織力強化に役立つものと期待する。



平成25・26年度 組織対策委員会

役職名	氏名(地区名)	役職名	氏名(地区名)
委員長	宮坂 宗行(茅ヶ崎)	同	今宮 圭太(大和)
委員	植上 修(鎌倉市)	同	山田 剛久(茅ヶ崎)
同	難波 隆夫(小田原)	同	勝俣 浩一(小田原)
同	五十嵐史征(鎌倉市)	同	山神 智也(相模原市)
同	西山 潔(神奈川区)	【担当役員】	
同	石田 千洋(戸塚)	副会長	高橋 宏嘉
同	小野清一郎(泉)	同	徳永 寛司
同	山崎 智人(青葉区)	理事	鶴岡 裕亮
同	宇佐美貴弘(鶴見)	副理事	北野 道康
同	西崎 誠仁(横須賀市)		

平成25・26年度 情報調査委員会

役職名	氏名(地区名)
委員長	宮坂 宗行(茅ヶ崎)
委員	増井 峰夫(平塚)
同	坂下 太也(青葉区)
同	今宮 圭太(大和)
特別委員	村岡 宣明(茅ヶ崎)
【担当役員】	
副会長	加藤木 健
理事	鶴岡 裕亮

平成25年度 第2回 臨時評議員会 花村議長・川田副議長 再選

平成25年10月3日(木)午後6時より、神奈川県歯科医師連盟平成25年度第2回臨時評議員会が、歯科医師会館地階「大会議室」にて行われた。

鶴岡裕亮理事長が司会進行し、点呼にて定数76名のところ出席者71名で本会議が成立することが確認された。開会を高橋宏嘉副会長が行い、飯議長に閣僚評議員(相模原市)が選出され進行された。議事録署名人名には佐氏又英君(青葉区)と北村信行君(茅ヶ崎)が選定された。第1号議案として評議員会議長および副議長の選出が行われた。多数の評議員が花村欣也評議員(厚木)を議長に推薦し、花村君が新議長に決定された。副議長には川田俊一評議員(磯子)が選ばれた。



花村議長 川田副議長

会長挨拶において富田会長は、まず先日逝去された平瀬勝副評議員(横須賀市)への追悼の言葉を伝え、総じて、本会議に出席いただいた石井みどり参議院議員が参議院厚生労働委員長に就任したこと、そして、島村大参議院議員については「歯科関係者だけのために当選したのではなく、県民の後押しがあって当選したので歯科のためだけに働くことはできないが、どうやったら歯科がよくなくなる方向にならないか、人脈作りから力を入れている」と島村先生の話を紹介した。また、「政治家に働きかけることのできる政治力を期待し、地域の会合に国会議員等と呼んで話を聞いてもらっている。そして、世論を味方につけるといふのが我々の

力につながる」と話した。続いて県歯高橋会長は、消費税8%への対応について初再診に付加する方向で検討していると述べた。

石井みどり参議院議員のご挨拶では、当選のお礼の言葉と参議院厚生労働委員長を拝命したとの報告があった。「自民党内の国民歯科医会問題議員連盟で次期診療報酬獲得に向けて議論している」「選挙公約への課題は高いが困難であっても不可能だとは思っていない。閉塞感漂う歯科界に風穴を開けたい、達成できなくても道筋だけでもつけていきたい」と話した。

続いて、鶴岡理事長より今期からの新役員紹介があり、退任役員へ感謝状の贈呈がされた。前神奈川県歯科医師連盟副会長の杉山紀子君、同村岡宜明君の名前が紹介された。

次に、高橋宏嘉副会長より日歯連盟評議員会報告があった。歯科衛生士の医師による直接雇用問題、高点個別指導について、参院連についての報告があり、櫻上修常務理事からは組織対策委員会報告が行われ、「選挙も終わり組織強化のため未入会対策などに注力していかなければいけない。また、県下33支部を3ブロックに分けて行う幹事DM会議を開催するので参加いただきたいと伝えた。

協議に入り、鶴岡理事長が第23回参院連通常選挙の総括について報告を行い、北野道康副理事長が自民党歯科医師支部

委員長について説明を行った。

そのあと質疑応答がおこなわれ、原秀一評議員(横須賀市)より、亡くなった平瀬勝副評議員についての報告とお礼を述べた。

島村大参議院議員の挨拶として、日本でトップの票をいただいたお礼と、選挙活動の苦勞語などの話があり、そして、「神奈川県歯科医師連盟の会員が街頭活動や決起大会に参加していただいたことが自民党内部で力のある団体だと認められることになった」と話した。最後に森洋行副会長が閉会の辞を述べ閉会した。



国の「歯科保健条例」、多くの都道府県、市町村において同条例が制定される中、日歯の要望もあり厚労省は高齢者の歯科検診事業を各市町村に委託するために700億に近い、予算計上をしている。これがカットされないならば、各市町村で高齢者の歯科検診を実施し、受診率を上げ、口腔の機能回復、治療のきっかけになる。どの地域もその健診結果表を共通のものとし、そのデータベースを集積・分析することで、歯科の重要性を引き出すエビデンスとなるはず。

診療報酬改定の年であるが、安倍首相は「国民の負担増は厳に慎む」とし、実質引き下げとする調整に入ったとのこと。ただし、消費税増税に伴う医療機関の仕入れ負担増を補填するため12%上乗せするという。

医療経済実態調査によると24年度の個人院長の月給で、医科は2177万、歯科は91.3万。それに歯科は設備投資などの費用がかなり掛かる。昨年10月の西村まさみ議員の質問に総理は「健康寿命延伸のために歯科口腔管理が必要」という意味合いの回答をされていたが、残念ながら言葉だけではなかったようだ。何とか歯科として増収部分はないか？ 思いつく施策はいわゆる

今一つ、本業の歯科診療で生業を成立たせるために政治力が必要であり、そのために組織率のアップは欠かせないと考えている。

文責 富田 篤

デンタルミーティング IN かながわ開催のお知らせ

日時 平成26年2月13日(木) 午後6時～8時
場所 神奈川県歯科医師会館 地階「大会議室」

▶時局講演会

演 題：「デンソー健康保険における取り組み」
講 師：デンソー健康保険組合 常勤顧問 赤塚 俊昭氏

▶デンタルミーティング

テーマ：「歯科医師は国民の全身の健康に寄与して医療費を削減(仮)」

座 長：参議院議員 島村 大

対 称：幹事・DM、一般会員

*参加予定者：石井みどり参議院議員、西村まさみ参議院議員
その他国会議員 日歯・日歯連盟役員

ご存知ですか その1

消費税問題解消が特別措置法を廃絶させるかも 医療を課税制度にして消費税問題解消を図ると、特別措置法存続が危うくなることを、ご存知ですか。

医療の消費税損税で、財務省は毎年なんと2千4百億円以上も得ています。

医科には年間1億円以上消費税を払っている病院が多額あるので、こんなに多額になりました。損した税を解消する方法のうち、最も明確に解消できる方法は、医療を課税制度にしてゼロ税率精算をする方法です。

しかし、現在、医療には特別措置法があり、多数の歯科医療機関がこの制度を医療経営に活用しています。財務省はこの制度存続のため250億円損をしています。

大事なことは、特別措置法が非課税制度のもとで決められたものである、ということです。課税制度にして損税解消を図ると、財務省は、「課税制度になったのだから、特別措置法を打ち切る」として、措置法での250億円の損を取り戻

ご存知ですか その2

仕組まれた窓口負担増による巨大受診抑制 窓口負担の値上げが、受診抑制による、最も効果的な医療費削減政策であることを、ご存知ですか。

右記グラフをご覧ください。伸びつつある歯科医療費を、窓口負担値上げが見事にストップさせました。(歯科医療費は、平成8年以降現值まで、ほとんど横ばいです)

- ・平成9年 社保本人1割負担から2割負担への増額 前年比4.5%減 (歯科の受診率減少)
- ・平成14年 社保本人2割を更に改善 オール3割負担への増額 前年比4.8%減 (歯科の受診率減少)
- (平成8年に対して平成11年の受診率は、なんと11.3%増)

窓口負担を1割から2割へ、3割へ、と引き上げることで受診率も抑制され、政策的に総歯科医療費が抑制されました。政府は長期的果を知らずく利用しています。

※長期的効果：韓国、国内務省の韓務担当・長瀬昭雄氏は「医療費の自己負担が増えると思われがちだが、窓口負担増は「医療費は減少する」と指摘しました。現在、100円の負担増で2000億円の医療費減少効果があると考えられています。

消費税問題解消が特別措置法を廃絶させるかも 医療を課税制度にして消費税問題解消を図ると、特別措置法存続が危うくなることを、ご存知ですか。

そうとすることが予測されます。これは大問題です。歯科診療所においては、年間

- ・特別措置法で、約139万円の得 (保険収入2800万円で措置法適用の場合)
- ・消費税で、約24万円の損 (全体の平均)

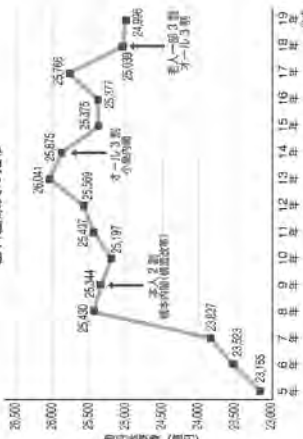
と書われています。

つまり、消費税増税は、医師および大型歯科診療所に恩恵があっても、措置法を多く使用している中小歯科診療所にとっては、損税解消より措置法打ち切りの方が深刻です。

以上のことから、歯科では、課税制度にするにはリスクが伴います。日本歯科医師会と連盟は、この難問に直面しています。

「消費税においては、歯科こそが値重な対応を求められる」でしょう。

歯科医療費の推移



70才から74才までの高齢者の窓口負担を2割に増額しようとしています

社会保障制度基金について ～平成25年度 第1回幹事・DM合同会議～



挨拶する富田会長

平成26年2月13日（木）午後4時30分より歯科医師会館大ホール「大会議室」にて、当日行われる「デンタルミーティング in かながわ」に先立ち、【幹事・DM合同会議】が行われた。

鶴岡理事長が司会を務め、高橋副会長の開会の挨拶により開会された。

富田会長の挨拶では、来年度の事業についてこの先2年半の間に国政選挙はないというところで連盟の組織力アップに努めたいと話した。また企業健康診査に歯科検診を含めてもらえるよう努力したいと話した。

続いて鶴岡理事長の報告では、組織対策の経過報告、未入会者のアンケートについて話しを行った。

協議に入り、未入会対策について徳永副会長が説明し、数名の幹事・DMより地域の事情等について話し、宮坂常務理事より報告では、社会保障制度基金の基金についての説明をした。続いて、島村大参議院議員が登壇し、国政報告を行った。参議院厚生労働委員会に自身を含め歯科医師が2名入ったこと、地域包括ケアに

（注）社会保障制度基金とは26年4月からの診療報酬改定が消費税と重なった為、診療報酬改定は抑えられた代わりに社会保障制度基金を作り、全国医療関係に対し国民の為に904億円の基金を県単位で配るとした。都道府県に対し平等に提出するものではなく、事業の内容が濃いところは多めに配るとしている。

ついて、また診療報酬改定が反映されなかった理由と、それに伴い社会保障制度基金（注）について説明した。また、私見として歯科医師会等で介護施設を所有しそこで中心となり活動していくことも一つの考えではないかと述べた。診療報酬改定には医療経済実態調査が反映され、調査結果がプラスの状態だと財務省がマインナス改定を打ち出してくる。実態がそのまま調査結果に出るよう正直に書いてほしい。また保険者側は、健康になることには点数を付けてくれるが、ただ単に点数を上げるだけでは抵抗勢力となるので考えてほしい。

改革基金については県単位なので、県歯・県歯連盟が神奈川県とどのように折衝していくかで歯科に回る基金の額が変わるので積極的に取りに行く行動力が必要と説明した。

また、国や県、市でも言われるようになった健康寿命というキーワードに対して歯科がどこまでかわられるか、また、県議会が始まる時に歯科はこれをやるからこれだけ予算が必要であると主張していくことも必要であると述べ、国会報告を締めくくった。



回報報告をする島村大議員

神 歯 連 盟

神奈川県歯科医師会連盟

平成26年5月1日 発行

NEWS

第101号

◎発行人：富田 眞 ◎編集人：森 洋行 ◎委員：高田 潤一 ◎幹事：堀田 耕一 ◎045(681)2172

目次	1頁	デンタルミーティング IN かながわ	3頁
第1回幹事・DM会	2頁	「一灯」	4頁

平成26年度 予算と事業計画が承認

平成25年度 第3回評議員会

平成26年3月6日（木）午後6時より、神奈川県歯科医師会連盟平成25年度第3回評議員会が歯科医師会館大ホール「大会議室」にて行われた。

会議に先立ち、島村大参議院議員が国政報告を行った。今後の社会保障制度について、2025年には国民皆保険制度の堅持が危うくなると言われているため、今年度の消費税アップ、プログラム法案の整備等動いているが、歯科界の動きは先の事ととらえずに今から動くべきと説いた。医療経済実態調査の回答率が半分程度であり、レセプト枚数が300件/月の診療所が対私のため順調な歯科医院の回答が多く、調査結果がプラスに出てしまいがち。実態を正確に出すための調査をしてほしいと伝えた。と説明し、診療報酬改定、医療提供体制改革のための基金の創設、医療法改正の三本柱で政府は医療界の改革を行っている。政府から言われることを受け身じゃなく、こうするべき事が国民のためになるということと歯科界から出していくことが必要であると述べた。

その後、小川久仁子県議より、日頃の早議に対してのご理解に、お礼を述べ、今後も歯科医師会の為にご協力をしていきたいと挨拶された。点呼により定数76名のところ出席評議員72名であり、評議員会の成立が確認された。

高橋副会長の開会の挨拶のあと、議事録署名人には山本一臣君（保土ヶ谷）、山田剛久君（茅ヶ崎）が選定された。

富田会長の挨拶では、「904億円の基金の使い道としては県庁、県歯、連盟で密に話し合いを

する準備をしている。3年前に立ち上げた歯及び口腔の健康づくり推進条例をベースに神奈川県独自の歯科医療保健にかかわる継続的な事業を展開していきたい。デンタルミーティングで歯科医師会会員より選ばれようとするシステムにしていかなければならない。」と話した。次に県歯より加藤本副会長が挨拶した。県歯でも未入会対策が喫緊である。また、県歯は行政に対して、連盟は議員（立法）に対して交渉する立場、力を合わせて歯科医療の充実を図りたいと話した。

報告として、小泉常務理事が庶務及び事業報告を、鶴岡理事長が組織対策委員会報告を行った。宮坂常務理事が、情報調査委員会を立ち上げたことの報告と、政策の政党依存型から診療現場発信型へ転換していくにあたり、政策を吟味するための情報を調査する委員会であると説明した。

議事に移り、第1号議案 神奈川県歯科医師会連盟規約及び会計規則の改正（案）に関する件、第2号議案 神奈川県歯科医師会連盟平成26年度事業計画（案）に関する件について鶴岡理事長が説明し、それぞれ賛成多数で可決承認された。第3号議案 神奈川県歯科医師会連盟平成26年度会費賦課並びに取納方法に関する件、第4号議案 神奈川県歯科医師会連盟一般会計平成26年度収入支出予算（案）に関する件について鶴岡理事長の説明で一括上程され、それぞれ賛成多数で可決承認された。

最後に森副会長が閉会の辞を述べ閉会した。

一 灯

4月14日のニュースによると安倍政権の支持率は51%であり、それに引き換え野党の支持率は一桁台が多い。これは良いことなのか？ いま少し野党も国民の後押しを得られるように頑張ってください。

さて、昨年12月山内党内に持続可能な社会保障制度、国民が地域でのつながりを持って健康寿命を金うするということを目的に「ヘルス&コミュニティ議員連盟」が設立された。島村大先生からの報告によると提言書ができあがり、4月14日から各大臣、菅義偉官房長官の元に届けられるとのこと。基本理念は「年齢に関わりなく健康な生活を送るた

め、社会保障を必要とときに受けられるよう改革を進めていく。国民が自らの健康を自らが作るという意識を持ち、努力する。互いに励まし合えるコミュニティを作る。現行の社会保障制度の枠にとどまらない超高齢化社会における課題解決のため5つの提言が示されている。提言3には「民間活用」があり、公的保険外の健康・予防産業の育成と書かれている。ここが継続可能な社会保障制度とするために力を入れる部分かもしれない。島村大先生はメンバーとして本議員連盟の事務局長中川俊直議員に1.認知症予防及び「備えで食べる」歯・口の健康管理の重要性、2.薬剤師や管理栄養士等による専門的支援・アドバイス という部分に「歯科衛生士」を加筆して欲しい旨の意見書を送られている。参議院議員として島村先生の活躍を心強く思う。

文責 富田 尚

島 村 議員 参議院厚生労働委員会にて質問

3月17日、石井みどり議員が委員長を務める厚生労働委員会にて、島村大参議院議員、西村まさみ参議院議員が以下の質問を行った。

【島村大 厚生労働委員会質問要旨】

- 1、四月から消費税を上げるタイミングで保険料や窓口負担増の改定は、経済に悪影響を起すのではないかと。いかがお考えか？
- 2、医療機関の経営に、医療経済実態調査では経営が改善し、診療報酬本体の引上げは不要ではないかと思われている。いかがお考えか？
- 3、薬価は市場実勢価格に合わせるものであり、薬価と診療報酬本体とは無関係ではないか。いかがお考えか？

島村大議員の早朝勉強会開催

3月20日の早朝8時からラポール・麹町にて、第1回早朝勉強会が開催され、総勢250名以上を集め、神奈川県から、多くの会員が出席した。当初は菅官房長官の予定だったが、公務で来られなくなり、代わりに高市早苗政調会長が、法案が決まるまでの解説を行った。



……お知らせ……

平成26年度 第1回神奈川県歯科医師連盟評議員会
日時：平成26年6月19日(木)
午後6時より
場所：神奈川県歯科医師会館 地階「大会議室」

歯科検診の義務化を提言

デンタルミーティングIN かながわ



講演する赤塚俊昭氏

平成26年2月13日(木) 午後6時より歯科医師会館地階「大会議室」にてデンタルミーティングINかながわが開催された。北野副理事長が司会を務め、高橋副会長の開会の挨拶により開会された。

冒頭、中山展宏参議院議員が駆けつけてくださり挨拶を頂戴した。富田会長は挨拶で、厚労省に働きかけて企業検診に対して歯科検診を制度化していきたいと述べた。高橋県歯会会長は、歯科医師会が歯科医師個人ではできない歯科保健の推進、歯科医療の充実を組織として行政、関連団体に交渉、提言する機関。それを支えたい主体となって具現するものが連盟であると話した。時局基調講演では、デンソー健康組合常務顧問の赤塚俊昭氏を演者に迎え、「何が疾病重症化を防ぐか? ~定期的歯科検診から見えるもの~」と題し講演をしていただいた。

デンソー健康保険者としての基本的なあり方として、①加入者のQOLの向上 ②セーフティネットとしての給付の充実 ③財政の健全化を挙げ、長期的ビジョンとして①健康増進と予防に努め、早期発見と重症化の防止を図る ②保険事業の費用対効果を検証し、常に改善 ③検証はデータとエビデンスに基づくと説明した。デンソーにおける歯科医療費の割合は全医療費の16%で、科目別では第1位とのことである。リーマンショック以降の減資により歯科検診を削ってよいものかレセプトデータをもとに検証したところ、歯科検診を行っていない会社よりも、しっかり行っている会社のほうが医療費の削減につながっていることが分かったという。

デンタルミーティングでは、菅坂常務理事から資料説明があり、島村大参議院議員が座長を務めた。まず河野太郎参議院議員からの発言で、

国会版の社会保障制度改革の国民会議を主催しているとして述べた。石井みどり参議院議員は、保険局医政課と通函の部分で折衝していると報告した。大久保日歯会長は、8020は単なる言い伝え? というところを科学にしていけるデータについて述べ、集団検診は意味がない? という点に対して、視診によって疾患を見つけていることが可能な歯科検診は極めて重要であると述べた。また、終末期の歯科医療についてのエピソードを紹介し、生活の医療を強調した。

赤塚氏の説明では、検診のデータは企業が保有しているが、レセプトは健保組合でしか参照できない。検診とレセプトのデータを突合して分析できるのは健保組合しかない。

河野議員は、国保のデータを見ていると中身まで分析して活用している自治体は少ないので、役所と議会に働きかけて医療費の削減につながることを訴えていくことが必要と話した。企業検診に歯科検診を義務化すべきかどうかについて、赤塚氏は歯科検診の結果をデータとして残して、確立していくことが大事で、義務化は必要である、と答えた。

高木日歯連盟会長は、検診データからエビデンスが出来ればライフステージを通して歯科検診の義務化ができるのではと話した。最後に参議院議員の閉会の辞をもって閉会した。



(左より)島村議員、河野日歯連盟理事、高木日歯連盟会長、高橋日歯連盟理事、大久保日歯会長、高橋日歯連盟副会長、石井議員

《当講演をホームページに配信》

島村大君と未来の社会保障を考える会

島村大参院議員が昨年の当選後初めて、地元横浜での国政報告会を歯科医師会会員対象に行なった。会場に入れないほど多くの来場者が押し寄せ、追加の椅子も用意された。



字館で話す島村大参議院議員

平成26年9月18日(木) 18時より、「参議院議員 島村大吾と未来の社会保障を考える会」が、

交遊で話す島村大参議院議員



ロイヤルホールヨコハマにて開催された。議員の会場でざわつく中、伊勢原市議会議員・歯科医師の萩原つやや先生の司会により始まり、開会の言葉を東京歯科大学島村大教授会・大山篤史会長が発し開会された。大山先生は、オールジャパンで島村君を応援してほしいと述べ、応援し、学生時代のエピソードを交え支援を依頼した。続いて神奈川県議会議長、向笠茂幸議長が挨拶した。結来の神奈川を背負っていただける人物であるので健康に留意し活動していただきたいと述べ、小川久仁子副議長も同時に紹介された。最後に同じ参議院で活躍されている三原じゅん子議員が挨拶し、島村先生は厚生労働委員会でも大臣に對して鋭く発言して頼もしいと普稱した。

島村大参院議員の国政報告で、「早いもので1年が過ぎたが、私の原点はこの科学界なので恩返しの意味もあり最初にこの会合を開いた。私の当選でお世話になった神奈川自民党への恩は選挙応援でお返ししたい。186回通常国会において経済閣連を中心に81本の法案を出し、79本が通過成立した。これはねじれ国会が解消した結果だ。現場に足を運び思ったことは、地域活性化について拠点を決めて再開発を進める



本会富田会長の挨拶

懇親会に移り実行委員長である富田篤連盟会長は、日本歯科医師会、日本歯科医師連盟の役員の方々が2名、各々所属の職種代表ではな
ず全国から応援



日産大久保会長の応援演説

には来年度の統一地方選挙で必ずお手伝いしたい
 と思っている。彼は、健康寿命の県にするべ
 く頑張っている。

日本歯科医師会・大久保満男会長は、

NEWS 聯盟 齒神

平成26年10月16日 発行

102号

○発行人 富田 篤 ○編集人 森 洋行 ○委員 嶋田 潤一・鈴木 雄一・飛田 曉・古田 耕一 045(631)2172

第30回評議員会	1頁
島村大君と未来の社会保障を考える会	2頁

平成25年度決算等を可決する

平成26年6月19日(木)午後6時から県歯会館地階大会議室において神奈川県医師連盟第30回評議員会を開催した。



挨拶する磯本佳太郎県議

開会に先立ち、神奈川県
県歯及び口腔に関する歯
科保健条例制定に中心の
な役割を担っていただ
い8020議員連盟事務局長
・織本桂太郎県議と議員連盟副幹事長・小川
久仁子県議から翌日（20日）に開かれる神奈川県
歯科保健・医療推進研究会開催のお知らせと
挨拶が行われた。

点呼に続き高橋副会長から開会が述べられ、
議事録署名人は議長指名により妹尾明寛君
(西)、皆藤訓男君(相模原)が選出された。

続いて富田会長は挨拶の中で日歯アンケートにより高齢者はと歯科治療の重要性を理解している結果が出たことや、医療における混合診療の問題を歯科にとつて生み寄れる向きがあれば考える必要があると述べた。また、4月の保険点数改正の担保というべき医療基金から歯科に4億4000万円の還元がなされる点については職代表議員の努力でより良い方向に進めいかねばならないと強調された。

高松県青年会会長挨拶では日商代議員会で女席の
高橋会長に代わり岡野理事から、医師が国策
である以上政治は必要不可欠であるとの考え方
から本会と連盟は車の両輪として密なる関係を
続けていくことが重要との旨の挨拶がなされた。

(注) 今年度より評議員会の呼称を延べ回数とすることになりました。

続いて島村大蔵院議員より国政報告を行った後、本連盟より小泉常務理事から庶務及び事業報告、横上常務理事より組織対策委員会報告、宮坂常務理事から情報網を委員会報告がおこなわれた。3月の日蘭連盟評議員会報告は徳永副会長からあり、その他として鶴岡理事長より自民党入党のお願いと来年の統一地方選挙の件、また翌日(20日)に予定されている「かながわ自民党歯科保健・医療推進議員連盟 神奈川歯科保健・医療推進研究会」について報告があった。ここで議長が今までの次第に対する質問を求め、活発な意見交換や本連盟に対する要望を多数出された。

引き継ぎ花井議長から川田副議長に議事進行が代わり、上程された議案審議に移り、第1号議案、第2号議案（下記参照）を會上常務理事が説明した後、増田監事の監査報告がありそれぞれ審手多数をもって2議案とも可決承認された。第3号議案（下記参照）については富田会長から上程理由説明が行われ、観案として持っておられた運営管理委員会委員の名簿（案）について採決審手多数をもって可決承認された。



選挙多数にて可決承認

閉会には森副会長より述べられ、2時間余の評議員会を閉じた。

第1号議案
神奈川県県政医術通商一般会計平成25年度収入支出決算に関する件

第2号議案
神奈川県県政医術通商一般会計平成25年度支出対照表、財産目録に関する件

第3号議案
神奈川県県政医術通商選挙管理委員会目の覚醒に関する件

一 灯

御嶽山の噴火、天候も不順で、相次ぐ台風、首都圏直下地震を想像すると恐ろしい。天災ばかりではない、シリアへの空爆を、米英空軍が開始。ロシアのプーチン大統領来日も中止、拉致問題の中間報告もなし…外交も難しいものである。政府は内閣改造後、初めての経済財政諮問会議の冒頭、安倍首相は「社会保障支出を含め、聖域を設けず、歳出改革に取り込む」とし、「経済再生と両立する財政健全化が重要」と語った。今のままの枠の中での保険診療報酬のアップはないということであり、この枠を越えた国民の歯科医療保健

を考えねばならない。こうした場合、わが島村大参議院議員は誠にすばらしい働きをしていただいている。具体的には後日報告する。

自民党8020県議団、歯科医師会、連盟代表者による神奈川県歯科保健・医療推進研究会PTが立ち上がり、第1回打合せ会も9月25日開催された。年内にその方向をある程度決めるために、あと2回の会合を開催する。

厚労省の904億の基金（地域医療支援基金）は、神奈川県の各県への配分もおおむね決定し、神奈川県は26年度267億円となるようだ。ここから歯科により有利に配分されるよう働きかけをしていかねばならない段階に入り、歯科医師会・連盟の連携を持って日々努力をしている。

文責 富田 篤

富田県歯連盟会長が 県民功労賞を受賞

平成26年6月12日、県庁にて富田会長が県民功労賞を受賞され、この春に神奈川県議会副議長に選ばれた小川久仁子県議（川崎市高津区選出）より花束贈呈の祝福を受けた。

参議院議員 石井みどり NEWS



参議院厚生労働委員長として、任期1年の職責を果たし、今後は、自民党副幹事長に就任し、谷垣幹事長を支える立場に移った。

【新役職】

自民党・副幹事長、参議院・自民党副幹事長、厚生労働部会 部会長代理内閣部会・副部長、厚生労働委員会・委員、行政監視委員会・筆頭理事、消費者問題にかんする特別委員会・理事

お知らせ

▶ 幹事・DM合同会議

【日時】 平成27年2月19日(木) 午後4:30～

▶ 時局講演会・デンタルミーティング in かながわ

【日時】 平成27年2月19日(木) 午後6:00～

【酒着】 東京医歯科大学 川淵孝一教授

【場所】 県歯会館

「島村先生にとっても113万の重い声の背負って歩くことが最初に課せられた使命だと思ふ。その声は坂を登るのを応援している声である。人知れず努力積み重ねて大きな政治家になるためのトレーニングをしているところだ。ご出席の皆様のお力なくはないええな。」



日歯連盟高木会長の挨拶

日本歯科医師連盟・高木幹正会長は、「島村先生は、人材がよく、気配りができる人である。」

かながわ自民党歯科保健・医療推進議員連盟

神奈川県歯科保健・医療推進研究会（勉強会）開催

平成26年6月20日(金) 午後6時～9時

平成26年6月20日(金) 横浜市中区にあるロイヤルホールヨコハマにおいて、かながわ自民党歯科保健・医療推進連盟（以下議員連盟という）40名と神奈川県歯科医師会及び歯科医師連盟合同で30名の勉強会が行われた。

同会は議員連盟事務長である原聡祐氏が行い、挨拶は議員連盟会長である中村省司県議が行い、来賓挨拶として神奈川県保健福祉局長の中村正信氏が行った。



勉強会に入り、議員連盟幹事長の佐藤光県議より趣旨説明として、「8020議連と神奈川県歯科医師会との関係について」の説明があり、続いて学術講演が行われた。

学術講演では「歯科疾患と全身の健康との関係について」として鶴見大学歯学部臨床教授の武内順朗先生は「発症を待ち受ける医療から、

街づくりに社会保障も組み込んでほしい。」神奈川県歯科医師会・高橋紀樹会長は、「医療の評価軸が健康寿命にシフトした。医師は平均寿命、歯科は健康寿命を延ばす医療という認識のもと、保健福祉の中に歯科を明確に位置付けていただくことを希望する。」と述べた。

島村大参議院議員は各来賓のご挨拶に対し、深々と頭を下げ、お礼を述べた。日本歯科商工協会会長・山中通三氏による乾杯のご発声の後、それぞれに料理やお酒を口にしていた。最後に横浜市内歯科医師会・杉山紀子会長、横浜市内歯科医師連盟・高江洲尚理事長が中絶めの挨拶をし、お開きになった。

発症させない医療への転換」として講演され、神奈川県歯科医師会常務理事の嶋田義功先生は「県歯科医師会の口腔保健法の取り組み」として講演を行い、歯の重要性を訴えた。

その後、懇親会に入り同会が議員連盟事務局長の蔵本桂太郎県議と副幹事長の小川久仁子県議に代わり、来賓挨拶として神奈川県副知事の吉川伸治氏より丁寧なるお言葉を頂いた。

各テーブルにはそれぞれ議員が配置され、和やかな中で楽しく活発な意見交換ができて有意義な懇談会となった。



講演する武内順朗教授

最後に神奈川県歯科医師会副会長の浅川章光先生は今回の勉強会には非常に有意義であり、成功裏のうちに終わったことを伝えて閉会の話とし、今回の勉強会を閉じた。



2015年 新年所感

参議院議員

石井 みどり

新年明けましておめでとうございます。本年も先生方にとりまして佳き年となりますよう、お祈り申し上げます。また、平素より格別のご指導、ご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

〈厚生労働委員長としての職責を果たし、自民党副幹事長に就任！〉

2013年8月から1年間、厚生労働委員長としての職責を果たすことができました。与野党を超えた人間関係を基に委員会の円滑な運営に腐心し、医療介護総合確保推進法をはじめとする21本の法案を可決・成立させることができました。

第187回国会にて、自民党 副幹事長に就任しました。

総合的な観点に立った国会運営・党運営の立場からの活動に引き続き全力で取り組んでまいります。

〈衆院選と消費税増税先送り〉

昨年12月14日、第47回衆議院議員総選挙が行われました。

財務省は特措法26条・事業税非課税の廃止検討を主張しますが、これらは我々の先達が勝ち取ったものであり、廃止は断固阻止します。

自民党医療税制PT、社会保障特命委員会役員として、増税先送りまでの期間をいわず議論のための準備期間と考え、今後も日歯・日歯連の意見を主張してまいります。

〈H27税制改正〉

※執筆時（12月7日）の内容です。

医療に係る消費税の課税のあり方の検討、社会保険診療報酬に係る非課税措置の存続、医療法人の社会保険診療以外部分に係る軽減措置の存続の歯科関連税制継続に向け、引き続き税制にて発言を行ってまいります。

〈公約「特定健診・労働者一般健診への歯科健診導入」実現に向けて〉

〈認知症対策と歯科〉

〈再生医療と歯科〉

〈医療提供体制の改革のための新たな財政支援制度の創設〉

〈死因究明基本法案と歯科診療情報データベース化〉

〈スポーツ庁設置法案〉

〈歯科医師国保 定率補助削減問題〉

〈H27歯科関連予算〉

〈H27歯科保健関係予算概算要求 予算拡充事業〉

議員2期目・8年目を迎え、参議院厚生労働委員長、党副幹事長など、様々な役職を経験し、中核的な政治的決断に直面する場が増えております。いづれの場面においても、「新たな仕組みをつくる時に、歯科がネグレクトされずにどこまで食い込んでいけるか（＝歯科が関わる部分には積極的に関わっていく）」を考え、行動してまいります。

日頃から温かいご支援を賜っております神奈川県歯科医師連盟の先生方に、引き続きのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

※（※）括弧の関係で、詳細はホームページを参照してください。

神 歯 連 盟

神奈川県歯科医師連盟

◎執行人 富田 篤 ◎編集人 森 洋行 ◎委員 瀬田 潤一 ◎幹事 堀 一 〇045(63)2172

NEWS

第103号

平成27年1月1日 発行

目次

年頭挨拶.....	1 頁	地域別幹事会諸報告.....	5 頁
石井・西村 議員からの年頭所感	2 ～ 3 頁	ご存じですか?	6 ～ 7 頁
島村大議員 年頭のご挨拶.....	4 頁	「一灯」・次期領域代表候補	8 頁



年頭挨拶

神奈川県歯科医師連盟会長
富田 篤

新年のご挨拶を申し上げます。昨年末、衆議院解散総選挙ということで真に慌しい年末でありました。本連盟は18選挙区の政権政党公認候補者を推薦いたしました。会員の先生方のご協力により大きな成果を上げることができましたことに、厚くお礼を申し上げます。今回の選挙においてわれわれの仲間である島村大参議院議員が連日、県内を駆け巡り、応援活動されたことに対し、それぞれの候補者から感謝されました。これは歯科医師会に対しても評価されたということでもあります。自民党単独過半数、自公で3分の2という選挙結果を喜ぶだけにとどまらず、投票率などを含め、しっかりと分析する必要もありましょう。また、今後、われわれが推薦し、当選された議員が選挙において訴えておられたことを実行されるか、見つめていかなければなりません。

さて、昨年「神奈川県歯科保健・医療推進研

究会」において、本県の「歯科及び口腔の健康づくり推進条例」を具体的なものとして実現するために3つのプロジェクトチームが立ち上がり、これまで3回の会合が開催されました。本年は統一地方選挙が行われますので、それまでの間にある程度の内容を決めておかなければなりません。種々の選挙もありますが、歯科医師会、自民党県議会、県行政が力を合わせ進めさせていくことが何より重要であると考えております。新たな事業を立ち上げ、本会会員が直接県民のために働きかける事業を行うことが、県民からの指示を受け、そして本会、本連盟の組織率を高めるためにも必要であります。また、会員相互が力を合わせ、議会、行政とのよい関係を維持していくことが不可欠であります。

日歯連盟においては次期参院選組織代表選挙委員会でも千葉県砂川稔氏に決定という答申が出され、今後、日歯連盟評議員会にて承認を受け、最終決定となります。国民の歯科保健・医療の発展のために一人でも多くの歯科医師である議員を輩出することが、一番効率的であります。

本年も連盟としての役割をしっかりと遂行して参りますので、会員先生方のお力添えをお願い申し上げます。又、皆様方のご健康とご繁栄を祈念し、新年のご挨拶といたします。



年頭のごあいさつ



参議院議員
島村 大

新年あけましておめでとうございます。神奈川県歯科医師連盟の皆様におかれましては、お健やかにより新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃より格別のご高配を賜り、心から御礼申し上げます。

先生方のご指導により、日々模索しつつも緊張と情熱をもって国政に取り組みさせて頂いております。国政のテーマは非常に多岐に亘りますが、これまでの間、私は参議院厚生労働委員、自民党厚生労働部会の副会長、厚生関係団体委員会の副委員長として、とりわけ厚生労働分野について深く関わって参りました。これからは、歯科界の発展、地域の歯科医者の充実に向けて精一杯尽力して参る所存です。

さて、国政における1年の流れもやっと理解できたかという矢先、衆議院が解散し、昨年12月に総選挙が行われました。安倍総理は消費税率10%への引上げを1年半延期することを表明し、アベノミクスの信を問いました。

結果は周知の通りですが、年金や医療、介護、少子化対策など社会保障の財源を確保するため増税が先送りとなれば、それを前提としていた給付全てを充実させることは当面難しくなります。総理は、子育て支援、認知症対策、難病対策、保育や介護職員の処遇改善などは必ず行

い、その他でもできる限り充実に向けて努力をするとしていますが、優先すべきものの、後回しにすべきものの検討は不可避です。18ヶ月分の財源確保について税収の上振れ分で埋めるといふ見方もありますが、いずれにしても重要なのは、今、どのように負担を求め、給付の伸びを抑えるかということです。スケジュールの見直しも含め、持続可能な社会保障の充実に向けて、私もしっかりと社会保障制度改革に引き続き取り組み参ります。

また、神奈川県選出の議員として、昨年から県内の皆様との意見交換を重ねております。本年4月の子ども・子育て支援新制度への移行に伴い、幼稚園関係の方々から現状と課題について問題点を指摘頂くなどです。同じ政策課題でも、地方や地域によってニーズの内容が異なることは少なくありません。子育て支援策でも、都会では待機児童解消のために保育所を増やすことが必要ですが、子どもがいない地方などでは、保育園の経営難に手をさしののべる施策が有効です。国として定められる法律の使い勝手について、選挙区である地域の皆様にご意見を聞きすることはとても大切だと考えています。

今後も、この国のさらなる発展のために、神奈川県の皆様と共に歩んで参ります。現場主義を心に刻み精進して参りますので、これからも変わらぬご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

結びに、本年が神奈川県歯科医師連盟の先生方にとって幸多き年となりますよう祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

2015 年頭あいさつ



参議院議員
西村 まさみ

新年あけましておめでとうございます。神奈川県歯科医師連盟の先生方には健やかに新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より賜っております格段のご指導ご鞭撻に心より御礼申し上げます。

会員の先生方のお力で参議院に送り出していたさきまして4年半の月日が経過いたしました。当選直後は「歯科口腔保健の推進に関する法律」を成立させ、歯科診療報酬2回連続プラス改定を実現等、歯科医療の前進・健康寿命の延伸に資する、数多くの実績を勝ち取ってまいりました。政権交代後も変わらぬ思いで、歯科医師としての視点を持ち、常に「歯科医療界の西村まさみ」として活動に邁進してまいりました。国会の本来有するチェック機能を果たすため、

そして歯科医療界の皆様の声が届けるために国会の場で粘り強く歯科関連の質問を続けております。その成果の一つとして「歯科口腔保健推進室」について、平成27年度組織要求で、省令職ポストとして、専任職員2名を配置すること等を内容とする要求がされました。更に、長年の懸案であった歯科の新病名（案）は、日本歯科医学会の中で5項目へ絞り込まれ政治的側面より次期改定で評価されるように働きかけています。歯科医療界の意見が強く反映された成果

が得られたのは、与野党両方に組織代表がいたからこそ実現できたことだと強く感じています。

さて、今年は3年に一度の介護報酬改定が行われます。改定では、経口維持加算での歯科医師等の多職種連携の取組の評価等が重要な課題として注目されます。医療・保健・介護は、地域の医療サービス等の提供のみならず、地域の雇用を支える産業としても重要な役割を担っています。その安定的な提供体制確保は、雇用の確保と共に地域住民の健康で安心して暮らすための礎です。昨年度の診療報酬改定は、地域包括ケアシステムの構築等を目指し、在宅歯科医療の推進、歯科医療機関との連携推進等が行われました。本改定の実施状況を注視し推移を見極めつつ、将来的な歯科医療の姿を提示し、中長期を見据えた歯科医療の果たすべき役割を大胆にアピールし次期診療報酬改定に向け取り組んでまいります。

歯科医療・口腔保健が、健康寿命の延伸や、ムダな医療費の抑制に貢献するとの評価が広がる中、歯科医師の活躍の場をより広げることが重要なことを、国会の場で訴え続けることが、組織代表として、国会にお送りいただいている者としての使命であると考え、全力で働いてまいります。

最後になりましたが、神奈川県歯科医師連盟の今年一年のますますのご発展をお祈りするとともに、会員の先生方、関係各位の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、心よりお願い申し上げます。

ご存知
ですか
その1

歯科医師受給問題は？

日本歯科医師会、「歯科医師適正数 “上限8万2千名”」
として、需給への見解を文科相に提出
新規参入は上限1,500名

これまで、必要性が叫ばれながら実現しなかった「日歯による適正数の提示」が、ついに実現しました。

下村博文文部科学大臣は、これを受けて文科省としての対策実行を明言すると同時に、国会歯科議連を通じた政治的な問題提起を、日歯・日歯連盟に要請しました。

これにより、懸案とされていた歯科医師需給対策は、貴重な一歩を踏み出しました。

「歯科医師受給問題」に対する 日本歯科医師会の見解骨子

現在想定される諸条件を踏まえて

- 適正歯科医師数は、82,000名程度を上限と考える
- 今後、新規参入歯科医師数は、1,500名程度を上限と考える
- これを実現すると、20年後、人口10万対歯科医師数71名

(試算根拠の詳細は、日歯広報11月1日号に掲載あり)

尚、この内容は、村岡宜明 日歯常務(前神歯連盟副会長)が骨子を作成。

平成26年度

地域別幹事会議報告



島村参議院議員の挨拶

神奈川県歯科医師連盟では毎年、組織強化の一環として幹事会議を行っている。各地域の意見交換により、各地域との連携強化、未入会者対策、政治・制度に関する情報提供など活発に行えるようにするのが目的である。本年度も地域ごとに2回に分けて幹事会を開催された。

10月9日(木)の第1回の会議では、川崎・横須賀・荏葉・鎌倉・藤沢・大和・茅ヶ崎・平塚・小田原・厚木・薄老名・相模原・座間・秦野・伊勢原・足柄の15地区の幹事にお集まりいただき、活発な意見を頂戴した。難波常務の司会により始まり、富田会長の挨拶のあと、島村大参議院

議員に国政報告を含めてご挨拶をいただいた。その後お集まりいただいた幹事に、忌憚ないご意見をいただいた。協議内容としては、①組織強化の取組み②地域における連盟勉強会の開催③統一地方選挙について各地区の状況などの意見を聞いた。また、各地域からの要望事項として、連盟入会者を各地域連盟代表者に定期的に報告してほしい旨について協議が行われ、各地域代表から活発な意見が飛び交い連盟役員間から一定の回答が得られた。

第2回の会議は11月13日(木)に開かれ、中区・西区・南区・港南区・磯子区・金沢区・保土ヶ谷区・旭区・戸塚区・栄区・泉区・瀬谷区・神奈川区・港北区・緑区・青葉区・都筑区・鶴見区の18区と横浜市内歯科医師連盟が集まり協議した。(戸塚区は都合により欠席)五十嵐常務の司会に始まり富田会長が挨拶し、協議では第1回の①～③の内容についての協議が行われ、また、年末に行われる総選挙についても連盟や各地区はどのようにに政党、候補予定者に接していくか、意見が交わされた。



富田会長の挨拶



組織対策委員(右側)も参加

さて本年は診療報酬改定の年であるが、消費税アップも先延ばしになり、財政を考えるとプラス改定を望むことは困難な状況にはあるが、歯科の保健、医療が健康寿命を延ばすのに重要であることは理解されている。しかし、依然として正当な評価を得られていない。歯科医師連盟は安倍政権への支援をし、望む結果となったいま、より国民の歯科医療のため一層活動しなければならぬ。また、歯科にかかわる公的医療保険制度そのものを国民の理解を得られるようなものに改正していくことも視野に入れるべきと考えます。

文責 富田 篤

第47回衆議院選挙の投票率は52.38%で戦後最低の投票率であったという。どう捉えるかはそれぞれで異なるかもしれないが、大変不安に思える数字ではある。

自民党は単独で過半数を獲得し、安倍首相の推し進める政策をより加速するための選挙結果となったことは間違いない。今回の選挙で歯科医師会は政権政党公認候補者を推薦し、応援した。その分われわれは「国民の平和で幸福の持てる政策を推し進め、国際社会からも信頼される国にして欲しい」と望む。

次期参議員職域代表に 砂川 稔 氏を答申

平成26年12月9日、次期参議院比例代表選挙（平成28年7月予定）候補者選考委員会に於いて、選考委員会における候補者選挙の投票の結果、推薦の候補者として 砂川 稔 氏を高木連盟会長に答申した。

今後、日歯連盟は理事会の議論を経て、1月下旬に開催する臨時評議員会で正式に候補者を決める方針。

（尚、詳細は日歯連盟の会員専用HPに公開）

砂川 稔 氏の経歴

昭和31年生まれ。56年日本大学歯学部卒。61年開業。
平成3年から習志野市歯科医師会理事、同副会長、千葉県歯連盟理事長などを歴任後、23年から同県歯連盟会長、25年7月から26年6月まで日歯連盟副理事長を歴任。

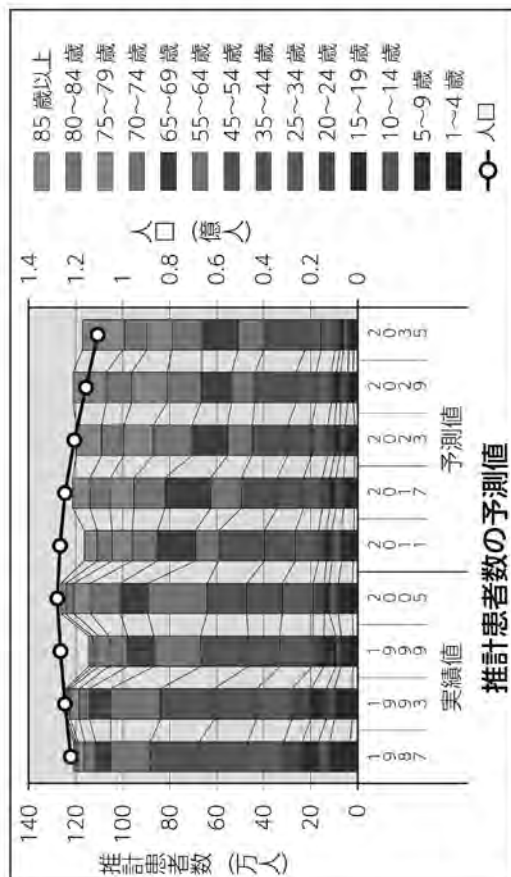
ご存知
ですが
その2

歯科医療の变革は？

厚労省作成の下のグラフをご覧ください。
2023年、45歳以下の歯科患者は、25%に減り、
45歳以上の歯科患者が、75%を占めます

若年者は、歯科医院から消え去り、
中高年者が、歯科医院に残りますが、
通院困難な85才以上の老年者の比率が、増加します

今、歯科医療のパターンが、
大きく変わり始めました
歯科医療の变革は、必須事項となるでしょう



エンザ治療が効きにくくなる」と言うことを
日大・口腔細菌学の落合教授が発表している。
こうした歯科医師の重要性を、健康寿命を延
ばすためにも、更に歯科・医師それぞれの学会
から訴え続けてもらわなければならない。

更に現在、県行政、県議会そして歯科医師会・
歯科医師連盟が積極的に本県の歯及び口腔の健
康推進にかかわる条例を策定するものにするた
め、PTTを立ち上げ、その成果もまもなく目に
見える形となる。

厚労省の基金のうち一定額を、神奈川県で獲
得するために島村大先生が大いに活躍してくだ
さり、これを有効に利用し、県民への歯科保健
医療を提供するために活動している最中である。

4月の地方選挙を一つのチャンスとして、
我々が県民に提供する事業を実現するように頑
張りたいと思う。

評議員の先生方も、地元の推薦候補者をしっ
かり応援し、当選させていたくださるようお願い
いたします。

連盟は本会の計画する事業を効率的に具現化
させるために更なる政治活動をしていく。

歯科医師会においても会長予備選挙などが目
前にあるが、選挙後はしっかりと一本にまと
まって前進しなければならぬ。と挨拶された。

報 告

国政報告として 島村大 参議院議員から来県
度予算の件、今年度の医療基金の内容と現況に
ついて、今後の問題となる国保組合に対する補
助金カットによる保険料の引き上げと個別指導
における持参物に差支があった点（日計表の提
出に法的な根拠がないこと等）が報告された。

その後、連盟報告として庶務及び事業報告を
小泉常務理事、各種委員会報告を榎上、宮坂常
務理事が、日歯連盟報告を徳永副理事長が精
第47回参議院議員総選挙総括を顧問理事長が精
果と連盟の支援状況を報告した。

議事に移り、議長を川田副議長に交代して四

議案（右下参照）についてそれぞれ執行部から
趣旨説明をした後、賛成多数によりすべての議
案が可決承認された。

協議では第18回統一地方選挙について顧問理
事長より別添の資料で推薦者一覧を紹介した
後、それぞれの候補者に対する連盟の支援体制
を詳しく説明された。評議員からはそれぞれ
地域で事情があるため地域歯科医師連盟との連
携で対応することを要望されていました。

つづいて次期参議院議員比例代表選挙の対応
については富田会長から日歯連盟評議員会で砂
川 稔候補（千葉県歯科医師連盟会長）を職域
代表として来年の参議院選挙に臨むことに決定
したことを報告し、砂川候補からも「まだ始まっ
たばかりですが、1日も早く自分の名前を覚え
ていただくことから始めたい。」と決意をこ
めた挨拶をいただいた。是非、前回の参議院比
例区選挙における職域代表の獲得した票を上回
る得票を目標にしようとの声も上がった。

閉会は森副会長が述べて無事に終了した。

議 事

第1号議案 神奈川県歯科医師連盟一般会計平
成26年度収入支出補正予算（案）に関する件

第2号議案 神奈川県歯科医師連盟平成27年度
事業計画（案）に関する件

第3号議案 神奈川県歯科医師連盟平成27年度
会費賦課並びに収納方法に関する件

第4号議案 神奈川県歯科医師連盟一般会計平
成27年度収入支出予算（案）に関する件



挨拶する日歯連盟連盟

神 歯 連 盟 NEWS

第104号

平成27年5月1日 発行

◎発行人 島田 麗 ◎編集人 藤 洋行 ◎委員 南田 潤一 鈴木 進一 船田 耕一 ◎045(63)21272

第31回評議員会.....	1～2頁	平成27年度表彰受賞.....	6～7頁
平成26年度幹事DM合同会議.....	3頁	「一灯」・8020誌選挙結果.....	8頁
デンタルミーティング.....	4～5頁		

平成27年度予算等四議案が可決

神奈川県歯科医師連盟 平成26年度 第31回評議員会

平成27年3月5日（木）午後6時から県歯会
館地階「大会議室」において平成26年度第31回
評議員会が開催された。

開催に先立ち、自民党県議会議員現職および
新人立候補予定者が来られ、代表として中村省
司県議より4月に予定されている統一地方選挙
における選挙にかかわる意気込みと本連盟に対す
る協力要請を力強く訴える挨拶があった。

点呼後、高橋副会長の開会につづき議事録署
名人には森田名君（都筑区）、岡本秀生君（茅ヶ
崎）が花村議長より指名された。

高橋副会長からは日歯会長予備選挙結果に
関する件、日歯連盟におけるマスコミ報道の煩
末を冒頭に述べられた後、口腔機能管理が認知
症を予防する効果の改善も認知症発症に因果関
係があることを例に挙げられ、歯科医師が担う
責任の重要性を強調する挨拶がなされた。

会長挨拶

先月のデンタルミーティ
ングを開催したばかりで、
又、お忙しい年度末にもか
かわらず、ご出席いただき
ましたことに感謝の意を
表し、厚労省の予算について財務省以上に官
邸主導で厳しいチェックもあり、診療報酬も
我々の顧みようにはならない。そして、政府は
財政健全化の対応策として「持続可能な医療保



「口腔内が不潔であるとタミフルなどインフル
菌科にとつてメリットあるニュースとして、
が可能であることを発表したものである。

療費保障つき予防メインテナンス業務」の設立
シスを推進する」ことを目的とする株式会社（治
このことは健康な人への「歯の予防メインテナ
き、経産省が1月13日に回答を行ったもので、
争力強化法の「グレーゾーン解消制度」に基づ
大臣所管の事業分野から照会に対して、産業
見解が示された。これは首相、経産大臣、厚労
インテナンスが療養給付に含まれない」と言う
に罹患していないと判断した者に對する予防メ
対して、経産省から「歯科医師が齦蝕・歯周病
ス業務を行おうとする会社」の問い合わせに
る株式会社（治療費保障つき予防メインテナ
てないが、「歯の予防メインテナンスを推進す
る文言が入っていない。又、あまり報道はされ
を間違えたわけですが、今のところ歯科に関わ
孝一先生をお招きして、デンタルミーティン
将来が見えてこないかとの思いから過日、川渕
混合診療などを行うことで歯科にとつて明るい
か選抜療養、選定療養、患者申出療養といった
なっていくと思われる。こうした状況下で何と
ことも厚労省が発表し、今後は厳しい審査と
者（支払い側）が全てを行う仕組みを導入する
又、2月19日に診療報酬請求書の点検を保健
を閣議決定した。

「混合診療」をテーマに集う 基調講演 川渕孝一 先生

平成26年度 神奈川県歯科医師連盟
デンタルミレニウムシンポジウムがなわ

2月19日(木)午後6時より神奈川県歯科医師会館地階「大会議室」で平成26年度県歯連盟デンタルミレニウムシンポジウムがなわが開催され、それに先立ち川渕孝一先生の基調講演が行われた。



講演する川渕孝一先生

【略 歴】

昭和34年8月生まれ
昭和59年3月 一橋大学歯学部歯科学卒業
昭和62年6月 シカゴ大学経営大学院修士課程 (MBA取得) 修了
平成元年8月 民間企業を経て厚生省国立医療・病院管理研究所 医療経済研究部勤務
平成10年4月 日本福祉大学経済学部経営開発学専攻 教授となる。
平成12年4月 東京医科歯科大学大学院 教授となり現在に至る。

鶴岡理事長の司会進行で始まり、開会を高橋県歯連盟副会長が宣言された後、富田県歯連盟会長より消費税アップの見送りで我々の望むべき診療報酬改定も先送りとなりました。総務省調べの子供たちのなりた職業100には残念ながら歯科医師が入っていない。それに対してアメリカではなりた職業のNo.1だとのことだから、我が国における歯科医療は夢が持てる職

業ではないとおもわれる。年度末には混合診療解禁となる法案が可決される見通しである。本会と連盟が一丸となって今後の難局に対応していかなければならないと挨拶があった。

続いて高橋県歯連盟会長から県の歯とお口の健康保険条例制定にともなうプロジェクトチームが発足して超高齢社会に対応するための働きを期待したい。医療が充実していないと国の生存権まで脅かされることになる。従って医療に政治は不可欠であるので会員の協力をお願いしたい。と挨拶をされた。

引き続きご来賓の挨拶では、日歯連盟を代表して高木日歯連盟会長が冒頭に昨今、マスコミに取り上げられた「迂回献金問題」について説明をされた。本日のデンタルミレニウムに關しては、講師である川渕孝一先生との今までの関わりを披露され、本日の講演も有意義なものになることを祈念している。と言うご挨拶をされた。

また、この会に出席し、1月に次期参議院比例代表選挙組織代表候補者に決定した砂川 稔氏(千葉県歯科医師連盟会長)より力強い意気込みを感じる挨拶がなされた。

当日ご出席の来賓は石井みどり、島村 大参



砂川 稔 次期参議院候補予定者

第47回総選挙結果報告と次期統一地方選挙について協議 —幹事会・DM会合同会議—

内容について、また、歯科口腔保健推進室の実状や個別指導時の持参物についての法的根拠などを説明され、最後に指導監査の改革はオール歯科界でなされたものであると力説された。



富田会長のご挨拶

平成27年2月19日(木)午後4時30分より歯科医師会館5階「501・502研修室」にて、幹事会・DM会合同会議が行われた。北野副理事長が司会を務め、高橋副会長の挨拶により開会とされた。富田会長の挨拶では、昨年末の第47回衆議院選挙への協力のお礼と、高木日歯連盟会長が日歯会長長予備選において当選された旨を報告した。

報告では、鶴岡理事長から第47回衆議院議員総選挙についての活動報告があった。高橋副会長は日歯連盟評議員会報告を行い、砂川稔氏(前日歯連盟副理事長)が次期参議院選挙組織代表候補者として承認されたことを報告した。

続いて、島村大参議院議員が国政報告を行い、自民党内の部会において国保組合の補助金見直しについて議論が行われたことや、神奈川県に配分される38.5億円の社会保険制度改革基金の



島村 大 参議院議員

続いて、次期参議院選挙の組織代表候補 砂川稔日歯連盟参加が登壇し、立候補にあたっての意気込みを話された。続いて、神奈川県自民党802議連から小川久仁子神奈川県議会議長、桐生秀昭議員、嶋村公(ただし)議員、佐藤光議員から一言ずつ挨拶をいただき、萩原鉄也伊勢原市議会議員からは次期統一選への支援のお願いがあった。

協議の中で、統一地方選挙の対応について鶴岡理事長が説明した。最後に徳永副会長が閉会を述べ散会した。



砂川 稔 次期参議院候補予定者



会 議 風 景

石井元県歯連盟会長と本連盟が栄えの受賞 日本歯科医師連盟 平成26年度優章

日本歯科医師連盟は賞章規則第2条第三号の該当者として、平成26年度の優章受賞者を個人8名と賞章規則第2条第四号の該当団体として2団体の地域歯科医師連盟を発表した。

神奈川県では、個人として磯子歯科医師会、石井良雄先生が受賞され、また、団体としては、神奈川県歯科医師連盟が27年ぶりに受賞した。



受賞する石井先生

石井良雄先生（磯子）

（大正15年7月18日生 88歳）

【功績概要】

大学卒業後、東京都新宿区にて歯科医療・歯科医術の研究に努め、昭和32年に横浜・磯子区において石井歯科医院を開院以来、地域住民への歯科医療及び口腔保健の向上に日夜断身的な努力をされた。同時に横浜歯科医師会理事並びに神奈川県歯科医師会磯子歯科医師会会長の要職に就かれ、市民・県民の歯科保健向上と歯科医学医術の高揚、さらに会員福祉の

神奈川県歯科医師連盟

（設立年月日・昭和27年9月5日）

【功績概要】

神奈川県歯科医師連盟は昭和27年9月5日の設立以来、一般社団法人神奈川県歯科医師会定款が定める県民の歯科保健向上と歯科医学医術の高揚、会員福祉の充実を要見させるため、一般社団法人神奈川県歯科医師会と緊密な連携を図り積極的に政治活動を展開している。特に近年では神奈川県政において、自民党神奈川県議

議院議員をはじめ日歯連盟より高木会長、峰理事長、村田副理事長、鶴田副理事長、中村監事、砂川次期参議院比例代表選挙組織代表候補者、神奈川県歯科衛生士連盟から廣石会長、浦田副会長、法木理事、花園理事、竹野理事、小泉理事、神奈川県歯科技術士連盟から角田会長、金井副会長、三好副会長、工藤理事長、白井監事らが出席された。

本日のメインとも言えるべき時局講演は川崎孝一東京医科歯科大学教授による「アベノミクスと歯科医療経営～歯科における選定療養について～」と題して始められた。川崎氏は経営を専攻して修士を取得した後、民間企業から厚生省関連医療・病院管理研究所に研究員として務められ、大学に転じられてからも医療経済、医療政策、医療経営を研究されてきた。

現在のアベノミクスと国民生活を例にとりてGDPと医療費の伸びを比較して、景気変動に閑係なく医療費全体は伸びてゆく一方に対し、歯科医療はGDPの伸びにほぼ一致している。又、医科との格差も広がっているとも述べられた。



コメントする石井みどり参議院議員

今、話題の混合診療については歯科に於いては旧来より保険診療と自由診療がおこなわれており特定療養費制度との併用はある意味での混合診療である。

高度先進医療を取り入れる事を主体とする評価療養と歯科特有な制度で保険診療の範囲を広げる選定療養の2つを保険診療と併用すること

が今後出てくると言われ、政府は保険導入には医療費の上昇をとまなうため、保険における診療報酬アップには消極的である以上、混合診療の分野は注目されることになるかと締めくくった。

続いて行われたデンタルミーティングINかながわでは、講師の川崎先生も交えて島村大参議院議員を座長に始められ、「新たな歯科医療制度と政策の選択」と題して国会議員、日歯、県歯の立場から様々な討論がなされた。



講演する多量の議員連

石井みどり参議院議員は厚生労働委員長の立場から国の保健行政における歯科診療報酬を取り上げ、混合診療の選択は充分にありえろことと肯定的見解の意見を出されていた。高木日歯連盟会長は診療報酬適正化を来期は日歯会長として訴えていくと強い意気込みで意見を述べられた。川崎先生は今後、アメリカの民間保険制度による医療給付も日本に普及することも考慮に入れていかなければならないことを付け加えておられた。

ともあれ高齢化が進み健康保険制度、年金制度も問題が多いのが現状である。これを医療にたずさわる私たちの国家戦略とどのように向き合っていくかが課題となる。と結論付けた。

最後に参議院議長より閉会の言葉として「本日の講演を聴き、今後の歯科界を見直す資料としていきたい」と言い、デンタルミーティングINかながわを閉会した。

講演内容はホームページに動画にて掲載中

咀嚼だけではなく、味わう楽しみもきちんと提供して差し上げねばならない。大学等の研究機関等に加え、4月に新たに立ち上がった「国立医療研究開発機構」などにも歯科医師免許を有するメンバーがいらないのは寂しい。医科はメデイカル・シンドロームから、県医師会はロコモティブ・シンドロームへ、日歯大久保会長は8020と共に、高齢化に伴いオーラル・フレイルを取り上げていく。ここには味覚が当然含まれるものと考え、日歯・日歯連盟は政府に働きかけたい。

統一地方選挙前半では、応援した候補が当選でき、県、市町村のいわゆる「歯・口腔の健康推進条例」に基づいた事業も、加速させていかなければならない。そうした、目に兒える効果を示すことが連盟の使命であると思う。

(文責 富田 篤)

生活医療者には後発薬品促進、市販薬品は保険医療から除外といった、医療費削減のニュース、そして歯科の矯正治療やインプラント治療については特定商取引に関する法律の規制対象になるというものから、「尿一滴でがん判別」(九州大学)、「敗血症に新治療法」(神奈川県立がんセンター)という面白いニュースも日々新聞に報道される。過日、読売新聞に「味覚障害はまず耳鼻咽喉科に行き、治療を」という記事があったが、味覚は主に舌の味蕾によって司られるものであり、歯の悪い医科とのやり取りはあろうが、歯科がこの領域に踏み込む必要があるだろう。高齢社会、

満場一致により可決されたことは、神奈川県歯科医師連盟の政治活動の賜物といえる。このことは、都道府県歯科医師連盟の先駆的役割を担っている。一方、地方自治体選挙においては、会員である大木哲氏の神奈川県議会議員選挙、更には大和市長選挙、会員である萩原鉄也氏の伊勢原市議会議員選挙を勝ち取ることに尽力。また、国政選挙においては、石井みどり、西村まさみ両参議院議員の当選に向けて選挙活動の推進、さらには本県会員の島村大氏の参議院神奈川県選挙区選挙において、同氏の後ろ盾となり神奈川県下自民党議員及び神奈川県下会員への働き掛けを行い、結果、全国一位の得票数を獲得した背景には神奈川県歯科医師連盟の組織力が大きな一助となっているものと評価するものである。神奈川県歯科医師連盟では、地域歯科医師連盟との緊密な連携を図り、組織力を強化することを目的として神奈川県下をブロック別に分けた地域歯科医師連盟代表者(幹事)会議を開催している。この会議では各地域の未入会者対策の情報交換、各地域選出の各種議員との関わり方(勉強会等の開催)を議題として開催し、選挙活動時以外も地域会員との関わりを重視した事業を展開。特に未入会者対策においては、若年会員を中心とした組織対策委員会を設置し、地元、同窓、校友会、スタディーグループ等の横の繋がりから歯科医師会未入会



褒賞規則第2条第四号該当

業権の確保とその伸長を中央、地方を問わず政治的に緊密かつ強力に推進され、あるいは連盟会員の国会議員、都道府県議会議員、同各種委員会委員、地方自治体の首長等に関する日常の政治活動が長期にわたって活発であり、その成績が優秀なる都道府県歯科医師連盟。

県議、横浜市議共に当選



島村 大議員の秘書であった田中 信次氏(写真左)が神奈川県議会選挙で横浜市長区から出馬し、見事に票数25,763票を獲得して初当選を果たした。また、横浜市長選挙では、島村 大議員の診療所スタッフをしている伏見 幸枝氏(写真右)も横浜市長区より出馬して、初当選を果たした。二人とともに自民党より公認候補として出馬し、お忙しい中を官房長官の所いりて応援に駆け付けていただき、多数の票を獲得することができた。今後の県議会、市議会に大いに期待しよう。



第18回統一地方選挙 (県議会議員選挙) 8020議連当選者一覧表

(平成27年4月13日現在)

No	地域	役職	議員氏名	年齢
19	川崎市	議員	土井 隆典	55
20	横浜市	議員	竹内 英明	63
21	横浜市	副会長	牧島 功	70
22	鎌倉市	会長	中村 省司	69
23	藤沢市	議員	國松 誠	53
24	大和市	議員	藤代 優也	43
25	茅ヶ崎	幹事長	佐藤 光	45
26	平塚	議員	森 正明	53
27	厚木	副会長	堀江 則之	71
28	海老名市	議員	山口 貴裕	42
29	海老名市	議員	長田 進治	49
30	相模原市	議員	八木 大二郎	51
31	相模原市	議員	河本 文雄	58
32	相模原市	議員	細谷 政幸	57
33	茅ヶ崎	顧問	久保寺 邦夫	78
34	伊勢原	議員	渡辺 紀之	44
35	足柄	議員	杉本 透	60

No	地域	役職	議員氏名	年齢
1	中区	幹事	原 義祐	45
2	西区	議員	かとう 元弥	48
3	港南区	副幹事長	桐生 秀昭	64
4	磯子区	幹事	新井 綱世	46
5	全沢区	議員	国吉 一夫	69
6	保土ヶ谷	議員	高橋 栄一郎	45
7	旭区	会計事務局長	櫻本 桂太郎	52
8	戸塚区	副会長	松田 良昭	58
9	神奈川區	議員	柳沢 裕之	57
10	港北区	副幹事長	嶋村 ただし	58
11	緑区	議員	柳下 剛	51
12	青葉区	議員	小島 健一	52
13	青葉区	幹事	内田みほこ	45
14	都筑区	幹事	敷田 博昭	46
15	川崎市	議員	杉山 信雄	57
16	川崎市	議員	田中 徳一郎	34
17	川崎市	幹事	小川 久仁子	62
18	川崎市	監事	持田 文男	63

富田会長・増田監事 再選 ～第32回評議員会開催～

平成27年6月4日（木）



挨拶する森原保也市議

県歯会館・大会議室にて平成27年度第32回評議員会が行われた。開会を前に萩原鉄也伊勢原市議会議員より先般行われた統一地方選挙における説明と報告が行われた。次に点呼にて定数76名のとこ、出席者72名、欠席者4名で本会議が成立することが確認された。開会を徳永副会長が行い、議長一任の声にて議事録署名人には鶴見厚貴君（旭区）と仲村裕之君（鎌倉市）が選出された。

会長挨拶において富田会長は、「日歯連盟への特規規程は誠に残念。間違いないように会計処理してきたのに何の確証で埋められたのか不明。県歯連盟としては会員の生活を守る活動を進める。議員さんとの良好な人間関係を築き、私たちの話を聞いてもらうことに尽力したい」と述べた。

県歯高橋紀樹会長の挨拶では、東大の機関が高齢者の心と体の機能低下（フレイル）に社会がどうかわかるかという概念を提唱し、これを国民運動として展開しようとしている。その中にオーラルフレイルという分野もあり、高齢者の歯科医療に大きくかわるものではないかと話した。

大和市の大木哲市長の挨拶では、『健康都市やまと』を掲げ条例を制定し、推進計画をもとに口腔の健康に力を入れている、と話した。

次に、島村大参議院議員から国政報告があり、統一地方選の報告と厚生労働委員会における年金情報流出問題の説明があり、市町村国保の補助に健保組合から総報酬割りで支出する件、医療基金の割り当てや活用の仕方について意見を述べた。

事業報告では（1）庶務及び事業報告を小泉常務理事が行った。（2）日本歯科医師連盟評議員会報告を高橋副会長が行い、「日歯連盟の資金移動に関する疑義」について時系列で説明し、断絶性のある資金移動は一切行っておらず、だれが見ても明らかな会計処理を行うために構築された仕組みを肅々と運営してきたものである、と説明した。

議事については、

第1号議案 神奈川県歯科医師連盟一般会計平成26年度収入支出決算に関する件

第2号議案 神奈川県歯科医師連盟平成26年度貸借対照表、財産目録に関する件

第3号議案 砂川聡神奈川県後援会の設置に関する件

全議案つつがなく承認され可決した。



続いて原歯連盟会長ならびに監事選挙について高橋清治（茅ヶ崎）選挙管理委員会委員長より選挙経過および結果の報告があり、無投票に富田会長、増田監事ともに再選が決定した。当選証書がそれぞれに渡され、富田会長は、私のなすべきことはきちんとした会計処理のもと、神奈川県連盟独自の働きを執行部と手と、神奈川県連盟の発展に貢献したいと話した。また増田監事は、重責だが連盟が正しく健全に執行されているのか公正普遍に責務を果たしたいと話した。

最後に森副会長より閉会が行われ、評議員会は散会した。

神 歯 連 盟 NEWS

第105号

平成27年10月15日 発行

〇発行人：富田 康 〇編集人：森 洋行 〇編集：神田 潤一 鈴木 進一 堀田 暁 〇0451(681)2172

目次	
県歯連盟 会長就任挨拶	1 頁
第32回評議員会	2 頁
第33回評議員会	3 頁
平成27～28年度新役員紹介	4 頁
各委員会役員紹介	5 頁
第33回評議員会 会長挨拶文	6 頁
神奈川県歯科保健・医療推進研究会「一灯」・知事答弁	7 頁
	8 頁

県歯連盟 富田会長就任挨拶

神奈川県歯科医師連盟会長として三期目の承認をいただきました。大変素晴らしい歯科界であり、一般社団法人鈴木敏介会長率いる新執行部と連盟執行部一丸となって、黒岩知事の「未病をなおす」の意気込みに沿った事業を展開し、県民の健康のため前進して参ります。

さて、人の力で避けられない火山活動、大雨、風速80メートルを超える台風、加えて豪雨による堤防決壊、大洪水などが次々起りました。そうした災害時に自衛隊員が被災者を助けるのに、彼らの活躍は大変心強く、感激したままです。正に「わが国が国民を守る最大の救済隊」であり、救済後の被災者の健康をチェック、治療するのは、医師、歯科医師であります。安否法も改正され、自衛隊の活動範囲にも色々変化があり、世界に誇れる自衛隊であり続けることを願います。

本年の地方選挙において神奈川県歯科医師連盟が推薦いたしました黒岩知事はじめ、自民党県議団、公明党ともに大変よい成績を得ることができました。これによって神奈川県歯科医師会会員の県民に対する歯科保健医療サービスの提供も一歩前進させ得る環境に近づきつつあると思います。しかし財務省は次年度の診療報酬改定はマイナスと断言。しかし厚労省はこのままマイナス改定であれば多くの医療機関が閉院となると訴えております。人の命、健康



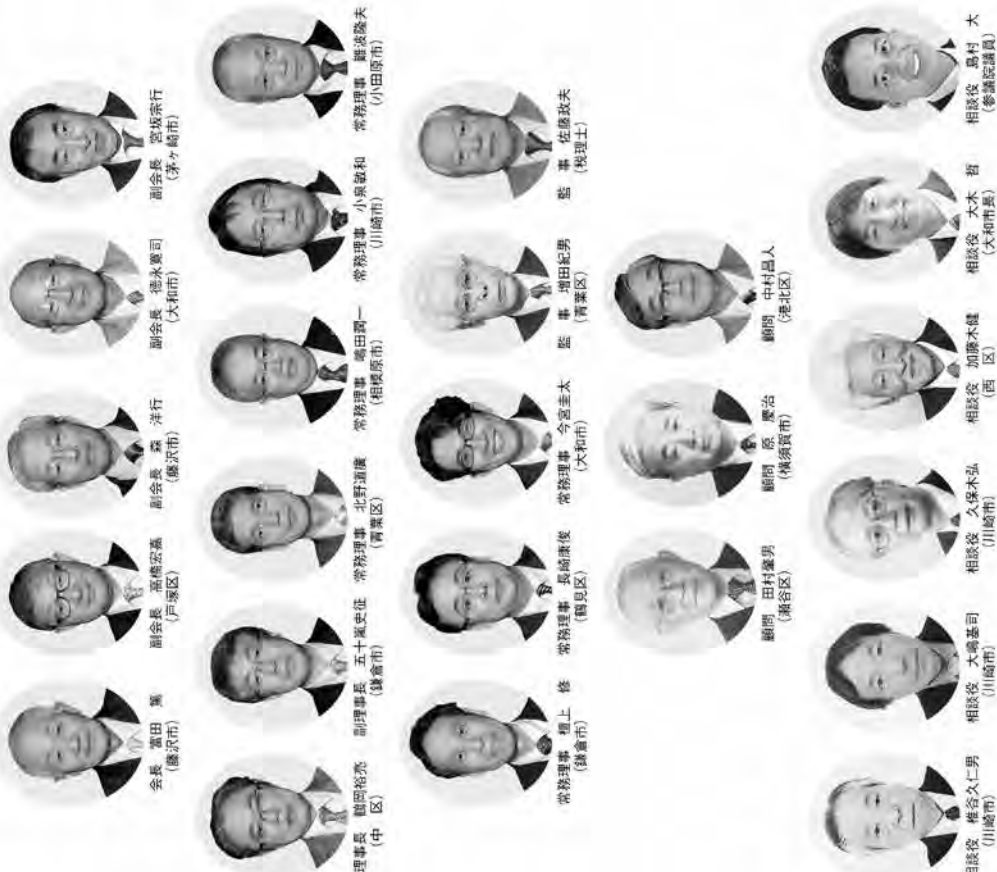
再選した富田会長

は掛け替えのないものであり、医療の優先順位は何よりも高いと信じます。

そうした折、グレーゾーンといわれていた薬局店頭での薬剤師による口腔内環境のチェックを可能にしたり、歯科医師不在での歯のメンテナンス、ホワイトニングなど、そして医師のいない店頭でのワンコイン成人病チェックなども許可され始めています。また、これまで処方箋で購入できなかった湿布薬なども、誰でも薬局で購入できるようになりました。これは医療費削減となるのか？使用方法等に誤りがあり、重症化することもあり得るので、一概に「医療費削減」に直結はしないと思います。こうしたことを含め三師会連盟とも連携し、国・地方の行政、議員団との勉強会などを開催し、医療に関わるわれわれから進言、要望をし続け参ります。

会員各位のご理解、ご協力を切にお願い申し上げます。

平成27年・28年度 神奈川県歯科医師連盟 役員・顧問・相談役



花村欣也 評議員 (厚木) が議長に、 川田俊一 評議員 (磯子) が副議長に再選

【第33回(臨時)評議員会】開催

平成27年9月10日(木)県歯会館・大会議室にて平成27年度第33回評議員会が行われた。開会に先立ち、点呼にて定数75名のところ、出席者72名、欠席者3名で本会議が成立することが確認された。開会を徳永副会長が行った後、司会一任の声にて花村欣也君(相模原市)が議長に、川田俊一君(磯子市)が副議長に、須賀市、小川淳君(川崎市)が選ばれた。第1号議案として正副議長の上程され、評議員からの推薦により花村欣也君(厚木・写真右)が議長に、川田俊一君(磯子・写真左)が副議長に指名された。



続いて富田会長より会長挨拶(6頁記載)が行われ、その後、県歯会会長挨拶を鈴木敏夫県歯会会長が行い、「県歯と県歯連盟は一心同体・運命共同体でなければならぬ、お互いをよく理解するために連盟サイドからも理事会にご出席くださることである」と述べた。

来賓挨拶として日歯連盟の高橋英登会長が、「神奈川県は選挙活動等を熱心に行っている有数の地区であるのに皆様の努力を水泡に帰すような事態を招き大変申し訳ない。石井みどり先生にも大変迷惑をかけてしまった」と陳謝した。

続いて石井みどり参議院議員の挨拶で今回の騒動について「日歯連盟内部の都合での資金

移動に過ぎず、私の政治資金管理団体には1円も入っていない。本来は総量規制を受けるものではない。そこが東京地検との見解の相違。メディアで騒がれ組織代表としての議員活動を自粛したが、大きな打撃を受け惜んでいる。そして正当な評価を受けられる歯科界を取り戻したい」と熱弁した。

次に島村大参議院議員が挨拶し、「文部科学省に2名の歯科医師の政務官を非常勤だが設置できたこと、904億円の基金について今年は何機能力強化を柱として予算建てすると厚労省が言い出したので頑張っている。また基金を利用して外來課をとれるよう会員も動いてほしい」と述べた。

最後に三原じゅん子参議院議員が挨拶し、「ライフワークの医療・福祉に関して厚労委員会に5年間所属し、石井議員に大変お世話になっている。来年の参議院選挙に神奈川県から出馬する決心をした。チーム神奈川の1員として大好きな神奈川のためにこれからの政治活動を進めたい」と語った。

日歯連盟評議員会報告で高橋英登副会長は、関東地区役員協議会の1都7県において砂川登氏の後援準備について意思統一がなされたこと、政治資金規正法に関する協議についての報告があった。

閉会を森副会長が行い、日歯連盟では動きにくい状態だが神奈川県では新しい任期を迎えようと活動していく所存です。協力願いたいと述べ、評議員会は散会した。

第1号議案 神奈川県歯科医師連盟評議員会議長・副議長の選出に関する件

第33回県歯連盟評議員会会長挨拶

2015.09.10

長い地検の捜査、いまだ結論が出て参りません。本連盟にもいと予測されますが、何の違法なことはありませんが、データ等を持ち去られると業務にも大きく支障を来します。結論が出るまでは、予測は許せません。

先月27日関東地区歯科医師連盟役員連絡協議会が宇都宮で開催されました。メインタイトルは「次期参院選についての対応」に関わるものであり、こうしたことを論ずるとき、現在の地検の捜査が、違法性なしという結論が出ない限り、積極的に考えにくいこととあります。

結論としては地検の結果を見て、どう対応するかを考え直すことになろうかと思っています。

早期に地検からの「違法性なし」という結果を得て、日歯連盟として国に次年度の予算編成に際し、強く要望し、ロビー活動をして欲しいと望みます。

原議案も8日から開催され、議会であります。が、9月24日神奈川県歯科保健・医療推進研究会が開催されます。実のある研究会とすべく、本

日の協議会にも取組んであります。

こうした県行政、県議会議員の理解を得るためには、環境づくりが必要であります。

鈴木県歯会会長はじめ社団役員各位が、県行政に対し、強い働きかけをされておられます。

連盟は原議案サイドへの働きかけをいたしております。

本日の本連盟臨時評議員会に、ご多忙の中、日歯連盟高橋会長、石井井どり先生、島村大先生にご参加頂き感謝申し上げます。

また、次期参院選におきまして自民党公認候補として神奈川県選挙区から出馬されます三原じゅん子先生もおいでくださいます。常務会におきましては三原先生を推薦申し上げ、応援することを決定いたしております。

評議員の先生方、地域歯科医師連盟の会員数減を食い止め、抑のためご協力ください。そして、本日の評議員会どうぞよろしくお願いいたします。

田中信次県会議員

～県議会にて歯科条例について質問～

平成27年度第3回県議会定例会（9月17日）にて田中信次県議は「神奈川県歯および口腔の健康づくり推進計画の中間評価について」質問した。



神奈川県歯および口腔の健康づくり推進計画の中間評価について

近年、歯と口腔の健康と全身疾患との関係が明らかになってきており、「未病」を治し「健康寿

命日本一」を目指す本県にとって、全身の健康に密接に影響する歯科保健・医療の推進は、益々その重要性が高まっている。

本県では、平成23年に「神奈川県歯および口腔の健康づくり推進条例」を施行し、平成25年に

は「神奈川県歯および口腔の健康づくり推進計画」を策定した。条例施行から5年を経過する来年度は、中間評価に向けて、県民の歯と口腔の健康状態や課題などを検証していく必要があると考える。

そこで、「神奈川県歯および口腔の健康づくり推進条例」施行から、来年度で5年が経過し、推進計画の中間評価を控える中で、県民の歯及び口腔の健康づくりは益々その重要性が高まると思うが、知事の認識と、今後どのように取り組んでいくのか、見解を伺いたい。

（知事の答弁は8面に記載）

広報委員会委員

<平成27・28年度>

委員 鈴木 雄一（相模原市） 委員 飛田 暁（相模原市）

組織対策委員会委員

<平成27・28年度>

委員 棚上 修（神奈川県歯科医師連盟常務理事） 委員 宇佐美貴弘（鶴見区）
委員 北野 道彦（神奈川県歯科医師連盟常務理事） 委員 大石 俊一（横須賀市）
委員 難波 隆夫（神奈川県歯科医師連盟常務理事） 委員 山田 剛久（茅ヶ崎市）
委員 今宮 圭太（神奈川県歯科医師連盟常務理事） 委員 勝俣 浩一（小田原市）
委員 石田 千洋（戸塚区） 委員 山畑 智也（相模原市）
委員 山崎 智人（青葉区） 委員 川越 元久（川崎市）
委員 小野清一郎（泉区）

情報調査委員会委員

<平成27・28年度>

委員 今宮 圭太（神奈川県歯科医師連盟常務理事） 委員 山畑 智也（相模原市）
委員 小野清一郎（泉区） 委員 八木 英一（茅ヶ崎市）
委員 坂下 友也（青葉区） 特別委員 棚上 修（神奈川県歯科医師連盟常務理事）
委員 宇佐美貴弘（鶴見区）

日本歯科医師連盟役員・評議員・予備評議員

<平成27・28年度>

【副会長】 加藤木 健（相談役） 澤田 篤（会長） 森 洋行（副会長）
【常任監事】 中村 昌人（顧問） 高橋 宏男（副会長） 徳永 寛司（副会長）
顧問 祐亮（理事長） 宮坂 宗行（副会長）

一 灯

本年1月23日の臨時評議員会において、2名の評議員から「日歯連盟が政治資金規正法に違反しているように見られる処理を正す」という指摘があった。そして4月末に東京地検特捜部の捜査が入り、その後、全国の都県の連盟役員、事務局員への事情聴取などが、顕著に行われた。9月28日の日歯連盟評議員会においても顧問弁護士は違法性について明らかに言明しておられたので、全国都道府県から参集した評議員はホッとした。しかし9月30日、前日歯連盟会長、前連盟副理事長と元日歯連盟会長の3名が逮捕という衝撃的なニュースが飛び込んできた。

立ちくくみをするような情報がマスコミを通じて全国に一気に流れた。国民はまた歯科医師連盟が迂回献金をしていたかと思ひ、会員は未だに違法なことをしていたのかと失望の念を持っていた。会員が連盟組織代表、そして推薦の

現職の参議院議員に、金銭そのものの授受はなかったが、彼らにも不信の目が向けられ、迷惑をおかけしたことは事実である。

この政治資金規正法を安易に自分らの都合の良い見方、解釈をしようとしたことになるのか。そのあたりを徹底的に分析し、再び繰り返すことは許されない。残念ながら、衆議院の参議院選に組織代表を出馬させることはできないものと考えた。ワーキングアパースと称され、混迷極まるこの歯科界をどう立て直すか。

まずは会員の信頼を取り戻すために連盟としてなすべきことは何かを考えねばならない。歯を食いつくし、日々歯科診療に傾注し、それを他がきちんと評価してくれるのを待つという生業をいつまでも継続し得ることも不安ではある。

また、日歯連盟会長の逮捕により問題解決には相当長引くことを覚悟し、今後の日歯連盟本部そのものについても、10月22日の臨時代議員会ですっきり協議し、早急に決定しなれない。

(文責 富田 篤)

黒岩県知事

～歯科条例について答弁～

(6面の田中県議の一般質問に対する答弁)

本県では「本病を治す」をキーワードに、食、運動、社会参加の3つの取組みを推進しています。私は、いのちの源は食であり、食の入り口が口であるので、歯が健康であることが重要で、歯科医師は単なる歯の専門家ではなく、命と向き合う歯科医師であるべきと考えています。

本県では、平成25年3月に「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画」を策定し、歯と口腔の健康づくりや、在宅歯科医療を推進しています。歯科医療関係者等の様々な取組みにより、歯のある子どもは、3歳児で、この10年間に、約24%から約14%へ10ポイントも減少しています。80歳で20以上の歯を保つための取組みである、8020運動についても、既に3分の1を超える方が達成しています。反面、これに伴い、歯周病が増加しています。歯周病は、糖尿

神奈川県歯科保健・医療推進研究会

9月24日(木)午後5時半よりロイヤルホテルヨコハマにて、神奈川県歯科医師会と歯科医師連盟は自民党県議の8020議連を中心に歯科保健・医療推進研究会を開催した。挨拶を神奈川県歯科医師連盟・富田篤会長、神奈川県歯科医師会鈴木駿介会長が行い、県議からは、かながわ自民党歯科保健・医療推進議員連盟会長の中村省司議員が行い、最後に神奈川県保健福祉局長の中村正樹氏が挨拶された。その後の勉強



議員連盟・中村省司会長の挨拶



会場風景

～参議院議員・島村大君を励ます会 開催～

平成27年10月1日(木)午後6時よりANA インターコンチネンタルホテル東京において、島村大君を励ます会が行われた。当日は天候不順の中、神奈川県から300人超の先生方やご家族の方が参加され盛大に行われた。

最初に参議院議員会長である渡手頭正参議院議員より本日の趣旨の説明とご挨拶があり、続いて厚生労働大臣塩崎恭久参議院議員、法務大臣・上川陽子参議院議員、農林水産大臣・林芳正参議院議員、国会対策副委員長・女性局長・



島村大君を励ます会

島村大君を励ます会

三原じゅん子参議院議員、行政改革推進本部本部長・河野太郎衆議院議員、国会対策委員長代理・小此木八郎衆議院議員とつづき、そして内閣府長官・菅義偉衆議院議員がご挨拶をされた際には、会場から一段と大きな拍手が響きわたった。他には、内閣府副大臣・福田峰之衆議院議員、組織運動本部長・田中和徳衆議院議員も参列された。

中橋めとして東京歯科大学同窓会長・矢崎秀昭先生からお礼の言葉があり、閉会となった。



島村大君を励ます会

島村大君を励ます会



2016 新年のご挨拶

参議院議員

西村 まさみ

新年あけましておめでとうございます。

先生方におかれましては、新たな年の初めを迎え健やかにお過ごしのことと、お慶び申し上げます。また、旧年中は、私の政治活動に対しまして格別のご指導ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

会員の先生方のお力で国会に送り出していただきはや6年目を迎えました。当選直後は、先生方のご指導のもと「歯科口腔保健の推進に関する法律」を成立させ、歯科診療報酬の2回連続となるプラス改定を実現、とりわけ平成24年改定では歯科固有の技術科への点数アップ等、歯科医療の前進・健康寿命の延伸に資する数多くの実績を勝ち取ってまいりました。政権交代後も、歯科医療界の皆さまの声を届けるために国会の場で毎回歯科関連の質問を行うとともに、野党として実現できることを積極的に行って参りました。

昨年の第189回通常国会では4回目の本会議代表質問で安倍総理大臣に、口腔の健康と全身の健康のつながり、健康寿命の延伸について質問を行いました。また、厚生労働委員会では8回で295分の質問に立ち、集団的個別指導の選定基準の見直しや長期にわたる中断の再開など理不尽な指導について何度も繰り返し取り上げ、是正を求めました。その他、外來環境の施設基準

の見直し、CAD/CAM冠の大臼歯拡大への必要性、歯科口腔保健推進室の状況、控除対象外消費税問題など歯科に関する質問を数多く行い、国保組合に対する国庫補助については特別調整補助金による支援や激変緩和措置の検討を附帯決議に盛り込みました。また、委員会質問と並行して、7本の質問趣意書を内閣に提出し、指導、外來環境の施設基準についてなど問題点を明らかにしました。

本年も、歯科医療・口腔保健が、健康寿命の延伸につながり、歯科医師の活躍の場をより広げることの重要性を国会の場で訴え続けることが国会にお送りいただいたという者の使命であると考え、引き続き全力で働いて参ります。

具体的には、指導については、社会の状況も歯科疾患も多様化する中で、見直しから20年が経つ指導大綱の見直しをしなければなりません。度々質問をしてきた集団的個別指導の選定基準の見直しや長期にわたる中断の是正など本年は1歩前進できる見通しも見えて参りました。また、民主党政権下で策定された歯科口腔保健法に基づく歯科健診の充実、歯科口腔保健推進室の省令室化を実現するまで質問を続けて参ります。

結びに、神奈川県歯科医師連盟の益々のご発展と先生方の今年一年のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

神 歯 連 盟 NEWS

第106号

平成28年1月1日 発行

神奈川県歯科医師連盟
○発行人：富田 篤 ○編集人：高 洋行 ○委員長：崎田 潤一 ○幹事：堀田 謙 ○045(681)2172

目次

県歯連盟 会長 年頭挨拶	1 頁	島村大議員 年頭のご挨拶	3 頁
西村まさみ議員 年頭のご挨拶	2 頁	「一灯」・日歯連盟の報告	4 頁

新年のご挨拶



神奈川県歯科医師連盟 会長
富田 篤

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、年明けから日歯連盟にかかわる思いもよらぬ事態で、会員の皆様にご心配ご迷惑をおかけしたことに對し、大変申し訳なく存じます。

国民への最善の歯科医療を提供できるよう、そして歯科に対する適正な評価を得るために連盟としての活動をしてきたはずですが、現在の時点ではマスコミ報道などにより、真逆の結果となつてしまいました。

顧問弁護士、監事、公認会計士のもとで違法性はないと信じ、活動をして参りましたが、国民の目線で不審に思われる日歯連盟の推薦、支援議員名を付した中央後援会の銀行通帳間で金の動きであったことは事実であります。現在グレーのものが法廷にてどのような結果となるのか定かではありませんが、しつかり白となることを私は信じております。

高橋英登会長率いる日歯連盟は11月27日の臨時評議員会で信任されました。高橋会長は国民、会員の信頼を得るために、「組織刷新委員会」などを立ち上げ、新たな政変を決定に実行しております。

新たに発足する公益法人日本歯科医師会としっかりと連携し、それぞれの立場で成し得る「再スタート」を信じ、願っております。また、それをわれわれ会員が見守っていかねばならないと思います。

歯科として国民の健康のために、なし得ることとは、手が足りないくらいたくさんあり、神奈川県歯科医師会においては、鈴木会長は社団としての事業を精力的に推し進めております。

在宅医療基金（904億円）を利用しての設備の整備、自民県議立法の条例の完成・育成・改正、地域医療連携新体制の構築、その他個別指導の半減と審査内容の改善など、それをききんとした形、システムにするために、県行政、県議連盟、そして国の力が不可欠であります。

今年は診療報酬改定の年、自民党歯科連盟も氣勢を上げ、また医科、歯科、薬剤師会も国民の医療を守る決起集会を開催いたしました。診療報酬全体で1%前後の引き下げ、という報道がありました。しかし、歯科に限ってはこれが適正ではありませんで、引き続き、歯科連盟の皆様に頑張ってもらいたいと思います。

歯科の適正な評価を求めるために連盟としての活動をして参りますこと、お約束申し上げます。最後にになりましたが、会員皆様のご繁栄を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。





歯科への評価が低いことを憂い、一燈の望みを求め「一灯」を書いてきたが、マスコミ報道によると歯科界をどん底へ突き落とすような事件となっていました。結果は数年後のこと、それまでに日歯連盟は疑いをもたれるような部分は全面的に体質改善し、日歯本会の力も借りながら、国民、会員への信頼回復のための活動を続けなければならぬ。そして会員には、どんな組織にあっても政治活動が不可欠であることを理解していただくために、連盟は裏方に徹すべきときと想っていたが、今後はその成果も具体例を少しずつ示していくと考える。

今回の件は殆どどの国民そして会員は、10年前の事件と同じと思っている。日歯連盟高

橋英登会長は都道府県を、そして神奈川県にあっては地成歯科医師会の会合に出向き、経緯をお話申し上げているが、聞いていただければ残念ながら、会員の一部分の方ではない。

11月の日歯連盟臨時評議員会では、次期参院選は白紙撤回となったことは、国民、会員の心情を考えると、致し方ない決断である。次期参院選では歯科界を理解し、力を貸してくれるであろう候補者を応援することとなる。

また、デンタルファミリーや歯科界を応援してくれた方々へもお詫びをし、継続のご協力をお願いしていかねばならない。今後は全力を尽くし、公益法人日歯会長と話し合い、歩調を整え前進させていく必要があると考える。

(文責 富田 節)

日本歯科医師連盟

第127回臨時評議員会 決定事項の報告

(平成27年11月27日)

【議 事】

- 第1号議案 次期参議院比例代表選挙に係わる件
提案理由のとおり、平成28年7月に予定されている第24回参議院比例代表選挙については、既に組織代表候補者を擁立して選挙に臨むことが了承されていたが、本連盟を取り巻く諸般の事情から白紙撤回とすることを賛成多数により可決確定いたしました。(賛成64票、反対11票)
- 第2号議案 現執行部の信任を求める件
提案理由のとおり、現執行部を信任することが賛成多数により可決確定いたしました。(信任45票、不信任28票、無効票2票)

2016 新年のご挨拶



参議院議員
高村 大

新年あけましておめでとうございます。
神奈川県歯科医師連盟の皆様におかれましては、お慶やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃より格別のご高配を賜り、心から御礼申し上げます。

おかげをもちまして、参議院では厚生労働委員会、予算委員会、ODA特別委員会等の委員として、また、自民党においては厚生労働部会、文部科学部会の副部長として、喫緊の政策課題に取り組みさせて頂いています。年末の税制改正、予算編成も早3度目となり、皆様のご要望をヒアリングし、プロセスと結果を見ていく中で、ようやく流れがつかめてきました。昨年より今年、今年より来年と、より迅速に、的確に、皆様のお声を国の中枢へ届けて参る所存です。

私は神奈川県選挙区選出の議員として、非常に多岐にわたる分野に携わらせて頂いています。が、最も力を注いでいるのは社会保障制度改革です。

少子高齢化が急速に進む中、平成24年に社会保障と税の一体改革関連8法案が成立し、翌25年には社会保障制度改革の全体像や進め方を明らかにするプログラム法が成立しました。子ども・子育て支援新制度の創設や年金制度改革から、平成26年には医療・介護分野を改革の重点に。平成27年、先の通常国会で医療保険制度改革関連法が成立したことで、一体改革における制度改正は一つの節目を迎えたといえます。

持続可能な社会保障の充実に向け、これからは、国、地方が一体となって、これらの改革項目を適切に実施していくステージに入ります。安心して暮らせる社会の実現に向けて、医療や

介護に関わる方々だけでなく、地域に住まう国民お一人おひとりが、できることをし、協力し合うことが必要です。その一つが「予防」です。食べる、休む、運動する、などのバランスを心がけ、少しでも長くお元気で頂くことは、社会への貢献にもつながります。健康寿命の延伸こそが最も社会保障費を抑制する策であり、私の目指すところです。

歯科に関しては、診療報酬改訂の点数について、財源は昨年末のご案内のとおりですが、2月末までには決まる見通しです。実態に即したものと成るよう、引き続き技術アップと算定要件等の緩和を強く訴えて参ります。

また、今後の歯科医師のあり方について、私は教育の重要性を最近とみに感じています。どうしてもそれは歯科界全体のレベルアップを図る。口腔と全身疾患の関係性がさらに明らかになっていけば、必然的に口腔のみならず全身をしっかりと理解している歯科医師が求められます。診療の範囲は広がり、歯科医師の役割も必要性も増大するでしょう。

そのような新しい歯科医師を養成するには、歯学部のカリキュラムを改めることはもちろんですが、何より、受け身でなく学生同士が切磋琢磨し、自分でレベルアップを図るためのノウハウや習慣を身につけることが大切です。大学においては、今後の方針の方向性や環境のあり方も検討する時期に来ているかもしれません。

国民の健康のために歯科界が果たすべきことを時代の変化に即し、これからも追求し続けたいと考えています。

皆様のご指導の下、今後も、国民目線、現場主義をモットーに精進して参ります。引き続き変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が神奈川県歯科医師連盟の先生方にとって幸多き年となりますよう初念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

なっております。現在、参議院厚生労働委員会
の委員長を務めさせていただいております。神
奈川に住んでいるということもあって党本部に
お願いし、神奈川から出席することになり、党
公認もいただきました。ぜひ皆様にいままで以上
のご指導を賜って、皆様の方になることがで
きるような議員に育てていただきたい。鳥村大
先生、石井みどり先生と手を携えて精いっぱい
頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願
い申し上げます」と力強くご挨拶された。

報告では小泉常務理事が庶務及び事業報告を
行った。その中で逝去会員に対して評議員会の
名のもとに黙とうを行った。宮坂副会長は組織
対策委員会に関する資料を説明し、「今考える
歯科の持つ政治力と成果」「歯科医師連盟活動
一覧」(三頁参照)について説明した。

最後に、鳥村大参議院議員からは、「税制改
正では事業税と4段階の特措法は死守できた、
904億円の基金について県には入ってきている
が行政とやり取りして活用してほしい。今次改
定では点数配分において在宅に力が入ってい
る。か強診」に対応できる体制を診療室に整え
ていくことも考えていただきたい。指導大綱に
ついて行政側の一方的な考えでいいとは思わ
ない、歯科医師会自身が厳しくも思ってい
くことも大事である」と話された。



国会報告をする鳥村大議員

＊【解説】か強診(かかりつけ歯科医機能強化型歯科
診療所)：従来の事後診と外来型の歯周病治療を満
す歯科診療所に対し、本県内診療所よりも高品質を算
定できる施設基準。11項目のハードルをクリアしなけ
ればならない点と一物二価、包摂化(丸め)の問題も。

続いて議事に入り、

第1号議案 神奈川県歯科医師連盟平成28年
度事業計画(案)に関する件を鶴岡理事長が説
明し、賛手多数にて可決承認された。

第2号議案 神奈川県歯科医師連盟平成28年
度会費賦課並びに取納方法に関する件

第3号議案 神奈川県歯科医師連盟一般会計
平成28年度収入支出予算(案)に関する件
鶴岡常務理事が説明し、ともに可決承認された。

次の協議では、参議院議員選挙の対応につ
いて鶴岡理事長が説明し、①本連盟の政党支援の
基本方針について、本連盟は政権政党である自
由民主党および公明党を支援する。②本連盟の
推薦予定者について、神奈川県選挙区では三原
じゅん子氏(自民党公認)、全国比例区では山
田宏氏(自民党公認)を重点候補とし、自見は
なこ氏、藤井もとゆき氏も予定している。と説
明した。

その後、数名の評議員より活発な意見がでた
が、現職の西村まさみ参議院議員(現・民進党)
の件については富田会長が「県歯連盟は日歯連
盟の下部組織なので上からの指示に従うのが本
来の形。以前は時の政権政党である民主党(現・
民進党)の候補を推した。政権を離れた今も歯
科のために働いていただいている。

又、医療連携も大切なので、医師会から推薦
する意見はなこ氏、薬剤師会から推薦する藤井
もとゆき氏からも推薦依頼が来ており一本に絞
ることが難しい。結論としては先生方の志にお
任せしたい」と述べた。

その他として、鶴岡常務理事から、補助金を
出すので、各地域でも是非、デンタルミーテ
ィングを開催してほしい旨を説明した。

最後に、閉会を森副会長が行い、「つつがなく
議案が承認されありがとうございました。事業計
画に即り事業を遂行していく所存ですので、先生
方のご協力もよろしく願います」と述べ、評
議員会は散会した。

神 歯 連 盟 NEWS

第107号

平成28年5月1日 発行

◎発行人：富田 謙 ◎編集人：富田 謙 ◎委員：富田 謙 ◎045(681)2172

第34回評議員会.....	1～3頁	デンタルミーティングINかながわ.....	6～7頁
平成27年度幹事DM合同会議.....	4～5頁	「一灯」.....	8頁

平成28年度予算案可決

—神奈川県歯科医師連盟 平成27年度 第34回評議員会—

平成28年3月10日(木)県歯会館・大会議室
にて第34回評議員会が行われた。開会を前に点
呼にて、定数75名のところ、出席者73名、欠席
者2名で本会議が成立することが確認された。

宮坂副会長が開会の挨拶をした後、議事録署名
人に数内貴章評議員(鎌沢市)と阿部智彦評議
員(旭区)が選定された。



挨拶する富田連盟会長

会長挨拶において富田会長は、「昨年は日歯
連盟事件で先生方に、ご心配ご迷惑をおかけし
ましたこと、改めてお詫び申し上げます。

33地域歯科医師会に連盟役員を手分けし、事件
の報告、そしてお詫びのため地域を回らせてい
ただきました。貴重な時間をありがとうございました。日歯連盟の事件の責任は、都道府県の
連盟の責任もあると私は思っております。

日歯連盟高橋会長より、今月の末までには第
1回目の公開が開かれるであろうと聞いており、改
善二度とこうした嫌疑をかけられないよう、改善
策を講じつつあります。

又、日歯連盟組織刷新新委員会が設置され、神



厚生労働委員長の三原じゅん子議員

その後、三原じゅん子参議院議員から「各種
団体がある中で一番多くの会合に出させていた
だいているのが歯科医師会で、いつもお世話に

幹事会・DM会合同会議

—高橋日歯連盟会長来会—

平成28年2月18日(木)午後4時30分より歯科医師会5階「501・502研修室」にて、幹事会・DM会合同会議が行われた。五十嵐副理事長の司会により始まり、森副会長の開会の辞により開会された。富田会長は、「ご参集いただき感謝いたします。新年の集いも一段落し、7月の参院選に向けての動きが開始しました。」

さて、昨年末は日歯の次期会長選挙準備があり、堀憲郎先生が選挙され新執行部のメンバー案も決定したようであり、堀先生はまず歯科界の信頼回復を示すために努力するとおっしゃっており、何はともあれ、山科会長率いる執行部からしかりと、そしてスミーズに業務を引き継ぎ、加えて日歯連盟とも手を取り合っており、歯科界を前進させるようご努力をいただきたいと思います。

本日は島村大先生の国政報告をいただき、さらに日歯連盟常務会の日程でもありますが、ご無理を申し上げ、高橋会長にお出ましいただき、時局講演をいただくことができますこと、大変ありがたい、感謝申し上げます。

島村先生のお話、そして高橋会長の講演から、我々の進むべき方向を確認したいと考えております。

ご出席いただきました先生方にも是非地域の会員の先生方に本日のご報告をいただきますようお願いいたします。よろしくお願ひします」と挨拶した。



幹事・DM会合同会議風景

三原じゅん子参議院議員は、「次期参院選に神奈川選挙区から出馬させていただくことになり、党の公認もいただいたので今まで以上のご支援を賜りたい」と挨拶された。



説明する高橋次登日歯連盟会長

歯科医師連盟活動一覧

- 県議の議員立法により歯科条例完成
- 地域医療連携新体制の構築のため柏プロジェクト視察(自民党連盟との県歯科保健医療研究会でのプロジェクトチーム活動)
- 協会健保と神奈川県歯科医師会本会との健康づくり連携の覚書の実現(連盟による調査をもとに進展)
- 神奈川県歯科保健医療推進研究会活動を主導(自民党県議団の力で、県行政内の多数の部課長クラス実務者と勉強会)

県の歯科事業は、地方分権の加速によって、各県独自の事業設計と事業経営が要求される。県行政に對抗する政治力が必要の為、連盟の支援活動が重要。

行政との対応には、行政に精通した県議との連携が不可欠となる。地方分権化が県歯科医師会に政治力を要求し始めている現在、連盟は常にいつでも本会に協力できるように、組織を整えておく必要がある。

資料) 歯科部門 平成15年度～24年度(10年間)の推移

歯科医療収益	-4.9%
保険診療収益	-9.0% (非常に悪い)
収益金額合計	-4.7%
歯科医療経費	+5.8% (かなり深刻)
損益差額(粗利益)	-25.8% (最悪)

医療経済実態調査結果(平成25年)より

この現状を直視して、

会員の経営基盤安定のために
神奈川県歯科医師連盟は
活動しています。

《国家レベルで働く連盟活動》

- 安すぎる保険診療報酬の適正化(診療報酬改定率0.61%アップ、今回も医科の改定率0.56%の1.1倍を死守)
- 所得税軽減税率(租税特別措置法第26条)の存続(廃止されれば139万円(診療報酬が2800万円の場合)の税負担増)
- 事業税非課税の存続
- 消費税増税の対策
- 国会議員との緊密な連携をとり歯科問題の解決を図る(厚労省の中の歯科口腔保健推進室が司令室と格上げ)
- (文科省に歯科医を1名増員)
- (歯科衛生士法改正での調整)
- 個別指導の減少を実現
- (神奈川県における高点数個別指導の対象者が、昨年度半減)
- 歯科医師の裁量確保の為に働く

《県歯科医師会のために貢献している本連盟活動》

- 在宅医療基金(904億基金)による在宅歯科診療所設備整備の策定(3年間で3億円規模:上限100万円を300診療所に配布に連盟が貢献)
- 個別指導の半減と、審査内容の改善(連盟活動により、大幅な改善がなされる。昨年165件、今年97件に減少)
- 在宅医療地域連携室の新規配置の推進(27年度新規配置10か所を実現)
- 県からの休日急患診療所補助金停止に替わる代替案の実現(自民党8020議連所属議員との連携による)

デンタルミラーテイングINかながわ

平成28年2月18日（木）午後6時より神奈川県
歯科医師会館階「大会議室」にて『デンタル
ミーティングINかながわ』が開催された。

鶴岡裕亮理事長の司会により始められ、富田
篤盟会長は、「国会開催中にもかかわらず国
会議員の先生方はじめ景議の先生にもご参加い
ただき、感謝申し上げます。

政府・行政そして医療界が目指す「地域包括ケア」に向けての医科・歯科連携について」神奈川立病院院長の土屋了介先生をお招きいたし、ご講演頂けること誠にタイムリーであると思います。県歯本会も鈴木会長を中心に、県行政、県議会のご協力のもと、医科・歯科連携を含めた事業を積極的計画しているところであります。

ご講演後には島村先生を座長にディスカッションもしていただきます。

いま一度、医科・歯科連携についてしっかりと認識するために役に立つミーティングになる」と存じます」と挨拶された。

お忙しいところを取付けていただいた高橋英吾日本歯科医師連盟会長は「昨年のご迷惑に
対してお詫び申し上げます。また、診療報酬改
定に際し、財源を確保するのは政治の力ですの
で政権与党のお力で予算をつけていただいた
が、いい医療をするための国民のための予算だ
ということを忘れないでほしい」と述べた。



世井介了四十の母兼子

デンタルミューティングに移り、院長として島村大参議院議員は、歯科医師はどのように関わったからよいか、お聞きしたいと話し、副院長の宮坂宗行県歯連盟副会長は、医科歯科連携を考へるにあたり口腔機能の管理を管理群と非管理群に分けた対象群で介入試験すると、歯科医師による専門的な管理による管理群のほうが在院日数を削減する効果があると説明された。

時局講演として地方独立行政法人 神奈川県立病院機構理事長 土屋了介氏の「地域包括ケアと医科・歯科連携」と題しての講演は、「歯科は入院中から関与していただきたい。高齢化により治す医療から癒し（ケア）が重要になってきた。重症子線治療により短期間で治療できるようになった。急性期の医療についてご理解いただきたいのとようにチームを組んでいけるか」ということを考えていきたい。理学療法士が病室に出勤してリハビリテーションを行うことが大切であり、地域医療構想による機能分化推進、救急医療体制の整備、24時間全科の支援体制、メディカル・クラスターとして総合的な医療をおこなうこと。病院のPFIは成功しないか。TTPで日本の皆保険は崩れないのか」など多岐にわたる病院の経営面から見た医療制度や医療体制について話された。



座標を定める島村大輔君



三原じゅん子議員

石井みどり参議院議員は、「組織代表でありながら身内に足をすくわれたことが残念。顧問弁護士の法理と東京地検の法理が真に向かぶにつかっている。あとは司法の手にゆだねるしかない。新年会等で、自分たちの代表だから頑張ってくれよといわれて本当にありがたかった。今この診療報酬改定について文書提供、レシートゲン所見に關して強く委員会で言ってきた。誰かを全国比例で応援しなくてはならないなら与党の議員、自民党の議員をお願いします」述べた。



石井みどり議員

次期参院選において全国区で立候補予定の山田宏前衆議院議員・前杉並区長が挨拶し、「杉並区長として口腔衛生に携わってきた実績、歯の専門家ではないが安倍総理や菅官房長官と連



立候補予定の山田宏氏

島村大参院議員は、「診療報酬改定に際し、妻続診療にならないよう算定要件緩和を理解して診療していただきたい。文科省に大学教育の質の向上を理解していただくよう政務官を厚労委員会に呼んで質問したところ、文科省の歯科医師が2人体制になった。7月の参議院選挙で選挙区の三原じゅん子さんと比例区の山田宏さんをぜひ応援していただきたい」と述べた。



農村太閤様

最後に徳永副会長が「7月の参議院選挙ではよろしく願います」と閉会を述べ、散会した。

報下

久保木 弘 先生（現、本連盟相談役）平成28年4月6日ご逝去
現・西村まさみ 神奈川県後援会・幹事長
元・本連盟副理事長（H11年4月～15年3月）
ここに連盟より、謹んで哀悼の意を表します。

一 灯

4月14日熊本県熊本市、益城町付近で震度7という地震、本震は16日、42名を超えて死者。その後留まることのない余震。被災者の心身の不安 察するに余りある。政府もTPPどころではないはず、米軍のオスプレイも出番があった。熊本県の歯科医師会会員診療所も現在15軒ほど半壊という情報がある。停電、断水では破壊を免れたところも診療はできない。義歯を紛失したお年寄りも多いはずだ。

神奈川県なら運転をしてくれる方を県が

手当てしてくれれば、金太郎号の派遣もできるだろう。一日も早い地震の鎮静と復旧が望まれる。

さて、次期参院選は官邸の要望もあり、会員の周知しない山田宏氏を応援せざるを得ない歯科界。歯科界の30万に近い集票力をどのくらい発揮するかを見極めることも目的にはあろう。山田氏を応援する組織、団体は歯科医師会以外にないという。会員に理解していただき、投票に行っていただけなのか…まことに厳しい選挙であると考え。しかし、歯科界に沿った得策は自民党本部の意向に沿うことなのであろう。

(文責 富田 篤)

第24回参議院議員通常選挙における 推薦候補予定者のお知らせ

☆全日本神奈川県歯科医師連盟・重点候補・予定者

神奈川県 選挙区	☆三原 じゅん子	自民党公認候補予定者
	三浦 のぶひろ	公明党公認候補予定者
比例区 (全国区)	☆山田 宏	自民党公認候補予定者
	自見 はなこ	自民党公認候補予定者 (日本医師連盟推薦候補予定者)
	藤井 もとゆき	自民党公認候補予定者 (日本医師連盟推薦候補予定者)

第35回 評議員会のお知らせ

日時 平成28年6月16日(木) 午後6時より
場所 神奈川県歯科医師会館 階「大会議室」

※【注釈】非管理群…従来の主に看護部により行われてきた口腔ケアなど一般的な口腔ケアを受けた群。
管理群…歯科医師により診療・計画され、歯科医師・歯科衛生士により実施された専門的な口腔機能の管理を受けた群。

土屋先生は、「総合病院は歯科を置いているところもあるが、歯科診療で忙しく歯科医師連携に手が回らない。またコーディネータを置いて連絡を取ることでもないのか。病院のトップに連携を意識した姿勢がないとうまく回らない」と述べた。

来賓の石井みどり参議院議員は、病院の看護部門が力を持ちすぎで院長の指揮系統から外れる事例があると話し、それに対し土屋先生は、ガバナンスは看護部門のほうがよいことがあり、医師よりも指揮系統では未端まで話が行き届きやすいことがある、と返した。



コメントする石井みどり議員

訪問看護について小川久仁子県議(川崎市高津区)は、「がんセンターに歯科医師を配置して得られた土屋先生のデータをもちに、県のはうから指示を出してポータブルキットなどに補助金も出ておりますのでそれを有効活用して進めるべき施設だと思う」と述べた。



コメントする小川久仁子県議

高橋口歯連盟会長は、「参議院の政策審議会で70名ほどの議員さんを前に講演したところ、医師である議員さんから、歯科医師を病院に配置する法案が必要だという意見をいただいている」と話した。

最後に、宮坂副会長は、「患者さんのためになる連携の仕組みづくりを一番考えていかなければならない」と締めくくった。

質疑において、神奈川県保健福祉局保健医療部が対策課の渡邊氏は、「一部で歯科歯科連携は進んでいるが、医師のほうにより広く連携の重要性を知っていただきたい」と話した。県立がんセンター歯科口腔外科の光永幸代先生は、「医科からの依頼で口腔内を見出すと口腔ケアのみならず咀嚼の回復という意味の補綴などやらなければならないことがたくさんある。院内で歯科の重要性をアピールしていくことと、先生方のお力をお借りして外からも中からも歯科の必要性をアピールしていくことができれば心強い」と話された。

鴨志田県歯副会長は、「土屋先生の話を聞いて急性期から歯科の関与が必要だと思った。重粒子線治療は口腔がんには有効か」と聞くと、土屋先生は限局していれば適用となると答えた。

最後に森洋行副会長が閉会の辞として、講師の土屋了介先生にお礼を述べ、又、我々も医科歯科連携を密に行い医療界を良くしていきたいと述べ、デンタルミーティングは閉会した。

土屋 了介 氏 プロフィール

【略歴】昭和21年1月生まれ

外科医、医学博士(東京医科大学)

1970年 慶應義塾大学医学部卒

2006年 国立がんセンター中央病院病院長

2014年 地方独立法人神奈川県立病院機構理事長

専門は胸部外科学(とくに進行肺癌の手術)、医学教育の講義としても知られる。

第24回参議院議員選挙総決起大会

—山田宏氏(比例区) —
三原じゅん子氏(選挙区) —

平成28年6月16日(木)午後6時30分から神奈川県医師連盟総起大会が県歯会館大ホール「大会議室」にて行われた。司会は伊勢原市議会議員で本連盟会員の萩原鉄也君が行い、まず、安倍内閣総理大臣より届いたビデオレターが放映され、自民党から出馬する2人の候補者の支援を訴えた。



山田宏氏 富田篤会長 三原じゅん子氏

続いて鈴木縣介県会長、富田篤郎連盟会
長が挨拶を行った。小此木八郎衆議院議員によ
る応接演説では、「三原じゅん子さんは自民党
系神奈川県連に公認を申請し認められた。さまざ
まな課題を解決するためには財政的、経済的な
措置が必要である。この日本の経済をさらに前
に進めるためには一丸となって皆様の期待にこ
たえなければならぬ」と考えている。山田氏に
ついては平成5年に初当選をした同期が、当時
は与党・野党と立場は違つたが、さまざまな議
論や関わり合いを通じて今頃は自民党から立候補されることとなった。これはど心強い方はい
ない」と述べた。

石井みどり参議院議員は「三原先生については、先生方のお力で是非トップ当選させてください。山田宏先生については官邸から頼まれて

いる。突破力のある山田宏さんを当選させてください」と懇願した。島村大参議院議員は「選挙でお世話になったものは選挙でお返ししたい。お二人をよろしく願います」と話した。



二人をお迎えする石井みどり議員

菅義偉官房長官からはメッセージが届いており「ふたたびは国政になくてはならない。是非なお一層のご支援の輪を広げていただけますようお願い申し上げます」と司会より代読された。



社会保障の話を中心に訴える三原じゅん子氏

三原じゅん子氏の決意表明では「このような機会を頂戴して、本当にありがとうございます。健康の大切さを石井みどり先生のうしろ姿を見

NEWS
聯盟
齒
神

第108号

平成28年8月4日 発行

神奈川県歯科医師連盟

○発行人：高田 篤 ○編集人：荻 洋行 ○委員：錦田 剛一、鈴木 雄一、栗田 曜 ○015(681)2172

推薦候補全員当選 第24回参議院議員選挙の報告



必勝ダルマに腰を入れる山田宏氏



神奈川新聞社撮影

目次

第24回参議院議員選挙の報告	1 頁	第35回評議員会	5～7 頁
総決起大会	2～4 頁	「一灯」	8 頁

《選挙活動する山田宏氏と三原じゅん子氏》



で学んできた。この大きなハードルを越えることができた。2年後の大きな改正に対して私も仲間に入れていただくこと、これが恩返しになると思っている。厚生労働委員長としていられるのも島村先生が理事として支えてくれるおかげです。財源については優先順位をつけて、選択と集中により社会保障政策を作っていく。女性活躍の推進に全力を尽くしたい。一方、通行でない政治を行いたいので、よろしくお願います」と訴えた。

山田宏氏の決意表明では「歯科医師ではないが皆さまの同志だと思っしてほしい。杉並区の区長時代、課題は財政再建でした。口の中の健康が全身の健康に直結することを知ったのでクリーニング付きの検診を始めてやった。結果、検診費用が当初かかっても、その後の医療費は削減されていくことがわかった。歯科医でない私が言うからこそ皆に理解してもらええるという役割がある。安倍総理、菅官房長官に対し、口の中の健康に重点を置いて日本の健康政策の柱

を作りましようと言言したい。4千人の職員を動かしてきた杉並区区長の経験を生かして、是非私にも戦列の一端を担わせていただきたい」と力強く訴えた。



歯科健診の重要性を訴える山田宏氏

最後に西山潔君(神奈川県)によるガンパローコールを行い、氣勢を上げ一致団結を強くして散会となった。



ガンパローコールの西山潔氏議員



田中寛次県議 島村大議員 石井みどり議員

続いて鈴木駿介神奈川県歯科医師会会長の挨拶では、「県歯会長に就任し間もなく1年、日頃のご協力の賜物と感謝いたします。県歯役員の仕事内容が増えている。青年部を委員会活動として若い先生の意見を聞くことに傾注している。オーラルフレイルについては国民運動として発展させたい」と話した。また会の在り方として、「医師会や業刺師会はその中に政治連盟活動を担当する委員会を設けて活動しているが、歯科医師会は現在、本会とは別に歯科医師連盟という組織が政治活動を受け持っている。医師会のように学術団体である本会が政治活動をしてはいけないということもないわけで、両会の在り方を今一度考える時期が来ているのか」と考えている」と考えを伝え、「10月に神奈川県歯科医師会110周年式典が行われるのは是非ご協力をお願いしたい。本日はありがとうございました」と述べた。



挨拶する鈴木駿介会長

島村大参議院議員より国政報告で、「補正予算が3回行われ常任委員会の開催時間が短かったが、厚生労働委員会では閣法が8法、議員立法が3法、挙げてきたものはすべて通させていた。これは後ほどいろいろと通す三原じゅん子厚生労働委員長のお力です。で会員の皆様には、そこはご理解頂きたい。富田会長のお話にもあったように私も私の上からの指令を受けております。山田宏氏については神奈川県ですっかり結果を出していただいて、皆様のご要望を与

党幹部、官邸に挙げていきたいと思っています」と話した。



国政報告する島村大議員

報告では、機上常務理事から地域デンタルミーティングの案内について説明があった。事前質問が正木久秀評議員より寄せられており、「情報調査室が発足したことは慶事で、活動テーマを簡単に説明いただきたい」と質問し、それに対して宮坂副会長は「質の高い連盟活動をするための情報調査及びその提供と考えております」と答えた。続いて鶴岡理事長が「自民党の県議団と友好な関係を築きあげることができた。国会議員からも共有していくよう今後考議員にも地方議員にも共有していくよう今後考えてまいります」と答えた。それに対して正木評議員は「地方議員をきっちりつかんにおいていただいて、地区の交付金を増やすにはどういう風な予算建てをどのような形で日漸に要求したらよいか」ということを調査研究するのが情報調査室の仕事だと思っています。本会と一緒にやるのではなく、連盟本来の仕事として連盟をどう持っていくか、我々の価値評価を担保するためにどうしようかなと頭すればよいのかということの表題をきくと頭に入れて、その都度、このような席で評議員のみなさまに協力をお願いする段取りをとっていただけたら幸いです」と意見した。

議事に入り川田副議長の進行で、第1号議案「神奈川県歯科医師連盟一般会計平成27年度収

平成27年度 決算報告 —第35回 評議員会—

平成28年6月16日(木)午後5時から神奈川県歯科医師連盟第35回評議員会が県歯会館地階「大会議室」にて行われた。点呼の後、出席者70名と言うことで、議事が成立することが確認された。高橋安富副会長により開会し、花村議長の名により議事録署名人には浜地宏哉評議員(川崎市)、西山潔評議員(神奈川区)が選定された。



評議員会会場風景

会長挨拶で富田会長は「都知事選も参院選に多少影響があるのではない。自民党県議団とのヒアリングに鈴木県歯会長が行ってきた」と話した。参院選について、「選挙区候補の三原じゅん子先生と、比例代表として政権政党から公認を受けたあるいは推薦された方々については当連盟から推薦状をお渡ししている。3年前の島村選挙の時は大変ご尽力いただき、その恩返しを何としてもしなければならぬ、ということ三原じゅん子先生を応援していただきたい。全国比例でも山田宏先生を理事会で決定して応援することになっています。山田先生は出馬の意向はなかったが、昨年11月に安倍首相の推薦枠から出馬するように要請があったと伺っております。以前、杉並区歯科医師会の会長だった高橋英登日歯連盟現会長と同時期に移並区長であった山田氏と共同で、歯科検診受診率を倍増させようと努力したということ、歯科に対して大変ご

理解のある方だと伺っております。高橋英登会長も山田氏を応援してほしいと全国を飛び回っているとのこと。なぜ山田氏を応援しなくてはならないか、私も疑問を抱いておりました。安倍首相、菅官房長官より、石井みどり議員、島村大議員、そして日歯連盟高橋英登会長に山田宏氏を推して欲しいとの至上命令がありたく伺っております。このことをどのように評議員の皆様にご説明したらよいか考えたのですが、石井みどり先生、島村大先生は歯科という家族の一員であります。彼らを我々が自民党という会社に就職させた。その会社のトップである社長が安倍首相だと思ってください。その社長が社員に山田氏を推すようにと社長命令をした。という風に考えたいと思います。財政という中、本年診療報酬改定時にはそれなりの処遇をさせていただきました。然らば我々の家族である石井みどり先生、島村大先生がますます働きやすい環境を作り、そして彼らが我々のために良い報酬をもらってくださることを願っているわけです。そのために両議員が胸を張って職場で働ける環境を家族として作らなければならぬと決心いたしました」と、たとえ話を交え山田氏を推す理由をわかりやすく説明した。



挨拶する富田会長

一 灯

りオ五輪が開催され、設備、安全について大いに心配される中、立派な開会式、そして選手たちも大いに頑張った。日本選手は個人の日々の努力の成果を示すために、100%以上の努力をされた。その成果も誠に立派であった。選手は個人ののためにだけでなく頑張ったわけではなく、日本国のために頑張ったともいえる。

さて、第24回参院選は本連盟の推薦する政権政党公認、推薦候補者が全員当選することができた。当選者の得票数のどれ程が本連盟の活動により得られたのか定かではないが、全国比例代表候補山田宏氏については、本県ばかりでなく全国の歯科医師連盟の働きがあったものと考えられる。

組織代表候補として決定していた砂川裕氏を、野球で言えば降板させ、自民党本部からの応援要請のあった山田氏を登板させ、応援することになった。安倍総裁、菅官房長官の意向だけではなく、山田氏の実績をよく知る日歯連・都歯連の高橋英登会長の思い入れもあった。

これまで、日歯連盟は政権政党からの候補者を応援するという約束であり、これは社団の日歯本会でも承じていたものと思う。なぜなら日歯本会のないうる以上の政治活動を行うために日歯連盟が組織されたものであるからだ。

しかし、近年その原則が失われつつあるのではないかと不安を感じることもあ

る。最近の日歯連盟評議員会では日歯本会の堀会長が、連盟ときちんと連携して事業を推し進めていくと宣言しておられるが、そこには「連盟が勝手に独り歩きするなよ」という意味合いもある。そうしたことではねじれが起こることは組織力を失う。つまり歯科医師会への入会率は低下し、さらに歯科医師連盟の組織率はさらに低下する。この部分も見直さねばなるまい。

組織としての要望を能率的に結果を得るためには政権政党を推すことの方が、有効であることは確かであるが、歯科医師個人政治信条が一致しているとは言えない。公判結果は出ていないが、元日歯会長、日歯連盟会長等が逮捕されるといいう、歯科会員の連盟活動への協力を要望しがたい状況下でも、政権政党から「○候補を支援せよ」と要請すれば、歯科界は動く…と安易に思われないうにしなければならぬ。

そのためには、しっかりと歯科からの要望を実現するために当選した議員、そして政党が、政策を練り、きちんと活動しているかを見つめていかねばならない。

また、参議院選挙ごとに日歯会員である人材を候補者として擁立させることが、本党に国民のための歯科医療を守る歯科界にとつてメリットがあるのか、それとも歯科医師ではない有力現職議員である候補者等を複数、応援した方がよいのか、候補者選考について考え直す必要もある。

(文責 富田 篤)

入支出決算に関する件」について補正常務理事が説明し、増田監事が監査報告をした。

採決では挙手多数によって承認された。
第2号議案「神奈川県歯科医師連盟平成27年度貸借対照表、財産目録に関する件について」増田常務理事が説明し、増田監事の監査報告後、挙手多数によって承認された。

再度、花村議長に交差し、第3号議案「神奈川県歯科医師連盟選挙管理委員会の委員の委嘱に関する件」を富田会長が上程し、提案説明を行った。平成28年7月1日から平成30年6月30日における選挙管理委員会の選出を会長に一任することについて、挙手多数にて異議なしと認められ、富田会長が取案として用意した委員(案)を配布し採決したところ、挙手多数にて承認された。

最後に、閉会の辞を森副会長が述べ閉会した。

神奈川県歯科医師連盟

選挙管理委員会委員・予備委員

任期：平成28年7月1日～平成30年6月30日
※地域歯科医師連盟(会)順

選挙管理委員会委員 (7名)

氏名	地区
中島 敏之	西区
清水 直	保土ヶ谷
相庭 常人	泉 北
松田 圭子	横浜市
松山 知明	大 和
嶋村 政博	茅ヶ崎
高橋 清治	

予備委員 (3名)

氏名	地区
富岡 孝之	青葉区
瓜生 厚	藤沢市
山畑 智也	相模原市

第24回参議院議員通常選挙

一 推薦候補者得票数一

比例代表選出議員		神奈川選出議員	
氏名	得票数	氏名	得票数
①自見 はなこ	210,562票	①三原 じゅん子	1,004,877票
②山田 宏	149,833票	②三浦 信祐	629,582票
③藤井 基之	142,132票	③中西 健治	524,070票

お知らせ

参議院議員 島村大君を励ます会2016

日時 平成28年10月6日(木) 開会18:30～(受付18:00)

場所 横浜ベイシシエラトンホテル& Towers 4F清流



謹 賀 新 年

参議院議員

三原 じゅん子

あけましておめでとうございます。

参議院議員の三原じゅん子でございます。皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることになりました。

神奈川県歯科医師連盟の皆様方には、平素よりご理解ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨夏の参議院選挙におきましては、皆様方より貴重なご支援を賜り、この神奈川県より二期目の参議院議員としてスタートラインに立たせていただくことができましたこと、改めてここに報告させていただきます。

昨秋からは、参議院の予算委員会理事、厚生労働委員会委員そして自由民主党・内閣第一部の部会長代理に就任いたしました。

これまで委員長として主に勉強させていただいておりました厚生労働分野に加えて、幅広い政策分野に取り組ませていただきました。

平成二十九年は酉年でございます。

皆様方のご意見に謙虚に耳をかたむけ、真摯にご意見を「取り込んで」、より暮らしやすい神奈川県のために頑張っていく所存でございます。

私のライフワークといえます、がん対策に關しましても、口腔がん対策は喫緊の課題でございます。日本では口腔がんによる死亡者は増加傾向にあります。舌や歯肉、粘膜など口腔がんの治療データの収集と継続的な研究、県民への情報周知、歯科医師の皆様方の情報共有、医師の皆様との連携など、やるべきことがたくさんあると思います。周術期における結核炎などの口腔内合併症の緩和にも歯科医師の皆様方のご尽力が必要です。また早期発見・早期治療のための口腔がん検診への啓発活動などにも必要になって参ります。

わたしたち神奈川県民の笑顔のために、今年も神奈川県歯科医師連盟の皆様方のご指導をいただきながら、歯科医療のために働かせていただきますと考えております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新しい年が神奈川県歯科医師連盟の皆様方にとりまして、さらによりよい年となるように祈念申し上げます。私の新年のご挨拶とさせていただきます。



神 歯 連 盟 NEWS

第109号

平成29年1月1日 発行

◎発行人：富田 篤 ◎編集人：草 洋行 ◎委員長：崎田 潤一 編集：嶋田 暁 ◎045(551)2172



新年のご挨拶

神奈川県歯科医師連盟会長
富田 篤

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。あっという間に取戻すことのできない時が流れ去ります。昨年もたくさんの方の推薦がありました。夏の参院選では当連盟の推薦した選挙区、そして全国の候補者が当選されました。会員の皆様のご理解あつての結果であり感謝いたしております。

さて、都知事も舩添氏から小池百合子新知事となり、彼女の精力的な活動には驚きました。五輪開催地の問題、豊洲の盛り土、築地市場の移転時期などこれまでに国民、都民の見えなかった部分が明らかになってきました。責任追及はほぼ終え、今後どのように前に進めるかが大きな仕事になりましょう。

そして、英国のEU離脱、米国の大統領が予想に反し、トランプ氏に決定。米国内では未だに賛否を巡ってデモが。韓国では朴大統領夫人の国政関与で検察の調査、そして弾劾となりましょう。こうした海外の事象はわが国への影響も大きく、安倍総理もその対応を懸命にしております。大変嬉しいニュースは、真珠湾へオバマ氏と慰霊のため出かけること。戦争をしないことを誓っていた大きな

ことだと思います。しかし、陸自の350名が南スーダンへ駆け付け警護のため出發しました。もし非常事態となれば両者に被害者が出ます。そうした状況にならぬことを祈ります。

高齢社会への社会保障に関わる新たな政策が、次々に発表され、介護保険、後期高齢者の一部負担金などが新聞紙面に載っている。外交で他国への援助もさることながら自国の社会保障制度はしっかりと守って欲しい。

そのためには連盟活動を活発にしていかなければならない。医療制度改革案、診療報酬改定案を決定するのは議会での承認、決議が必要であり、そのために連盟は本会の作成したエビデンスをもとに、ロビー活動を開始しております。

議員は、選挙時に組織を上げ支援をする歯科医師連盟の要望については具現化するよう、しっかりと検討し、よりよき方向に向かうよう努力をしていきます。

連盟会員でなくとも歯科医療を行う歯科医師に恩恵が行き渡ることから、連盟の活動の重要さを理解いただけないことが、組織率のアップにつながらない理由であろう。日々歯科医師としての生業を果たせるのは政治活動、連盟あつてのことであることとさらに知らしめねばならないことと考えます。

会員の皆様のご健康、ご繁栄を祈念し、本年もご協力をお願いいたします。



<http://kdrenmei.on.arena.jp/>

昨年、厚労省のミスにより、「歯科医師認知
定対応力向上研修テキスト」から「かかりつけ

平素より温かいご支援を賜っております。神奈川県川崎医科大学連盟の先生方に、引き続きのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さらに、次期H30年度改定は、DPC・診療報酬・介護報酬の「トリプル改定」となります。H2025年（H37年）には、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になり、後期高齢者が2200万人に到達する（4人に1人が75歳以上）という「超高齢社会」が到来するとされており、将来を見据えた改定となります。消費税増税をどう解決

つまり、本来算定されるべき項目が、指導監査の範囲に算定しない証左（＝基準適合）である限り、診療報酬の境面と指導監査のありやう、とりわけ指導大綱の見直しについて、検証していないかなければなりません。「教育的指導」という指導の本旨に立ち返り、高点数をもって指導の対象とする選定方法の見直しを図るべく、日蘭・日蘭連とともに活動してまいりたい。





「国民皆歯科検診」向けての一步の年に

参議院議員

山田 宏

新年おめでとうございます。

昨年の参議院議員選挙では、神奈川県歯科医師連盟の皆様には、当初から大変お世話になりました。難しい選挙を乗り越えられましたのは、富田会長をはじめ多くの先生方の強力なご支援のおかげです。今後は与えられた任期中で、「山田を送ってよかった」と言っていただけの仕事をすることが、私の6年間の責務と深く心に刻んでおります。

私は、昨年の当選直後から、「成人検診と労働者の一般検診に歯科検診を導入する」との、自民党公約集「Jファイル」での約束を早期に実現させるべく、官邸や厚労省に強く働きかけてまいりました。その結果、国として初めての歯科保健サービスの効果実証事業を行い、「歯科検診や歯科介入が医療費削減につながるか」の国としてのエビデンスを確認していくことになりました。

その具体的内容は今後歯科界と連携して詰めますが、2年程度の歯科検診・歯科介入の効果実証のためのモデル事業を行い、そこで明確なエビデンスを得られれば、Jファイルにある

「国民皆歯科検診」に向け、国が歴史的な一歩を踏み出していくことになるものと、私は認識しております。

歯科口腔ケアの充実こそが、増大し続ける医療費の無駄を削減し、「団塊の世代」の方々が全員後期高齢者となる「2025年」の壁を乗り越えて、世界に誇れる国民皆保険制度を維持する唯一の道です。

「歯科の充実」は、国民を健康にして皆保険制度を救うことにつながる

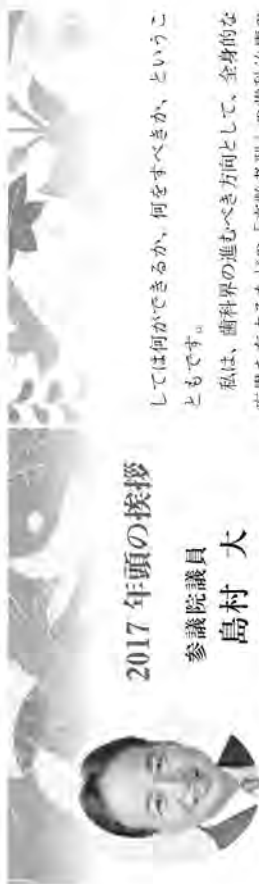
杉並区長時代に得たこの確信と、積み重ねた首長としての行政経験を活かして、歯科の専門家としての行政経験を活かして、歯科の専門家でない私だからこそできる仕事を、石井みどり先生や島村大先生と一緒に、今年もしっかり進めていく決意です。どうか本年もよろしく願っています。



デンタルミューティング in かながわ 開催 予定

日時：2月16日（木）午後6時～
場所：神奈川県歯科医師会館 地階 大会議室
講師：山田 宏 参議院議員 高橋 英登 日歯連盟会長

お知らせ



2017 年頭の挨拶

参議院議員

島村 大

あけましておめでとうございます。

神奈川県歯科医師連盟の皆様におかれましては、お健やかに、よき新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の臨時国会より、参議院厚生労働委員会の筆頭理事を仰せつかっていました。法案には政府が国会へ提出する「閉法」と、複数の国会議員で提出する「議員立法」の二種類があり、与野党理事の主な役割は、法案を通すまでの与野党間のすり合わせです。とりわけ議員立法は、誰もが早急に必要と考えるテーマでありながら、政府としての提出は難しい（調整に時間がかかると）場合に作られます。一本の法案を通すまでには様々なハードルを越えなければなりません。国民のために安心安全な社会をつくりたいという思いは、皆同じはずですが、強く交渉し、臨時国会では閉法4本、議員立法2本、計6法案の成立を目指しました。与えられた新たな役割を精一杯務めること、その積み重ねが政治家らしくしていくことなのだと実感しています。これからは現場主義と「今いる場所」とどこと頭張る」をモットーに走り続けたいと思っています。

さて、政治家を志した時から、私は「健康長寿日本一の神奈川県」を目指し、その姿を思案してきました。健康寿命延伸のために、歯科界と

しては何かできるか、何をすべきか、ということもです。

私は、歯科界の進むべき方向として、全体的な疾患を有するなどの「高齢者型」の歯科治療の需要にどう対応していくかが一つの鍵だと思っています。健康者型治療から高齢者型治療にいかにして移行するか。そのために政治家がやるべきことは、高齢者治療のしやすい診療環境づくり、すなわち診療報酬の増点だと認識しています。

そして、歯科医師がやるべきことは、現役歯科医師と学生の教育をさらに現場に合わせるということです。文部科学省では医学・歯学教育の改善・充実に向けて「モデル・コア・カリキュラム改定に関する連絡調整委員会・専門研究委員会」が立ち上がり、6年ぶり8回目の改定に向けて検討が行われています。キャッチフレーズは「多様なニーズに対応できる歯科医師の養成」。国民から求められる倫理観・医療安全、チーム医療、地域包括ケアシステム、健康長寿社会などのニーズに対応できる、つまり「今、必要とされている歯科医師」を養成することを意識しています。口腔のみならず、全身をしっかりと理解している歯科医師が求められることは言うまでもありません。

これからも、よりよい国づくりと歯科界の発展に尽力して参る所存です。本年も変わらぬ指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、神奈川県歯科医師連盟の今後ますますのご活躍を期待申し上げますとともに、本年が皆様方にとって実り多き一年となりますことを祈念し、新年のご挨拶といたします。

平成29年5月1日 発行

神奈川県歯科医師連盟

○発行人：富田 進 ○編集人：富田 進・一瀬田 曜 ○045(307)6555

ております。在宅、高齢者への点数が厚くなると思われませんが、口腔機能低下症のような新しい病名の導入による点数の評価も期待されています。2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催にあたり、選手、スタッフ、観客の歯科的問題が起きた時に我々がどのように対応していくかを、そろそろ固めておかないといけない。国際的な貢献と合わせて事業の推進の中に入れていくということも考えている」と述べた。

報告において、小泉敏和常務理事が庶務報告を行い、次に日歯連盟常任監事であり神歯連盟顧問の中村昌人先生が日歯連盟報告を行い、検査検査の現状の説明と日歯連盟再生のための12の提言を掲げて活動している、と報告した。



島村参議院議員の国政報告

島村大参議院議員からの国政報告では、「今193回通常国会が開会中で、参議院厚労委員会が筆頭理事をやらせていただいている。国会の運営の仕方やどのように法案が作られるかを肌で感じている。口腔保健推進法改正時にはどのように良くしていくのか、先生方のお知恵をお借りしてしっかりとやっていきたい。国民の意見をどのように取り入れていくかが重要。歯科に関しては重要項目として挙がってきているので、どのように予算がつけられるか、しっかりと考えていきたい。データヘルスの考え方で、政府はレセプトをビッグデータとして蓄積し活用したいと考えている」と話した。また私見として、「国保や組合の財政が良くない中、口腔の健康管理が進むことで全身の健康が保たれ医療費も下がるということを神奈川県歯科医師会がモデルケースとなって示していくことができ

たらよいと思っています」と述べた。

続いて鶴岡裕亮理事から、①顧問弁護士の委嘱について ②平成29年7月1日からの地域別評議員選出数について ③神奈川県歯科医師連盟専用電話番号設置についての報告があり、横上修常務理事からは、来年度の地域デンタルミーティング開催は10地区限定で補助すると説明した。さらに、鶴岡理事長は、役員報酬の改正について追加報告し、役員報酬支給規則では「会長は常務理事会の議を経て役員報酬算定委員会を設置することができ、役員報酬算定委員会に諮り常務理事会で決める評議員の承認を得なければならぬ」と規範関係を説明し、「ついでには6月の評議員会にて委員会設置についてお諮りし、承認いただければ時期執行部において申し送り事項とさせていただきたい」と報告した。

議事に入り川田俊一（議長）に交代し、第1号議案 西村まさみ（神奈川県後援会解散に関する件）、第2号議案 神奈川県歯科医師連盟平成29年度事業計画（案）に関する件、第3号議案 神奈川県歯科医師連盟平成29年度会費賦課並びに収納方法に関する件、第4号議案 神奈川県歯科医師連盟一般会計平成29年度収入支出予算（案）に関する件においてすべて挙手多数で可決承認された。



挙手多数で可決承認

最後に常務理事が「慎重審議ありがとうございました。我々執行部は今後も本日の議決事項に則り執行させていただきますので、評議員の先生方のご協力もよろしく願っています」と閉会を述べ散会した。

第36回評議員会

平成29年度 予算案可決

平成29年3月9日（木）午後6時より、県歯会館地階「大会議室」にて平成29年度第36回評議員会が開催された。点呼により評議員定数75名のところ出席評議員71名欠席評議員4名（のちに連参評議員4名を追加し、75名出席を確認）、評議員会の成立が花村欣也議長（厚木）より宣言された。

開会の挨拶を高橋宏嘉副議長が行い、議事録署名人には青木剛博評議員（大和）、山本一臣評議員（保土ヶ谷）が選定された。



富田連盟会長の挨拶

富田篤会長は挨拶で、「3月5日に自民党の全国大会が行われ安倍総裁から神奈川県歯科医師連盟に感謝状をいただき、3月3日には日歯連盟都道府県会長会議が開催され、高橋英登日歯連盟会長は「歯科医療が日本を救う！」というパンフレットを作られ、大変わかりやすい国民に歯科の大切さをわかっていただけたようなものなので、広く知れ渡ってほしいと思う。

又、国民のために大切な歯科医療を守るために連盟としてたゆみないロビー活動が必要であり、来年度の診療報酬改定の時に少しでも評価していただけるような結果が出ることを願っております。連盟の活動によって受けた恩恵は会員



鈴木副会長の挨拶

次に、県歯鈴木副会長は挨拶で、「本会は執行部を立ち上げて間もなく2年を経過しますが、会長予備選挙の立候補が私のみだったので引き続き29、30年度の会長をお引き受けするつもりだと思います。来年は医療保険と介護保険の同時改定がございいます。消費税の先送りもあり財源不足からアップはそれほど見込めないと思っておりますが、島村参議院議員からマイナスにはしないとお話をいただいております。だができればプラスにしていきたいと思っ

政権と党を支えていけば歯科を大事に思っていただけ。そして良い医療を確保するために頑張っていましたので、よろしくお願ひ致します」と述べた。

ご来賓の三原じゅん子参議院議員は、「これからの歯科医療に關する様々な課題についていろいろと學ばなければならぬと思っております。皆様と想ひを一つにして歯科医療のために全力で尽くしてまいりたい」と力強くご挨拶した。



歯科への理解を深めたいと挨拶する三原じゅん子議員

基調講演に入り日歯連盟高橋会長は、「個別指導の推移をみると神奈川県は異常に多い。国の制御下で行われているとは思えないような異常とも思えるばらつきが現状としてある。

また、山田宏議員が杉並区長時代、杉並区歯科医師会の会長をしていた私とコラボでクリーニング付きの検診をやった。学校のモデル校にきれいな洗面台を作って、そこに学校歯科医が行ってブラッシング指導をした結果、その学校だけはインフルエンザの罹患率がガクッと下がっている。口腔清掃が万病を防ぐと考えるとよい。また歯周病は糖尿病の第6番目の合併症だと認められている。補綴にしても技工料金を払うと歯科医師にはほとんどと手元に残らない金額で仕事をしている。根管治療を安価でやっているのは日本ぐらいだ。その辺を国民に周知したいといかない。現在、国会には与野党合わせて医師が23名、歯科医師が6名いるが、歯科医師

デンタルミーティング IN かながわ



開閉にあたり開辞を述べる富田善会長

平成29年2月16日（木）午後6時より、神奈川県歯科医師会館地階・大会議室にて「デンタルミーティング IN かながわ」が行われた。

鶴岡裕亮理事長の進行の元、高橋宏嘉副会長の開会挨拶により開会された。

富田善会長はデンタルミーティング開催にあたり「デンタルファミリーの代表者の皆さん、歯科衛生士会、歯科技工士会、そして大変お世話になっている県議会議員の先生方にお集まりいただきました。本日に感謝しております。基調講演の後には島村大参議院議員が院長となつてデンタルミーティングを開かせていただきました。先生方からも忌憚のないご意見をうかがって、日歯連盟トップの高橋英登会長に聞いていただけたらと思います」と挨拶した。

神奈川県歯科医師会の鈴木敏介会長のご挨拶では、関係各位への謝辞に続いて、「超高齢社会を迎え歯科環境整備も急務となっている。なかでも訪問歯科へのニーズは今後ますます高まっております。オーラルフレイルの早期発見、早

期改善のための施策を計画し実行していかなくてはならないと考えております。そのためには、歯科健診の法的バックアップが不可欠であり、山田議員が目指している国民皆歯科健診の実現に向けて国会議員の皆様の一層のご尽力を切にお願い申し上げます」と述べた。

日歯連盟高橋英登会長の挨拶では、「この素晴らしい国を支えていくのは我々歯科医師連盟の役目だと思っております。議員と手を組んで



日歯連盟より高橋英登会長の挨拶

かなり歯科事情に詳しい話をされる山田議員

点検灯

森友学園問題のさなかに、アサド政権による化学兵器や、北朝鮮のミサイル発射その両方にトランプ氏が反応し、軍事的対応をした。化学兵器に対して安保理ではロシアが拒否権、中国は棄権。

ある評論家は安倍政権の支持率維持のために、そしてトランプ氏の支持率を上げるためには何よりの突発事件であると語っていた。

「支持率」はともかくとして、地球上の「万物の霊長」といわれる人間の争いは情けないことだが、歴史の中から消えていくことはないようだ。ペンタス米副大統領は「力が平和を維持する」と述べている。個人の考えとして、「自分の後姿を見れないのは自分だけ」という、常に自

分の考えを示し、問うことのできる仲間が必要と思う。「思い上がり」はいけない。反対する仲間を排除するのではまったく意味はない。

さて、4月6日、厚労省の「新たな医療の在り方を踏まえ、医師・看護師等の働き方ビジョン検討会」の報告書を示した。その中に「歯科保健指導、メンテナンズ等の予防歯科を更に推進し、必要な財源的支援に努めるべき」とある。この検討会のメンバーに歯科医師、歯科衛生士も含まれていない。それ自体は残念だが、「歯科の大切さ、財源的支援の必要性」が明記されたということを励みに、県歯科医師会としてもオーラルフレイル議員連盟の力を借り、県行政と共に県民のための健康に関わっていく、良いチャンスだと思う。

(文責 富田 篤)

第37回 神奈川県歯科医師連盟評議員会 開催のお知らせ

日時 平成29年6月15日(木) 午後6:00より
場所 神奈川県歯科医師会館 地階 大会議室

神奈川県歯科医師連盟 電話設置のお知らせ
直通電話番号 045 (307) 6555



新会長として挨拶する佐藤光昭議員

て事業費がついている」と県議会事情を話した。小川久仁子県議は、「歯科条例が制定され5年経ったので見直しの際には今日勉強したものも入れて先駆的に変えていかななくてはならない」と話した。

桐生秀昭県議は、「厚労省がエビデンス検証していないかというのには目から鱗、神奈川県でモデル地区を作ってやるのがよいのでは」と話した。



前列左より佐藤光昭議員・小川久仁子県議・桐生秀昭県議・橋村たかし県議・磯本桂太郎県議・中西健治参議院議員
後列左より大木哲夫和市長・荻原健也伊勢原市長

橋村たかし県議は、「ともに生きる社会がかなわぬ憲章」を策定したことの説明をした。

磯本桂太郎県議は、「給食後の一斉歯磨きがインフルエンザ予防につながるという旭区の小学校の記事について、全校がそのような環境ではなく、洗面台の整備等についても教育委員会に働きかけていきたい」と話した。

中西健治参議院議員は、「在宅歯科が増えていく中で歯科衛生士の数が足りないのでは」と

話した。
荻原健也伊勢原市議会議員(歯科医師)は「健康寿命延伸について歯科のウエイトはあるにも



萩原伊勢原市議より伊勢原市の事情を説明

関わらず市では全く考えてくれない。健康教室では受講者は同じ人が多かったりするのです」と歯科に関心を持つ人のすそ野を広げたい」と話した。

質疑にて永田勝彦君(旭区)は、「15歳、3歳児健診はあるが、そのあとに45歳児健診を入れたほうがよいのでは。福祉保健センターで行う健診として、親と同伴して教育できる機会を増やしていくことが必要」と訴えた。



旭区永田会議員より乳幼児健診のあり方を提議

最後に閉会の挨拶で森洋行副会長は、「山田先生の勉強会メンバーに安倍首相の弟様の岸信夫氏も顧問として入っていると聞きました。これからも、このように頑張っている山田安先生への応援を、よろしく願っています」と締めくくった。

神奈川県歯科医師連盟役員名簿

(平成29年7月1日～平成31年6月30日)

神 歯 連 盟 NEWS

第111号

平成29年10月1日 発行

◎発行人 鶴岡 裕亮 ◎編集人 鶴岡 裕亮 ◎発行所 山田 剛久・山田 剛久・山田 剛久 ◎印刷所 山田 剛久・山田 剛久・山田 剛久 ◎発行所 山田 剛久・山田 剛久・山田 剛久

『継続』は決して裏切らない

鶴岡会長就任挨拶



鶴岡 裕亮 新会長

つぎは、『神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例』の改正です。現在、行政及び関係諸団体と協議を重ねているところですが、盛り込みたい目玉は、「オーラルフレイル」への積極的な取り組みです。これまで取り組んできた「8020運動」をさらに発展させ、「オーラルフレイル」の予防改善を行っていくことは、健康寿命の延伸につながります。黒岩県知事とも協議して、この概念を全国に先がけて神奈川県から喚起し、行動し、広めていきたいのです。

さらに、2018年度は診療報酬と介護報酬の同時改定が行われ、極めて大きな節目となります。年末に向けたロビー活動も、石井みどり議員、島村大議員との連携の下、助走から勢いを増していきたいと思います。

『継続』は決して裏切らない。それは自然の理であり、未来への道の希望でもあります。多くの活動は、そう簡単に成果や結果がみえるものではない。それでも、目の前のことに必ず何らかの意味があるのだと信じ、連盟会員各位のご理解とご協力の下、今やるべきことを丁寧に推し進めて参ります。

温かな目で見守りいただければ幸いです。2年間、どうぞ宜しくお願い致します。

本年6月15日の評議員会にて、神奈川県歯科医師連盟会長のご承認を頂きました。大役を仰せつかり、光栄に感じると共に責任の重大さ自身の引き締まる思いです。

先ずは、会員である個人開業医それぞれが、地域の皆様へより良い歯科医療、歯科保健を提供すること、そして、そのためには各診療所の経営基盤安定を図らなければならないこと、これら富田前会長はじめ前執行部が築いて来られた大切な意を、私達がしっかりと引き継ぎ全力で取り組んで参る所存です。継続は力なり。鈴木木蔵会長率いる県歯協執行部と、我々連盟新執行部が一丸となり、事業計画の実現と県民の皆様の健康増進に向けて、歩みを止めず前進し続けて参ります。

さて、私が今、あらためて取り組むべきと考えるテーマはふたつあります。

まずは、来年度の国の予算を決めるには、どこに力を入れるか、どこに予算をつけるか、という基本方針を決めなくてはなりません。それが6月9日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017（いわゆる骨太）」です。その中に、「口腔の健康は全身の健康にもつながることから、生涯を通じて歯科健診の充実、入院患者や要介護者に対する口腔機能管理の推進など歯科保健医療の充実に取り組む」との文が明記されました。歯科は口の中だけを健康にするのではなく、全身を健康にするのだということが示されたわけですから、これからの歯科医師は何をすべきか。歯科界の役割、意識のあり方、為すべき事について、間違いなく重要な転換期が訪れています。地域の歯科医師一人ひとりが、歯科医師会が、そのことをしっかりと自覚し、新たな事業展開を仕掛けてはなりません。

<http://kdrenmei.on.arena.jp/>

固い握手! 表敬訪問

日時 8月24日(木)

関係団体: 信栄サービス 国保組合 歯科医師
信用組合 横浜市歯科医師会

三師会関係 神奈川県医師会 神奈川県薬剤師会

行政関係 黒岩知事

政治関係 神奈川県自民党本部

当日は鶴岡会長・三役にて表敬訪問を行った。
黒岩知事には貴重な時間を頂いた。

「オーラルフレイル」の事もよく理解いただき、
知事と鶴岡会長は固い握手をした。



関東地区歯科医師連盟役員連絡協議会



日時: 8月31日(木) 午前11時

場所: 山梨県甲府市「甲府富士屋ホテル」
協議のメインは次期参議員選挙で職域代表を出すのか?

全ての都県は職域代表を出すべきとの事でした。
日歯連盟高橋会長の発言は、裁判中の件が潔白
となりしだい選挙活動を開始したい。

日歯連盟高橋会長と鶴岡会長は、意気投合した。

予告!

神奈川県歯科医師連盟

デンタルミレーディングINかながわ

日時: 平成29年11月16日(木) 午後6時

場所: 神奈川県歯科医師会館 地階「大会議室」



気合が入っている新役員一同



只今、鋭意編集中!

第37回評議員会

平成29年6月15日(木) 午後6時より、県歯
会館「大会議室」にて第37回評議員会が開催さ
れた。

富田会長は挨拶の中でご協力に感謝すると
もに、今までの任期を振り返り、次の3点につ
いて述べられた。

①参議院選と総選挙を経験し良い結果を出せた
こと。

②平成23年に口腔保健条例が制定され、今年は
さらにその条例の見直しの時期となっている
こと。

③口腔保健条例からひろがって、県歯会も強く
要望している「オーラルフレイル」が8020卓
議連の理解と努力で、条例の見直しが今まさ
にすすめられています。

議事に入り第1号議案 神奈川県歯科医師連
盟一般会計平成28年度収入支出決算に関する



副議長

件、第2号議案 神奈川県歯科医師連盟平成28
年度貸借対照表、財産目録に関する件は可決承
認された。第3号議案 神奈川県歯科医師連盟
役員報酬算定委員会の設置に関する件について
議事が行われた。役員報酬算定委員会の設置に
関しては挙手多数にて可決承認された。

選挙管理委員会の高橋清治委員長より経過に
ついて報告された。その結果として会長には、
鶴岡裕亮候補(中区)、監事には関泰忠候補(中
区)が定数のため無投票で当選したことを報告
し、高橋委員長から当選証書が手渡された。

最後に森洋行副会長が「先生方の協力を得
まして第37回評議員会を惹なく終わることができ
ました。本評議員会が最後になる富田会長には長
い間お疲れさまでした」と閉会を述べた。さらに
花村議長、川田副議長が謝辞を述べ散会した。



第38回臨時評議員会

平成29年度9月14日(木) 午後6時より、県
歯会館において第38回臨時評議員会が開催され
た。

その中で、新議長には関英夫評議員(相模原
市)、副議長には西山潔評議員(横浜市/神奈川
区)が互選にて選出された。



議長 関 英夫(右) 副議長 西山 潔(左)

神歯連盟ニュース 112号

2017.10.4

◎『デンタルミーティング IN かながわ』開催

～これからの歯科医療・歯科保健～ 次期診療報酬改定に向けて

- 日 時：平成 29 年 11 月 16 日（木）午後 6 時より
- 場 所：神奈川県歯科医師会館 地階「大会議室」
- 内 容：基調講演講師 元厚生労働大臣 田村 憲久 氏

○同日、午後 4 時より「幹事・DM 合同会議」を開催いたしますので、本連盟幹事・DM の先生方におかれましてはご予定下さるようお願い致します。

◎“初開催”神奈川県歯科医師連盟「新春の集い」

- 日 時：平成 30 年 2 月 8 日（木）午後 6 時より
- 場 所：横浜市中区「ロイヤルホールヨコハマ」
- 会費制

◎第 48 回衆議院議員総選挙推薦候補者（県歯連盟常務理事会にて決定！）

第 1 区	中区・磯子・金沢区	松本 純	自民党
第 2 区	西区・南区・港南	すが 義偉	自民党
第 3 区	神奈川区・鶴見	おこのぎ 八郎	自民党
第 4 区	栄・鎌倉市・逗葉	山本ともひろ	自民党
第 5 区	戸塚・泉・瀬谷	さかい 学	自民党
第 6 区	旭区・保土ヶ谷	上田 いさむ	公明党
第 7 区	港北・都筑区	鈴木 けいすけ	自民党
第 8 区	緑区・青葉区・都筑区（一部）	三谷 英弘	自民党
第 9 区	川崎市	中山 のりひろ	自民党
第 10 区	川崎市	田中 かずのり	自民党
第 11 区	横須賀市	小泉 進次郎	自民党
第 12 区	茅ヶ崎・藤沢市	星野 つよし	自民党
第 13 区	海老名市・大和市・座間市	甘利 明	自民党
第 14 区	相模原市	あかま二郎	自民党
第 15 区	茅ヶ崎・寒川・平塚・大磯・二宮	河野 太郎	自民党
第 16 区	厚木・秦野伊勢原・相模原市 座間市（一部）	義家ひろゆき	自民党
第 17 区	足柄・小田原・秦野伊勢原	牧島 かれん	自民党
第 18 区	川崎市	やまざわ大志郎	自民党

発行元：神奈川県歯科医師連盟



新年所感

参議院議員

石井 みどり

新年明けましておめでとうございます。

本年も先生方にとりまして佳き年となりますよう、お祈り申し上げます。

また、平素より格別のご指導、ご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年は歯科界にとって実り多い年となりました。

6月9日には、「経済財政運営と改革の基本方針2017」、いわゆる「骨太の方針2017」が閣議決定され、本方針に歯科医療・口腔保健の重要性が盛り込まれました。

また、10月22日に、第48回 衆議院議員総選挙が投票票されましたが、その際の自民党衆院選公約「Jファイル2017」に、歯科項目を盛り込むことができました。

さらに11月22日には、中医協において、大臼歯CAD-CAM冠が期中導入され、保険適用されることが承認されました。

現在最も重要な課題は、①成人期以降の歯科健診の義務化、②平成30年度診療報酬改定です。中でも、私の職域代表としての使命の一つである「生涯を通じた歯科健診の義務化」は、歯科界全体の悲願であります。

歯科健診の義務化に向けては、労働安全衛生法改正による労働者の一般健診への歯科健診導入や、産業歯科医の身分法制化などが目指されます。

これらに向けて、遅々とした歩みではありますが、「半歩ずつでも前へ」という気概で取り組んでまいりました。



目前の重要課題である平成30年度診療報酬改定については、「歯科の技術料評価が低廉であり、適正な評価がなされるべき」という点を繰り返し主張してまいりました。

歯科界を挙げての取組みには、デンタルファミリーである歯科衛生士・歯科技工士の皆さんの協力も不可欠です。

現在、歯科衛生士・歯科技工士の人材養成・確保が急務であり、その解決策として、医療介護総合確保基金における事業が各都道府県において展開されつつあります。

2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、日本協公認スポーツデスティノスの数を増やし、人材を活かしていくことが重要です。

これからも、現場の歯科医師の先生方の活動範囲をさらに拡大させ、公に資する歯科医師の活動を国として位置づけるべく、国政の場で活動してまいります。

平素より温かいご支援を賜っております神奈川県歯科医師連盟の先生方に、引き続きのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。年のご挨拶とさせていただきます。

神 歯 連 盟 NEWS

第113号

平成30年1月1日 発行

発行人：菊岡 祐亮 ◎編集人：清水 寛司 ◎委員：山田 剛久・森田 幸・宇佐美 貴弘 ◎045(307)8555



経営基盤の安定は 政治活動から 新年のご挨拶

神奈川県歯科医師連盟会長

菊岡 祐亮

明けましておめでとうございます。

会員の先生方におかれましては、日頃より本連盟の事業にご理解とご尽力を賜り深く感謝申し上げます。また、昨年10月に行われした衆議院総選挙の際には、地域歯科医師連盟と共に多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。推薦議員の大多数を再び国政に送ることが叶い、重ねて厚く御礼申し上げます。

今、我々が力を入れているのはオールフレイルの普及・啓発です。オールフレイルの予防・改善は、フレイルの進行を遅め、健康寿命の延伸につながります。神奈川県行政においても、未病対策の一環として、本会へオールフレイルの実態調査並びに改善プログラムの作成・介入調査を委託しています。

また、「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」の改正に向けても行政及び関係諸団体と協議を重ねており、定期的な歯科健診、オールフレイル対策、医科歯科連携などが条文中に盛り込まれる事を第一目標として折衝しているところでございます。この「オールフレイル」という概念を、全国に先がけて神奈川県から喚起し、行動し、広めていきたい

と考えています。
さらに、企業の定期健診に、歯科も義務化できないか、といった要望活動も展開しています。成人期以降の歯科健診の必要性は今や誰もが認めているところです。

歯科診療所は口の中だけを健康にするのではなく、全身を健康にするところ。そのことが県民に周知されつつある今、地域の歯科医師一人ひとりが、しっかりと自覚をもち、新たな事業展開をしなくてはなりません。我々歯科医師連盟の使命とは、会員である個人開業医それぞれが、地域の皆様へより良い歯科医療、歯科保健を提供できるよう促すことです。各診療所は経営基盤の安定を図ることが重要であり、そのための施策を求め、政治活動を行うことも重要な役割だと認識しています。

皆様方のご理解のもと、連盟への信頼回復のために務め、歯科医師会会員の大多数が連盟会員であるという組織を再び作りあげていくことを目指して参ります。

今、歯科界は新たなステージに入ろうとしています。歯科医師会が10年先、20年先、次の世代まで残っていくために、県歯協行部と我々連盟執行部が一体となり、皆様の力を借りながら一歩先を見据えた価値観の創造に努め参りたいと思っています。

この新しい年がより佳き年となるよう祈念いたしまして、連盟からの年頭のご挨拶とさせていただきます。

「オールフレイル」は口の機能の虚弱です。滑舌低下、食べこぼし、わずかな変化、かめない食品が増えるなどのさまざまな口の衰えは身体全体の虚弱と大きく関わっています。応えることが大切です。これらの様々な口の衰えは身体全体の虚弱と大きく関わっています。



ご挨拶

参議院厚生労働委員長
島村 大

あけましておめでとうございます。神奈川県歯科医師連盟の皆様におかれましては、お健やかに、よき新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年から厚生労働委員長を仰せつかっています。ご承知のとおり、厚生労働委員会は、医療、年金、介護、社会福祉から雇用、労働問題まで、国民の皆様の生活に直結する重要なテーマを幅広く所管しています。このため、他の委員会に比べて開会日数も多く、注目を浴びる機会も少なくありません。これは、与野党が対立する中で難しいかじ取りを迫られる場面がしばしばあるということです。

私も以前は与野党の筆頭理事として、野党との間で文字通りひざ詰めの交渉を行い、審議を充実させ、政策を実現してきました。委員会の委員長とは、立場が党派を超えて公平中立だというのは、立場が党派を超えて公平中立だということです。良識の府である参議院の厚生労働委員



会には、意見の対立があっても、できる限り議論を重ね、結論を導いている。こうとする雰囲気があります。委員長としても、こうした雰囲気大切にしながら公正かつ円満な委員会運営に努めて参ります。

平成30年の通常国会では、長時間労働の是正や同一労働同一賃金の実現など、政府を挙げて取り組んでいる働き方改革関連法案、受動喫煙防止のための健康増進法改正案など、大きな関心を集める重要法案への対応が課題となります。

加えて、平成30年度は診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬のトリプル改定の年に当たります。今回の改定は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を控え、将来の医療・介護の姿を方向付けるきわめて重要な改定です。

私も、参議院厚生労働委員長として、また、歯科医師の与党議員の一人として、社会保険制度をめぐる諸課題にしっかりと取り組み、よりよい国づくりと歯科界の発展に尽力して参る所存です。本年も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、神奈川県歯科医師連盟の今後ますますのご発展と、本年が皆様方にとって実り多き一年となりますことを祈念し、新年のご挨拶といたします。



閣議室議員（川崎）の演説



謹賀新年

参議院議員
三原 じゅん子

あけましておめでとございます。

神奈川県選出の参議院議員、三原じゅん子でございます。本年も無事に新しい年をお迎えすることができました。

鶴岡裕亮新会長をはじめ神奈川県歯科医師連盟の皆様方には、平素よりご理解ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の衆議院選挙におきましても党神奈川県連所属の候補者に対しまして、皆様方より絶大なご支援を賜りました。この場をお借りいたしまして衷心より御礼申し上げます。

私の国会議員活動も8年目を迎えていたでございます。参議院では引き続き厚生労働委員会委員を務めさせていただいております。今後より一層の高齢化が想定されるなか、「人生100年時代」を見据えて、ますます地域完結型の歯科医療が重要になってまいります。かかりつけ歯科医師の強化、質の高い在宅医療として訪問看護の確保、医科歯科連携、歯科医療職の皆様の含めての女性の多様な働き方の実現。歯は生命の源である食の基本ですから、たとえば栄養士の皆様とも連携したフレイル対策というものも重要でございます。ますます神奈川県歯科医師連盟の皆様方のお力が必要になって参るものと存じます。皆様方のご意見に謙虚に耳をかたむけ、より暮らしやすい神奈川県のために頑張っていく所存でございます。

また、昨秋の第194回国会からは、参議院の消費者問題特別委員長を拝命致し

た。ひとえに神奈川県歯科医師連盟の皆様のご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

消費者問題特別委員会では、神奈川県民の皆様への消費者保護として消費者の権利拡大のために尽力して参ります。消費者問題は近年の流通の発達や購買様式の多様化により、新たな問題が現れてきております。加工食品の安全、子どもたちやお年寄りの事故防止、インターネット取引や仮想通貨取引、SNSを通じた勧誘やトラブル防止など、消費者を巡る新たな問題も山積しております。

消費者庁では、消費者ホットライン「188番」をご用意しておりますので、何かお困りの際は是非ご利用いただきますようお願い申し上げます。また神奈川県内には、各地域に20を超える消費生活センターがございますので、お住まいの地域の消費生活センターにお気軽にご相談いただくことも可能でございます。神奈川県歯科医師連盟の皆様は消費生活の一助となることができまして幸甚でございます。

平成三十年は戌（いぬ）年でございます。いぬは私も大好きな動物ですが、戌という漢字には、戈（ほこ）という文字を含み、豊かに実った作物を知り、収穫してひととめにするという意味もあるそうです。

新しい年が神奈川県歯科医師連盟の皆様方にとりまして、さらにより年となるように祈念申し上げます。私の新年のご挨拶とさせていただきます。

島村大 後援会発足式 川崎市歯科医師会連盟



小川淳 川歯連盟理事長のあいさつ



恒例の宇都宮副理事長のガンパローコール！



ご参集いただいた衆議院議員の皆様

島村大君を励ます会



島村大君を励ます会



島村大君を励ます会



島村大君を励ます会

世耕弘成経産大臣より激励

高橋英登日歯連盟会長より激励

河野太郎外務大臣より激励

桜井よし子氏 来たる！ 日歯連主催 時局講演会



平成29年11月26日(日)
日歯連時局講演会に出
席した。桜井よし子氏
が母の介護の活用から
歯科の活性を力説した。

予告

神奈川県歯科医師会連盟

2018新春の集い～開催のご案内～

- ◇日 時：平成30年2月8日(木) 午後6時より
- ◇場 所：ロイヤルホールヨコハマ2F「ヴェルサイユ」
- ◇会 費：5,000円(当日、受付にてお申し受け致します。)

別紙案内裏面の参加申込用紙にご記入のうえ、平成30年1月25日(木)までに、神奈川県歯科医師会連盟事務局までFAX ☎0120-681-796)にてお申込みください。

申込方法

デンタルミレーディングINかながわ 田村元厚労大臣歯科を語る

平成29年11月16日(木) 午後6時より県会館「大会議室」において平成29年度神奈川県歯科医師会連盟「デンタルミレーディングINかながわ」が開催された。

長崎康俊理事長の司会のもと、徳永寛司副会長が開会を告げ、鶴岡裕亮会長、鈴木毅介県会長、大越智和郎連盟会長がそれぞれ挨拶した。

次に、来賓を代表して高橋英登日本歯科医師会連盟会長からご挨拶に続いて、来賓ならびに議員の紹介がなされた。

続いて、元厚生労働大臣で衆議院議員の田村元久先生を講師にお招きし「我が国の社会保険制度について～診療報酬改定に向けて」と題して基調講演が行われた。

講演の要旨は以下の通りである。

- ・社会保険制度について
- 消費増税増徴の行き先が社会保険から子育て支援へ変更されたため、財源をどうするか議論されている。財務省は高齢者の医療費増加分を考慮に入れ、医療費全体を2%下げたいと計算した。このように各省庁と折衝が行われている。

財務省は2018年度予算編成の焦点である診療報酬改定で2%台半ば以上のマイナスイナス改定を目指す方針に方針を示す。国民医療費は過去10年間で平均2.5%のペースで増加している。制度の持続性を高めるには、大幅なマイナスイナスが避けられないと判断した。年末にかけて厚生労働省や日本医師会と調整する。

2017.10.24日経新聞

超高齢化と言われる日本だが、医療費の占める割合が非常に多くなってきている。国民所得の割合を考えると5%を超える伸びを要している。特に気になるのが化学療法剤に代表される薬価である。

- ・社会保険の中の歯科関連の取組では、前回の改定で特定健診の項目に歯科が追加しなかったのは残念だが、関連議員の努力で骨太の改革に歯科保健が入ったのは財政支出の根拠になるので大きな前進だと思う。

特定健診・特定保健指導に歯科関連プログラムを導入するメリットとして、1.メタボ改善に向けた保健指導等が強化される、2.咀嚼に支障を来している人に歯科治療を勧める機会が得られる、3.歯科保健行動は行動変容が比較的容易で、生活習慣改善に向けた弾みをつけることができる、4.歯周病改善によるメタボ改善効果も期待できる、以上の4点が期待できる。

国立保健医療科学センターより



田村元大臣・島村参議を囲んで

- ・税制要求について
- 医療費の増徴要求に関しては診療報酬の改定率は政府が行い、その割増は中医師が担当する。高齢者の医療費の伸びは約500億円必要となることから予測できている。1.33%減価が下がったので、その分の上げは僅かだが出ると見える。今回は2025年より前の最後の同時改定だ。診療報酬を0.1%上げるのに必要な予算は約100億円と言われている。介護報酬で25億円、障害者福祉で13億円が必要となる。これらも包括して診療報酬の改定を考えると難しい。

ただし日本政府は衆議院選挙前に保育の現場確保が最優先としたので、今後の診療報酬改定の動きはわからない。

- ・歯科に関連した動きでは、口腔検査が中心になっている。検査が医療費抑制にどのような影響があるか。また、口腔検査によって、口腔機能の低下が定量的に測れないが、検出している。また、施設入所への対応や、歯科衛生士の離職防止、技工士のトレーニングも検討している。

- ・制度を大きく展開する必要がある。継続した社会保険のために何をすればいいか、社会保険の財源の議論が必要である。早く議論しないと経済が破綻しかねない。

技工士のトレーニングとは：造形可能性の意味で、歯科医療の安全を確保するために、技工物の材料や仕入れから加工・製造・流通などの過程を明確にすること。また、その仕組みをいう。

熱気にあふれた会場から大きな拍手が送られ基調講演は終了した。次いで公務多忙のなか駆けつけて下さった議員の紹介が行われた。

引き続き「デンタルミレーディングINかながわ」が「診療報酬改定に向けて～これからの歯科保健・歯科医療」をテーマに座長には島村大 参議院議員、副座長に宮坂副会長が中心となって活発な意見交換が行われ、質疑応答の後、宮坂副会長の閉会の辞をもって終了した。

平成29年度 第39回定時評議員会

平成30年3月15日（木）午後6時より第39回評議員会が県歯会館にて開催された。園英夫議長により評議員会の成立が宣言され、小川淳副会長の挨拶により開会された。議事録署名人名には鹿嶋満保評議員（横浜保土ヶ谷区）、嶋田潤一評議員（相模原市）が選定された。

嶋岡裕亮会長挨拶

本連盟は本会鈴木執行部と協働して歯科条例の陳情、衆議院選挙、診療報酬改定など丁寧に活動を行ってきた。



自民党県議団のご尽力のおかげで健康づくり推進条例の改正案が4月より施行される予定となっている。条文には定期的歯科健診、医科歯科連携、ネグレクト、オーラルフレイルの文言が入っている。また、口腔がん克服条例にも歯科の文言が加筆され、健診のさらなる充実につながるものと信じている。今後の事業展開として、島村大を国政に送り出すために地元の県議、市議との連携をお願いしたい。

鈴木駿介県歯会長挨拶

県の条例の見直しについては期待していた以上の成果がみられた。連盟の働きによるものと深く感謝している。これからも政治の力=議員の力が必要である。

島村大参議院議員国政報告

2017年太方針に歯科の文言が入ったことは次

年度の予算の根拠になった。

昨年、歯科口腔保健推進室が訓令室から省令室に格上げすることができ国民が望んでいる安心安全な歯科医療へ前進した。



《報告》

川越元久常務理事が会員現況報告、事業報告を行った。そして嶋岡会長が日本歯科医師連盟報告を行った後、末石倫大本連盟顧問弁護士が係争中の裁判に関して説明した。日歯連関係は5、6月ごろに判決が出るものとみられる。

長崎康俊理事長が各地域における島村大歯科医師後援会の設置をお願いした。自民党に対するアピールも、もう一人候補者が出る場合の対応になる事も含めお願いしたい。

村上修副理事長が各地域におけるデンタルミーティングの開催をお願いした。統一地方選に出る地方議員と島村先生と連携が取れるように活発をお願いしたい。

続いて西山謙副議長により議事が進行された。

《議事》

第1号議案 神奈川県歯科医師連盟平成30年度事業計画（案）に関する件

第2号議案 神奈川県歯科医師連盟平成30年度会費賦課並びに収納方法に関する件

第3号議案 神奈川県歯科医師連盟一般会計平成30年度収入支出予算（案）に関する件
それぞれ賛成多数により可決承認された。

最後に小澤境副会長の挨拶で閉会となった。

神 歯 連 盟 NEWS

第114号

平成30年5月1日 発行

神奈川県歯科医師連盟

○発行人：嶋岡 裕亮 ○編集人：渡永 真司 ○委員：山田 剛久・嶋田 剛・金井 久弥・宇佐美 貴弘 ○045(307)6555

神奈川県歯科医師連盟 新春の集い



類りになる自民党議員団

平成30年2月8日（木）午後6時より、ロイヤルホールヨコハマにおいて、「神奈川県歯科医師連盟 新春の集い」が212名の参加を以って初開催された。

萩原鉄也 伊勢原市議会議員（本連盟会員）の司会進行のもと、徳永寛司副会長の開会の発声の後、嶋岡裕亮会長より「本連盟初となるこの集いにご来賓はじめ多くの皆様にご出席いただき感謝いたします」と挨拶があり、その後、神奈川県歯科医師会鈴木駿介 会長から挨拶を頂いた。

続いて、公務の合間を縫って駆けつけて下さった議員の先生方の紹介がなされた。その中



ツルちゃん和大ちゃん

で島村大 参議院議員は「このような催しは、わたしが10年前にこの連盟の理事長を拝名していた頃から念願。それが叶って大変うれしく思います」と述べられた。

次いで富田篤 顧問の発声でグラスを高々と上げ乾杯した。

各選挙区で分けられた11の円卓では、議員の皆様と会員の懇談の輪が広がった。

今回の開催にあたり、自民党県連には大変お世話になりました。感謝申し上げます。

最後に小川淳 副会長の閉会の辞を以てお開きとなった。



会長と副会長

<http://www.kdrenmei2011.jp/>

神 歯 連 盟 NEWS の新名称大募集！

本連盟NEWSは、平成17年7月号から「神歯連盟NEWS」として歩んでまいりました。この度、この「神歯連盟NEWS」という名称を会員の皆さま方から、より一層親しまれるような名称に改称させていただくことにいたしました。つきましては、皆さま方より大募集させていただきます。ぜひとも親しみやすい名称をお寄せいただければ幸いです。

募集要項

内 容	会員の皆さま方より一層親しまれるような名称をお寄せください。
応募点数	特に制限はありません。何点でもご応募いただけます。
記 念 品	採用された方には記念品を贈呈いたします。
応募先	FAX：0120-681-786 神奈川県歯科医師連盟宛 件名「新名称」
応募締切り	6月末

ホームページをリニューアル！

より活用できるサイトに

会員の皆様にもっと連盟活動を知っていただき、親しみを持っていただこうと、ホームページをリニューアルしました。

フェイスブックにリアルタイムの活動も順次アップしてまいります。

お気に入りページに登録いただき、ご覧ください。



<http://www.kdrenmei2011.jp/>

神奈川県歯科医師連盟

検索

組織力強化に関する協議会



傍があり以下の報告があった。

- ①「総論」
- ②「県下歯科大学臨床研修歯科医へのアプローチ」
- ③「県歯連盟」
- ④「横浜市内歯科医師会の取り組み」
- ⑤「鎌倉市内歯科医師会の取り組み」

その後、座長には守屋義雄県歯連盟専務理事、長崎本連盟理事長が選出され、活発な協議が行われた。

協議では同窓会、地域歯科医師会が一体となつて未入会者にアプローチしていくこと、連盟活動が理解されていない等の、意見が多数出され、県歯連盟と本連盟が協働して神奈川県下の歯科界を活性化していくことが確認された。

この協議会を機会に組織力がより一層強化されることを期待する。
(今宮 記)

平成30年2月8日(木)に県歯会館で行われた「平成29年度組織力強化に関する協議会」は、初の試みとして県歯組織活性化委員会と本連盟共催で99名の出席のもと開催された。

組織活性化委員会の佐藤宏憲委員長の司会で始まり、鈴木県歯会長、鶴岡本連盟会長から挨拶

「訓令室」から「省令室」へ！

長年の歯科界の悲願達成！

歯科口腔保健推進室

平成23年8月 公布施行
平成27年10月 「訓令室」に移行
平成29年12月 「省令室」へ昇格

厚労省が「省の中であってもいいよ」から「省の組織にとって必要だ！」になつたわけである。

これにより歯科の幹部職が増員され推進室長は歯科医師の医系技官となる見通しであり、歯科医師としての視点で考えることが出来、歯科界の要望を理解してもらいやすくなる。

医政局歯科保健課長、保健局歯科医療管理官に続く3番目の管理職ポストであり、実に53年ぶりの快挙だ。

予告

第40回定時評議員会 開催のお知らせ

●日 時：平成30年 6月21日(木) 午後6時
●場 所：県歯会館 地下「大会議室」

第40回定時評議員会

平成30年6月21日（木）午後6時より第40回定時評議員会が開催された。

開式に先立ち、同連盟の自民党神奈川県議団「オーラルフレイル対策議員連盟」の19名の議員が来会され、同連盟の佐藤光会長は「自民党神奈川県連の総務会において島村大先生が満場一致で公認候補に決定した」と報告され、大きな拍手が送られた。

定時評議員会は、小川淳副会長の開会の辞に続き、議事録署名人名には、保刈徳久評議員（横浜市港北）、上田千秋評議員（藤沢市）が選出された。

はじめに、鶴岡裕亮会長は「ぜひとも、皆さんに応援して頂きたいと思う」と挨拶された。次いで、鈴木県歯会会長から挨拶を頂いた後、島村大参議院議員より、国政報告があり、議事に移った。

《議事》

第1号議案 神奈川県歯科医師連盟一般会計平成29年度収入支出決算に関する件

第2号議案 神奈川県歯科医師連盟平成29年度貸借対照表、財産目録に関する件

第3号議案 神奈川県歯科医師連盟選挙管理委員会委員の委嘱に関する件

第1号から第3号議案は賛成多数により可決承認された。続いての協議では、鶴岡会長から「すでに日歯連盟評議員で決定済みであるが、



力を合わせる自民党神奈川県議団（オーラルフレイル対策議員連盟）

神 歯

Renmel

神奈川県歯科医師連盟

第115号

平成30年10月1日 発行

○発行人：鶴岡 裕亮 ○編集人：澤永 章司 ○委員：山田 剛久・飛田 晴・金井 久弥・宇佐美 貴弘 ○045(307)8555

4 月 統 一 地 方 選 挙 応 援 求 む ！



自民党一次公認候補者が決定した。

8月31日（金）ロイヤルホールヨコハマにて行われた「安倍晋三自民党総裁との懇親会」にて、鶴岡裕亮会長はさらなる協力をお願いした。

安倍総裁と固い握手を交わす
鶴岡会長

選挙区	候補者	所属	選挙区	候補者	所属	選挙区	候補者	所属	選挙区	候補者	所属
神奈川1区	小田 浩二	現	神奈川2区	田中 信次	現	神奈川3区	川崎 隆一	現	神奈川4区	小田 浩二	現
神奈川5区	三浦 浩二	現	神奈川6区	田中 信次	現	神奈川7区	川崎 隆一	現	神奈川8区	小田 浩二	現
神奈川9区	三浦 浩二	現	神奈川10区	田中 信次	現	神奈川11区	川崎 隆一	現	神奈川12区	小田 浩二	現
神奈川13区	三浦 浩二	現	神奈川14区	田中 信次	現	神奈川15区	川崎 隆一	現	神奈川16区	小田 浩二	現
神奈川17区	三浦 浩二	現	神奈川18区	田中 信次	現	神奈川19区	川崎 隆一	現	神奈川20区	小田 浩二	現
神奈川21区	三浦 浩二	現	神奈川22区	田中 信次	現	神奈川23区	川崎 隆一	現	神奈川24区	小田 浩二	現
神奈川25区	三浦 浩二	現	神奈川26区	田中 信次	現	神奈川27区	川崎 隆一	現	神奈川28区	小田 浩二	現
神奈川29区	三浦 浩二	現	神奈川30区	田中 信次	現	神奈川31区	川崎 隆一	現	神奈川32区	小田 浩二	現
神奈川33区	三浦 浩二	現	神奈川34区	田中 信次	現	神奈川35区	川崎 隆一	現	神奈川36区	小田 浩二	現
神奈川37区	三浦 浩二	現	神奈川38区	田中 信次	現	神奈川39区	川崎 隆一	現	神奈川40区	小田 浩二	現
神奈川41区	三浦 浩二	現	神奈川42区	田中 信次	現	神奈川43区	川崎 隆一	現	神奈川44区	小田 浩二	現
神奈川45区	三浦 浩二	現	神奈川46区	田中 信次	現	神奈川47区	川崎 隆一	現	神奈川48区	小田 浩二	現
神奈川49区	三浦 浩二	現	神奈川50区	田中 信次	現	神奈川51区	川崎 隆一	現	神奈川52区	小田 浩二	現
神奈川53区	三浦 浩二	現	神奈川54区	田中 信次	現	神奈川55区	川崎 隆一	現	神奈川56区	小田 浩二	現
神奈川57区	三浦 浩二	現	神奈川58区	田中 信次	現	神奈川59区	川崎 隆一	現	神奈川60区	小田 浩二	現
神奈川61区	三浦 浩二	現	神奈川62区	田中 信次	現	神奈川63区	川崎 隆一	現	神奈川64区	小田 浩二	現
神奈川65区	三浦 浩二	現	神奈川66区	田中 信次	現	神奈川67区	川崎 隆一	現	神奈川68区	小田 浩二	現
神奈川69区	三浦 浩二	現	神奈川70区	田中 信次	現	神奈川71区	川崎 隆一	現	神奈川72区	小田 浩二	現
神奈川73区	三浦 浩二	現	神奈川74区	田中 信次	現	神奈川75区	川崎 隆一	現	神奈川76区	小田 浩二	現
神奈川77区	三浦 浩二	現	神奈川78区	田中 信次	現	神奈川79区	川崎 隆一	現	神奈川80区	小田 浩二	現
神奈川81区	三浦 浩二	現	神奈川82区	田中 信次	現	神奈川83区	川崎 隆一	現	神奈川84区	小田 浩二	現
神奈川85区	三浦 浩二	現	神奈川86区	田中 信次	現	神奈川87区	川崎 隆一	現	神奈川88区	小田 浩二	現
神奈川89区	三浦 浩二	現	神奈川90区	田中 信次	現	神奈川91区	川崎 隆一	現	神奈川92区	小田 浩二	現
神奈川93区	三浦 浩二	現	神奈川94区	田中 信次	現	神奈川95区	川崎 隆一	現	神奈川96区	小田 浩二	現
神奈川97区	三浦 浩二	現	神奈川98区	田中 信次	現	神奈川99区	川崎 隆一	現	神奈川100区	小田 浩二	現

平成30年9月6日現在（注：選挙区変更あり）

新名称が決定！ 神歯連盟 NEWS から 神歯 Times に

野暮：DM合同会議 ●日 時：平成30年11月29日（木）午後4時 ●場 所：県会議館 5階 [501・502階] デジタルミラーディングINがむかひ ●日 時：平成30年11月29日（木）午後6時 ●場 所：県会議館 地下 [大会議室]

●内 容：デジタルミラーディングチーム：健康寿命延伸のために（座席）
基調講演：厚生労働大臣 加藤 勝信 先生
新幹線の速い ●日 時：平成31年2月7日（木）午後6時 ●場 所：ロイヤルホールヨコハマ（横浜市中区）

第25回参議院議員選挙

自民党候補予定者が決定！(第1次公認)

来夏に行われる参院選について、自民党は7月20日、選挙対策本部会議(本部長:安倍晋三総裁)を開催し、第一次候補予定者を決定しました。

第25回参議院議員通常選挙 選挙区選出議員選挙 候補予定者

自由民主党
平成30年7月20日

○公認 36都府県 37名 (現35名、新2名)
【現職】

神奈川	定数 4	島村 大	昭和 35 年 8 月 11 日生	57 歳	現職	1 期
-----	------	------	-------------------	------	----	-----



島村大君のポスター 掲示のお願い

我々の仲間である島村大君より「会員の先生方の診療室やご自宅にポスターを貼って頂けないか」との要請がありました。本連盟としては、歯科医師の国会議員、島村大君の政治活動をよりアピールすべく、ポスター掲示について会員各位にご協力、お力添えをお願いする次第です。つきましては、何卒ご理解頂き、ポスターを貼って頂ける場合には島村大事務所までご一報下さるようお願いいたします。

自由民主党神奈川県参議院選挙区第三支部 参議院議員島村大神奈川事務所
TEL 045-333-1800

関東地区歯科医師連盟役員連絡協議会

○平成30年8月2日(木)

於：ホテルメトロポリタエント

1 次期参院選挙、高橋しんご氏に決定

①日本歯科医師連盟は組織代表を擁立できない。各都道府県歯科医師連盟単位で比例代表候補予定者の支援を決定。

②関東一都八県の歯科医師連盟が一致団結し、単一候補予定者を支援することを確認、協議の結果、高橋しんご氏(兵庫県歯科医師連盟会員・兵庫県議会議員)を第25回・参議院比例代表選挙において推薦する事が決定。

③衆議院・参議院選挙区選出の歯科医師連盟会員の議員は、歯科界発展のために活発に活動されていることから、日本歯科医師連盟においては組織代表議員と同様に手厚く支援すべきと決定。

上記事項について承認が得られ、日本歯科医師連盟に要望書を提出した。



熱弁する宮坂副会長

2 その他(神奈川県より:次年度の開催方法・日程について)

来年度当番県となる本県より、参議院議員選挙に万全な体制で臨むため、5月から6月頃に本会協議会とは別に開催させていただきたい旨の提案を行い了解が得られた。

フレイクタイム

何とも憐たらしい毎日。

そこでこの夏、非日常を求めてタヒチ「ボラボラ島」でどっぷりエメラルドグリーンの海に染まってきました。帰るのがとてもつらかったですが「働くからこそ休まれる」リフレッシュしてまた頑張ります(宇佐美 貴弘・横浜 鶴見)



ホームページをリニューアル! より活用できるサイトに

会員の皆様にもっと連盟活動を知っていただき、親しみを持っていただこうと、ホームページをリニューアルしました。

フェイスブックにリアルタイムの活動も順次アップしてまいります。お家に入りページに登録いただき、ご覧ください。

<http://www.kdrenmei2011.jp/>

神奈川県歯科医師連盟

検索



◆◆◆ 年頭挨拶 ◆◆◆



参議院議員
三原 じゅん子

自民党本部女性局長に3度目の就任。女性医療従事者の皆様の働き方改革の推進、統一地方選・参院選の必勝に邁進して参ります。



参議院議員
山田 宏

社会保障も疾病や介護の「予防」に重点が置かれ、歯科界の役割はますます重要になります。今年も連盟と先生方をしっかりと後押しいたします。



参議院議員
中西 けんじ

歯と口の健康づくりを通じた健やかな生活の実現へのご尽力に感謝し、皆様とご家族のご多幸を祈念致します。

自由民主党神奈川県支部連合会



会長
小此木 八郎



幹事長
土井 隆典

私達かながわ自民党は、常に県民の声に耳を傾け、その声を政策に反映することで、すべての県民の信頼にお応えできるよう、誠実に着実に政策を実行してまいります。

特に、歯科医師連盟様との連携をより一層強化して、オーラルフレイルの啓発活動を広め、歯と口腔の健康づくりの推進に努め、県民の健康増進を図ってまいります。皆様方におかれましては、自民党に対する益々のご支援ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

◆◆◆ 神奈川県歯科医師連盟 ◆◆◆

2019新春の集い～開催のご案内～

- ◇日 時：平成31年2月7日(木) 午後6時
- ◇場 所：ロイヤルホテルヨコハマ2F「ヴェルサイユ」
- ◇会 費：5,000円(当日、受付にてお申し受け致します。)

申込方法 別紙案内裏面の参加申込用紙にご記入のうえ、平成31年1月28日(月)までに、神奈川県歯科医師連盟事務局までFAX(☎0120-681-786)にてお申込みください。

神 歯

Ren
mei

神奈川県歯科医師連盟

○発行人：劉剛 裕亮 ○編集人：渡水 寛司 ○委員：山田 剛久・飛田 隆・金井 公新・宇佐美 貴弘 ○045(307)8555

Times 第116号

平成31年1月1日 発行



新たな時代の始まり
新年のご挨拶

神奈川県歯科医師連盟会長
鶴岡 裕亮

新年明けましておめでとうございます。

会員の先生方におかれましては、日頃より本連盟の事業にご理解とご尽力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年9月に行われた自民党総裁選にて安倍晋三総理が三選を果たし、第4次安倍内閣がスタートしました。今年、4月には統一地方選、そして5月に新天皇陛下が即位され新年号として新たな時代が始まります。7月には参議院選挙、10月には消費増税が行われることになっており、激動の1年となる事が予想されます。

では我々歯科界はどうなっているのか？

政府の骨太方針に歯科医療の重要政策が明記され、歯科医師は口の中だけを健康にするのではなく、全身を健康にするところであるという国民、県民に周知されつつある今、歯科医師会とはもとより歯科医師一人ひとりが、しっかりと自覚をもち、新たな事業展開をしなくてはなりません。

我々歯科医師連盟の使命とは、会員である個人開業医それぞれが、地域の皆様へより良い歯科医療、歯科保健を提供できるように努めることとあり、各診療所は経営基盤の安定を図ることが重要であり、そのための施策を求め、政治活動を行うことも重要な役割だと認識しています。

皆様方のご理解の元、連盟への信頼回復のために努め、歯科医師会会員の大多数が連盟会員であるという組織を再び作りあげることを目指して参ります。

今、歯科界は新たなステージに入ろうとしています。歯科医師会が10年先、20年先、次の世代まで貢献できるように、県歯科行部と我々連盟執行部が一丸となり、皆様の力をお借りしながら一歩先を見据えた価値観の創造に努めて参りたいと思っています。

5年前、島村大議員をこの神奈川県選挙区より国政に送り出したことで、歯科界、少なくとも神奈川県歯科医師会会員の皆様方にはその変化を肌で感じていると思います。

是非再び、我々の宝である島村大参議院議員を国政に送り出すことが叫ぶようご理解とご尽力をお願いし、さらに会員の皆様方にとって、新しい年がより佳き年となるようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

高橋しんご氏 公認決定

次期参議院選立候補予定



自由民主党は10月30日、翌夏の参議院比例代表選挙で新たに公認候補予定者を発表し、高橋しんご氏(兵庫県議員・関東地区歯科医師連盟推薦)の公認が決定した。

東京事務所 ☎03-6261-5174

新年のご挨拶

参議院議員 島村 大

一期目が満了となります。この間、私は政治の側に立ち、会員の皆様、歯科医療行政、政治の三者の関わりをつぶさに見て参りました。また、厚生労働委員会筆頭理事、委員長など多くの貴重な経験を積み、神奈川の歯医者者の国会議員としての使命も明確になってきました。

これまでの皆様のご支援に報い、二期目はさらにさらに皆様のお役に立ちたいとの思いを強くしています。今後も我が国の発展、歯科界の発展に向けて全力で取り組む所存です。今年も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、神奈川県歯科医師連盟の今後ますますのご発展と皆様のご多幸を祈念し、新年のご挨拶といたします。



あけましておめでとうございます。神奈川県歯科医師連盟の皆様におかれましては、お健やかに、よき新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年の7月に、参議院議員の任期6年、

Facebook開設

これまでのホームページと併せて、本連盟の活動報告や最新情報をお伝えします。

<http://www.kdrenmei2011.jp>

神奈川県歯科医師連盟
ホームページ



神歯連盟

検索

神奈川県歯科医師連盟



<https://b-m.facebook.com/神奈川県歯科医師連盟-1629111550500918/>

神奈川県歯科医師連盟
フェイスブック



神奈川県歯科医師連盟フェイスブック

検索

講演勉強会・意見交換会

オーラルフレイル徐々に浸透

9月20日(木)にロイヤルホールヨコハマにて、「平成30年度かながわ自民党歯科保健・医療推進議員連盟(通称：オーラルフレイル対策議員連盟)」による勉強会が開催された。

「勉強会」は午後7時より、磯本桂太郎県議と長崎理事長の司会のもと行われた。はじめに、佐藤光謙連会長(現茅ヶ崎市市長)と市川喜久江県保健医療局長がそれぞれ挨拶した。

次に島村大参議院議員より「オーラルフレイル対策の重要性が少しずつ浸透されつつある」と報告された。

勉強会へと移り嶋志田義功県歯副会長が「健康寿命延



伸に向けた歯科保健医療の取り組み」と題し講演した。

続いて「神奈川県歯科医師会及び口腔の健康づくり推進条例改正報告」がなされ、最後に、小川久仁子県議の閉会の辞により勉強会は終了した。

次に意見交換会が開催された。棚生秀昭県議長をはじめ、鈴木駿介県歯会長、嶋岡裕亮会長らより挨拶があり富田篤連盟顧問の乾杯の発声で会が始まった。

各地域の歯科医師会幹部と議員が同じテーマで分け隔てなく懇談を深め活発な意見交換がなされ、最後に土屋松美県副会長の閉会の辞により全日程を終了した。



嶋岡会長の挨拶

デンタルミートーデイング IN かながわ 幹事会・DM会合同会議同日開催

11月29日(木)午後4時より幹事会・DM会合同会議が開催され、次いでデンタルミートーデイングが行われた。180名を超える来場者があり、長崎理事長の司会で盛況に行われた。小澤副会長の開会の後、嶋岡裕亮会長、鈴木駿介県歯会長、小此木八郎自民党県連会長、坂井学自民党横浜市長会長の挨拶、その後来賓より高橋英登日歯連会長、大越壽和東京都歯連会長から挨拶があった。

基調講演Ⅰでは、前厚生労働大臣の加藤勝信自民党総務会長が「社会保険の将来見通しの中の歯科の役割」と題して講演され、政府の打ち出した骨太の改革と歯周病診療、入院日数等の期待、かかりつけ歯科医への期待を伝えた。

基調講演Ⅱでは、公益財団法人がん研究会有明病院



幹事会・DM会合同会議で説明する嶋岡会長

健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間と定められています。各都道府県のデータは公表されています。公表している市町村もあります。



加藤勝信大臣との写真

「がん治療における口腔機能管理の現在」と題して講演した。

最後にありますが、このデンタルミートーデイングに応援にいられた、県内選出衆議院議員、参議院の島村議員、中西けんじ議員、山田議員、神奈川県議会議員、日歯連盟役員、都歯連盟役員、県歯科衛生士連盟役員、他の方々にこの場をお借りして謝辞を申し上げます。

比嘉奈津美氏支援を決定 第25回参议院議員通常選挙比例代表推薦候補者選定報告

本連盟第41回定時評議員会でも多くのご意見・ご質問を頂いた生の声を第136回日本歯科医師連盟評議員会に事前質問として提出した。全国各地区からも同様の質問があり、参议院議員選挙比例代表候補者について議論がなされた。結果として比嘉奈津美（ヒガナツミ）氏を支援することが決定した。

支援方法は執行部一任となったものの推薦は各都道府県の判断に委ねられた。本連盟においても本来ならば比嘉氏への推薦の是非について改めて評議員会を開催するべきところ、時間的

な猶予もないことから、本職に一任をいただき、比嘉氏への自民党公認がおりることを条件に「推薦候補者」として決定した。



第42回定時評議員会開催のお知らせ

○日時：令和元年6月20日（木）午後5時 ○場所：県歯会館 地下「大会議室」

鳥村 大・比嘉奈津美 総決起大会（仮称） 開催のお知らせ

○日時：日時：令和元年6月20日（木）午後7時 ※評議員会終了後
○場所：県歯会館 地下「大会議室」

令和元年5月1日 発行

神奈川県歯科医師連盟

○発行人：鶴岡 裕亮 ○編集人：澤永 章司 ○委員：山田 剛久・飛田 峻・金井 久弥・宇佐美 貴弘 ○045(307)8555

比例代表への活発な質疑 第41回定時評議員会

平成31年3月14日（木）午後6時より、県歯会館大会議室において第41回定時評議員会が開催された。

宮坂宗行副会長の表辞の後、鶴岡裕亮会長が「地域歯科医師連盟との連携強化と組織力の強化に努めたい。また、統一地方選、さらには鳥村大2期目の選挙に向けて全力を挙げて臨みたい」と表辞した。



次は鳥村大参议院議員による力強い国政報告がなされた。

協議では冒頭、鶴岡会長が比例代表への推薦依頼者についての協議の趣旨説明があり、活発な質疑が繰り返された。「今夏の参议院選に誰を推すのか、なぜそうなったのか、説明してほしい」という評議員の問いに、会長は「皆様の意見を日歯連盟評議員会でしっかり届けた」と約束した。

最後に徳永寛司副会長の閉会の言葉により評議員会は終了した。

日本歯科医師連盟褒賞 富田篤先生（藤沢市）受賞

平成30年度日歯連盟褒賞授賞式が行われた。当県の前会長で現在顧問の富田篤先生が受賞され、代表して謝辞を述べられた。



TOPICS

島村 大の歯科に関する6年間の功績

地域における住民に対する歯科口腔保健の取組や日々の歯科診療を通じて地域歯科医療の提供にご尽力頂いている歯科医師・歯科衛生士の皆様のご意見を頂戴しながら、歯科口腔保健の推進や歯科医療の充実、歯科保健医療に諸問題の解決に向けて取り組んできた結果、今後の歯科界にとっても重要な変化が現れています。

- 歯科医療機関に関わる税制上の対応
- 超高齢社会に対応した歯科診療の充実
- オーラルフレイル対策の推進
- 厚生労働省における歯科口腔保健推進室（省令室）の設置
- 口腔の健康を通して健康寿命の延伸を図る取組（医科歯科等の多職種連携、口腔の健康と全身の健康の関連に関する研究の促進等）
- 後期高齢者に対する歯科健診への国庫補助
- 保険者による歯・口腔の健康づくりの取組への支援



島村大の6年間の功績リーフレット作成！



“ボクらの時間”メイキング

（島村）「厚労省は敵じゃないよ。」
（鶴岡）「エッ！」
（島村）「コミュニケーションが大切だよな。」
……くわしくはHPにアクセス！
4月11日（木）県会館にて、鶴岡裕亮会長と島村大参議院議員の対談“ボクらの時間”の撮影が行われた。
動画は県歯連盟HPで公開予定。乞うご期待！！



収録を終えたおふたりから思わず本音が!!

第19回統一地方選速報

頼りになる県議選推薦候補53名が見事当選!!
今後の活躍に期待！

Facebook開設

これまでのホームページと併せて、本連盟の活動報告や最新情報をお伝えします。

<http://www.kdrenmei2011.jp>

神奈川県歯科医師連盟
ホームページ

神歯連盟

検索



<https://b-m.facebook.com/神奈川県歯科医師連盟-1629111550500918/>

神奈川県歯科医師連盟
フェイスブック

神奈川県歯科医師連盟フェイスブック

検索



山田宏参議院議員の国政報告がなされ、本連盟徳永寛司副会長の挨拶で閉会した。

かながわ自民党歯科保健・医療推進議員連盟役員
(通称：オーラルフレイル対策議員連盟)
＜令和元年7月5日現在＞

会	長	生	秀昭	牧島	幹	河本	あらひ朝世	高橋栄一郎
創	長	田江	文男	土井りやうけい	事務総長 兼務局長	新屋	山口美津夫	
會	長	坪田	又男	しきだ博昭	監 計	文雄	蘆	
副	事	小川久仁子	内田みほこ	永田 達治	監 事	佐木太郎	中村 信次	
幹	事	編村たただし	杉山 信雄	しきだ博昭	水田てるじ	原 敏祐	梅沢 裕之	

島村大神奈川県歯科医師後援会役員
＜令和元年7月1日～令和3年6月30日＞

代表	鶴岡 祐亮 (神奈川県立看護専門学校)	幹事	鹿部 清保 (横浜市保土ヶ谷区)
副代表	植野賢一朗 (小田原)	同	小笠原由紀 (横浜市港北区)
同	杉山 紀子 (横浜市栄区)	同	白井 仁之 (横浜市緑区)
同	西山 源 (神奈川県立看護専門学校)	同	久保田 正 (横浜市青葉区)
同	小川 淳 (神奈川県立看護専門学校)	同	杉之内俊郎 (川崎市川崎区)
同	原 秀一 (横浜質布)	同	松本 薫三 (麻沢市)
同	徳永 潤一 (相模原市)	同	河野 孝次 (小田原)
同	遠矢 寛司 (神奈川県立看護専門学校)	同	今宮 孝太 (大和郡橈原)
同	北野 達廣 (神奈川県立看護専門学校)	顧問	中村 昌人 (神奈川県立看護専門学校)
同	五十嵐史征 (鎌倉市)	同	高田 篤 (神奈川県立看護専門学校)
同	長崎 康俊 (神奈川県立看護専門学校)	同	加藤木 健 (神奈川県立看護専門学校)
幹事	松本 純 (川崎市川崎区)	同	関 泰忠 (神奈川県立看護専門学校)
副幹事	元久 (神奈川県立看護専門学校)	同	

日本齒科医師連盟 評議員
予備評議員選出報告

日本齒科医師連盟 評議員
予備評議員選出報告

連盟組織力強化委員会委員
＜令和元年7月1日～令和3年6月30日＞

[illegible]

情報調査委員会
＜令和元年7月1日～令和3年6月30日＞

委員	高倉 康介 (横浜市市中区)	特別委員	山上 修 (沖奈川県川崎市磯子区磯子町理事(兼))
同	宮田 利郎 (柳屋市市)	同	山田 久夫 (沖奈川県川崎市磯子区磯子町理事(兼))
同	五十嵐安正 (柳屋市市)	同	太田 充 (沖奈川県川崎市磯子区磯子町理事(兼))
同	盛田 健司 (海老名市)	【担当役員】	
同	添田 博亮 (海老名市)	副委員長	宮城 宗行 (沖奈川県川崎市磯子区磯子町理事(兼))
同		理事長	唐崎 康敏 (沖奈川県川崎市磯子区磯子町理事(兼))

広報委員会委員

委員 山田 剛久 (神奈川県立薬理毒物学管理理事)
同 飛田 暁 (横浜市旭区)
同 宇佐美彌生 (横浜市青見区)
同 金井 弘 (横浜市川崎区)
【担当役員】
副 会長 徳永 寛司 (神奈川県立医療師専門学校(金島))
理事長 長崎 康俊 (神奈川県立病院管理理事(長崎))

神奈川県歯科医師連盟名簿

〈令和元年7月1日～令和3年6月30日〉

 会長 加藤 亮 (横浜市/中区)	 副会長 加藤 宗行 (宮ヶ崎)	 副会長 加藤 宗行 (大和総務)	 副会長 西山 潔 (横浜市/神奈川区)	 副会長 小川 淳 (川崎市/高津区)
 理事長 長崎 俊 (横浜市/鶴見区)	 理事長 橋上 修 (鎌倉市)	 常務理事 北野 淑廣 (横浜市/青葉)	 常務理事 山田 剛久 (茅ヶ崎)	 常務理事 川越 元久 (川崎市/高津区)
 常務理事 小池 重平 (横浜青木)	 常務理事 桑田 豊 (厚木市)	 常務理事 智徳 訓男 (相模原市)	 監事 関 泰忠 (横浜市/中区)	 監事 佐藤 政夫 (相模原市)
 顧問 田村 猛男 (横浜市/鎌倉)	 顧問 原 慶治 (横浜青木市)	 顧問 中村 昌人 (横浜市/港北区)	 顧問 栗田 雄 (藤沢市)	 顧問 加藤 本雄 (横浜市/西区)
 相談役 佐倉 仁男 (川崎市/多摩区)	 相談役 大木 智 (大和市)	 相談役 大崎 基司 (川崎市/多摩区)	 相談役 加藤 本雄 (横浜市/西区)	 相談役 島村 公彦 (相模原市/緑区)

議長に青山君 副議長に嶋田君 第43回臨時評議員会

9月12日(木)午後6時より県歯会館地下大会議室において第43回臨時評議員会が開催された。宮坂宗行副会長の挨拶の後、梅田和裕評議員(川崎市)が議長ならびに副議長が決まるまで仮議長として登壇した。議事録署名の選出では松本富三評議員(藤沢市)、妹尾明寛評議員(横浜市の)が選出された。ここで予定を変更し、議事にある第1号議案を前倒しして上程された。

第1号議案 神奈川県歯科医師連盟評議員会議長・副議長の選出に関する件

議長は青山繁評議員(横浜市の)副議長に嶋田潤一評議員(相模原市の)がそれぞれ選出された。以降は青山議長のもと進行された。嶋田裕亮会長の挨拶に続き鈴木雅彦県副会長の挨拶の後、ご来賓の日歯連盟村岡宣明副会長にご挨拶頂いた。退任役員に感謝状が贈呈され、今までの労をねぎらい大きな拍手が送られた。



テンポよくスムーズな進行が好評



議案に賛成する評議員

神奈川県から4名が入閣 ～第4次安倍第2次改造内閣発足～

菅 義偉 (官房長官) (2区) 横浜市 西区/南区/港南区
小泉進次郎 (環境大臣) (11区) 横浜市 三浦市
河野 太郎 (防衛大臣) (15区) 平塚市、茅ヶ崎市、大磯町・二宮町
田中 和徳 (復興大臣) (10区) 川崎市 川崎区/幸区/中原区 (大戸地区以外)

鶴岡会長 関監事 再選 第42回定時評議員会

令和元年6月20日(木)午後5時より第42回定時評議員会が県歯会館地下大会議室にて開催された。関英夫議長により評議員会の成立が宣言され(出席59、欠席5)、宮坂宗行副会長の開会の挨拶のあと、議事録署名人には金井久弥評議員(川崎市の)、高橋成明評議員(茅ヶ崎市の)が選定された。

嶋田裕亮会長挨拶、鈴木雅彦県副会長挨拶に続き、川越元久常務理事が会員現況報告、事業報告を行った。日歯連盟評議員会報告を嶋田会長より行い、日歯連より「職域代表選挙ではなく候補者に支援を行うもの、主体は候補者の中央後援会にある」との回答を得た。

長崎康俊理事長より比嘉候補を推す理由として、「悪条件の中、比嘉候補を当選させることができれば、島村議員、山田宏議員の活動がやりやすくなる」と述べた。

評議員より、「地区連盟の声を反映して欲しい」「比嘉氏落選時の責任」「ピラ配りに時間がない」「評議員会を大切にしたい」「質問や意見が出され、会長より「評議員会や幹事DM会等で不足であれば機会を設けたい」「全国区の責任は考えていない」「評議員会が最高議決機関として尊重している」と答弁され、評議員会で議論することは大事であるが、時間が必要ならば会長一任の意見があり、皆が連んだ会長を支える方向で一致した。

《議事》

第1号議案 神奈川県歯科医師連盟一般会計平成30年度収支決算に関する件
第2号議案 神奈川県歯科医師連盟平成30年度貸借対照表、財産目録に関する件
関英夫監事による監査報告ののち、それぞれ賛成多数により可決承認された。

関議長に進行が渡り、議案が上程された。

第3号議案 なつみの会神奈川県支部(仮称)設置に関する件
長崎理事長より説明ののち、賛成多数で可決承認された。

《選挙》

高橋清治選挙管理委員会委員長より、令和元年度・2年度の神奈川県歯科医師連盟会長に嶋田裕亮君、監事に関英夫君がそれぞれ無投票当選したことを報告し、当選証書が手渡され、徳永寛司副会長の言葉で閉会した。

評議員会に続いて「島村大・ひがなつみと語る夕べ」と題して、参議院選挙を前に総決起集会が行われた。県連会長小此木八郎参議院議員に冒頭ご挨拶いただき、高橋英登日歯連会長、早技連会長、日歯連会長などが紹介され、応援演説として加藤勝信 自民党総務会長(現厚労大臣)、原聡祐県議、三原じゅん子 参議院議員、中西健治 参議院議員、山田宏 参議院議員に応援演説をいただいた。いよいよ主役の参議院選立候補者お二人が登場して挨拶し、これからの歯科界のための抱負を述べた。最後に評議員会西山潔副議長が「ガンパローコール」を行い士気は最高潮に達した。



応援に駆けつけた加藤勝信総務会長(現 厚労大臣)

令和2年 年頭挨拶



内閣官房長官
菅 義偉

安倍内閣が掲げる「全世代型社会保障」を実現する上で、口腔内の健康によって健康寿命の延伸を目指す歯科医師の役割は益々重要になっています。本年も、皆様方のご活躍を心より祈念いたします。



自由民主党
神奈川支部連合会
会長
小此木 八郎

あけましておめでとうございます。貴連盟の皆様からのお力添えに改めて深く感謝申し上げます。おかげさまで昨年、島村大参議院議員が再選、地元代表として更なる活躍が期待されます。本年もよろしくお願い致します。



自由民主党
神奈川支部連合会
幹事長
土井 隆典

謹んで新春をお祝い申し上げます。本年も、貴連盟の皆様と連携を図りながら、県下全域にオーラルフレイル検診の普及啓発に取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



参議院議員
山田 宏

国民皆歯科健診実現にむけ新立法を新年おめでとうございます。「虎子」の年は、新しい芽が吹き出る年。昨年末、新議連「国民皆歯科健診を実現する会」(古屋圭司会長)をスタートさせ、本年中に新立法をめざして島村先生とともに頑張ります。



参議院議員
三原 じゅん子

あけましておめでとうございます。昨秋より4度目の自民党本部女性局長に就任致しました。女性の医療従事者の皆様の働き方改革の推進。そして歯科健診の機会拡大による健康増進政策に向けて邁進して参ります。



参議院議員
中西 けんじ

謹んで新春の祝詞を申し上げます。神歯連盟の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。歯と口の健康作りへのご尽力に感謝し、皆様とご家族のご多幸を祈念致します。

神奈川県歯科医師連盟

予告 令和2年新春の集い ～開催のご案内～

- ◇日時：令和2年2月6日(木)午後6時
- ◇場所：ロイヤルホールヨコハマ2F「ヴェルサイユ」
- ◇会費：5,000円(当日、受付にてお申し受け致します。)

申込

方法

別紙案内裏面の参加申込用紙にご記入のうえ、令和2年1月27日(月)までに、神奈川県歯科医師連盟事務局までFAX(☎0120-681-786)にてお申込みください。

令和2年1月1日 発行

神奈川県歯科医師連盟

◎発行人：柳岡 裕亮 ◎編集人：徳永 寛司・長崎 隆俊 ◎委員：山田 剛久・時 金井 久新・手塚 美 弘 ◎045(307)6555



最後は政治力 新年のご挨拶

神奈川県歯科医師連盟会長 鶴岡 裕亮

新年明けましておめでとうございます。

会員の先生方におかれましては、平素より本連盟の事業にご理解とご尽力を賜り深く感謝申し上げます。昨年4月には統一地方選、7月には令和初の国政選挙の参議院通常選挙がございました。地方選においては地域歯科医師連盟とともに推薦した大多數の県会、市町村議員の当選を果たすことができて、そして7月にはこの神奈川選挙区より島村大参議院議員を再び国政に送り出すことができました。これらひとえに多くの会員の皆様方のご尽力のおかげであり、あらためて御礼申し上げます。

昨年末のデジナルミラーティンダにて、診療報酬改定をテーマに議論いたしました。この4月より新年度での保険診療が始まります。社会保険費の財源が厳しいなかの改定ではあります。やがては、なるよう連盟として汗をかいてまいります。これは最後は政治力です。歯科医師である職域代表の議員不在の中、山田宏参議院議員、そしてこの神奈川選挙区選出の島村議員がその重責にあたっており、懸命にその役割を果たしていただく所存でございます。それには地域歯科医師会、歯科医師連盟が一つとなり声を上げていくことが重要だと思います。

歯科医師連盟の使命とは、会員である個人開業医、それぞれが、地域の皆様へより良い歯科医療、歯科



リフレッシュ!

保健を提供できるよう促すことです。各診療所は経営基盤の安定を図ることが重要であり、そのための施策を求め、政治活動を行うことも重要な役割だと認識しています。皆様方のご理解のもと、歯科医師会会員の大多数が連盟会員であるという組織を再び作りあげることが目指して参ります。

歯科医師会の10年先、20年先を見据え、県歯執行部と連盟執行部が一丸となり、地域歯科医師会、歯科医師連盟の皆様方をお借りしなからより良い歯科界になるよう努めて参る所存です。

この新しい年がより佳き年となるよう祈念いたします。さて、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新春を迎えて



参議院議員 島村 大

ます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年7月、皆様多大なお力により二期目の当選を果たすことができました。

人生100年時代を見据え、国民の健康に直結する歯科の役割はますます増大します。これからも地元神奈川県と国政を、歯科界と国政をつなぐパイプ役の使命を、しっかりと果たして参る所存です。で、本年も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

あけましておめでとございます。神奈川県歯科医師連盟の皆様におかれましては、お越やかに、よき新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

今年も盛会!! 島村大君を励ます会

令和元年10月24日(木)午後6時よりANAインターコンチネンタルホテル東京にて開催された。当日は超多忙の中、菅義偉官房長官が参会され盛大な「励ます会」に驚き、「エール」をいただいた。他にも多数の大臣、国会議員からも励ましの言葉をいただいた。恒例となった励ます会だが、益々パワーアップとなっている。各界の皆様のパワーアップの賜物と感じた。



組織力強化 本連盟未入会員対策～「連盟ガイドQ&A」完成～

連盟組織力の更なる向上を目的として標記「連盟ガイドQ&A」を作成いたしました。皆様に連盟組織及び連盟活動について、再認識いただき、更なる本連盟へのご理解とご協力を深めていただきたいです。また、本連盟未入会の方には、こちらをご一読いただき、この機会にぜひとも入会していただきたきと、原歯のご協力により県歯全会員に送らさせていただきます。

あなたの身近な診療とあなたの経営のために

連盟ガイドQ&A

神奈川県歯科医師連盟

選挙総括と組織力強化

～第1回幹事会・DM会合同会議開催～

令和元年年度 第1回幹事会・DM会合同会議が令和元年11月28日(木)午後3時30分より原歯会館で行われた。顧問格亮会長は挨拶で日頃の連盟活動への感謝と選挙協力へのお礼を述べた。また、「日歯連盟の対応への問題を数々の評議員と共有している。これに関しては今後を注視したい。また、連盟ガイドを作成したのでご参加の皆様地域で活用して欲しい。最後は政治力なので、今後もよろしくお願いします」と挨拶された。

続いて、山田宏参議院議員が国政報告を行った。「診療報酬改定は財源の確保が大切。財務大臣の上野には大蔵(国)の指針が必要になる。そこで政府の出した「骨太の方針」が選挙の予算の指針になる。これにより新規の事業もいくつかが提出されている。



国政報告を行う山田宏参議院議員

引き続き協議がおこなわれた。

1、「第45回参議院議員通常選挙総括について」第25回参議院議員選挙(神奈川県選挙区関係と全国比例区関係)の経緯について長崎雄後理事長が説明し、今回の反省点や今後について意見が交わされた。

2、「連盟組織力強化について」小川淳副会長が現在の組織率について説明、全ての歯科医師に歯科医師連盟の重要性を正しく伝えていきたいと述べ、協力を願った。それには連盟ガイドを活用していただきたい。

3、「その他」新春の集い、2月6日(木)ロイヤルホテル横浜で開催する。

最後に西山謙副会長の閉会の辞により終了した。

診療報酬改定に向けて

～デンタルミーティングINかながわ～

続いて、令和元年度 第1回幹事会・DM会合同会議、特別講演に続き、「デンタルミーティングINかながわ」が午後6時50分より行われた。

島村大参議院議員が「診療報酬への願い」と題して特別講演を行った。「歯科は予防に関して充実すべきだが、エビデンスが足りていない。NDB(ナシヨナルデータベース)が不足している。国の仕事なので、しっかりやっていただくように働きかけたい。学会も歯科界を見据えた研究の方向性を持ってもらいたい」と述べた。続いて、東京歯科大学歯学部、関連団体からの参加者が多数紹介された。神奈川県民会オーストラフレイル推進・国会議員の方々にご挨拶いただいた。続いて基調講演が行われ、本連盟宮坂宗行副会長・日本歯科医師連盟村岡宣明副会長がパネラーとなり、宮坂先生は社会保障費・医療費が漸増していくと「言う報道のカタクリにふれ、社会保障費の現状と今後について、また、医療費の推移をフレイルに関連して解説した。次に村岡先生は「考える連盟」

と題して、連盟の本業の姿とは何か?と言う間隙と医療費の連関の矛盾に気付くこと、報道の見方やデータの見方を習熟するのが連盟だと言った。

引き続き、「今期診療報酬改定に向けて」と題してパネルディスカッションが行われた。座長を日歯連盟村岡副会長、副座長を本連盟宮坂副会長が務めた。東京都歯科医師連盟の大越善和会長と県議会議員を交えてオーストラフレイルに対応することの重要性と、全世代型に社会保障を考えたときに医療と福祉と一体となつて考えないといけない等、様々な論点から口唇に関する医療・福祉に關して話し合われた。最後に小川淳副会長の辞で閉会した。



真剣に聞き入る参加者

会員のために尽力

参議院議員 島村 大 国会報告

神奈川県歯科医師連盟の皆様におかれましては、平素より格別のご協力を賜り御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの勢いは、新緑の季節を迎えてもとまどるところがありません。感染拡大を防ぐことを第一に、診療はもちろん皆様からの要望にも様々な影響が出ていることと思います。このような危機的状況においても、診療を続けてくださっている地域の先生方に心より感謝申し上げます。

歯科医師は医療のカテゴリーに入り、診療の制限はされていません。しかしながら、外出自粛等により苦しい経営を余儀なくされている診療所は少なくないと感じています。また、目下から感染対策に留意されている先生方も多く、この病気の知らないウイルスの感染リスクには大きな不安を抱かれています。この不安を軽減するためには、経営の不安を取り除く環境を整える必要があります。

このような状況下ではありますが、私は皆様に、国民の健康維持のためにこれからの限られた診療を続けて頂きたいと願っています。感染リスクへの対策を万全に整えた上で必要なことは、経営の不安を取り除く環境整備です。

政府の対策としては、雇用調整助成金（厚労省）や特



新型コロナウイルス対策議員団本部

種化給付金（中小企業等）など、様々な制度を順次講じているところですが、現場にはまだまだ多くの課題が残されています。皆様が安心して歯科診療を続けられるよう、助成制度や支援策の幅広い利用を通じて、経営の安定化に向けて引き続き尽力して参ります。

今、歯科医師が社会のためにできることは歯科医師の役割をしっかりと果たすことだと私は考えます。今こそ歯科医療界が一丸となり、国民生活の安全と健康の精神でこの事態を乗り切りたい。歯科医師の国会議員として、神奈川県歯科医師連盟の皆様に、ご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

「マスク・グローブ及び消毒液の優先供給願い」

～本連盟と本会が共働して、県議会議員及び歯科連連に要望書～

今般の新型コロナウイルス感染症拡大という事態を受け、本会所属会員の歯科医療機関では、感染症対策に万全な体制をとるべくマスク、グローブ及び消毒液が品切れ状態から十分な確保が困難となっている。これは、地域歯科医療を守る拠点である歯科医療機関における衛生管理の不確実性を断固防がなくてはならない。本連盟と本会は共働して、県議会議員及び歯科連連に、県議会議員連盟に3月12日、要望書を提出した。今後は経営面のサポートもできよう引き続き要望していく。

継続して活動 ～会員のために地域医療補助金申請～

これまで連盟会員に対して、5年間にわたり年間100診療所に100万円規模の事業を行い、総額5億円近い補助金を会員に届けた。

5か年事業のため、いったん終了とはなったが、新入会員向けの事業に代替えして新たな事業（事業案1）として申請する予定だ。

また、オーラルフレイルの検査および訓練を歯科医師が実施するためには高額な費用が必要であるが、多くの歯科医療機関は有していない。

その購入費用の補助金を事業（事業案2）として申請する予定だ。

（事業案1）在宅歯科医療設備整備事業（入会5年以内診療所向け）

・在宅歯科を新たに始める歯科医療機関に対する在宅歯科用の設備整備事業。主に連盟入会後5年以内の会員を優先に、在宅歯科器材購入資金の3分の2を補助。

（事業案2）オーラルフレイル検査機器整備事業（全診療所向け）

・オーラルフレイル（口腔機能低下症）の検査および訓練を歯科医師が実施するためには高額な専門機材が必要であるが、多くの歯科医療機関は有していない。購入費用の補助金を事業化する。

新春の集い2020盛大に開催



気合が入る四役

令和2年2月6日（木）午後6時より、ロイヤルホールヨコハマ「ヴェルサイユ」において「神奈川県歯科医師連盟 新春の集い2020」が盛大に開催された。

川越元久常務理事の司会のもと、西山潔副会長の開会で「新春の集い2020」が始まった。はじめに鶴岡裕亮会長、松井克之県歯会長から挨拶があった。

来賓を代表して黒岩祐治神奈川県知事、小此木八郎自民党県連会長ならびに土井隆典同幹事長からご挨拶を頂いた。来賓、議員紹介の後、高橋英登日歯連盟会長の乾杯発声で懇談が始まった。

来賓、議員との活発な意見交換をし、有意義な集いとなり、小川淳嗣会長の閉会の挨拶をもってお開きとなった。



知事と固い約束



自民党県連会長の小此木衆議院議員

「山田 宏 総理に質問」 ～国民皆歯科健診実施へ～

「生涯を通じて歯科健診の充実というものを今後どのように実現していくのか？」
参議院予算委員会にて、山田宏参議院議員が質問した。

安倍総理は「子供から高齢者まで健康で充実した生活を送るために口腔の健康というのは極めて重要である」とし、「期限を定めて、生涯、全国民が歯科健診を受けられるような全国皆歯科健診制度の実現に向けて検討していただきたい」との山田参議院議員の質問に対し、「よく検討していきたい」と発言した。



また、福岡久野参議院議員は、「平成30年度から歯科健診の普及推進事業において効果的効果的な歯科健診の実施方法等の検討を行っており、引き続き市町村等において普及定着するように取り組む」との考えを示した。山田参議院議員は「会派員へのアプローチ」として労働安全衛生法の中の一一般健診項目に歯科を入れるべきだ」と主張した。

オーラルフレイル対策拡大 ～県議会にて頼りになる景議活躍～

杵嶋太郎議員（第44回）

Q：オーラルフレイル対策について
オーラルフレイルは、歯の健康を維持し、咀嚼機能を維持し、生活の質を向上させるために必要です。今後どのようにオーラルフレイル対策に取り組んでいくのか？

県知事

A：平成28年度に有識者や研究機関と検討会を立ち上げ、オーラルフレイル改善プログラムを決定するとともに、市町村と連携した大規模健診を行うなど、全国に先駆けて対策を進めてきました。

そこで、改善プログラムを実施している歯科医師を講師として、より実践的な講習を行ってまいります。
また、改善プログラムの実施する際に必要となる機器を貸与、歯科医師の増大を図っていきなさいと考えています。県内のどこに任じていても、歯と口腔の健康改善を行えるよう、しっかりと取り組んでいきたいと思います。

「国民皆歯科健診を実現する議員の会」発足

歯科の重要性についての議論があり、活発な議論が行われた。

今後は、議員連盟として拡大し、帯下力針にある「生涯を通じて歯科健診の充実」を法文化にするべく活動を展開するそう。大いに期待、応援したい。

「第44回定時評議員会」開催延期

新型コロナウイルス感染症拡大に鑑み、令和2年度の事業計画、予算を審議する第44回定時評議員会を開催者の健康・安全を第一に考慮し延期した。それに伴い、常務理事会からの提案として審議として審議された。

（承認事項）

- ①令和2年度事業計画（案）及び予算（案）は、本年6月に開催いたします第44回・第45回定時評議員会にて改めてご審議いただきます。
- ②令和2年度予算（案）は本年4月から6月までに本連盟事業執行に最低限必要な予算を暫定予算として計上し仮予算を執行させていただきます。

予 告 6月18日（木）

第44回・第45回評議員会開催

予 告 10月15日（木）

島村大君を励ます会 ザ・キャピトルホテル東京

新型コロナウイルス感染症で経営が不安の会員の皆様へ

～支援が受けられる場合についてまとめました～

最大200万円まで給付金を支給します

新たに持続化給付金を創設し、法人には最大200万円、個人事業主等には最大100万円、事業全般に広く使える給付金を支給。
※制度の詳細については、4月最終週を目途に決定・公表します。

コロナ特別貸付やセーフティネット保証等があります

新型コロナウイルス感染症特別貸付は、当初3年間は、利子補給で金利負担が実質的に無利子となる制度。さらに、信用保証付きで民間金融機関から借入を行う場合も実質的に無利子化の対象に。

雇用調整助成金で手当の一部が助成されます

休業手当等について、4/5（解雇等を行わない場合は、9/10）を助成。※中小企業の場合

税・社会保険料の納付が猶予されます

ほぼ全ての税、社会保険料を対象に無担保かつ延滞税なしで1年間納付を猶予。さらに公共料金関係の支払いについても猶予。

IT導入補助が活用できます。

IT導入補助で業務効率化のためのシステム導入を支援。
※1 中小企業・小規模事業者が補助対象です。
※2 法人格のない任意団体は補助の対象外となります。

※各地域には、県上層部が一定の役割があります。
※一部事業は、令和2年度補正予算の成立を前提としており、今後事業内容が変更される場合があります。

【まずはお近くの経営相談窓口までご相談ください】

お近くの経営相談窓口は、こちらからご確認ください。



本資料は経済産業省HP特設ページに掲載しております。
<https://www.meti.go.jp/covid-19/>

Q 経済産業省 新型コロナウイルス感染症関連

【またメルマガ・SNSでも随時情報発信中です。ぜひ登録ください】

メルマガ e-中小企業 ネットマガジン

Twitter 中小企業庁 @meti_chusho



LINE 経済産業省 中小企業庁 新型コロナウイルス 事業サポート

神奈川県民のみなさまへ

緊急事態宣言が発令されて1か月余り、長期にわたる自粛生活により、様々なご不安を感じておられることと思います。外出自粛により歯科治療を中断されている県民の方々も多く、むし歯や歯周病の悪化が心配されます。

**治療やメンテナンスの継続・延期など
ご自身での判断をなさらずに
「かかりつけ歯科医」にご相談ください**

お口の中の衛生状態が悪くなると、免疫力の低下を招き、細菌性肺炎の重篤化のリスクを高めてしまう恐れがあります。大切な命を守るためにも、お口の健康は大切です。

Kanagawa Dental Federation
神奈川県歯科医師連盟

〒231-0013
横浜市中区住吉町 6-6B

神奈川県歯科保健総合センター内

<http://www.kdrenmei2011.jp/>

各地域にも PCR 検査センター設置へ

PCR検査の需要拡大に備えて、地域ごとにその体勢を整える準備が進んでいます。

歯科医師会は医師会と連携して、地域の医療を支えています。歯科医師もPCR検査センターに赴き、検体採取に協力を致します。

より安全な唾液によるPCR検査が可能となれば、口腔内をよく知る歯科医師として、ぜひお役に立ちたいと思います。

歯科診療による新型コロナウイルスの 感染報告は全国で1例もありません

※2020年5月13日現在

会員の歯科医院では皆様の安全を第一に考え、感染防止策を徹底しています。

歯科診療により患者さまに新型コロナウイルスが感染した報告はありませんので、安心して歯科受診をしていただければと存じます。

意見広告

本連盟では新型コロナウイルス感染症拡大に係る歯科医院への偏見改善、診療・メンテナンス中断患者の呼び戻し、PCR検査への今後の歯科医師の関わり方等について神奈川県県民へ広く意見を表明することを目的として、日経新聞神奈川県版、神奈川新聞全県版において令和2年5月16日（土）朝刊に上記の意見広告を掲載しました。

令和2年度予算案・令和元年度決算承認される

～第44回・第45回評議員会書面議決～

令和2年度予算(案)・事業計画(案)等を審議する第44回評議員会及び令和元年度決算を審議する第45回評議員会は、新型コロナウイルス感染症蔓延に伴い、関係者の健康・安全面を第一に考慮して6月18日(木)に書面審議にて開催され、評議員63名全員よりすべての議案が承認された。

- 第1号議案 神奈川県歯科医師連盟令和2年度事業計画に関する件
- 第2号議案 神奈川県歯科医師連盟令和2年度会費賦課並びに収納方法に関する件
- 第3号議案 神奈川県歯科医師連盟一般会計令和2年度収入支出予算に関する件
- 第4号議案 神奈川県歯科医師連盟一般会計令和元年度収入支出決算に関する件
- 第5号議案 神奈川県歯科医師連盟令和元年度貸借対照表、財産目録に関する件
- 第6号議案 神奈川県歯科医師連盟選挙管理委員会委員の委嘱に関する件

萩原候補推薦を書面表決

～第46回臨時評議員会～

8月17日(月)、郵送及びFAXによる書面表決にて、下記のとおり決定した。

〈次期参議院比例代表選出候補者として「萩原鉄也氏」を推薦する件〉

原案について評議員63名中、全員より「承認」をいただいた。

日本歯科医師連盟褒賞 加藤木健先生(横浜市内区) 受賞

令和元年度日歯連盟褒賞授賞式は、本来日本歯科医師連盟評議員会の席上にて執り行われるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により授賞式が延期、中止となったことから、9月10日(木)本連盟常務理事会にて表彰ならびに記念品の贈呈が行われた。



長年のご功勞に感謝いたします

神奈川県歯科医師連盟 選挙管理委員会委員・予備委員(候補者) 任期：令和2年7月1日～令和4年6月30日

選挙管理委員会委員(7名)

氏名	地区名
清水 直	横浜市内(保土ヶ谷区)
相庭 常子	横浜市内(磯子区)
松田 圭子	横浜市内(磯子区)
富岡 孝之	横浜市内(磯子区)

予備委員(3名)

氏名	地区名
澤井寿子	横浜市内(磯子区)
千原 晃	横浜市内(磯子区)
西 耕一	横浜市内(磯子区)

〒240-0292 神奈川県横浜市磯子区磯子 1-1-1 神歯連盟会館 電話 045-307-1655

鶴岡会長大いにかたる!

～次期参議院議員選挙に向けて～



菅新総理と鶴岡会長

新型コロナウイルス感染症拡大が治まる兆しも見えず、厳格化する歯科医院経営に、国からの補助として、慰労金、感染対策費の支給が押付けたのは、組織代表の議員不在の中、選挙区選出の島村 大参議院議員の働きがあったからこそ実現されたものと認識している。

近回金事件以降、日本歯科医師連盟は通常通りの選挙はしないとして、山田 衣氏を支援した。また、昨年夏の参議院選挙においても、菅新総理の結果、比喩なつみ氏を支援し、結果、次官ではあるが後援。

組織代表議員の待望論が多くなる中、日本歯科医師連盟は通常通りの選挙を行うとし、全国から22名の選挙委員を集めた選挙委員会が立ち上がった。候補者は全国の歯科医師連盟より公募する形となったが、選挙委員会が立ち上がる前に、先の参議院議員選挙において支援をした歯科医師ではない山田 衣氏から47都道府県歯科医師連盟に対し推薦依頼が出された。これは疑念を抱かざるを得ない。

神奈川県歯科医師連盟としては萩原伊勢原市歯科医師会歯科医師連盟より萩原鉄也氏の推薦依頼があり、本連盟として面談を重ねた結果、推薦する方向で臨時評議員会に回り全会一致で決定し、その旨を8月20日(木)に推薦を選挙委員会に提出した。

日本歯科医師連盟会長は通常通りの選挙を行うとし、全国から選出された選挙委員会委員による真摯な判断によって組織代表にふさわしい候補者を選んでいただき、そ

萩原候補推薦を承認

地域歯科医師連盟代表者会議が、8月6日(木)午後6時より、県議会館議事室にて開催された。

長崎県後援理事の司会、宮坂宗行副会長の開会の挨拶の後、鶴岡会長より報告と挨拶があった。

続いて、島村 大参議院議員より、一次補正及び二次補正、骨太方針とPCR検査など新型コロナウイルスの感染予防報告があった。

次に、鶴岡会長より、幹事・DMIにおけるWeb会議への対応状況アンケート結果について、どの地域も対応可能という結果が報告された後、協議に入った。

【協議】日歯連盟参議院比例代表候補者選挙に係る本連盟委員の立候補及び今後の対応について

の意向に沿ってサポートしていく考えであると発言された。しかし選挙委員会では候補者が出揃う前に、13の都道府県歯科医師連盟が山田 衣氏を推薦する不可解な事態が起きた。中立な立場で行われるべき選挙委員会がこのように不公平な状態で開催される事に疑問をもたざるを得ない。

候補者推薦期間には「歯科医師に関する専門的知識を有する者」と記されている。本来は現場を知る歯科医師であるべき。日先の政治力に頼ることなく、10年、20年先の歯科界の将来を考え、歯科医師を組織代表として、国政に送るべきである。それが神奈川県歯科医師連盟の大義である。

本連盟推薦の、萩原鉄也氏が組織代表候補者として選出されるべく、一丸となり強く応援していきたい。

～地域歯科医師連盟代表者会議～

6月26日(金)の日歯連盟評議員会において、次期参議院選挙には通常選挙を行うことが可決、公算にて候補者を募り、選挙委員会にて組織代表を決定することとなった。萩原伊勢原市歯科医師連盟代表者会議が、同日午後6時より、県議会館議事室にて開催された。

続いて、島村 大参議院議員より、一次補正及び二次補正、骨太方針とPCR検査など新型コロナウイルスの感染予防報告があった。

菅 義偉新総理のご就任に寄せて



参議院議員 島村 大

で働けるのは、まさに菅総理のご指導の賜です。

官房長官時代の7年8ヶ月間、菅長官には歯科の様々な課題について多大なご尽力を頂きました。新型コロナウイルス感染症対応への歯科の関わりも然りです。

8月末の安倍前総理の辞任表明後、自民党総裁選が安易に始まりました。恩返しの機会を得た私は、菅議員を尊敬する無党派の有志議員と共に他党派とも連携し奔走しました。結果は皆様ご存知のとおりです。このコロナ禍においては、国民の皆様が最も重要だと感じていることは、やはり菅総裁が一番に掲げる新コロナ対策と経済対策の継続性ではないでしょうか。

私は、引き継ぎ歯科医師が国民のために貢献できることを考え、行動し、菅総理指導のもと、皆様とともに精一杯努力して参る所存です。ぜひ先生方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

9月16日（水）、衆参の院の議決を受けて菅 義偉新総理が誕生しました。菅総理は2012年12月の政権奪還後に官房長官に就任され、翌2013年の私の初めての選挙の際は、同時に自民党神奈川県連会長も務められました。菅県連会長の強力なリダーシップのもと、私は全国得票数1位、神奈川県選挙区で大勝させて頂きました。今、私が国政の場



政治の師から激励を受ける

令和2年度「島村 大君を励ます会」中止のお知らせ

10月15日（水）予定されておりました「島村 大君を励ます会」は新型コロナウイルスの感染拡大を鑑みて中止になりました。

〔次期参議院議員選挙日歯連盟候補者〕

立候補趣意書

萩原鉄也
(荻野伊勢原・53歳)



01 立候補を決意した理由

会員の皆様と共に歩む、新たな職域代表の形をつくりたいこと
職域代表議員の資格要件とは、診療の専門知識を有し、現場を理解できる歯科医師であること

02 私 萩原鉄也について

市会議員の政治経験から、国から市町村までの政策浸透を熟知

2012年の伊勢原市議会議員選挙に自ら出馬し（自民党推薦）、昨年までの2期、約8年を務めました。

03 国政で取り組みたいこと

職域代表議員の役割は、現場の思いを国政に反映させること

■現場の歯科医師の窮状を、当事者として訴えます！……診療報酬における適正な評価を求める
■変化していく社会に対応します！……急速に進む超高齢社会への対応が必要
■感染症対策を究明し、尽力します！……「感染症対策としての口腔健康管理」を確立させるべく、国の調査研究の促進

■最も実現したい施策は予防の保険適用！！

……結果的に国民の健康寿命が延伸し、ひいては医療費削減



鶴岡会長との対談動画配信

菅総理のもと
神奈川県から
3名入閣

菅 義偉

内閣総理大臣
(神奈川県第2区【横浜市西区・南区・港南区】)

河野太郎

行政改革担当大臣
(神奈川県第15区【平塚市・茅ヶ崎市・中郡】)

小此木八郎

国家公安委員会委員長
(神奈川県第3区【横浜市鶴見区・神奈川区】)

小泉進次郎

環境大臣
(神奈川県第11区【横浜市中区・三浦市】)

令和3年 年頭挨拶

内閣総理大臣 菅 義偉



菅内閣が掲げる、全ての世代の方々が安心して暮らせる社会保障制度を構築する上で、口腔内の健康によって健康寿命の延伸を目指す歯科医師の皆様への役割は益々重要で、本年も、皆様のご活躍を心より期待いたします。

さらなる信頼関係の構築へ ～菅首相へ表敬訪問～

10月14日（水）に、全国の歯科医師連盟に先駆け、菅義偉新首相への表敬訪問を行った。本連盟からは鶴岡会長、長崎理事長、川越常務、加藤木相談役、萩原相談役、泉歯からは松井会長、花木事務局長、仲介役として島村参議院議員と中大連盟秘書が参加した。その後、小此木元国家公安委員長、坂井学内閣官房副長官、三原じゅん子厚生労働副大臣への表敬訪問も実現した。



小此木国家公安委員長（神奈川3区 鶴見・神奈川）

菅内閣総理大臣
（神奈川2区 西・南・港南）

坂井内閣官房副長官
（神奈川5区 戸塚・泉・瀬谷）（参議院神奈川県選挙区）

三原 厚 労働大臣
（参議院神奈川県選挙区）

神 歯 Renmei Times

神奈川県歯科医師連盟

○承行人 鶴岡 裕亮 ○編集人 遠藤 寛司 ○長崎副理 ○委員 山田 剛久・飛田 晴・金井 久弥・宇佐美 昌弘 ○045(307)6555

令和3年1月1日 発行

第122号



意志あれば 道あり 新年のご挨拶 神奈川県歯科医師連盟 会長 鶴岡 裕亮

新年明けましておめでとうございます。会員の先生方におかれましては、このコロナ禍の中にて変わらず本連盟の事業にご理解とご尽力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年4月に出了された緊急事態宣言以降、患者の受診控えが起これ、このまま不要不急の受診減少が続けば会員の皆様方の経営への影響は避けられない現状をいかに乗り越ええるかを念頭に、衛生物の資の優先供給、助成金、慰労金、優遇貸し付け等について国会議員及び県議会議員、関係機関等へ積極的に政治活動を続け懸念に折衝を行い続けて参りました。

Withコロナ時代が続くことで国民の受診行動が変化する可能性があります。口腔ケアが重要であることは既に多くの国民に周知されているなか、いかに受診を促すか今一度自院の診療形態を見直すこと、そして安心して受診できる環境を整備されていることが重要な事ではないでしょうか。しかし未だ4割に近い会員が感染症対策助成金の申請を行っていない状況です。この状況では、未だ先の見えない状況のなか第二、第三の更なる助成金等の折衝は困難となり、また今後の連盟活動にも支障を及ぼし兼ねません。是非、速やかな申請手続きを望みます。

一方で、その政治活動を左右する組織代表の国会議員の待望論が会員から上がるなか、日本歯科医師連盟では通常通りの選挙を行うことが決定されました。組織代表候補者を出すために日本歯科医師連盟組織代表選出候補者委員会が立ち上げられ、全国の歯科医師連盟会員から広く公

募する形になりました。しかしながら、組織代表選出候補者選考委員会では先の参議院議員選挙において支援を行った山田 宏氏（非会員）が選出者申され、日本歯科医師連盟評議員会にてこの答申結果について投票による決議が実施され、賛成52対反対20の評議員の投票結果により可決承認されました。

迂回献金事件以降、日本歯科医師連盟は通常通りの選挙は行わないとしたなか、実際には山田宏氏を支援しました。また、昨年度の参議院選挙においては、糾糸曲折した結果、比嘉なつみ氏を支援するも落選。その結果責任も有耶無耶にされた中、候補者推薦規則には「歯科医療に関する専門的見識を有する者」と記されているにも関わらず、目先の政治力に頼り、歯科医師でない候補者を組織代表としました。

歯科医師である組織代表を国政に送るべきと訴えた神奈川県歯科医師連盟の大義は過ちであったのかのような評をされておりますが、その中で勇気を持って立候補された萩原鉄也氏（桑野伊勢原歯科医師連盟会員）には改めて敬意を表します。

参議院厚労委員会に歯科医師である議員が不在となれば、結果はどうなるのか。行政との折衝にエビデンスを説く事のできない議員がいかに臨むのか。他の医師団体からはどの様に写っているのか。非会員である候補者を我々会員の海で選挙で選挙に臨む事に疑問を感じないのでしょいか。

組織の決定には従うべきであることは充分理解しております。しかし、納得の出来ない事項については、引き続き信念をもって日本歯科医師連盟へ働きかけて参ります。

私の任期も残り僅かになりました。菅総理大臣の座右の銘「意志あれば道あり」を心に刻み、未だ先の見えない現状、歯科医師会の明るい将来を見据え、県内執行部と連盟執行部が一丸となり、会員皆様の力をお借りしながら、より良い歯科界になるよう一つひとつ丁寧に努めて参ります。この新しい年がより佳き年となるようご祈念し、連盟からの年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

参議院議員 島村 大

あけましておめでとございます。旧年中は神奈川県歯科医師会ならびに連盟の皆様より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

健康で質の高い生活を営むためには歯・口腔の健康の保持・増進を図ることがとても大切であり、コロナ禍においても継続して歯科医療を提供することは非常に重要です。

私は、安心安全面でも経営面でも、先生方が不安なく診療できるような引き続き政府へ働きかけて参ります。

本年もよろしくお願い申し上げます。



萩原候補惜敗 ～次期参議院組織代表候補選～

「組織代表は、歯科医師でなければならぬ」ということを本連盟の大義として、伊勢原の萩原鉄也会員を推薦した。しかし、10月16日開催の日歯連盟 次期参議院組織代表選挙候補者選考委員会において山田宏氏（参議院議員）が、を第一に考えて活躍して頂けることを祈りたい。

結果萩原候補は選考されなかった。続く10月30日開催の日歯連盟第141回臨時評議員会に於いて、山田氏が次期参議院比例代表選挙の日歯連盟推薦候補者に正式に決定した。

歯科医師ではない山田氏が、歯科界のことを第一に考えて活躍して頂けることを祈りたい。

編集後記

副会長 徳永俊司 今年も頑張りますよう！
理事長 長崎康俊 コロナに負けるな！感染対策支援の充実！

常務理事・委員長 山田剛久
ピンチはチャンス！地域貢献は安定した経営から。今年も皆様の生活基盤を守ります。

委員 宇佐美 貴弘
今年はさらに光り輝く連盟になるよう祈念いたします。

副委員長 飛田 聡
県内選出大臣が菅総理はじめて4人。さらに親密になれば歯科界はもっと明るくなるはず。

委員 金井 久弥
新たな年をみなさんと共に迎えることができ、連盟でお喜びを申し上げます。

委員 山田 宏
今年もよろしくお願い申し上げます。

委員 山田 宏
今年もよろしくお願い申し上げます。



神奈川県
歯科医師連盟
ホームページ
フェイスブック



神奈川県歯科医師連盟 広報委員会

行政改革大臣
河野 太郎



明けましておめでとございます。菅内閣で、税制改革を担当することになりました。人と地球に優しく、公正、不正、不偏、不偏に厳しい規制改革を実現するために努力して参ります。今年もどうもよろしくお願い申し上げます。

環境大臣
小泉 進次郎



豊かな人生100年時代を過ごすためには、口腔の健康維持が不可欠です。コロナ下における歯科医療へのご尽力に敬意を表しますとともに、貴連盟のますますのご発展と皆さまのご多幸を心よりお祈り申し上げます。

財務副大臣
中西 けんじ



連日新卒の祝賀を申し上げます。神歯連盟の皆様におかれましては、能やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。歯の存命を延ばし国民の健康の保持増進に尽力されている皆様のご発展をお祈り申し上げます。

自由民主党
神奈川県支部連合会
幹事長
土井 隆典



連日新卒をお祝い申し上げます。神歯連盟の皆様方には新型コロナウイルス感染症拡大防止における献身的な取り組みに心から敬意を表します。健康は歯と口から。今年こそ笑顔の暮らしを取り戻しましょう。

国家公安委員長
小此木 八郎



新年おめでとございます。本年も歯科医師連盟様との連携をより一層強化して、国民の健康増進を図ってまいります。皆様方におかれましては、益々のご支援ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

厚生労働副大臣
三原 じゅん子



世界規模の困難の中、歯科医療の現場でご尽力されている神奈川県歯科医師連盟の皆様、心から御礼申し上げます。感染症防止対策と歯科健診の機会拡大の為に尽力して参ります。本年もよろしくお願い申し上げます。



次期参議院
組織代表候補
山田 宏



新年おめでとございます。「辛庄」の年は、「痛みを伴いながらも新卒が輩えられる年」です。歯科を国の健康政策の柱とし、歯科界が正当な評価を受けられるよう、今年も全力で働く決意です。

令和3年2月24日

神歯連盟 Times 号外

新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る 神奈川県歯科医師連盟活動のお知らせ

令和2年4月に出了た緊急事態宣言発令以降、患者の受診控えが起こり、このまま受診減少が続けば会員の歯科医院経営への多大なる影響は避けられない現状となつておりました。本連盟はこの事態をいかに乗り越えるかを念頭におき、歯科診療所へ全面的な物心両面でのバックアップいただけるよう国会議員及び県会議員、関係機関等へ歯科医療現場の窮状を懸命に訴え、各種支援等の折衝を積極的に続け、下記のような成果が得られております事をお知らせいたします。

現在、職域代表議員が不在の中、参議院議員 島村大先生を初め多くの各議員、関係機関等に要望を聞き入れていただき、また速やかな対応をいただけたことには、日頃からの各歯科医師連盟と各議員との良好な繋がりがあつてこそその成果でありますので、貴地域から選出されている各議員へのご支援を引き続き賜りますようお願いいたします。

【連盟活動の成果】

＜地域の歯科医療提供確保のために＞

1. 医療経営者への金利優遇融資
2. 医療従事者への慰労金5万円／人
3. 感染対策助成金100万円（二次補正）
4. 感染対策助成金25万円（三次補正）
5. 小児の外来歯科診療 初診・再診時に55点の算定が可能に！
6. 令和3年4月～9月 初診・再診時に5点プラスの見通し
(令和3年度予算審議中)

＜歯科医師の活躍のために＞

1. マスク・アルコール等の衛生物資の優先供給
2. 歯科医師によるPCR検査 違法性の阻却
3. ワクチン優先接種（歯科医療関係者も対象に）

引き続き公益社団法人神奈川県歯科医師会と協働し、議員、関係機関等に
歯科医療・歯科医院経営への支援を強く要請していきます！

地域代表がWebで集う 地域歯科医師連盟第2回代表者会議

令和3年2月18日(木)午後6時より県歯会館6階視聴覚研修室において令和2年度地域歯科医師連盟第2回代表者会議がWeb会議にて、16の地域の代表が参加し開催された。

長崎理事長の司会、西山副会長の開会の言葉の後、鶴岡会長の挨拶があった。

島村大参議院議員の国政報告に続き、長崎理事長より下記の報告があった。

- (1)次期参議院比例代表選挙候補者の選挙結果について
- (2)次期神奈川県歯科医師連盟評議員・予備評議員の選出について
- (3)次期神奈川県歯科医師連盟幹事・DMの選出について
- (4)その他
報告に続き、協議に移った。

衆議院議員選挙 2021

10月21日任期満了予定の衆議院ですが、報道番組によるとその前に解散総選挙があると報じられています。オリンピック前なのか後なのか？

衆議院議員選挙は小選挙区で行われるため地域歯科医師連盟の活動が大きな力になります。

なぜ歯科医師連盟が衆院選を頑張らなくてはならないのか？

2年前の島村参議院の選挙を思い出してください。自民党神奈川県連が一丸となって選挙に挑み100万票近く獲得し見事にトップ当選を果たしました。神奈川県全域を島村候補が駆け巡る中、様々なサポートをいただいたのは各地元の衆議院議員・県議会議員・市町村議員及びその秘書・後援会の方々です。この方々の力があってこそ得票数だと思っています。

選挙の借りは選挙で返す

これが4年後の参議院選挙にも影響することは言うまでもありません。

(1)次期衆議院議員選挙の対応について

鶴岡理事長より事前アンケートをもとに、各地域の会長・議員選挙予定者、選出議員との交流などの活動、衆院選への選挙対策など説明があった。

(2)地域歯科医師連盟からの事前質問・要望事項
長崎理事長・鶴岡副理事長より説明があり、日連連盟次期参議院比例代表選挙候補者に決まった山田宏氏への支援について(横須賀市原理事長)、緊急事態宣言中の代表者会議について(大和綾瀬 池田理事長)、昨年10月の歯科用貴金属価格の随時改定Iについて(厚木 馬場理事長)の事前質問に対し、鶴岡会長が回答した。

小川副会長の閉会の言葉で散会した。

当たり前のように入会する組織づくりを 第47回定時評議員会

令和3年3月18日(木)午後6時より神奈川県歯科医師会館「地下大会議室」にて定時評議員会が開催された。コロナ禍により書面による議決権の行使48名、出席12名にて執り行われた。宮坂副会長の開会の辞ののち、原評議員(横須賀市)と金井評議員(川崎市)が議事録署名人に選定された。

鶴岡会長挨拶では歯科医師会の会員が当たり前のように入会し、入るよう組織づくりのため、島村大参議院議員の国政報告が行われた。次いで川越常務理事による庶務及び事業報告が



副議長 議長

熱く語る鶴岡会長 スムーズな議事進行の青山議長と嶋田副議長

から各地域主催のデンタルミーティング開催のお願い及び開催された地域への助成のお知らせがあった。報告の後、議事に入り4つの議案が上程された。

- 第1号議案：神奈川県歯科医師連盟選挙規則一部改正に関する件
- 第2号議案：神奈川県歯科医師連盟令和3年度事業計画に関する件
- 第3号議案：神奈川県歯科医師連盟令和3年度会費賦課並びに収納方法に関する件
- 第4号議案：神奈川県歯科医師連盟一般会計令和3年度収入支出予算

全ての議案が可決され、承認された。第1号議案ではコロナ禍での選挙方法の選択に郵便投票が入ることになる。途中、末石顧問弁護士から補足説明があった。最後に徳永副会長の閉会の辞で終了となった。



島村 大 国政報告会【歯科界の部】

～ コロナ禍の今、歯科界の現状と今後を考える ～

神奈川県内の歯科関係の皆様を対象に、コロナ禍における国と政治の現状、課題と対策についてお話しいたします。歯科界一丸となつて、地域医療の提供体制を堅持しましょう。ぜひご参加ください。



令和3年4月 参議院議員 島村 大

〔日時〕 令和3年5月13日(木) 18:00～19:00 (17:30開場)

〔会場〕 崎陽軒 6階会議室 横浜駅東口 徒歩1分

横浜西区高島2-13-12 TEL:045-441-8880

〔対象〕 神奈川県内の歯科関係者 定員150名:先着順・要申込

〔会費〕 無料 *会場準備の都合上、5月7日までにFAXにてお申し込みください
*定員に達し次第締め切りとさせていただきます。ご了承ください

〔お問合せ〕 参議院議員 島村大事務所 (自民党神奈川県参議院選挙区第三支部)
横浜市中区太田町1-9-6F TEL:045-306-5500/FAX:045-306-5501

参議院議員 島村 大

神奈川県歯科医師連盟の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
4月7日の参議院行政監視委員会での質問に立ちました。日頃なコロナワクチン接種に関し、果たして国、県、市町村の連携は取れているか?という内容です。

神奈川県でも高齢者向けの新型コロナウイルスワクチン接種が始まろうとする中、4月7日現在で実際に接種にあたるクリニックなどの医療従事者への接種はゼロでした。

①医療従事者のワクチン接種に関する流れとはどうなっているのか、現状については認識しているか。今後は受医療機関へのワクチン接種が早く、山本博司厚労副大臣からは「ある程度は進んでいる」と認識しており、万全の体制に向け全力で取り組む」との答弁をいただきました。これは、進んでいないとは認識されていませんが、ワクチン接種体制がまだ整っていないことは否めません。

さて、私の質問に対し、山本博司厚労副大臣からは「ある程度は進んでいる」と認識しており、万全の体制に向け全力で取り組む」との答弁をいただきました。これは、進んでいないとは認識されていませんが、ワクチン接種体制がまだ整っていないことは否めません。

今後、政府はワクチン接種を配って終わりでなく、県や市町村の現場の混乱を直視し、その後を見据えて対応していくべきです。懸念される医師や看護士の確保についても然り。いざという時には我々歯科医師も出陣の心づもりがあることを、先日、堀田副会長が政府へ伝えたことは周知のとおりです。もちろん私もしっかりと後押しして参る所存です。会員の先生方におかれましては、ぜひご理解、ご協力を賜りま

すようお願い申し上げます。

「県歯と連盟との一体化を目指す」

が増え、現在その会員組織率は約70%である。

歯科医師会会員の為に県歯連盟と連携し、本会の事業計画の実現と県民の皆様の健康増進に向けて、ひとつひとつ丁寧に事業を行なっている事を発信している。連盟は歯科に特化した政治活動を行う組織であり歯科界向上を政治的にサポートすることを御理解いただき歯科医師会会員が当たり前のよう連盟の会員である組織実現に向けて努めていく所存だ。

ご存知のように医師会には内部に委員会として医師連盟が存在し、一体化している。

県歯と連盟と県歯との一体化という組織の実現に向け、これまでに超えなくてはならないハードルを大分超えてきたが実現はまだまだである。県歯松井会長とともに引き続き新たな組織づくりを目指していきたい。」

※差別：はつきりと区別する事を言います。私たちの歯科医師会と連盟は事業に別れて一体化されていません。また、会費を別々に徴収することは当然で、それが疑問です。今回の提案ではこの部分に変わりはありません。

鶴岡会長・関監事が立候補 次期連盟会長・監事選挙

行われることになっていましたが、定数であるため投票は行わず、同日開催予定の第48回臨時評議員会にて選挙管理委員会委員長から報告され、承認されることとなった。

6月30日をもって任期満了となる神奈川県歯科医師連盟会長及び監事選挙の立候補及び推薦候補の届出が4月19日から23日まで行われた。立候補は会長に鶴岡裕亮現会長、監事に関泰忠現監事となった。6月17日に投票による選挙が

島村大議員 ワクチン接種を問う! ～国会で質問～

4月7日開催の参議院行政監視委員会での島村議員が質問に立つ。議員の活躍の一端はこちらのQRコードからじっくりご覧になって下さい。



行政監視委員会



島村大議員

一体化に向け松井県歯会長熱く語る 鶴岡会長を県歯役員に

皆様には日ごちから会務にご協力いただき、心より御礼申し上げます。今年度は鶴岡会長に理事として執行部に参加いただき県歯と県歯連盟の一体化に取り組んでいきたく考えています。

連盟は歯科医師会の掲げる理念と政策を実現するために政治活動を行う政治団体と定義されています。県歯と県歯連盟は地域住民の歯科保健の充実のために限られた行政の予算の中で県行政担当と県歯がともに協議し、必要な立法や予算案で議員が我々の主張を理解したうえで協力する、三権分立の中で必要とある作業であります。ネットの発展の中で表も裏もなく、あらゆる情報が開示される社会となり、県金には無縁な少ない予算の中での活動です。県歯が公益法人に移行した時点での一体化は峻別論点から疑問を持たれたる議員もおおいと思いますが、両組織の活動に峻別すべき差異はありません。我々の理念と政策を実現させるためには現在の三権分立の制度の中で議員の理解なくしてありませ

人。そして行政の担当も予算獲得に必要ならその後押しを求めていることから、公益法人として県民の歯科保健を守るために県歯と県歯連盟の一体化を進めることといたしました。もちろん会計は分離いたします。



松井 徹也 県歯会長

組織間との一体化ですので今後必要な作業が多くあることも理解しております。会員全員で知恵を出し合い、理解を深めれば決して不可能ではないと信じております。皆様のご理解ご協力よりしくお願いいたします。

公益社団法人 神奈川県歯科医師会 会長 松井 克之

鶴岡会長・関監事再選

6月17日(木)午後6時より原浦会館にて定時評議員会が開催された。コロナ禍により書面による議決権の行使48名、出席13名にて執り行われた。宮坂副会長の関の辞の後、宮坂和弘評議員(川崎市)と松本富三評議員(横浜市)が議事録署名各人に選定された。

鶴岡会長は2年間の任期を振り返り、連盟活動と選挙協力に感謝した。また、新型コロナウイルスへの対応が県歯と連携して行えたこと、これからは県歯の役員に入り、より充実した連盟活動を行う決意をしたこと、この秋に予定された衆院選並びに来年行われる参院選への協力をお願いし、挨拶した。

続いて、県歯松井克之会長の挨拶、島村大参議院議員の国政報告があった。次に川越常務理事による庶務及び事業等の報告が行われた。日歯連盟報告では、コロナ禍とはいえない決議の方法が不十分と、十分な議論が行なわれず決議されたことに對し、本原より質問した。会員に理解しやすい対応を期待する。



協力に感謝する会長



国政報告する島村議員

～第48回定時評議員会 議案全て可決承認～

議事に入り3つの議案が上程された。

第1号議案：神奈川県歯科医師連盟規約の一部改正に関する件

第2号議案：神奈川県歯科医師連盟一般会計令和2年度収入支出決算に関する件

第3号議案：神奈川県歯科医師連盟令和2年度賃借対照表、財産目録に関する件

全ての議案が可決承認された。続いて神奈川県歯科医師連盟会長・監事選挙について島村清治選挙委員長(茅ヶ崎支部)より報告があり、候補者定数のため無投票にて鶴岡裕亮会長と関泰忠監事の再任が決定した。

最後に徳永副会長の閉会の辞で終了となった。

令和3年9月15日 発行
◎発行人 鶴岡 裕亮 ◎編集人 長崎 重雄 川越 元久 山田 剛久 ◎委員長 金井 久弥 ◎045(330)76555

神奈川県歯科医師会連盟

「何のためにそれを行うのか」

新執行部スタート



会長 鶴岡 裕亮

であることはいまでもありません。県歯事業をより円滑にすすめるべく政治力を持つて渉外を担当する役割が連盟組織であることを改めて認識頂ければ幸いです。

政治活動をするための連盟組織ですが、歯科医師会会員で構成されていることは言うまでもありません。峻別とは「厳しく区別する」とあります。では何を峻別すべきなのか。それは政治資金規正法に対するお金の流れ、歯科医師会会員より連盟会費としてお預かりした原資をもとに事業活動する。その会計を厳しく区別する事です。

「政治活動に興味がない」「任意入会なので」「支持政党が異なる」などの理由で連盟未入会である方々がいらっしゃると思います。歯科医師会員が当たり前のように連盟の会員である組織実現に向けて努めてまいります。そのためには、会員の皆様、地域歯科医師会、歯科医師連盟のご理解ご協力があってこそ実現していくと思います。

秋には衆議院選挙、そして来年7月には我々の組織代表を国政に送るべく参議院議員選挙がございます。県歯連盟として推薦する候補者を当選させるべく活動してまいります。その選挙活動の際にはお願いすることばかりですが、「何のためにそれを行うのか」を今一度再確認していただければ幸いです。

会員の先生方におかれましては、平素より本連盟活動にご理解ご尽力をたまわり、厚く感謝申し上げます。

連盟執行部も6月17日に開催されました第48回定時評議員会にて令和2年度の決算などの3議案を可決承認、そしてもう一期、会長職のご承認を頂き、連やかに役員人事を行い、スタートいたしました。

コロナウイルス感染症の感染拡大が始まり、県歯と共に会員の診療室経営の助けになるよう、厚労省・経産省・総理官邸、県知事をはじめとする県行政・自民党神奈川県連などに働きかけました。また、歯科医師によるPCR検査、そしてワクチン接種に関しては、パンデミックという国難の中、少しでも手助けできればとの考えで関係各所に折衝し、実現に向け活動させていたいただきました。

また、自民党神奈川県連議会議員団、公明党県議会議員団のヒアリングには、県歯の予算要望書を携え折衝してまいりました。

さらに5年ごとに県民の健康維持のため見直しとされている神奈川県歯科医師会条例の改定が来年少とされている。それに向けても県歯地域医療部とプロジェクトチームを作り準備してまいります。

国民、県民の健康増進のため、公益社団法人として、事業計画を元いかに予算を獲得し、それぞれの事業として展開していくことが重要

かながわ自民党歯科保健・医療推進議員連盟役員 <令和3年7月5日現在> (通称：オールフレイレイル対策議員連盟)

会 長	柳生 泰昭	幹 事	河本 文雄	あらい輔世	高橋栄一郎
副会長	堀江 則之	事務局長	新堀 史明	芥川 薫	山口美津夫
幹事	持田 文男	事務局次長	いそもと桂太郎		
副幹事	小川久仁子	監 事	原 聡祐	田中 信次	
幹事	嶋村ただし		永田てるじ		
幹事	杉山 信雄		竹内 英明	梅沢 裕之	

島村大神奈川県歯科医師後援会役員 <令和3年7月1日～令和5年6月30日>

代 表	鶴岡 裕亮	幹 事	鹿嶋 淳保	(横浜市/保土ヶ谷区)
副代表	椎野響一郎		小笠原美由紀	(横浜市/港北区)
同 同	山田 紀子		白井 仁之	(横浜市/緑区)
同 同	嶋田 潤一		久保田 正	(横浜市/青葉区)
同 同	原 美一		宮坂 和弘	(川崎市/幸区)
同 同	巻次 寛司		杉之内俊郎	(川崎市/川崎区)
同 同	長崎 康俊		松本 孝栄	(小田原)
同 同	西山 淳		河野 孝太	(大和郡)
同 同	小川 淳		今堂 昌人	(神奈川県歯科医師連盟顧問)
同 同	北野 道廣		中村 篤	(神奈川県歯科医師連盟顧問)
同 同	堀上 修		加藤木 健	(神奈川県歯科医師連盟相談役)
幹事	川越 元久		関 泰忠	(神奈川県歯科医師連盟監事)
副幹事	松本 純			
同	小池 重平			

日本歯科医師連盟 評議員

予備評議員	鶴岡 裕亮	評議員	徳永 寛司
	川越 元久		長崎 康俊
			西山 薫

連盟組織力強化委員会 <令和3年7月1日～令和5年6月30日>

委 員	村田 拓也	特別委員	今宮 圭太	(神奈川県歯科医師会常任理事)
同	横 宏之		北野 道廣	(神奈川県歯科医師連盟常務理事)
同	海野 倫明		小池 重平	(神奈川県歯科医師連盟常務理事)
同	矢倉 俊介	【担当役員】	小川 淳	
同	中田 伸一	副会長	川越 元久	
同	佐藤 宏憲	理事	堀井 隆信	
		常務理事		

情報調査委員会 <令和3年7月1日～令和5年6月30日>

委 員	萩原 光貴	特別委員	大持 充	(神奈川県歯科医師会常任理事)
同	佐久間啓文		堀上 修	(神奈川県歯科医師連盟副理事長)
同	大西 明人		山田 剛久	(神奈川県歯科医師連盟常務理事)
同	小野清一郎	【担当役員】	宮坂 宗行	
同	盛田 健司	副会長	川越 元久	
同	添田 博充	理事	高倉 康介	
		常務理事		

広報委員会 <令和3年7月1日～令和5年6月30日>

委 員	金井 久弥	【担当役員】	長崎 康俊	
同	原 暁	副会長	川越 元久	
同	菅道 宣道	理事	山田 剛久	
		常務理事		

神奈川県歯科医師連盟役員名簿

<令和3年7月1日～令和5年6月30日>

会 長	鶴岡裕亮	副会長	宮坂宗行	副会長	松永孝司	副会長	長崎康俊	副会長	西山 淳	副会長	小川 淳
幹事	川越元久	幹事	堀上 修	幹事	北野道廣	幹事	山田剛久	幹事	小池重平	幹事	佐藤宏憲
常務理事	堀井隆信	常務理事	高倉康介	常務理事	中村昌人	常務理事	加藤木健	常務理事	大西明人	常務理事	小野清一郎
監事	矢倉俊介	監事	佐藤宏憲	監事	佐藤宏憲	監事	佐藤宏憲	監事	佐藤宏憲	監事	佐藤宏憲
相談役	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役	相談役

令和 3 年 10 月 8 日

神歯連盟 Times 号外

島村 大



厚生労働大臣政務官(厚生担当)
兼内閣府大臣政務官(ワクチン担当)に

大臣政務官は、その府省の長である大臣(内閣府では内閣官房長官又は特命担当大臣)を助け、特定の政策及び企画に参画し、政務を処理することを職務とする。その地位は内閣府設置法第 14 条、国家行政組織法第 17 条などに基づいている。各大臣政務官の行う職務の範囲については、その府省の長である大臣が定める。

比嘉 奈津美



参議院繰り上げ当選へ

自民党参院議員(比例代表)だった北村経夫元経済産業政務官は 7 日告示の参院山口選挙区補選に立候補したことに伴い、自動失職した。これにより、2019 年参院選の同党比例名簿で次点だった元衆院議員で新人の比嘉奈津美氏が繰り上げ当選する見通しだ。

☆これで待望の職域代表参議院議員が誕生する☆

比嘉奈津美 参議院繰り上げ当選

自民党参議院議員北村経夫元経済産業政務官の参院山口選挙区補選立候補に伴い自動失職したことにより、2019年参院選比例名簿で次点だった元衆議院議員で日歯連顧問の比嘉奈津美氏が繰り上げ当選した。

新年あけましておめでとうございます。昨年の繰り上げ当選に際しましては、皆様の力強いご支援の賜物と心より感謝申し上げます。今年も歯科界みなさんの笑顔のために使命を全うしてまいります。

経済再生担当大臣
衆議院議員 (神奈川県18区)
山際 大志郎

新年あけましておめでとうございます。日頃より連盟の発展に貢献いただき、尽力に心より感謝申し上げます。依然、厳しい状況は続きますが、皆様のご指導を頂きながら困難に對して取り組んでまいります。令和4年1月吉日

国土交通副大臣
衆議院議員 (神奈川県9区)
中山 展宏

謹んで新春のお慶びを申し上げます。衆議院総選挙におきましては格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。「国民の健康を基盤とした歯科医療」の実現に向けて、引き続きしっかりと取り組みます。本年もよろしくお願い申し上げます。

内閣府大臣補佐官
参議院議員
三原 じゅん子

あけましておめでとうございます。昨秋より内閣府大臣補佐官に就任致しました。ことしもみなさんの政策の実現、女性の働き方改革に向けて邁進して参ります。そして師長の夏、師卒ご声援の程宜しくお願い致します。

自由民主党 神奈川県支部連合会
会長代行
県議会議員
竹内 英明

謹んで新春をお祝い申し上げます。ウイイルズ感染症拡大防止に向け、皆様方のご貢献に心から感謝を申し上げます。口腔ケアなくして健康長寿社会の実現なし。これからも神奈川県支部連合会に同様に活動させていただきます。ご期待申し上げます。

デジタル大臣
行政改革推進官
衆議院議員 (神奈川県17区)
牧島 かれん

謹賀新年。皆様にお支え頂き、目標をスタートすることができました。デジタル化を基盤とした、医療価値のデジタル化も喫緊の課題です。現場のお声を反映したデジタルの活用を進めて参ります。本年もご指導お願い致します。

自由民主党 衆議院議員
衆議院議員 (神奈川県15区)
河野 太郎

あけましておめでとうございます。昨年は、ワクチンの接種にご協力いただいた皆さまありがとうございます。おかげさまで新感染症患者も大幅に減少することができました。いよいよ今年はコロナ後を見据えた一年になるように頑張りますよう。

衆議院議員 (神奈川県3区)
中西 けんじ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。新型コロナに立ち向かうべく、歯科医療の皆様により100万回を越えるワクチン接種のご協力をお願いしたことに改めて厚く御礼申し上げます。一層のご活躍を祈念いたします。

自由民主党 神奈川県支部連合会
幹事長
県議会議員
土井 悠典

令和4年1月1日 発行

神奈川県歯科医師連盟

◎発行人 鶴岡 裕亮 ◎編集人 長崎 康徳 川越 元久 山田 朝久 ◎委員長 並井 久幸 ◎045(307)6555

謹賀新年

連盟の使命は経営基盤の安定を図ること

会長 鶴岡 裕亮



新年明けましておめでとうございます。会員の先生方におかれましては、コロナ禍にもかかわらず本連盟の事業にご理解とご尽力を賜り深く感謝申し上げます。昨年の秋より感染者数は落ち着いてきたとはいえ、緊急事態宣言の影響で患者の受診控えは継続し、会員の皆様の方の経営への影響が避けられない現状を懸念しているところです。

歯科医師連盟の使命は各診療所の経営基盤の安定を図ることにあります。その為に歯科医療機関に対する施策を求め、議員及び関係機関等へ折衝を行ってまいりました。これが連盟活動の重要なところなのです。

昨年10月、解散総選挙が目玉に迫る中、コロナ感染拡大が続き、メディアの偏向報道もあり、国民の不信が爆発し、菅義偉先生の官邸退任という衝撃的な事態を招きました。菅内閣のワクチン接種を優先した感染対策は、現状を見れば正しかったことは明白で、総裁選とのタイミングの悪かったことが残念でなりません。しかし、これもまた政治です。その後の岸田総裁で行われた、第49回衆議院議員選挙では本連

盟が推薦した県内18区の候補者は17名当選と、満足のいく結果が得られました。また、島村大参議院議員は厚生労働大臣政務官兼内閣府大臣政務官に任命され、積極的に活躍できる舞台が整いました。さらに、前回の参議院議員選挙で次点となった比嘉なつみ先生も繰り上げ当選となり、職域代表の参議院議員が誕生しました。今年の夏の参議院議員選挙には日歯連の組織代表候補として山田宏参議院議員が出馬します。比嘉議員と一緒に歯科界のために働いていただけるよう県内から多くの票を出すべく努力したいと思っています。皆様のご協力を切にお願いする次第です。

一方、「神奈川県及び口腔の健康づくり推進条例」は本年改正を予定しており、県歯執行部と連盟執行部とが協働して行政と折衝しているところなのです。私が提唱して来た県歯と連盟の一体化が実を結びつつあると確信しています。こちらにも注目いただければと思います。この新しい年が佳き年となるよう祈念いたしまして、連盟からの年頭のご挨拶とさせていただきます。

神奈川県歯科医師連盟 新春の集い (予告)

●日時：令和4年2月3日(木) 午後6時
●場所：神奈川県歯科医師会館 地下大会議室

※Web併催

<http://www.kdrennei2011.jp/>



厚生労働大臣政務官（厚生担当）
内閣府大臣政務官（ワクチン担当）
自民党横浜市連会長に



第2次岸田内閣にて引き続き大臣政務官に任命された。また、自民党横浜市連は11月27日に議員総会を開き、新会長を坂井孝氏(衆院神奈川5区)の後任として、島村大議員に全会一致で決定した。

新春を迎え、謹んでお喜び申し上げます

神奈川県臨床医師連盟の先生方におかれましては、新型コロナウイルスによる前例のない事態と向き合いつつも、感染拡大防止対策をさらに徹底し、継続的に安心・安全な種別医療を提供くださっていることに深く敬意を表します。

また、PCR検査及びワクチン接種への同志の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

昨年10月に厚生労働大臣政務官を拝命いたしました。8年余り参議院議員として国政に取り組んで参りましたが、現在は政府の一員として、国会議員の一員として、国民の命と健康を守り抜くために奔走しております。現場の皆様のお声が、本年も引き続き皆様のご協力とご指導をお願い申し上げます。

応援に豪華オールスター駆けつける～島村大政策セミナー～

11月25日、キヤベトルホテル東京にて、島村大政策
担当大臣の講演。牧島かれんデジタル大臣や小泉進
次郎前環境大臣も応援に駆けつけ、飲食を伴わない着
座のセミナー形式にも関わらず、約30名が集う大盛況
のセミナーとなった。



政策七



菅前内閣総理大臣
河野広祐本部長
小泉前環境大臣
牧島デジタル大臣

歯科医師の職務拡大への布石に
～第1回幹事会・DM会合同会議～

11月18日県衛生会館にて第1回幹事会・DM会合同会議が開催された。

樹上副理事長の司会のもと、宮城副会長の開会挨拶、
馬場副会長挨拶にひきつづき、島村大参議院議員より国政
報告がなされた。第二次内閣内において厚生労働大臣
兼報告官兼内閣府大臣府政官として要職に職務を担
つて議員としては初めて就任された島村議員から就任
後、これまでの経緯が概歴された。昨年9月末をもって終
了となつた感状付追加給に代わる助成金も今後、補正す
る中であり、会員の為には何ができるかを十分に検討する必
要がある、その為には県連盟連なるかに望む本会の組織

力強化を図ることが厚生労働省に対するステークホルダーとしての存在感を強めることに他ならないことを強調した。

先の衆議院選期間中においては若き俊彦の総理が全国でおよそ400ヶ所にもおこなった投書巡視の中で国民へのワクチン接種の効果が効きよく迅速であること、歯科医師の職務拡大による布衣の協力があったこと、また、歯科医師の職務拡大による布衣ととなった。このことは長期的な展望として歯科にとっても有益なものとすると語った。この地、会場からも島村議員に対して様々な質問や要望があり、活発な応答がなされた。最後に鄭永副会長の挨拶により閉会となった。



山田宏
参議院議員

突破力で歯科の明日を拓く
～参議院厚生労働委員会委員長に就任～

12月6日に開会した臨時国会において指名された。医療費急増が予
められる中で、健康政策や疾病予防に力点を置くことで、国民皆保険
制度を守っていく必要がある。引き続き歯科医療政策の実現に向け
て取り組んでいくと覚悟を表明した。

新年おめでとございます。昨年『国民皆備科健診の実現』を白民党公約に盛り込むことができました。今年も持ち前の突進力で、歯科の明日を拓く決意です。本年も皆様のご声と神奈川県川崎区医師連盟のご支援を心より祈念いたします。

「全身への影響」「健康寿命の延伸」「オーラルフレイル対策」等を条文に

～日歯連主催デンタルミューテイングinかながわ開催～



診の普及を進めたいと今後の抱負を述べた。島村大議員は、衆院選のお礼、ワクチン対応について菅前総理も大変感謝をしていると述べた。

参加のもと川越理事長が司会を開かれた。長崎商工会館会長の諸、副会長の長谷川、顧問会会長長塚、松井、山本へとも紹介された。

高橋会長挨拶では、連盟活動への謝辞を述べられて、今回のデンタルミーティングの主催者としてのお礼と来年の参院選への抱負を述べた。続いて、3名の参院院議員によるデンタルミーティングへ移った。北畠津津美議員は選挙のお礼、歯科医師としての職務を全うすると述べた。山田宏議員は、歯科の専門知識は無いが組織代表として、切実な思いを述べた。最後に、今回のデンタルミーティングの主催者としてのお礼と、今後のデンタルミーティングについて、労働安全衛生法に基づいて条例にしていきたい。労働安全衛生法にも歯科を入れていきたい」と述べた。また、来年の選挙はなぜ中央後援会を作らないのかという質問に対し、村岡副会長は、公職選挙法に抵触しないためにも適う形で選挙支援することとしたと述べた。最後に小川副会長の閉会の辞で閉会した。

衆議院議員選挙

第49回衆議院議員選挙は10月19日公示31日投票開票の日で行われた。今回は野党共闘した選表を詩任に追い込む結果となった。

本連盟は18地区全てに推薦候補者を決定し、2月11日の選挙戦に突入した。役員も、地域連盟と協力して街頭演説の応援、ビラ配り、電話作戦等、確信している。

今日の選挙で県、地域それぞれで歯科医師連盟が一大勢力となり組んだことは推薦候補者本人、地方議員に取って「歯科医師連盟は選挙生懸命頑張ります!」を強くアピール出来たと考へられている。

修養時間を削いで全力で候補者の支援を行った。結果は小選挙区当選1選挙区、比例当選6選挙区、落選1選挙区であり、取りこぼしはあったものの満足できるものであった。全国的には与党の

更なる連携強化に満場の拍手

第50回定時評議員会

3月17日（木）午後6時より県庁会館にて定時評議員会が開催された。コロナ禍にあり書面による議決の行使は、出席19名にて執行された。まず初めに上井隆興自民党県連幹事長が挨拶。三原じゅん子氏、浅尾慶一郎氏を紹介し、同参院選候補者にご挨拶いただいた。宮坂副会長の開会の辞のち、休養評議員（横濱市）と中島評議員（川崎市）が議事録署名人に選定された。顧問会長挨拶では「神奈川県歯科医師会と河野太郎議員との連携強化」の改定時期、知事からの更なる県民の健康を育成するようご意見をいただいている。組織代表である山田宏氏の二週目の選挙と三原じゅん子氏、浅尾慶一郎氏同様の意に全力を注ぎたい。70周年記念行事を行うので、記念講演会として菅義偉前首相と河野太郎議員に講演をお願いしている。また、更なる組織強化を協議としてあつち、入会率を増やすように協議していきたいと述べた。続いて、県連松井会長の挨拶、島村大参議院議員の同政報告があった。報告の後、議員に入り3つの議案が上程された。

- 第1号議案：神奈川県歯科医師会連盟令和4年度事業計画（案）に関する件
- 第2号議案：神奈川県歯科医師会連盟令和4年度費課課並びに収納方法に関する件
- 第3号議案：神奈川県歯科医師会連盟一般会計令和4年度収支予算（案）に関する件
- 全ての議案が可決承認された。続いて監理に入った。協議第1では連盟入会者対策について説明があった。

日本歯科医師会連盟 組織代表者/自由民主党 参議院議員 比例区(全国)

山田 宏 後援会入会のご案内（再度のお願い）

現在、山田宏後援会では山田宏氏の政治活動をご支援いただく為の後援会への入会者獲得活動を展開しており、全国の歯科医師会連盟の会員各位に協力依頼がまわっております。しかしながら全国的に入会者が低迷している状況となっており、改めて山田宏氏後援会への入会につきましましてご案内申し上げます。

本連盟会員・ご家族様、スタッフの皆様方が一丸となり山田宏氏をご支援いただきたたく、より多くの皆様方から山田宏後援会（会費無料）にご入会いただきご支援いただきますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。

参議院議員 山田 宏 後援会 入会方法

下記QRコードをスマートフォンで読み取り必要事項の入力をお願いします。



神奈川県歯科医師会連盟

創立70周年記念講演会 <予告案内>

本連盟は令和4年9月に創立70周年を迎えます。これを記念した講演会を下記日程にて開催致します。

- 当日は前内閣総理大臣・衆議院議員 菅 義偉 氏、前国務大臣・衆議院議員 河野 太郎 氏にご講演いただく予定です。
- 日時：令和4年11月20日（日）午後2時～午後4時
- 場所：神奈川県歯科医師会館 地下大会議室 ※Web併催予定

令和4年5月1日 発行
神奈川県歯科医師会連盟
◎発行人 山田 裕亮 ◎編集人 長崎 康雄 川越 元久 山田 剛久 ◎委員長 並井 秀幸 ◎045(307)6555

我々の声を国会に!! ～いよいよ参院選～

会長 鶴岡 裕亮

会員の先生方におかれましては、平素より本連盟活動にご理解とご尽力をたまわり厚く感謝申し上げます。さて、今夏には第26回参議院議員通常選挙が行われます。全国比例区の新代表、神奈川選挙区といずれも戦線になる予定です。本連盟では、4月現在6名の立候補予定者を推薦いたしましたので全力を挙げてご支援いただけますようお願いいたします。

第26回参議院議員通常選挙のポイント

神奈川県歯科医師会連盟では重点推薦候補者3名、推薦候補者3名を決定いたしました。

山田宏氏は日本歯科医師会連盟の組織代表候補です。歯科医師ではありますが、歯科の票で当選すれば当然今までは歯科の仕事に動んでくれるためです。我々の組織力、結束力を世間に知らしめるためにも負けられません。まだまだ名師が浸透しておらず苦戦が予想されますが、我々の声を国会に届けるために必要な候補者です。

神奈川選挙区では、三原じゅん子氏、浅尾慶一郎氏の2名を推薦しています。この2名を当選させなければいけないことには複雑な事情があります。3年前の島村選挙はトップ当選いたしました。定数4で島村大議員はトップ当選いたしました。4位で当選した松沢成文氏が2021年8月横浜市長選に出馬したため自動失職しました。したがって、その補欠選挙のため、今回は通常定数4のところ+1の5となり、1位～4位までは任期6年、5位の候補者が補欠選挙の残り任期3年ということになります。

三原、浅尾両氏が4位以内に入れば問題ありませんが、もしも5位になってしまえば3年後の島村選挙で再び立候補する可能性が高く、自民党が2名となる可能性も出てくるということです。ですから、島村選挙を有利に戦うためにも負けられない選挙なのです。

自見はなこ氏は日本医師会連盟、神谷まさゆき氏は日本歯科医師会連盟の組織代表です。園田修亮氏は全国老人福祉施設協議会（老施設）という介護・福祉業界の組織代表で、自らも鹿児島で特別養老老人ホームを運営しています。施設では歯科医師の法的な位置づけが認められておらず、お困りになっている先生方も多くおられます。施設における歯科医師の必要性に理解を示していただけており、今後の業務拡大を目指すべく推薦の運びとなりました。

地域では様々な事情があると思いますが、本連盟が推薦した候補者を参考にしていただいき、絶大なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（理事長 川越元久）

神奈川選挙区		比例区(全国)	
	★三原 じゅん子 自民党公認候補者 現職		★山田 宏 自民党公認候補者 現職・日本歯科医師会連盟顧問・組織代表
	★浅尾 慶一郎 自民党公認候補者 元衆議院議員		★神谷 まさゆき 自民党公認候補者 新人・歯科・日本歯科医師会連盟副会長
	★園田 修亮 自民党公認候補者 現職・全国老人福祉施設協議会 常任幹事・顧問 ★中は神奈川県歯科医師会連盟・重点候補者		★自見 はなこ 自民党公認候補者 現職・医師・日本医師会連盟参事

山田宏氏に全国4位の得票数 三原氏・浅尾氏も4位以内当選で組織力誇示 ～第26回参議院議員通常選挙～

本連盟では重点推薦候補者3名（山田宏氏、三原じゅん子氏、浅尾慶一郎氏）、推薦候補者3名（自見はなこ氏、神谷まきゆき氏、岡田修治氏）を決定し応援した。会員の皆様には様々な形で協力いただけたことをご報告させていただきます。

比例代表の山田宏氏は、日歯連の組織代表候補

科医師では初めての候補であり、正直なところ苦戦も予想されていましたが、本連盟では得票目標を7000票と日歯連に提出したが、結果的にはそれを大きく上回る8080票を得ることが出来た。この得票数は、東京、大阪、愛知について

全国4位であり、連盟会員1名あたりが3票を獲得した計算となる。医療界の票としても、医師会の自見氏の8位について10倍と、歯科医師会の組織力、結束力を世間に知らしめることができた。国民皆歯科健診を公約に掲げられているので、実現に向けてこの6年間には必死に働いていただきた。我々の代表ですから、その政治活動には常に厳しい目で監視していきたいものだ。日見氏、神谷氏は当選したが、岡田氏は残念な結果となった。母体は老協協という数が多い団体なので、うまく取り込めれば得票数の票の上積みにもつながると考えていたが、意外と票のまとまりに欠ける団体であったようだ。ただし、今後も協力いただけたこと、捲土重来を期待したい。

神奈川選挙区では、三原氏、浅尾氏の両名を4位以内で当選させなければいけないという難しい選挙だったが、1位に三原氏、4位に浅尾氏という満足の得票となった。かながわ日民党も2名を公認したことによって、議員間の信頼が生じ、またよかったが、やはり選挙は押されると難しいことを痛感した。本連盟では二人の候補者の応援を満々で行い、役員総出で街頭等に「神奈川県歯科医師連盟」ののぼりを持って駆けつけ応援した。議員からの評判もよく「どこに行っても来



三原氏・浅尾氏も4位以内当選で組織力誇示



大好評の「連盟のぼり」



(理事長 川越元久 記)

神 歯

Renmel Times

神奈川県歯科医師連盟

令和4年9月15日 発行

第127号

祝 組織代表として 山田宏氏 当選！ 会長 鶴岡 裕亮



政務官室にてお話し入りのワンショット

ら許されたと思う。行館に事前にも報告し了承をいただいた。しかし、私は今でも日歯連の組織代表候補者推薦意見に「戦い」がなかった。その後、もう一人の推薦候補者である浅尾慶一郎選挙事務所に向かう途中で当選の吉報を聞き、安堵の胸をなでおろし、波乱に満ちた今回の参議院選挙山田選挙区における「戦い」が終わった。

今回は、補選を含め5名当選（5位は任期3年）の複雑な状況において、自民党公認候補者2名選出という厳しい選挙戦であったが、本連盟では3年後の島村大参議院議員の事を念頭にに入れながら、なんとしても2名の候補者を4位以内での当選を勝ち取るための選挙対策を行った。日頃から衆参両議員、県・市・町議会議員、企業団体役員、地域歯科医師連盟役員と共に良好な関係性を築き上げていくことから、積極的な選挙活動に参加し、多くの会員が選挙事務所へ足を運び、各陣営の街頭演説にも駆けつけた。これまでに経験したことのない積極的な活動を展開したことにより、各陣営には実際に働く歯科医師連盟としての印象を植え付けられた。絶対目標であった同名の当選を果たすことができたことは、ひとえに多くの原簿・本連盟副会員ののご協力とご支援の賜物と衷心より感謝申しあげます。

一方、全国の歯科医師連盟組織代表である山田宏候補は175,871票を獲得し、歯科医師ではない初めての組織代表議員が誕生した。全国歯科医師連盟からは神奈川県には山田宏候補を支援していないとの噂を耳にしてきたが、本連盟は日歯連からの要請には誠意、組織として応え、選挙も組織を挙げて努力してきた。県内の得票数を見ていただければ理解できることは言うまでもない。島村参議院議員を抱えている我々にとって、他の医療系組織代表候補を複数名推薦している地域事情が

山田宏議員を表敬訪問

7月14日（木）本連盟役員は、数ヶ月前の参議院議員会館を訪問し、歯科医師ではない初めての組織代表議員となった山田宏参議院議員を訪ね、祝福するとともに歯科界の未来を託した。



三原・浅尾 両陣営を訪問

歯科界の発展に向け決意新たに

参議院議員 島村 大

神奈川県歯科医師連盟の先生方におかれましては、日頃より私の政治活動に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、依然として新型コロナウイルスの感染拡大が収束中、安心・安全な歯科医療の提供に尽力くださっている皆様にお礼申し上げます。

さらに、本年7月の参議院選挙におきましては、歯科の皆様の大きなお力により、神奈川県選出の自民党候補、三原じゅん子議員、浅尾慶一郎議員の両氏が見事当選を果たしました。重ねて厚く御礼申し上げます。さて、参院選後の内閣改選に伴い、8月12日をもって厚生労働大臣政務官兼ワクチン推進担当大臣政務官を退任いたしました。昨年10月から約10ヶ月間に渡り、政府の一員として新型コロナウイルス対策はじめ我が国の厚生政策に奔走してきましたが、大変貴重な経験を積ませていただきました。そのような機会に恵まれたことと心から感謝を申し上げます。また、6月までの本年通常国会では、医薬品医療機器等法改正案、児童福祉法等改正案の2法案が成立し、衆参の厚生労働委員会、



内閣委員会などで34回、答弁に立たせていただきました。後任は衆議院の本田眞子参議院議員です。週日、全てを託し引き継ぎ式に臨みました。

一方、政務官の間にはできなかつたことがありますが、厚生労働委員会での質問や、自民党の厚生労働部会などでの発言です。政府の立場とは常に異なる側面はできません。秋の臨時国会からは再び、歯科医師の国会議員として歯科界の発展に向けた発言や疑問点を果敢に投げかけていく所存です。私の国会での発言は、県歯連会員各位、同志の皆様のお声が基となっています。ぜひ忌憚のないご意見をどしどしお寄せください。今後もおおきくお力をお貸し申し上げます。

お疲れ様！ 島村大政務官



7月14日(木)本連盟役員は、電ヶ岡の厚生労働省島村大政務官を表敬訪問した。なお島村大政務官は、内閣改選に伴い、8月12日をもって厚生労働大臣政務官兼ワクチン推進担当大臣政務官を退任した。約10ヶ月間ではあったが、我が国の厚生政策に尽力した。

神奈川県歯科医師連盟 創立70周年記念

～記念講演会開催のご案内～

前 総 理 大 臣・衆 議 院 議 員 首 義 偉 氏
デ ジ タ ル 大 臣・衆 議 院 議 員 河 野 太 郎 氏

日 時 11月20日(日) 14:00～16:30
場 所 神奈川県歯科医師会館地下大会議室



司 会 者 氏 名 義 偉 氏
「我が国の未来(仮題)」
講 師 河 野 太 郎 氏

詳細及び講演会申込方法は別添の案内書をご覧ください。

歯科界の票は重要

～第51回定時評議員会～

6月23日(木)午後6時より県歯会館にて定時評議員会が久しぶりの対面にて開催された。冒頭に点呼が行われ、出席評議員45名、議決権行使書の提出をした評議員13名と報告があった。続いて西山副会長の開会の挨拶があり、海野晋議員(川崎市)と林評議員(大和郡)が議事録署名人に選出された。鶴岡会長挨拶では、連携強化の協議にさまざまな意見をいただいたお礼と、歯科界の票というものの重要性から参院選への協力を訴えた。

続いて、県歯松井会長の挨拶、島村大参議院議員の国政報告と熊修及び事業報告があった。島村議員の報告では、骨太方針に入った国民皆歯科健診が予算はないので企業健診の方が現実味があることや厚労省内の推進官など人脈を育てる重要性を挙げた。

報告の後、議事に入り4つの議案



参院選への協力を訴える会長



白熱する対面の会議

が上程された。
第1号議案：神奈川県歯科医師連盟特別事業等積立金取崩しに関する件
第2号議案：神奈川県歯科医師連盟一般会計令和3年度収支決算に関する件
第3号議案：神奈川県歯科医師連盟令和3年度貸借対照表、財産目録に関する件
第4号議案：神奈川県歯科医師連盟選挙管理委員会委員の委嘱に関する件

全ての議案が可決、承認された。最後に小川副会長の閉会の辞で終了となった。

来年4月の条例改正へ

～県歯をバックアップ～

平成23年3月に制定された「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」が平成30年に改正が行われ、この度、新たな改正案を迎えた。条例の施行の状況について検討を加え、必要な措置を講ずることが求められたことから、県歯と本連盟が協議し条例改正に取り組んでいる。昨年7月から原案を含めた数回に

わたる打合せ、オールフレイル協議との勉強会を繰り返し、9月中旬に代表質問、12月に改正案報告、来年度2月に条例改正議案提出、4月1日改正条例施行の予定となっている。

(常務理事 高倉康介 記)

第2次岸田改造内閣 祝入閣 河野太郎氏は再入閣、山際大志郎氏は留任

8月10日発足した第2次岸田改造内閣にて閣僚人事の発表があった。

- 河野太郎 衆議院議員 (第15区：平塚市・茅ヶ崎市・中郡) デジタル大臣
- 山際大志郎 衆議院議員 (第18区：川崎市・宮前区・川崎市・新横浜) 経済再生担当大臣・新型コロナウイルス対策担当大臣
- 星野つよし 衆議院議員 (第12区：藤沢市・秦野市) 内閣府副大臣

新政務官就任(本連盟推薦議員)

- 自見はなこ 参議院議員 (比例代表、医師) 内閣府大臣政務官
- 本田眞子 参議院議員 (比例代表、薬剤師) 厚労大臣政務官兼内閣府大臣政務官



新年のご挨拶



政府開発援助等及び
沖縄・北方問題に関する特別委員長
参議院議員
三原 じゅん子

新年あけましておめでとうございます。
昨年は、皆さまのお力添えのもと、期目を迎えることができました。新たに参議院政府開発援助等及び沖縄・北方問題に関する特別委員長に就任いたしました。いまだ新型コロナウイルス感染症は収束してはおりませんが、本年は、国民の健康を支える皆さまとともにコロナ後を見据えた課題の解決に全力で取り組んで参ります。本年もよろしくお願い致します。



参議院厚生労働委員会理事
参議院議員
比嘉 なつみ

新年あけましておめでとうございます。
口腔の健康と全身の健康との関連性の関連性が明確になり、歯科界に注目が集まっております。引き続き、国民皆歯科健診をはじめ、歯科医療の重要性についての理解を深め、すべてのデンタルファミリーが安心して働ける環境整備に向け、引き続き取り組んでまいります。
本年も神奈川県歯科医師連盟のご発展と、先方のご健康を祈念し、引き続きご指導、ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



自民党神奈川県支部連合会会長
衆議院議員 (神奈川1区)
小泉 達次郎

新年あけましておめでとうございます。
新型コロナウイルス感染症拡大防止における密接者の検出と、歯科医療の発展と、歯科医療の普及と口腔ケアの推進に努めます。国民皆歯科健診の発展と、歯科医療の普及と口腔ケアの推進に取り組み、健康社会の構築を目指します。また本年は自民党神奈川支部連合会として出馬するすべての候補者の当選に向け全力で努めます。



デジタル大臣
内閣府特命担当大臣
衆議院議員 (神奈川15区)
河野 太郎

あけましておめでとうございます。
昨年8月にデジタル大臣、消費生活及び食品安全を担当する内閣府特命担当大臣、国家公務員制度改革担当大臣を拝命いたしました。個人の健康に関するデータを本人同意に基づいて活用できる環境を実現するため、マイナンバーカードと保険証の一体化を力強く推進し、政策を情報連携を実現してまいります。
先方にもご理解ご協力をお願いいたします。国民生活より権利にすることともに、誰もが社会をつくるためのデジタル化をしっかりと進めてまいります。本年もよろしくお願い致します。



参議院議員
浅尾 慶一郎

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
神奈川県歯科医師連盟の皆様には旧年中、ひとかたならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございます。
国民の健康寿命を長く保ち、心豊かに生きるためには歯の健康は欠かせないと考えております。その為にも、私が15年以上にわたって主張してまいりました「国民皆歯科健診」の実現に向けて、今後とも尽力してまいりたいと思っております。



参議院厚生労働委員長
参議院議員
山田 宏

新年あけましておめでとうございます。昨年もお世話になりました。
昨年は金沢市、後平は物産商賈会など歯科界の道南する課題に取り組み、今年は資格補給の電子化と米国のマイナ保険証の義務化の両方に対する、皆様の要望やお声にお応えにしっかりと取り組んでまいります。また今年から「国民皆歯科健診」の実現に向け国のさまざまなモデル事業や研究開発が始まります。私も自民党国民皆歯科健診実現プロジェクトチームの事務局長として確固たる一歩を踏み出します。



自民党神奈川県支部連合会幹事長
衆議院議員
梅沢 裕之

新年あけましておめでとうございます。
新型コロナウイルス感染症拡大防止における密接者の検出と、歯科医療の発展と、歯科医療の普及と口腔ケアの推進に取り組み、健康社会の構築を目指します。また本年は自民党神奈川支部連合会として出馬するすべての候補者の当選に向け全力で努めます。

神 歯 連 盟 Times

Ren
mei

第128号

令和5年1月1日 発行

神奈川県歯科医師連盟

○発行人 鶴岡 裕亮 ○編集人 長崎 康雄 山田 剛久 ○委員長 並井 久幸 ○副委員長 山田 剛久 ○045(307)6555



謹賀新年

統一地方選挙とこれからの連盟活動

会長 鶴岡 裕亮

新年明けましておめでとうございます。
会員の先方におかれましては、本連盟事業及び活動には多大なるご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

本連盟は昨年9月5日をもって創立70周年を迎えることができました。この周年記念事業として昨年11月20日に前内閣総理大臣の菅 義偉衆議院議員、デジタル大臣・内閣府特命担当大臣の河野太郎衆議院議員を講師としてお迎えし、創立70周年記念講演会を盛衰に開催することができました。当日は多くの会員の先方にご参加いただきましたことを御礼申し上げます。

さて、昨年の春以降、新型コロナウイルス感染症は減少の傾向でありましたが、昨年末に向けて新たな変異株による感染者が増加の傾向に状況が変化しております。大変危険なところがございます。政府・地方公共団体は、新型コロナウイルス感染症対策分科会の提言に、現行の感染対策に加え、オミクロン株の特徴を踏まえた感染防止策を強化し、社会経済活動をできる限り維持しながら、効果が高いと見込まれる対策を機動的・重点的に感染防止策に取り組みしております。

我々の歯科医療において感染対策を講じることは当然のことです。この新型コロナウイルス感染症の未曾有の感染拡大を受け、歯科医療からクラスターの発生を防ぐべく、あらゆる対策を講じ、地域・歯科医療・医療の向上に日々注力しております。

このような対策には経費がかかることもあり、我々歯科医師連盟は各診療所の経営基盤が安定しなければより良い歯科保健・医療を提供することが難しいことから、歯科医療機関に対するあらゆる施策を求め、

議員及び関係機関等へ折衝をして参りました。この折衝の際に大きく力添えいただいたのは自民党所属の国会議員、県議会議員、市区町村の地方議員です。

感染症拡大のように困難な事態に臨んだ際、私たち一団体の力だけでは到底解決することは不可能です。このような時に我々の意向を汲み、強力に政治活動をしていただけた政権と各議員が安心して仕事ができるように、私たちは日頃から支援を行うと共に盤石な関係を持つことが必須であります。

令和5年4月には、4年に一度の統一地方選挙が施行されます。日頃から県民の歯科保健・医療の推進、向上にご理解いただいた多くの皆様方には何卒ご協力をいただいております。議員の皆様方には何卒ご協力をいただきますよう切にお願いいたします。

一方、「神奈川県歯科及び口腔の健康づくり推進条例」は施行から10年が経過していることから、本年に現行に即したより良い内容のものになるように改正を予定しております。これには、県歯科医師連盟と本連盟執行部とが協働して行政と折衝してまいり、そこには自民党神奈川県議員団のオールフレイム対策議員連盟の先生方にも多大なるご理解とご尽力を賜りました。少しづつについて実を結びつつあると確信しているところでございます。

こちらにも注目いただければと思います。
本年も引き続き、会員の皆様方、ご家族様、歯科医療スタッフの皆様方のご健康と、この新しい年が佳き年となりますよう新念いたしました、私からの年頭のご挨拶とさせていただきます。

神奈川県歯科医師連盟 新春の集い (予告)

●日時: 令和5年2月2日 (木) 午後6時

●場所: ロイヤルホールヨコハマ

(横浜市中区山下町90番地)

<http://www.kdrenmei2011.jp/>

迎春

年頭のご挨拶 参議院議員 島村 大



新年あけましておめでとうございます。
神奈川県歯科医師連盟の先生方におかれましては、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より神奈川県内各地域における安心・安全な歯科医療提供体制の堅持にご尽力を賜り、深く敬意を表します。

おかげをもちまして、今年で国政に身を投じて10年になります。地域社会で歯科医師がより活躍できることは何か、県民の皆様により貢献できることは何か、職域代表ではないからこそ追求してきたテーマがあります。

2023年は2024年4月の医師の働き方改革

「タスクシェア・シフト」が適用となる直前の年。神奈川県歯科医師連盟会員の現場の皆様と共に、さらなる歯科医師の活躍に向けて前進して参る所存です。変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

歯科界に貢献する決意表明 ～島村大政策セミナー～



令和4年10月20日、キャピトルホテル東急 鳳凰の間において「参議院議員 島村大政策セミナー」が開催された。

前日に引き続き今回も飲食を伴わない着座でのセミナー方式であったが400余名の参加があり、満席の会場内は熱気にあふれ活況であった。

深澤陽一衆議院議員（静岡4区）の司会の下、菅 義偉前内閣総理大臣の講演をはじめ、河野太郎デジタル大臣、小泉進次郎衆議院議員、世耕弘成自民党参議院幹事長、関口昌一参議院議員など多くの国会議員が応援に駆け付けた。

昨年8月をもって退任した厚生労働大臣政務官

参議院議員 島村 大 政策セミナー



統一地方選挙における自民党推薦立候補予定者一覧

注) 令和4年11月25日現在

選挙区	現職	推薦予定者	現職	推薦予定者
神奈川1区	川崎 隆平	現職	神奈川2区	山田 一誠
神奈川2区	加藤 元之	現職	神奈川3区	小島 新司
神奈川3区	加藤 元之	現職	神奈川4区	伊藤 信之助
神奈川4区	加藤 元之	現職	神奈川5区	加藤 元之
神奈川5区	加藤 元之	現職	神奈川6区	加藤 元之
神奈川6区	加藤 元之	現職	神奈川7区	加藤 元之
神奈川7区	加藤 元之	現職	神奈川8区	加藤 元之
神奈川8区	加藤 元之	現職	神奈川9区	加藤 元之
神奈川9区	加藤 元之	現職	神奈川10区	加藤 元之
神奈川10区	加藤 元之	現職	神奈川11区	加藤 元之
神奈川11区	加藤 元之	現職	神奈川12区	加藤 元之
神奈川12区	加藤 元之	現職	神奈川13区	加藤 元之
神奈川13区	加藤 元之	現職	神奈川14区	加藤 元之
神奈川14区	加藤 元之	現職	神奈川15区	加藤 元之
神奈川15区	加藤 元之	現職	神奈川16区	加藤 元之
神奈川16区	加藤 元之	現職	神奈川17区	加藤 元之
神奈川17区	加藤 元之	現職	神奈川18区	加藤 元之
神奈川18区	加藤 元之	現職	神奈川19区	加藤 元之
神奈川19区	加藤 元之	現職	神奈川20区	加藤 元之
神奈川20区	加藤 元之	現職	神奈川21区	加藤 元之
神奈川21区	加藤 元之	現職	神奈川22区	加藤 元之
神奈川22区	加藤 元之	現職	神奈川23区	加藤 元之
神奈川23区	加藤 元之	現職	神奈川24区	加藤 元之
神奈川24区	加藤 元之	現職	神奈川25区	加藤 元之
神奈川25区	加藤 元之	現職	神奈川26区	加藤 元之
神奈川26区	加藤 元之	現職	神奈川27区	加藤 元之
神奈川27区	加藤 元之	現職	神奈川28区	加藤 元之
神奈川28区	加藤 元之	現職	神奈川29区	加藤 元之
神奈川29区	加藤 元之	現職	神奈川30区	加藤 元之
神奈川30区	加藤 元之	現職	神奈川31区	加藤 元之
神奈川31区	加藤 元之	現職	神奈川32区	加藤 元之
神奈川32区	加藤 元之	現職	神奈川33区	加藤 元之
神奈川33区	加藤 元之	現職	神奈川34区	加藤 元之
神奈川34区	加藤 元之	現職	神奈川35区	加藤 元之
神奈川35区	加藤 元之	現職	神奈川36区	加藤 元之
神奈川36区	加藤 元之	現職	神奈川37区	加藤 元之
神奈川37区	加藤 元之	現職	神奈川38区	加藤 元之
神奈川38区	加藤 元之	現職	神奈川39区	加藤 元之
神奈川39区	加藤 元之	現職	神奈川40区	加藤 元之
神奈川40区	加藤 元之	現職	神奈川41区	加藤 元之
神奈川41区	加藤 元之	現職	神奈川42区	加藤 元之
神奈川42区	加藤 元之	現職	神奈川43区	加藤 元之
神奈川43区	加藤 元之	現職	神奈川44区	加藤 元之
神奈川44区	加藤 元之	現職	神奈川45区	加藤 元之
神奈川45区	加藤 元之	現職	神奈川46区	加藤 元之
神奈川46区	加藤 元之	現職	神奈川47区	加藤 元之
神奈川47区	加藤 元之	現職	神奈川48区	加藤 元之
神奈川48区	加藤 元之	現職	神奈川49区	加藤 元之
神奈川49区	加藤 元之	現職	神奈川50区	加藤 元之
神奈川50区	加藤 元之	現職	神奈川51区	加藤 元之
神奈川51区	加藤 元之	現職	神奈川52区	加藤 元之
神奈川52区	加藤 元之	現職	神奈川53区	加藤 元之
神奈川53区	加藤 元之	現職	神奈川54区	加藤 元之
神奈川54区	加藤 元之	現職	神奈川55区	加藤 元之
神奈川55区	加藤 元之	現職	神奈川56区	加藤 元之
神奈川56区	加藤 元之	現職	神奈川57区	加藤 元之
神奈川57区	加藤 元之	現職	神奈川58区	加藤 元之
神奈川58区	加藤 元之	現職	神奈川59区	加藤 元之
神奈川59区	加藤 元之	現職	神奈川60区	加藤 元之
神奈川60区	加藤 元之	現職	神奈川61区	加藤 元之
神奈川61区	加藤 元之	現職	神奈川62区	加藤 元之
神奈川62区	加藤 元之	現職	神奈川63区	加藤 元之
神奈川63区	加藤 元之	現職	神奈川64区	加藤 元之
神奈川64区	加藤 元之	現職	神奈川65区	加藤 元之
神奈川65区	加藤 元之	現職	神奈川66区	加藤 元之
神奈川66区	加藤 元之	現職	神奈川67区	加藤 元之
神奈川67区	加藤 元之	現職	神奈川68区	加藤 元之
神奈川68区	加藤 元之	現職	神奈川69区	加藤 元之
神奈川69区	加藤 元之	現職	神奈川70区	加藤 元之
神奈川70区	加藤 元之	現職	神奈川71区	加藤 元之
神奈川71区	加藤 元之	現職	神奈川72区	加藤 元之
神奈川72区	加藤 元之	現職	神奈川73区	加藤 元之
神奈川73区	加藤 元之	現職	神奈川74区	加藤 元之
神奈川74区	加藤 元之	現職	神奈川75区	加藤 元之
神奈川75区	加藤 元之	現職	神奈川76区	加藤 元之
神奈川76区	加藤 元之	現職	神奈川77区	加藤 元之
神奈川77区	加藤 元之	現職	神奈川78区	加藤 元之
神奈川78区	加藤 元之	現職	神奈川79区	加藤 元之
神奈川79区	加藤 元之	現職	神奈川80区	加藤 元之
神奈川80区	加藤 元之	現職	神奈川81区	加藤 元之
神奈川81区	加藤 元之	現職	神奈川82区	加藤 元之
神奈川82区	加藤 元之	現職	神奈川83区	加藤 元之
神奈川83区	加藤 元之	現職	神奈川84区	加藤 元之
神奈川84区	加藤 元之	現職	神奈川85区	加藤 元之
神奈川85区	加藤 元之	現職	神奈川86区	加藤 元之
神奈川86区	加藤 元之	現職	神奈川87区	加藤 元之
神奈川87区	加藤 元之	現職	神奈川88区	加藤 元之
神奈川88区	加藤 元之	現職	神奈川89区	加藤 元之
神奈川89区	加藤 元之	現職	神奈川90区	加藤 元之
神奈川90区	加藤 元之	現職	神奈川91区	加藤 元之
神奈川91区	加藤 元之	現職	神奈川92区	加藤 元之
神奈川92区	加藤 元之	現職	神奈川93区	加藤 元之
神奈川93区	加藤 元之	現職	神奈川94区	加藤 元之
神奈川94区	加藤 元之	現職	神奈川95区	加藤 元之
神奈川95区	加藤 元之	現職	神奈川96区	加藤 元之
神奈川96区	加藤 元之	現職	神奈川97区	加藤 元之
神奈川97区	加藤 元之	現職	神奈川98区	加藤 元之
神奈川98区	加藤 元之	現職	神奈川99区	加藤 元之
神奈川99区	加藤 元之	現職	神奈川100区	加藤 元之



菅義偉前総理



河野太郎大臣



小泉進次郎 自民党県連会長



閉会の辞 宮坂副会長



県歯 松井克之会長



顧問裕亮会長



島村大参議院議員



日歯連盟 村岡宣明副会長



閉会の辞 長崎副会長



河野大臣 & 顧問会長



菅前総理 & 顧問会長



顧問会長 & 島村議員 & 川越理事長



司会 川越理事長



連盟役員 集合写真

令和5年1月1日 発行

神歯連盟Times 号外

神奈川県歯科医師連盟

創立70周年記念号

〇発行人 顧問 裕亮 〇編集人 長崎 康雄・川越 元次・山田 郁久 〇委員長 金井 久第 〇委員 飛田 暁・原 宣道 〇045(307)6555

菅前総理、河野大臣を迎え 創立70周年記念講演会 開催

記念講演Ⅰ
演題：我が国の未来
講師：デジタル大臣・衆議院議員 河野 太郎 氏

記念講演Ⅱ
演題：菅内閣の成果とこれからの日本
講師：前内閣総理大臣・衆議院議員 菅 義偉 氏

令和4年11月20日、県歯会館地下大会議室にて講師として第99代内閣総理大臣 菅義偉衆議院議員、デジタル・大臣内閣府特命担当大臣 河野太郎衆議院議員の両名を迎え、厳重な要人警護体制が敷かれた中、創立70周年記念講演会が開催された。

川越理事長の司会の下、宮坂副会長の開会の辞、顧問会長挨拶に続き、来賓の自由民主党神奈川県支部連合会会長小泉進次郎衆議院議員、日本歯科医師連盟村岡宣明副会長、県歯松井克之会長より挨拶があった。

島村大参議院議員から講師紹介がなされた後、菅前総理による「菅内閣の成果とこれからの日本」と題された講演があった。菅前総理らしく傾かない、率直な言葉で自身の総理としての功績と今後の日本の進むべき道筋について語られ、会場の聴衆は意きつけられた。続いて河野大臣による「我が国の未来」と題された講演があり、軽妙洒落な語り口から見据えるデジタル化の向こう側にある温もりもある日本のあり方が示された。最後に長崎副会長による閉会の辞により散会となった。



編集後記

神奈川県歯科医師連盟創立70周年にあたり、11月20日に県歯会館にて創立70周年記念講演会を開催することができました。前内閣総理大臣の菅義偉衆議院議員・河野太郎デジタル大臣をお招きして講演会を実施し、多くの参加者を迎えることができ盛会に終わりました。また、70周年を記念して記念誌を作成することになりました。

前回の60周年でも記念誌を発行しています。この記念誌の目的はこれまでの10年を振り返ることで、足跡をしっかりと残すことにあります。10年の記録は本連盟の機関紙である「連盟NEWS」とそれに引き継いだ「連盟TIMES」です。それを中心に記念誌を編綴してきました。

そこで、記念誌の編綴にあたり、お忙しいのにも関わらず急な原稿依頼に快くお引き受けいただいた先生方、診療時間を裂いて編集していただいた広報委員の方にこの場をお借りしてお礼申し上げます。また、原稿依頼や校閲の調整をいただいた神奈川県歯科医師会事務局や全体の編集やアドバイスをいただいた神奈川新聞社の方にも御礼申し上げます。

10年を振り返ると、神奈川県歯科医師会の広報誌における紙媒体からの脱却があり、ホームページの拡充・SNSによる情報発信というDX（デジタルトランスフォーメーション）の波がありました。本連盟では紙媒体にこだわり、手にとって読んでいただけることを大切に考えていきました。一方、連盟の機関紙の編綴に関してもデジタルデータの活用や、インターネット：ホームページ、SNSを活用するようになりました。デジタルの波が私たちにも押し寄せてきました。

総括的にこの活動を思い起こすと島村大先生と一緒に歩んだ10年だったのではないのでしょうか。島村先生は日歯連盟会長を歴任され、歯科業界の意見や要望を国の政策に効率的に反映させるためにはどうしたらいいかを真剣に考えて、行動に移している方だと思います。精励して地区からの出馬したことを私たちが応援している所以がそこにあります。この10年でこう云ったことを広く連盟会員に伝わったと思います。また、2021年より各選挙区に担当を置くなどして細かい、無駄のない連盟活動を心がけ、会員に対して理解しやすい連盟になっていると強く訴えたいと思います。

最後に鶴岡会長をはじめ神奈川県歯科医師連盟の諸先輩方の努力に深く敬意を表すと共に、引き継がれていく連盟組織を今後も次の世代へと継承していただき、持続可能な組織づくりの援助となりことを祈念して編集後記とさせていただきます。

神奈川県歯科医師連盟
広報委員会
委員長 金井 久弥

神奈川県歯科医師連盟 広報委員会（創立70周年記念誌作成委員会）

委員 飛田 暁

広報委員として連盟広報誌の編集を12年ほどお手伝いさせていただきましたが至らぬ点が多々あったことと思います。60周年記念誌に続き今回の70周年でも携わらせていただき光栄に思います。コロナ禍が続く中、70周年記念誌編集にご尽力いただいた諸先生方、事務局職員に大変感謝申し上げます。

委員 原 宣道

Gmail などメールソフトでもお馴染みの「アーカイブ」という単語はデータ群を纏めて一体で保存する意味の IT 用語です。但しそこには単なるデータ保存ではなく「未来につなげる」という意味が内包されています。昭和的言い回しでは「永久保存版」でしょうか。広報委員会の末席に名を連ね1年余り、門外漢の私にとって記念誌編纂を通じ県歯連盟最近10年のアーカイブを具に知る機会を得たことは貴重な学びでありました。

【担当役員】

副会長 長崎 康俊

70周年という大きな節目を迎え、振り返れば島村大参議院議員の初当選から共に歩んだものと考えます。本連盟にとっても大きな変革があり、より良い方向に向かった10年であったと感じています。歯科医師会運営に連盟活動は絶対必要なもので、これからも会員皆様のご支援をお願いしたく存じます。広報委員会の皆様ありがとうございました。

理事長 川越 元久

70周年記念誌に携わったことによって、本連盟のこの10年は島村議員の歩みとともにあったことがよくわかりました。時系列に整理されたことによって、記憶がよみがえり大変思い出深い記念誌です。会員の先生方にも是非隅から隅までお読みいただきたいです。年末年始を返上して校正にあたってくださいました広報委員会の先生方に深く感謝し、次の80周年に向けて新たな歩みを始めた本連盟のさらなる発展を期待したいと思います。

常務理事 山田 剛久

70周年記念誌編纂という名誉ある仕事に携わらせていただいたことに感謝致します。先達である偉大な諸先輩方の熱い思いが少しでも会員に伝わることを願います。ダーウィン曰く、進化とは変化に適応するものが生き残ること。連盟が時代の変化にいかに順応してきたか。伝統とはたゆまぬ変革の継続であることを実感致しました。

【事務局】

事務局長 花木 隆之 事業部長 高橋 好久 事業第2課長 杉本 淳也
事業第2課主事 魚野 裕実加



神奈川県歯科医師連盟創立70周年記念誌

令和5年3月吉日発行

発行者 神奈川県歯科医師連盟
横浜市中区住吉町6-68 神奈川県歯科保健総合センター3階
電話045-307-6555(代)

編纂者 神奈川県歯科医師連盟広報委員会

印刷所 株式会社 神奈川新聞社
横浜市中区太田町2-23
電話045-227-0737

神奈川県歯科医師連盟
KANAGAWA DENTAL FEDERATION

